



MODEL 3

2024

オーナーズマニュアル



ソフトウェアバージョン: 2023.38

Japan

お客様のオーナーズマニュアルについて

お客様の車両に対してカスタマイズされた最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンでアプリ ランチャーにタッチして、マニュアル アプリを選択します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェア バージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

リリースノート

ソフトウェアのアップデート後には、タッチスクリーンに新しい機能に関する情報が表示されます。これらはマニュアル アプリで「リリースノート」タブを選択するか、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」の順にタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト図および製品仕様

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェア バージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

本書に記載の仕様および説明は、印刷時に、すべて正確であることが確認されています。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。本文書に不正確な記述や漏れを見つけられた方は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

安全情報

タッチスクリーンでお客様の Model 3 のオーナーズマニュアルの安全情報を見ることができます。

お客様の Model 3 に関する詳細情報を確認するには、お客様の地域の Tesla ウェブサイトにアクセスして、Tesla アカウントにログインします。アカウントがない場合はサインアップしてアカウントを取得してください。

Model 3 に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号については、www.tesla.com にアクセスし、連絡先情報をご確認ください。

© 2012-2023 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc. およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

MODEL 3 MODEL S TESLA TESLA ROADSTER

MODEL Y MODEL X TESLA MOTORS T 三五郎



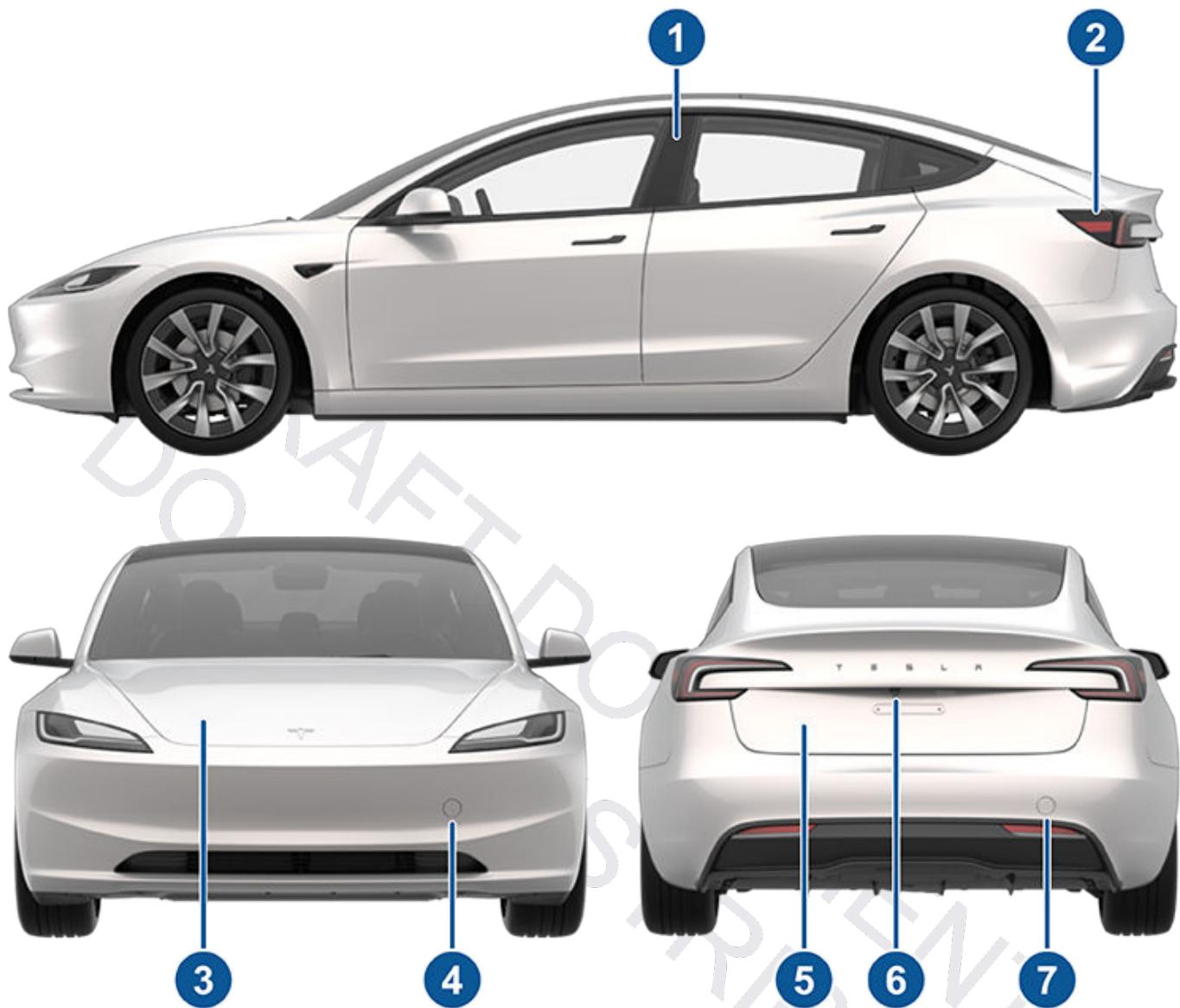


概要.....	3	信号機と一時停止のコントロール.....	97
外装.....	3	オートパーキング.....	104
インテリアの概要.....	4	サモン.....	106
タッチスクリーン.....	6	スマート サモン.....	108
車内の電子装備品.....	11	制限と警告.....	110
車両の状態.....	13		
音声コマンド.....	16	アクティブセーフティ 機能.....	115
カメラ.....	18	レーンアシスト.....	115
開閉.....	19	衝突回避アシスト.....	118
キー.....	19	スピードアシスト.....	121
mnj ドア.....	21	キャビン用カメラ.....	122
ウィンドウ.....	23		
収納エリア.....	24	ダッシュカム、セントリー、セキュリティ.....	123
リアトランク.....	24	安全とセキュリティ設定.....	123
フロントトランク.....	26	ダッシュカム.....	125
車内の収納.....	29	セントリーモード.....	127
座席と安全拘束具.....	30	ビデオ録画のための USB ドライブの要件.....	129
フロントおよびリア シート.....	30		
シートベルト.....	33	空調.....	130
チャイルドシート.....	36	空調を操作する.....	130
エアバッグ.....	45	フロント通気口および後部座席通気口.....	134
接続性.....	48	寒冷環境におけるベストプラクティス.....	136
モバイルアプリ.....	48	暑熱環境におけるベストプラクティス.....	139
Wi-Fi.....	50		
Bluetooth.....	51	ナビゲーションとエンターテイメント.....	140
電話、カレンダー、ウェブ会議.....	53	マップとナビゲーション.....	140
運転モード.....	55	メディア.....	145
始動と電源オフ.....	55	シアター、アーケード、おもちゃ箱.....	148
ハンドル.....	57		
ミラー.....	61	充電とエネルギー消費.....	151
ギアシフト.....	62	電気自動車のコンポーネント.....	151
ライト.....	65	高電圧バッテリーに関する情報.....	153
ワイパーとウォッシャー.....	68	充電方法.....	154
ブレーキと停車.....	69	予約充電および出発予定時刻.....	158
パーキングアシスト.....	72	航続距離を最大限に伸ばす.....	159
オートブレーキ ホールド.....	74		
トラクションコントロール.....	75	メンテナンス.....	161
加速モード.....	76	ソフトウェア アップデート.....	161
ドライバープロフィール.....	77	メンテナンスサービスの間隔.....	163
アクティブボンネット.....	79	タイヤのお手入れとメンテナンス.....	165
走行情報.....	80	洗車.....	171
リアビュー カメラ.....	81	フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液.....	174
歩行者警告システム.....	82	ジャッキ アップと引き上げ.....	176
けん引とアクセサリー.....	83	部品とアクセサリー.....	177
オートパイロット.....	88	自主メンテナンス.....	179
オートパイロットについて.....	88		
オートパイロット機能.....	90	仕様.....	180
		識別ラベル.....	180
		車両総重量.....	181
		寸法.....	183
		サブシステム.....	185
		ホイールとタイヤ.....	188



目次

ロードサイド アシスタンス	191
Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する.....	191
車両輸送者向け注意事項.....	192
電力切れ.....	195
ジャンプスタート	196
トラブルシューティング	197
トラブルシューティングのアラート	197
消費者情報.....	251
オーナー情報について	251
機能の使用可否に関する声明	253
免責事項	254
安全上の不具合を報告する	257
認証適合性	258
索引.....	260



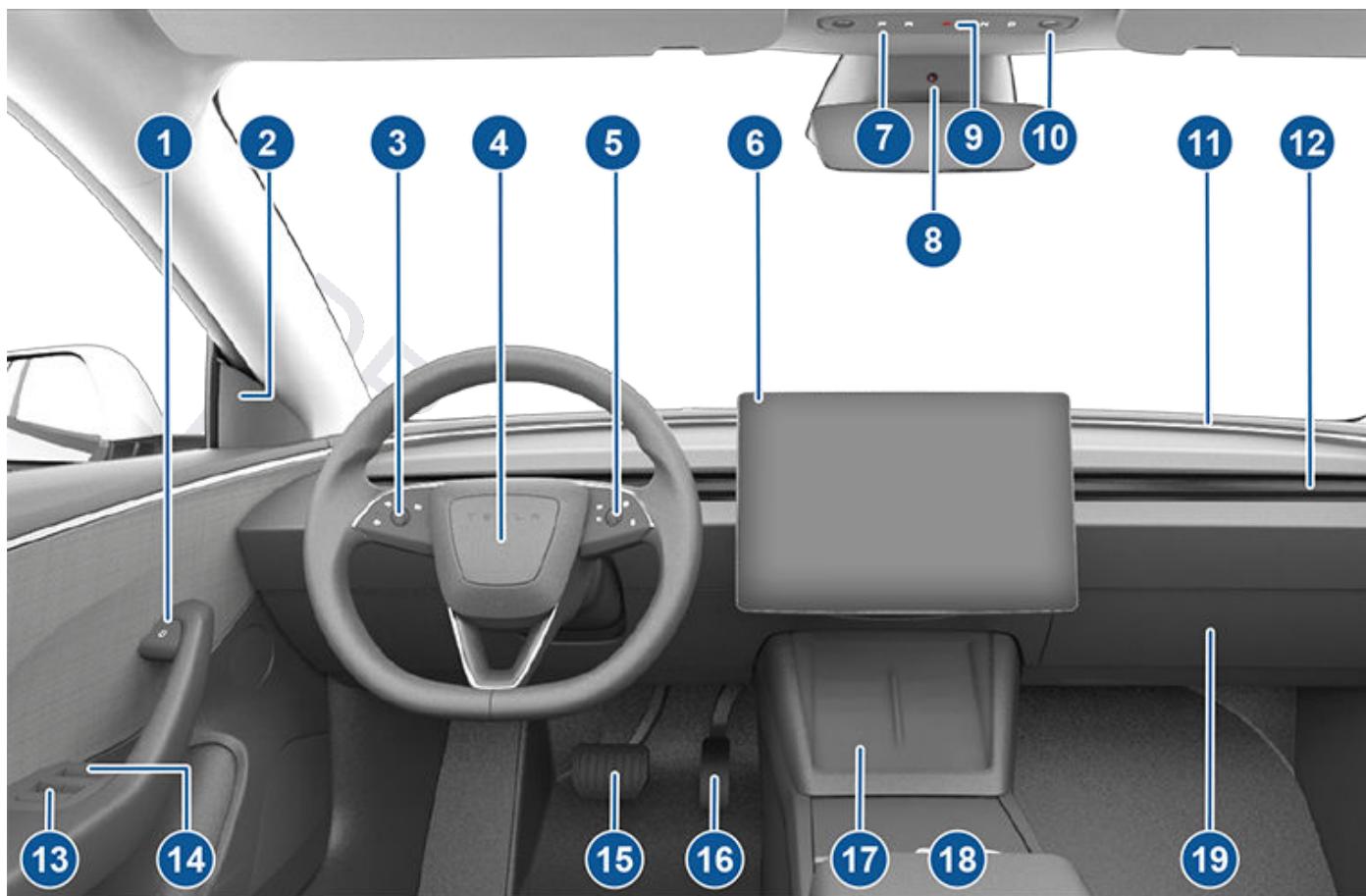
1. キー カード センサー [キー](#)
2. 充電ポート ([充電方法](#))
3. フード / フロントトランク ([フロントトランク](#))
4. フロントのけん引ボルト カバー (車両輸送者向け注意事項)
5. リア トランク ([リアトランク](#))
6. リア ビュー カメラ ([リビューカメラ](#))
7. リアのけん引ボルト カバー (車両輸送者向け注意事項)

オートパイロットカメラの位置は、[カメラ](#)を参照してください。

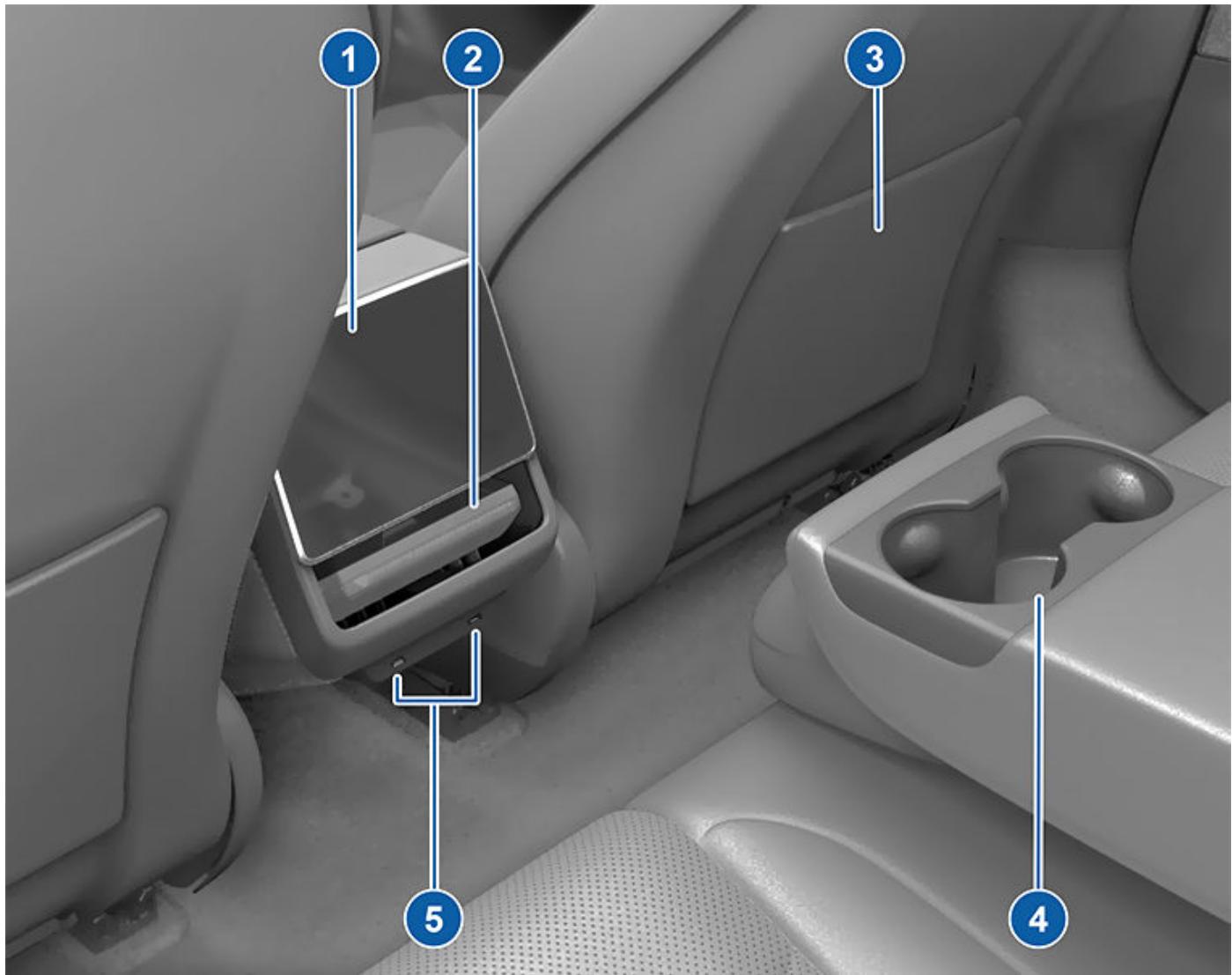


インテリアの概要

注: 右ハンドル (RHD) 車では、オーナーズ マニュアル上に図示されたコントロール類が車両右側に左右反転した形で配置されています。



1. ドア オープン ボタン (車内からドアを開ける)
2. ブラインドスポット インディケーター (ブラインドスポットインジケーター)
3. 左側スクロール ホイール (左側スクロール ホイール (多機能))
4. クラクション (クラクション)
5. 右側スクロール ホイール (右側スクロール ホイール (オートパイロット))
6. タッチスクリーン (タッチスクリーン)
7. セカンダリー ドライブ モード セレクター (P R N D) (ギアシフト)
8. キャビン用カメラ (キャビン用カメラ)
9. ハザード (ハザード)
10. ルームライト (ライト)
11. アクセント ライト (ライト)
12. 空調ペント (空調を操作する)
13. パワー ウィンドウ スイッチ (ウィンドウ)
14. 手動ドア リリース (車内からドアを開ける)
15. ブレーキ ペダル (ブレーキと停車)
16. アクセルペダル (回生ブレーキ)
17. ワイヤレス電話充電器 (ワイヤレス電話充電器) およびキーカード リーダー (キー)
18. センター コンソール (センター コンソール)
19. グローブボックス (グローブボックス)



1. リアタッチスクリーン（リアタッチスクリーン）
2. 調整可能な空調通気口（空調を操作する）
3. シートポケット
4. カップホルダー（リアコンソール）
5. USBポート（USBポート）



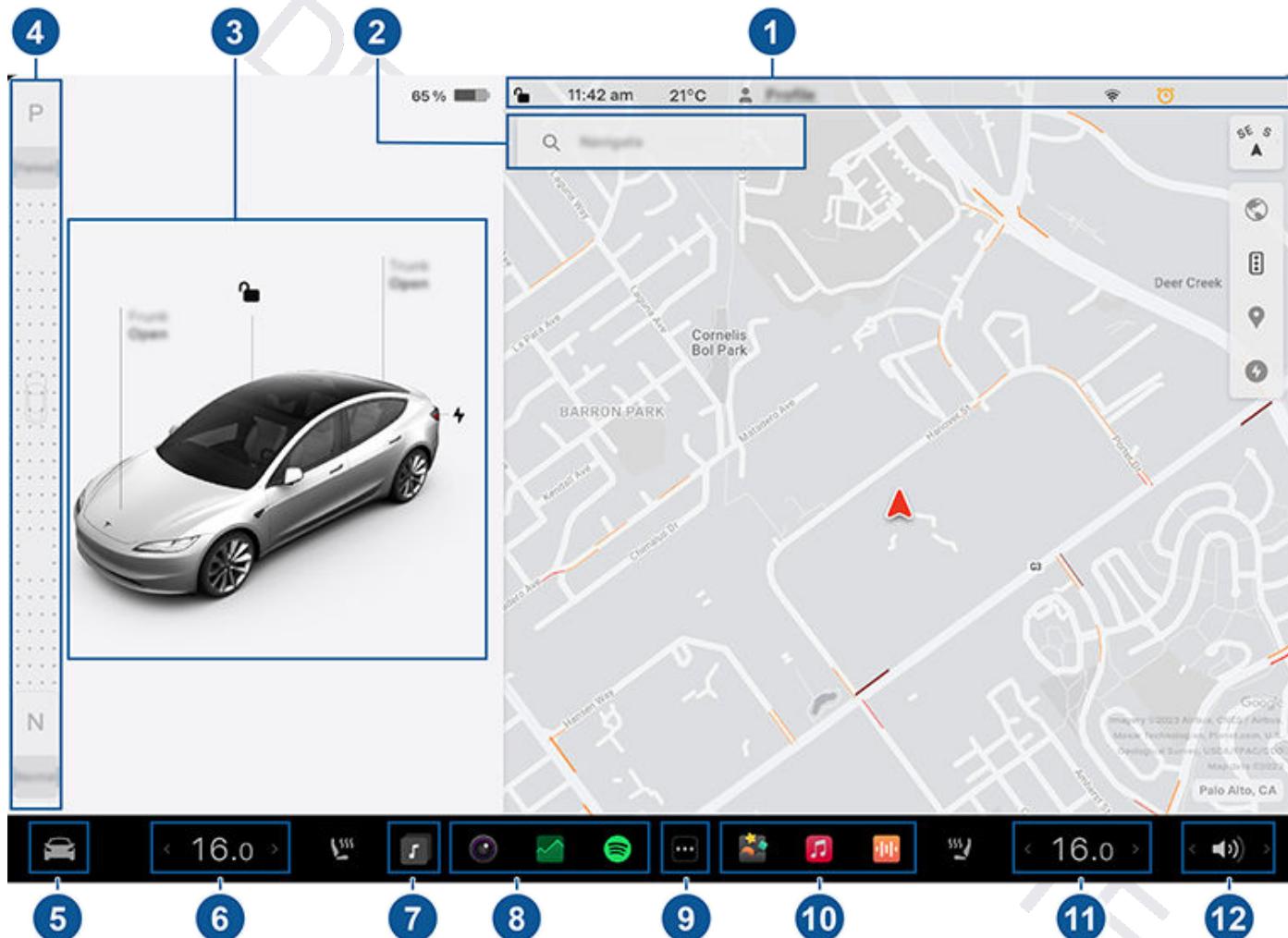
タッチスクリーン

⚠️ 警告: 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンによる設定の調整を行わないでください。

従来の車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節に多くの物理的ボタンを使用していましたが、タッチスクリーンだけで多数の機能を制御できます。タッチスクリーンからは、メディアとナビゲーションのコントロールやエンターテイメント機能の使用、選択設定による **Model 3** のカスタマイズが利用できます。一般的なタッチスクリーン コントロールにハンズフリーでアクセスするためには、音声コマンドを使用します（[音声コマンド](#) 参照）

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動してください（[タッチスクリーンの再起動](#)を参照）。

注: 各種イラストは、コンセプトの理解の促進のみを目的としています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、地域設定、言語設定によって、スクリーンの表示内容は異なります。



1. **ステータスバー:** トップバーで車両のコントロールとステータスを確認します（[トップ ステータス バー アイコン](#)を参照）。
2. **ナビゲーション:** 地図の向きを変更し、目的地を検索またはナビゲーションし、ナビゲーション設定を変更します。（[マップとナビゲーション](#)参照）。
3. **車両の状態:** このエリアには、運転、駐車、ドア開閉、ライト点灯のような **Model 3** の現在のステータスをその都度表示します。走行速度や警告メッセージなどの重要情報が表示されますので、運転中はこのエリアを確認してください（[車両の状態](#)参照）。車両がパーキングにシフトしているときは、トランクや充電ポートを開けることができます。このエリアには、メディア、タイヤ空気圧、および走行情報のショートカット「カード」が含まれます。

フルセルフドライビング機能（装備されていれば）が有効な場合、車両の状態エリアには道路と車両の周囲が映像表示されます。車両の状態エリアを端から端までドラッグすると表示を拡張/縮小することができます。表示を拡張すると、路面標示、一時停止標識灯、物体（ゴミ箱、柱ほか）など、車道やその周辺の詳細情報が表示されます。

- 4. ドライブ モード ストリップ:** パーキング、リバース、ニュートラル、またはドライブにシフトするために使用されます。タッチスクリーンの端から助手席側にスワイプすると、ドライブモードストリップが表示されます。（[ギアシフトを参照](#)）
- 5. コントロール:** さまざまな機能を制御し、**Model 3** をカスタマイズしてあなたの好みに合わせます。コントロール画面が地図の上に表示されます。コントロール画面のオプションにタッチすると、選択したオプションに関連するさまざまな設定および好みが表示されます。

特定の設定を検索するにはコントロール画面の上部にある検索にタッチします。結果を直接変更するか、リンクをタップして「コントロール」にあるオプションに移動します。



情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

注: 車両のコントロール、設定および好み（空調、メディア、ナビゲーションなど）は音声コマンドを使用してハンズフリーで調整することができます（[音声コマンドを参照](#)）。

注: このアイコンを長押しすると、タッチスクリーンのフィードバックを **Tesla** に送信することができます。

- 6. 空調（運転席）:** 左右の矢印を使用すると、キャビンの温度を調整できます。ポップアップの「スプリット」にタッチすると、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが表示されます。温度アイコンにタッチすると空調設定をカスタマイズできます（[空調を操作する参照](#)）。温度コントロールが「スプリット」のときは、助手席空調が表示されて、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
- 7. メディア プレイヤーのショートカット:** メディア プレイヤー アプリを使用しているときは、下にスワイプすると、メディア プレイヤーのショートカットアイコンが下部バーに表示されます。
- 8. マイ アプリ:** よく使用するアプリやコントロールにワンタッチでアクセスするため、ここで表示内容を選択することができます。マイ アプリをカスタマイズを参照してください。
- 9. アプリ ランチャー:** アプリ ランチャーにタッチするとアプリ トレイが開きます。アプリをタッチして開きます。選択したアプリがマップの上部に表示されます。アプリを終了するには、下にドラッグします。
- 10. 最近使用したアプリ:** 最近使用したアプリを表示します。ここに表示される最近使用したアプリの数は、マイ アプリに追加したアプリの数によって変わります。マイ アプリに最大数のアプリを追加している場合、直近に使用したアプリだけが表示されます。
- 11. 空調（助手席）:** 温度コントロールが「スプリット」のときは、運転席と助手席で個別に操作できるコントロールが提供されます。
- 12. 音量調節:** メディア プレイヤーと電話の音量を制御します（[音量調節参照](#)）。ナビゲーション指示の音量は別途制御されます（[マップとナビゲーション参照](#)）。

マイ アプリをカスタマイズ

よく使用するアプリや設定にワンタッチでアクセスするため、タッチスクリーンの下部バーにあるマイ アプリエリアの表示内容をカスタマイズすることができます。

1. マイ アプリエリアにあるアプリまたはコントロールを長押ししてカスタマイゼーション モードに入れます。このエリアが空白の場合、アプリ ランチャーにタッチします。
2. アプリまたはコントロールをアプリ トレイから下部バーのマイ アプリエリアにドラッグします。

注: アプリ トレイで選択したシートヒーターが、マイ アプリ エリアではなく温度の隣に表示されます。

注: マイ アプリに最大数のアプリやコントロールを既に追加している場合、アプリを追加すると右端のアプリが削除されます。

注: アプリまたはコントロールを長押ししてから該当する「X」にタッチしてマイ アプリエリアから削除します。

トップ ステータス バー アイコン



タッチしてすべてのドアやトランクをロック/アンロックします。

4:20 pm



車両は自動で時刻を更新します。時刻が正しくない場合、車両が最新ソフトウェアによるインターネットおよび **GPS** への接続性を持っていることを確認します。

Model 3 がパーキングにシフトしているときに限ってタッチスクリーンにステータス バーが表示されます。ドライバープロフィールを追加、設定（パレーモードおよびイージーエントリーを使用を含む）するかすばやく切り替えます。ドライバープロフィールはコントロール画面の上部からもアクセスできます。[ドライバープロフィール](#) を参照してください。



タッチスクリーン



Model 3 がパーキングにシフトしているときに使用可能であり、タッチすると現在の走行サイクルに対して手動でセントリーモードを有効または無効にします。車両を離れるたびにセントリーモードを自動でオン（またはオフ）にするには、「コントロール」>「安全」>「セントリーモード」の順に移動し、設定を有効にします。詳細情報については、[セントリーモード](#)を参照してください。

注：「コントロール」>「セントリーモード」でセントリーモードをオンまたはオフにした場合、車両のタッチスクリーン上のショートカットおよびモバイルアプリは現在の走行サイクルに限って作動します。

注：2021年11月1日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール USB ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の USB ポートを使用してください。

Model 3 が Wi-Fi ネットワークに接続している場合に表示されます。



Model 3 の携帯電話への接続が非常に悪いか、ない場合に表示されます。このアイコンにタッチすると「[Wi-Fi 設定](#)」にすぐにアクセスできます。



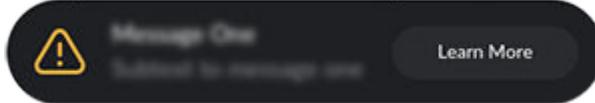
助手席エアバッグのステータス（エアバッグを参照）。



所有者、追加されたドライバー、または使用している第三者アプリによって、Tesla アプリで車両の GPS 位置情報がアクティブにアクセスされている場合に表示されます。無効にするには、タッチスクリーンで「安全」>「モバイル アクセスを許可」の順に移動します。

ポップアップメッセージおよび車両のアラート

ポップアップメッセージが、タッチスクリーン最下部中央に表示されます。例えば、シートベルト リマインダ（人が座っている座席でシートベルトが装着されていない場合）、アラート通知（電話着信があった場合）、テキスト メッセージ（該当する場合）、音声コマンド（使用している場合）が表示されます。装備車の場合は、ポップアップメッセージのオプション（電話応対の可否、ヘッドライト メニューのオプション選択など）にタッチします。ポップアップメッセージを無視するには、下にスクロールします。



車両のタッチスクリーンにアラートが表示された場合、「詳細はこちら」にタッチするとアラートおよびその解決方法に関する詳細情報をることができます。「コントロール」の上にあるベル アイコンにタッチすると、車両アラートおよび通知の一覧を表示することができます。

注：現時点ですべてのアラートに追加情報が提供されているわけではありません。

タッチスクリーンの再起動

タッチスクリーンが応答しない場合や、異常な挙動を示す場合は、タッチスクリーンを再起動することができます。

警告：タッチスクリーンの再起動は車両を停止してパーキングに入れている時ののみ行います。再起動中は、車両のステータス、安全に関する警告、バックアップ カメラなどが使用できなくなります。

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンが暗くなるまで、ハンドルの両方のスクロール ボタンを長押しします。スクロール ボタンを押しながらブレーキ ペダルを踏む動作は、実行しても何も起こらず、要求されることもありません。

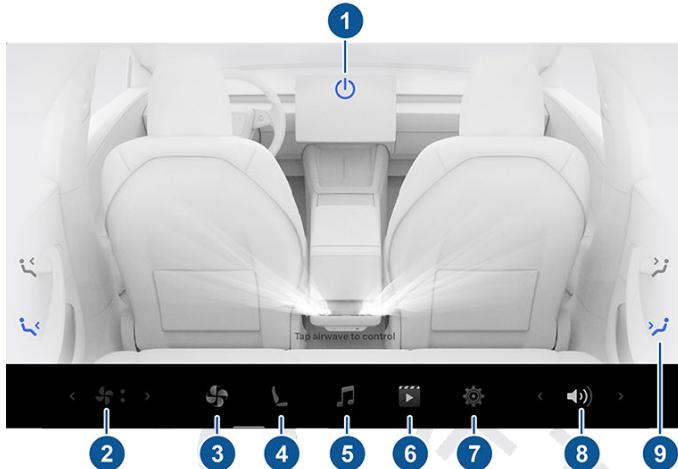


3. 数秒後に Tesla ロゴが表示されます。タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分経っても、タッチスクリーンが反応しなかったり、タッチスクリーンが通常とは異なる挙動が見られたりした場合は、（可能であれば）パワーサイクリングを試します。[車両でパワーサイクリングを行う](#)を参照してください。

注：スクロールボタンを押しても、タッチスクリーンが再起動されるだけです。車両のその他のコンポーネントを再起動することはなく、**Model 3** の電源のオンオフも行いません。

リアタッチスクリーン

リアタッチスクリーンを使用すると、後部座席の乗客は以下の機能を利用できます。



1. 電源: タッチすると、リア空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. リアファン速度タッチしてファン速度を調整します。
3. リアファン: タッチすると、リアファンのオンオフ切り替え、ファン速度の調整、後部座席通気口からのエアフローの向きの制御ができます（フロント通気口および後部座席通気口参照）。
4. シート: リアシートヒーターを操作し、矢印を使用して助手席を前後に動かします。
5. メディア: 再生、一時停止、スキップ、現在再生中の楽曲の巻き戻しができます（[メディア](#)参照）。
6. ビデオ: ビデオストリーミングサービスにアクセスできます。
7. 設定タッチして、最大2セットのBluetoothヘッドフォンをペアリングして、明るさを変更し、ディスプレイをきれいにします。

注: フロントタッチスクリーンを使用し、リヤスクリーンアプリを起動して Bluetoothヘッドフォンをリヤディスプレイにペアリングすることもできます。

8. 音量: タッチすると音量を調整できます。
9. エアウェーブ事前設定: タッチすると、気流が乗員の頭部または胴体にすばやく向かいます。タッチスクリーンのエアウェーブにタッチして動かすことで、欲しい場所に正確に気流を向けます。

注: またフロントタッチスクリーンを使用してもリヤキャビンの空調設定を調節することができます（[空調設定の調整](#)を参照）。

注: メディアおよび音量コントロールを調整すると、フロントキャビンの設定も調整されます。

フロントからリヤスクリーンを操作する



フロントディスプレイからリヤタッチスクリーンを操作するには、フロントタッチスクリーンの下部バーでリヤスクリーンリモートコントロールアプリを開きます。オーディオ、動画、エアコンの他にも、このアプリを使用して、または「コントロール」>「ディスプレイ」>「リヤスクリーンをロック」の順にタッチして、リヤディスプレイをロックすることができます。

ディスプレイおよびサウンド設定のカスタマイズ

表示設定を自分の好みに合わせるには、「コントロール」>「表示」の順にタッチします。

- 表示モード: 表示として、「暗い」と「明るい」のいずれかでカスタマイズします。「オート」に設定すると、周囲の照明状態に応じて明るさが自動的に変わります。
- 明るさ: スライダーをドラッグして手動でスクリーンの明るさのレベルを制御します。「表示モード」を「オート」に設定すると、周辺の照明状態と明るさの好みの両方に基づいて、タッチスクリーンが調整を行ないます。**Model 3**選択した明るさの好みを記憶し、タッチスクリーンを適切に調整します。
- 画面クリーニングモード: 有効にすると、クリーニングしやすいように、タッチスクリーンは暗くなって一時的に停止状態になります。画面上の指示に従い、画面クリーニングモードを終了します。
- タッチスクリーン言語: タッチスクリーンで使用する言語を選択します。

注: **Model 3**言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更する際、**Model 3**がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。

- 音声認識言語: 音声コマンドに使用する言語を選びます。
- 音声ナビ言語: ナビゲーションシステムが使用する音声ガイダンスの言語を使用します。
- 注:** 言語のダウンロードが必要な場合、ドロップダウンリストで言語を選択してダウンロードを開始します（Wi-Fi接続が必要です）。
- テキストサイズ: 「標準」か「大」を選択して、車両のタッチスクリーンの文字サイズをカスタマイズします。
- 時間: 時間の表示フォーマットを**12時間**と**24時間**のいずれかから選択します。
- エネルギー表示: 残りエネルギーを表示するには、充電単位としてバッテリー残量のパーセントまたは推定走行可能距離を選択します。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、エネルギー予測を大きなガイドラインとしてのみ利用してください。さまざまな要因がエネルギー消費に影響を与えます。**電力消費量**に影響する要因を参照してください。



タッチスクリーン

- **距離:** 測定値をメートル単位（キロメートル、センチメートルなど）またはインチ単位（マイル、インチなど）で表示するかを選択します。
- **温度:** 温度表示として、華氏か摂氏のいずれかを選択します。
- **タイヤ空気圧:** タイヤ空気圧表示として、**BAR** か **PSI** のいずれかを選択します。

ディスプレイのカスタマイズの他に、**Joe Mode** を有効にして、重大な安全問題に関連しないすべてのチャイムの音量を低くすることができます。「コントロール」>「安全」>「**Joe Mode**」の順にタッチして有効にします。

車両に名前を付ける

車両をさらにカスタマイズするために、名前を付けることができます。タッチスクリーンの右側にある **Model 3** の画像の下の「コントロール」>「ソフトウェア」>「車に名前を付ける」をタッチします。車両にすでに名前が付いている場合は、既存の名前をタップして変更できます。ポップアップに新しい名前を入力して「保存」をタッチします。**Tesla** モバイルアプリにも、**Model 3** の名前が表示されます。

個人情報の消去

すべての個人情報（保存した住所、お気に入りの音楽、など）が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。これは **Model 3** の所有権を移す際に便利な機能です。「コントロール」>「サービス」>「工場出荷時リセット」の順にタッチします。消去を実行する前に、**Model 3** がドライバーの認証情報を確認するため **Tesla** アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。



Model 3 の車内には、収納コンパートメントやカップ ホルダー（[車内の収納](#)を参照）に加えて、**USB** ポート、ワイヤレス電話充電器、および **12 V** 電源ソケットといったさまざまな電子装備品があります。

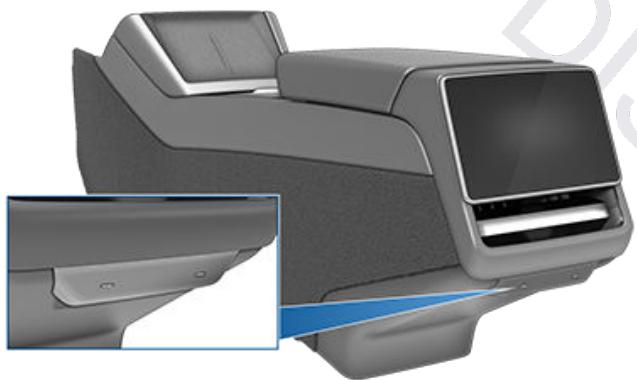
USB ポート

Model 3 4 か所の **USB** ポートを搭載しています。3 か所の **USB-C** ポートは最大約 **42W**、2 か所の **USB-C** ポートは最大約 **65W** を出力します。

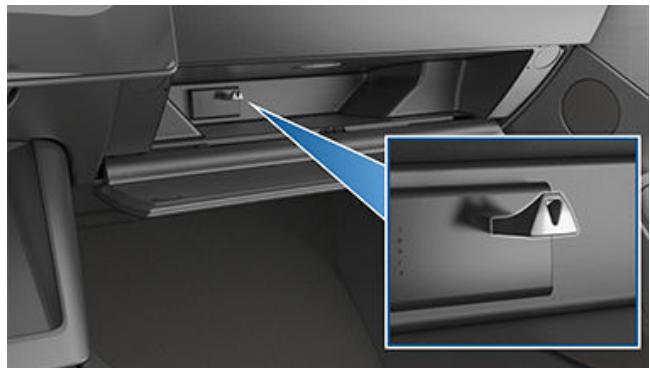
- センターコンソールの後部コンパートメントには、**USB** デバイスの充電に使用される **USB-C** ポートが 1 か所あります。



- リア タッチスクリーンの下にも **USB-C** ポートが 2 か所装備されており、**USB** デバイスの充電に使用できます。



- グローブボックス内部にも、**USB-A** ポートが 1 か所装備されています。このポートには、**USB** フラッシュドライブが搭載されています。この **USB** ポートのセキュアな設置場所は、セントリー モードやダッシュカムのビデオ映像の保存には理想的です。電話や **USB** デバイスからのオーディオファイルもサポートしています（[デバイスからメディアを再生](#)を参照）



USB フラッシュドライブのフォーマットについては、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件](#)を参照してください。

注：車両が起動した状態であれば電源が供給されています。車両が起動した状態となる理由にはいくつかあります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「エアコンを **ON** のままにする」、「ドッグ モード」、「キャンプモード」、または「セントリーモード」などが有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、高電圧充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリー プラグを差し込んだままでして低電圧バッテリーは放電しません。

注：**USB 3.0** 互換ケーブルを使用して、デバイスを **USB** ポートに接続します。非準拠ケーブルを使用すると充電に時間がかかり、接続上の問題や、パフォーマンスの低下が生じるおそれがあります。

注：**USB** ハブを使用して複数の機器を接続しないでください。複数のデバイスを接続すると、接続されているデバイスが充電されなかったり、メディア プレイヤー、セントリーモード、ダッシュカムなどに認識されないことがあります。

ワイヤレス電話充電器

ワイヤレス電話充電器はフロント コンソールの両方に統合されており、**Qi** 対応の電話を最大 **15W** の電力で充電できます。電話機を充電するためには、2 つある充電パッドのどちらかの上に電話機を置きます。電話はワイヤレス充電器と直接接続する必要があります。電話と充電器の間に障害物（クレジットカード、キー カード、コイン、キー、貴金属品など）を置かないでください。充電中のスマートフォンは暖かく感じることがありますが、これはインダクティブ方式充電で通常起きる現象です。

! 注意：**NFC** カード（車両のキー カード、クレジットカード、ホテルの鍵など）は、損傷を避けるため、電話機を充電する前に、装着している電話機ケースから取り出してください。



車内の電子装備品



車両の電源が入っているとき（タッチスクリーンが有効で車内にいるとき）にお使いのスマートフォンをワイヤレス充電器に置くと、電話が充電されます。「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、「セントリーモード」などの機能が有効になっていない限り、車から降りても電話機は充電されません。

注: 電話ケースが厚すぎる場合や金属製の場合、ワイヤレス電話充電器は動作しません。電話をケースから取り出し、充電器の上に置いてください。

注: 車両の高電圧バッテリーが放電されると、ワイヤレス電話充電器は充電されません。

低電圧 電源ソケット

お使いの **Model 3** には、センター コンソールのコンパートメントに電源ソケットが搭載されています。低電圧ソケットを使用するには、センター コンソールのフロント コンパートメントを開きます。



電源ソケットは **12A** までの連続通電（最大 **16A**）が必要なアクセサリーに適合します。

注: 車両が起動した状態であれば電源が供給されています。車両が起動した状態となる理由にはいくつかあります。たとえば、サモンなどの機能の使用時や、「プレコンディショニング」、「キャビン過熱保護」、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグモード」、「キャンプモード」、「セントリーモード」などの機能が有効なときです。低電圧バッテリーが充電されているか使用中の時、高電圧充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状態になります。アクセサリープラグを差し込んだままにしても低電圧バッテリーは放電しません。

⚠️ 警告: 電源ソケットやアクセサリー端子は熱くなることがあります。

⚠️ 警告: 車両の電気系統に対する過剰な干渉を回避するために、パワーインバーターを含む、Tesla の純正品以外のアクセサリーを低電圧電源ソケットに接続しないようにすることをお勧めします。ただし、Tesla の純正品以外のアクセサリーを使用した場合に、インジケーターのライトが点灯したり、警告メッセージが表示されたりアクセサリーが極端に熱くなったりするなどの誤動作や予期しない動作に遭遇した場合は、アクセサリーを低電圧電源ソケットから直ちに取り外してください。

⚠️ 注意: 低電圧電源ソケットを使用して **Model 3** のジャンプスタートを試みないでください。故障の原因となることがあります。



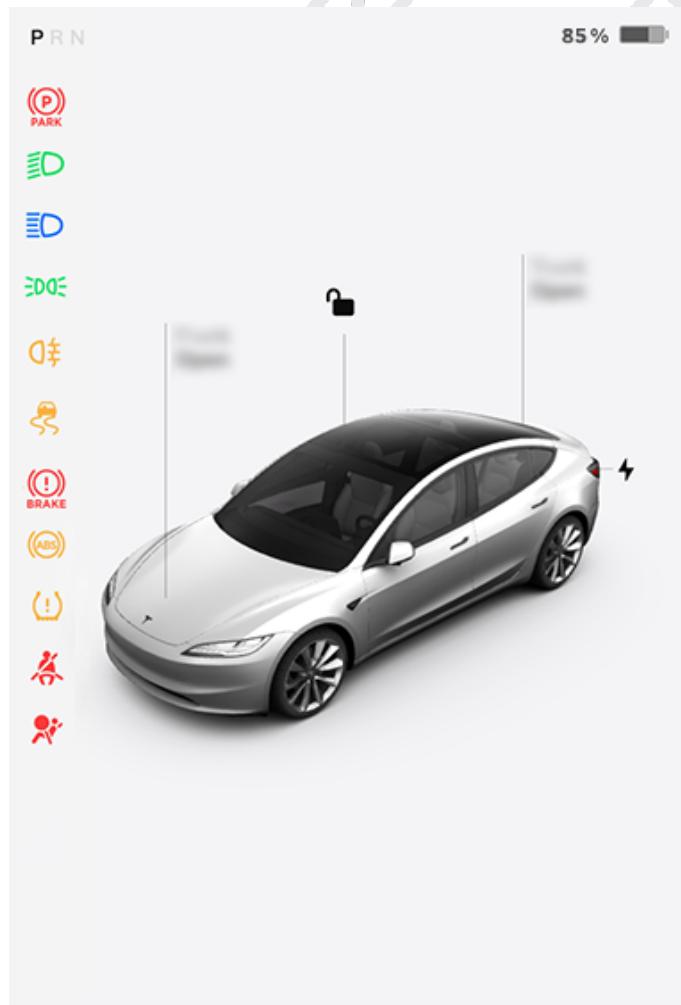
概要

タッチスクリーンには **Model 3** の状態が常に表示されます。何が表示されるかは車両が次に挙げるどの状態かによって変わります。

- ・パーキング中（以下に示す）。
- ・運転中（[運転状態](#)を参照）。
- ・充電中（[充電ステータス](#)を参照）。

Model 3 を駐車した場合、この状態エリアにはドライブ モード、推定航続距離、車の俯瞰画像が、トランクと充電ポートドアを開くタッチボタンと共に表示されます。ブレーキを踏むと **Model 3** の電源が入り、インジケーター ライトが短く点滅します。現在の状況に当てはまらない（たとえばシートベルトが着用されていない）インジケーター ライトは消灯します。インジケーターが点灯または消灯しない場合は、[Tesla](#) に連絡してください。

注：次の画像は、デモンストレーションの目的でのみ提供されています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



カード

車両のステータス表示の下部には、メディア、タイヤ空気圧データ、走行情報などにすばやくアクセスできるショートカット「カード」も表示されます。カードを左右にスワイプして、カードのショートカットをカスタマイズします。

インジケーター ライト

次のインジケーター ライトは特定の状態を伝えるために点灯します。



ブレーキ システムの不具合が検出されたか、ブレーキ液量が低下しています。[ブレーキと停車](#)を参照してください。ただちに [Tesla](#) にご連絡ください。



ブレーキ ブースターの不具合が検出されています。[ブレーキと停車](#)を参照してください。



ABS（アンチロック ブレーキ システム）の不具合が検出されています。[ブレーキと停車](#)を参照してください。ただちに [Tesla](#) にご連絡ください。



パーキング ブレーキの不具合が検出されています。[Tesla](#) にご連絡ください。[パーキング ブレーキ](#)を参照してください。



パーキング ブレーキが手動で適用されています。[パーキング ブレーキ](#)を参照してください。



タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム（TPMS）の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。[TPMS](#) が故障した場合は、[Tesla](#) に連絡してください。[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照してください。



人が座っている座席のシートベルトが締められていません。[シートベルト](#)を参照してください。



エアバッグの安全性。**Model 3** を運転する準備が整ったときにこのインジケーターが点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、ただちに [Tesla](#) に連絡してください。[エアバッグ インジケーター](#)を参照してください。



車両の状態



リア フォグ ランプが点灯していると、必ずタッチスクリーンにリア フォグ インジケーターが表示されます。



寒冷な気候条件が原因でバッテリーに蓄えられている電力が利用できなくなったときに、青い雪の結晶アイコンが表示されます。このような寒冷な気候条件下では、充電速度が低下することがあります。Model 3 が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能をオンにしてバッテリーを温めることができます。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。



パーキング ライト（サイド マーカーライト、テールライト、ナンバープレート ライト）が点灯しています。ライトを参照してください。



ロービーム ヘッドライトがオンになっています。



回生ブレーキが制限されているときに表示されます。詳細情報については、回生ブレーキを参照してください。



ハイビーム ヘッドライトがオンで、オートハイビームが無効または現在利用できなくなっています。



バッテリーの電力残量が少ない、車両システムが加熱/冷却されている、またはドライブインバーターがエラーを検出したために、車両電源の利用が現在制限されています。



オートハイビームが有効でハイビームがオン。Model 3 ライトを検出した場合、すぐにハイビームをオフにします。ハイビーム ヘッドライトを参照してください。



車両のタッチスクリーンに表示されるアラートポップアップについて、ポップアップメッセージおよび車両のアラートを参照してください。



Model 3。光が検知されなくなるとハイビームは自動的にオンに戻ります。ハイビーム ヘッドライトを参照してください。

運転状態



横滑り防止装置がブレーキ圧およびモーター出力を制御しホイールのスピンを最低限に抑えている際には、このインジケーター ライトが黄色に点滅します。トラクションコントロールを参照してください。このインジケーターが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので、直ちに Tesla へ問い合わせてください。



横滑り防止装置はホイールのスピンを最小化しなくなっています。後輪駆動車両でトラクション コントロール システムオフになっているか、四輪駆動車両でスリップスタート機能が有効になっています。トラクションコントロールを参照してください。



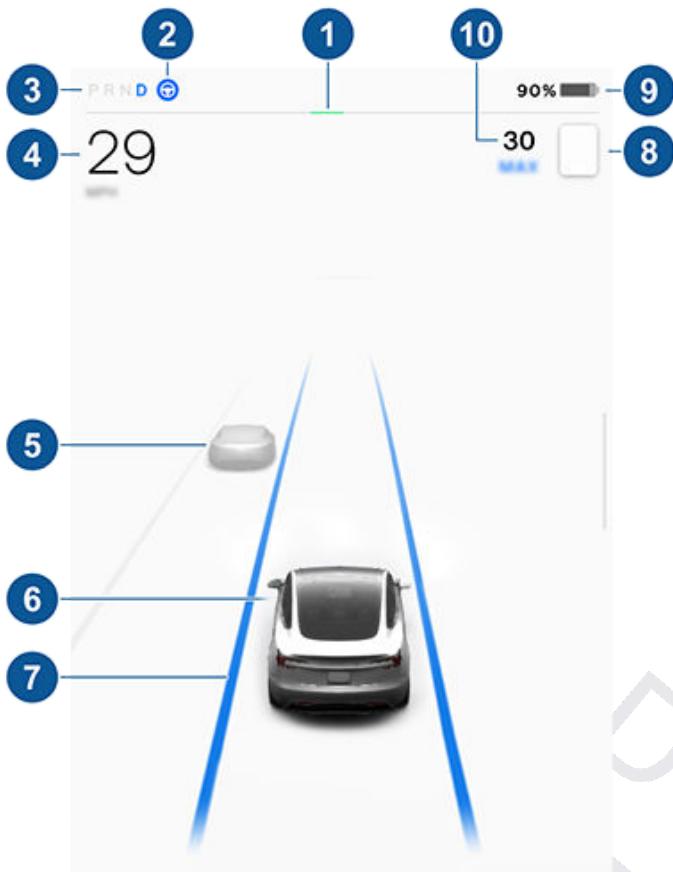
車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。オートブレーキ ホールドを参照してください。



ドアまたはトランクが開いています。mnj ドア、リアトランク、またはフロントトランクを参照してください。

Model 3 の運転中（または運転可能なとき）は、タッチスクリーンに現在の運転状況とオートパイロットコンポーネント（カメラを参照）が検出した道路のリアルタイムの視覚化された画像が表示されます。視覚化された画像はタッチスクリーンのスペースを有効活用するために、ブラインドスポットに車両が検出された時にドライバーに知らせるよう自動的にズームインとズームアウトを行います。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



注: 路面標示、赤信号、障害物（ゴミ箱、柱など）といった車道およびその周辺の詳細情報を表示するには「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビングの表示プレビュー」（装備車の場合）の順にタッチします。

1. パワー メーターにはリアルタイムの電力使用量が表示されます。加速中には、バーが右に延びていき、使用されているパワーを表示します。減速中（Model 3 が走行中にドライバーがアクセル ペダルから足を離した場合）、このバーは緑色で左に延びていき、回生ブレーキによってバッテリーに戻されている電力を表示します（[回生ブレーキ](#)を参照）。
2. オートステアリングが使える状態だがアクティブにしない時は、アイコンは灰色です。オートステアリングが能動的に Model 3 を動かしている場合、アイコンは青色です（[オートステアリング](#)を参照）。
3. 現在選択しているドライブ モード: パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。
4. 巡航速度。
5. 路上で他の車が検知されました（該当する場合）。
6. お客様の Model 3。物体が検出され、Model 3 の画像からカラーラインが放射されます（他の運転者、ガードレールなど）。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインのカラー（白、黄、オレンジまたは赤）は、Model 3 に対する物体の近さを表します。白はまだ物体が遠くあることを示し、赤になると物体がごく近くまで接近したことを示すため、ただちに注意を払う必要があることを示します。[レーンアシスト](#)を参照してください。
7. オートステアリングが有効な場合に通行区分車線を検出すると、その車線は青色にハイライト表示されます（[オートステアリング](#)を参照）。

注: 「ナビゲート オン オートパイロット」がオンになっていると、Model 3 の前方に走行車線が青色のラインで表示されます（[ナビゲート オン オートパイロット](#)を参照）。

8. スピードアシストが検出している速度制限（[スピードアシスト](#)を参照）。

注: 検出された速度制限に関するアイコンは、該当する市場地域で使用される速度制限標識のスタイルを反映したものになります。

9. 推定航続可能距離（エネルギー）。表示されている値にタッチして利用可能なエネルギーの表示方法を変更します。航続距離とバッテリー残量（%）の間で切り替えることができます。また、「コントロール」>「ディスプレイ」>「エネルギー表示」の順にタッチしてエネルギーの表示方法を変えることもできます。

注: 充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

10. 設定巡航速度。トラフィックアウェイ クルーズ コントロールが使える状態で、巡航速度を設定していない場合、数値はグレー表示になります（[トラフィックアウェイ クルーズコントロール](#)を参照）。

⚠️ 警告: タッチスクリーン下の車両のステータスに表示される重要なアラートメッセージに注意してください。これらのメッセージを無視すると重傷、または死亡につながる恐れがあります。

⚠️ 警告: タッチスクリーンは周囲の交通状況を表示しますが、車両によっては表示されないものもあります。車両の存在をタッチスクリーンで判断しないでください（ブラインドスポットなど）。必ずミラーの使用と後ろを振り返って確認してください。



音声コマンド

注: 音声コマンドはすべての言語で利用できるわけではありません。音声コマンドで使用したい言語を選ぶには、「コントロール」>「ディスプレイ」>「音声認識言語」の順にタッチします。

音声コマンドを使用することで、タッチスクリーンを使用せずに設定や好みを簡単に操作することができます。音声コマンドは自然な発話リクエストを理解するように設計されています。これらを使用して以下が可能です。

- ・空調の好みを調整する。
- ・フロント ガラス ワイパーの速さおよび作動間隔を調整する。
- ・車両のさまざまな機能を制御する。
- ・目的地までナビを実行する。
- ・連絡先に電話をかける。
- ・アプリおよび設定と相互作用する。

音声コマンドを回にするにはハンドルの右側のマイク ボタンを一杯まで押します。チャイムが鳴ったら、要望を言うと **Model 3** が応答します。



音声コマンドの例

音声コマンドの例のリストを示します。これは網羅的リストではありません。Tesla では継続的に音声コマンドの改良に努めています。

空調

音声コマンドを使用して空調の好みを調整してください。

- ・「温度を下げて」

- ・「温度を上げて」
- ・「運転席のシートヒーターを入れて/切って」
- ・「助手席を涼しくして」
- ・「顔に気流を直接当てて」
- ・「空調を同期して」
- ・「ファン速度を上げて/下げて」
- ・「リア デフロスターをつけて/消して」
- ・「温度/ファンを設定して...」
- ・「循環をオンにして」

ワイパー

道路および気象条件の変化に基づいてフロント ガラス ワイパーの速度および作動間隔を更新してください。

- ・「ワイパーを速く」
- ・「フロント ガラス ワイパー速度を...だけ上げて/下げて」
- ・「ワイパーを入れて/切って」

車両のコントロール

音声コマンドを使用して車両のさまざまなコントロールを変更することができます。

注: 一部の音声コマンド（セントリーモード、ドッグ モードなど）については、有効にするために車両をパーキングにシフトする必要があります。

- ・「セントリーモードオン/オフ」
- ・「車を安全に保って」
- ・「ドアをロックして/ロック解除して」
- ・「ドッグモードをオンにして」
- ・「ミラーを閉じて/開いて」
- ・「充電ポートを開いて/閉じて」
- ・「充電を始めて/止めて」
- ・「サービス設定を開いて」
- ・「グローブボックスを開いて」

ナビゲーション

場所を検索する、またはその場所まで行くには、次のように言ってください。

- ・「[場所] ってどこ？」
- ・「[場所] までドライブ」
- ・「[場所] まで行って」
- ・「近くのスーパーチャージャーを表示」
- ・「おなかがすいた/楽しいな」（マップとナビゲーション参照）。

- ・「ナビを止めて」
- ・「音声ガイダンスをミュート」

自宅または勤務先の住所をナビゲーション住所として設定している場合、「自宅までの道順」または「会社までつれてって」の音声コマンドを使用することができます。

注: Tesla では、継続的に Model 3 の機能を改善し、音声コマンドを認識できるようにしています。Tesla では短い音声録音を匿名で記録し、これらの進行中の品質改善に対応させていただきます。お客様のプライバシーを保護するために、これらの短い録音にはお客様の個人情報や車両識別番号を関連させていません。Tesla では、特定のお客様や車両に関連した録音を検索できないシステムとしております。

連絡先

Bluetooth に接続した電話機（電話、カレンダー、ウェブ会議を参照）から連絡先に発信またはテキスト送信するときは次のように言ってください。

- ・「【連絡先名/電話番号】に電話して」
- ・「【連絡先名/電話番号】にテキスト送信」

メディア

メディアを聞く場合や、メディアの好みを調整する場合は、次のように言ってください。

- ・「【曲名】が聴きたい」
- ・「音量を下げて/上げて」
- ・「スキップして次へ」
- ・「曲を止めて/再生して」
- ・「ソースを【メディアソース】に変えて」

音声コマンドの認識精度を向上するためには、アーチストや曲名など、コマンド内に複数の手がかりを含めてください。

アプリと設定

音声コマンドを使用してアプリや設定を簡単にナビゲートできます。

- ・「【おもちゃ箱/ブラウザ/シアター/電話機】を開いて」
- ・「...を検索」
- ・「画面が明るすぎる」
- ・「オーナーズ マニュアルを見せて」

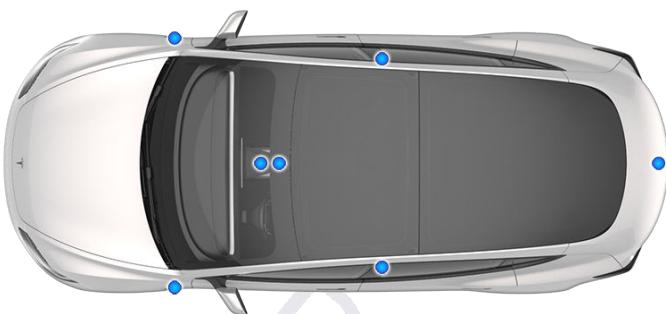
一部のアプリおよび設定はパーキングにシフトしているときしか利用できません。

「レポート」、「フィードバック」、または「バグレポート」と発話することでもバグレポートを提出することができます。

音声コマンドに関する詳細については、<https://www.tesla.com/support/voice-commands> を参照してください。

カメラ

お使いの **Model 3** には、周囲を能動的に監視する、以下のコンポーネントが搭載されています。



- カメラは、リアナンバープレートの上方に搭載されています。
- 各ドアピラーにカメラが取り付けられています。
- フロントガラスのリアビューミラーの上方にはカメラが **2** 台取り付けられています。
- 各フロントフェンダーにカメラが取り付けられています。

Model 3 には、高精度電動アシストブレーキおよびステアリングシステムも装備されています。

キャビン用カメラ

Model 3 は、バックミラーの上にキャビンカメラを装備しています。詳細な情報は、[キャビン用カメラ](#)を参照してください。



走行中のカメラキャリブレーション

Model 3 オートパイロット機能が使用されているときは正確な操作が必要になります。そのため、一部の機能を初めて使用する前やある種の修理が完了した後に、カメラのセルフキャリブレーションを完了しておく必要があります。わかりやすくするために、タッチスクリーンに進捗インジケータが表示されます。

キャリブレーションが完了すると、オートパイロット機能を使用できるようになります。キャリブレーションは通常、**32~40 km** の距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。例えば、自動車専用道路など、車線が複数あって視認性の高い車線区分線を持つ直線道路（の走行車線および隣接車線）を走行すると、キャリブレーションは早く完了します。上記の条件において **Model 3** を **160 km** で走行させてもキャリブレーションが完了していない場合は **Tesla** までご連絡ください。

カメラの位置がキャリブレーションを実施したときの位置から動いてしまった場合（例えば、カメラやフロントガラスを交換した場合）はそのキャリブレーションをクリアする必要があります。これには、「コントロール」>「サービス」>「カメラキャリブレーション」>「キャリブレーションをクリア」の順にタッチします。キャリブレーションがクリアされると、**Model 3** はキャリブレーション手順を再実行します。これは多くの場合カメラの再キャリブレーションに役立ちますが、「キャリブレーションをクリア」はすべてのカメラやセンサーの問題を解決しない場合があります。

注：キャリブレーションを行なうためには、走行車線と隣接車線の両方において（車両のそれぞれの側の **2** 車線以上で）、カメラが車線区分線を鮮明に視認できる必要があります。最良の結果を得るためにには、車線区分線が鮮明で、交通量の少ない（理想的には **5** 車線以上ある）複数車線の高速道路の中央の車線を行ないます。

注：キャリブレーションが完了するまで使用できない機能を使用しようとしても、その機能は有効にならず、タッチスクリーンにはメッセージが表示されます。

注：**Model 3** は、**Tesla** がカメラのサービスを行った場合や、ソフトウェアのアップデート後に、キャリブレーションプロセスを繰り返します。

カメラに障害物がないようにする

オートパイロットのコンポーネントができるだけ正確な情報を提供できるように、カメラおよびセンサー（装備されていれば）を常にきれいで、障害物、結露および損傷がない状態に維持してください（[洗車](#)を参照）。

特に車両を寒い屋外や湿った屋外に駐車する場合には、カメラのハウジング内に結露が生じる可能性があります。タッチスクリーンには、カメラが遮られているというアラート、またカメラの障害物が取り扱われるまでオートパイロットの機能の一部/全体が一時的に制限されているというアラートが表示されます。積極的に結露がないようにするために、暖かい温度に設定して、フロントウインドウのデフロスターをオンにして、フロントの通気をドアピラーに向け車内を予め調節します（[モバイルアプリ](#)参照）。

キーの種類

Model 3 は、次の種類のキーをサポートしています。

- ・「電話キー」 - お客様個人の電話は、**Bluetooth** を使用して **Model 3** と通信できる「電話キー」として設定できます。電話キーでは、自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしています。
- ・キーカード - **Tesla** では **Model 3** に **RFID (radio frequency identifier)** の信号を使用して通信するキーカードを提供しています。キーカードは、**Model 3** で動作するようにお客様の電話キーを「認証」するのに用いられる同時に、他のキーを追加または削除するために使われます。電話キーとは異なり、キーカードでは自動ロックおよび自動ロック解除をサポートしていません。電話キーのバッテリーや、紛失、盗難が発生した場合には、キーカードを使用して **Model 3** をロック解除、運転、ロックしてください。

Model 3 は電話キー、およびキーカードを含む合計 19 個のキーをサポートします。

! 注意: 運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーを携帯していない場合でも **Model 3** を運転することはできますが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにすることができません。

電話キー

注: 電話キー機能がお住いの地域で利用できない場合があります。

電話をキーとして使用すると、**Model 3** へのアクセスには便利です。車両に近づくと、電話機の **Bluetooth** 信号が検出され、ドアハンドルを引いたときにドアのロックが解除されます。同様に、電話キーをもって降車し離れると、ドアは自動ロックされます（「降車後オートロック」機能がオンになっている場合（[降車後オートロック機能参照](#)））。

電話機を使用して **Model 3** にアクセスするために、次の手順に従って認証を行います。

1. **Tesla** モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンドロードします。
2. **Tesla** アカウントのユーザー名とパスワードを使用して **Tesla** モバイル アプリにログインします。

注: 電話機を使用して **Model 3** にアクセスするには、**Tesla** アカウントにログインした状態のままにする必要があります。

注: 複数の車両が **Tesla** アカウントにリンクしている場合は、モバイル アプリでアプリからアクセスしたい車両が選択されていることを確認します。

3. 確認事項：
 - 電話機の一般 **Bluetooth** 設定が有効になっていること。
 - **Tesla** モバイル アプリの電話機設定で **Bluetooth** が有効になっていること。例えば携帯電話の設定から **Tesla** モバイル アプリを選んで、**Bluetooth** 設定がオンになっていることを確認します。

○ あなたの所在地へのアクセスが有効であること。電話機の設定で **Tesla** モバイル アプリを開いて、「ロケーション」>「常時」の順に選択します。モバイル アプリをバックグラウンドで実行し続けていると、快適にサービスをご利用いただけます。

○ 車両のタッチスクリーンで「モバイル アクセスを許可」を有効にします（「コントロール」>「安全」>「モバイル アクセスを許可」）。

注: **Model 3** は、**Bluetooth** を使用して電話機と通信します。**Bluetooth** を実行するには携帯電話に十分なバッテリ残量があることが必要です。これは、ほとんどの携帯電話でバッテリが少なくなると **Bluetooth** が無効になりますのでご注意ください。

4. 車内またはその近くで、**Tesla** モバイル アプリを開いて、メイン画面で「電話キーを設定」にタッチするか、「セキュリティ」>「電話キーを設定」に進みます。モバイル アプリおよび車両タッチスクリーンのプロンプトに従って電話キーを設定します。

現在 **Model 3** にアクセスできるキーのリストを表示したり、電話キーを削除したりするには、「コントロール」>「ロック」にタッチします（[キーの管理](#)参照）。

Model 3 は、同時に 3 つの電話キーに接続できます。このため、3 つ以上の電話キーが検出されていて別の電話機を認証またはペアリングしたい場合は、接続されている他の電話キーを範囲外に移動させるか、その **Bluetooth** 設定をオフにします。

電話機がいったん認証されると、**Model 3** の電話キーとして使用するためにはインターネット接続は不要になります。ただし、電話機をハンズフリーで使用したり、お使いの電話の連絡先にアクセスしたり、電話機でメディアを再生したりするには、**Bluetooth** デバイスとしてペアリングする必要があります。（[Bluetooth](#) 参照）

NFC 機能のある一部のスマートフォンを使用して、キーカードを使用する場合と同様に、車両をロック/ロック解除することができます。**Tesla** モバイル アプリを車両に正しくペアリングされていることを確認してから、電話機の **NFC** 機能を有効にします。有効になったら、電話機を運転席側ドアのピラーに置くだけで、ドアがロック/ロック解除します。このための特別な情報についてはスマートフォンの説明書を参照してください。

キーカード

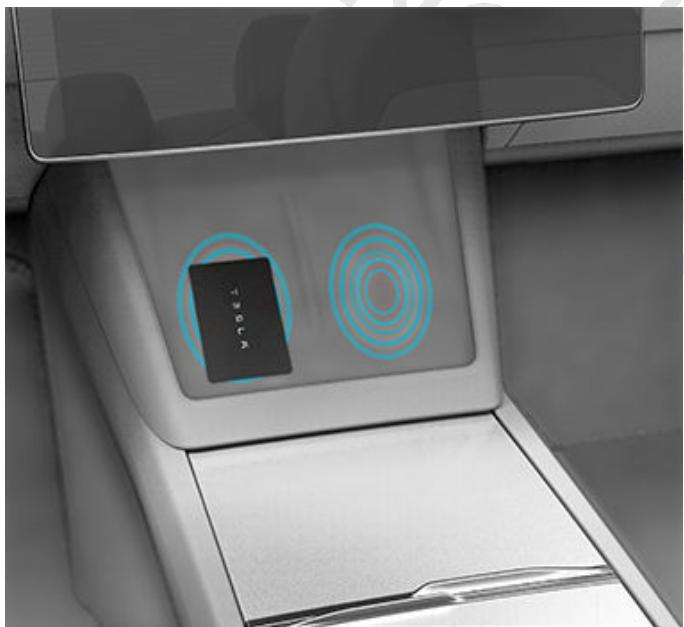
Tesla は、財布に収まるデザインの **Model 3** キーカードを 2 枚付属しています。

キーカードを使用して **Model 3** のロック/ロック解除を行うには、図示されている通りの位置にカードを配置し、運転席側のドアピラーの上側およそ 1/3 の位置にあるカードリーダーにかざします。**Model 3** がキーカードを検出すると、エクステリアライトが点滅し、ミラーが広げられたり折りたたまれたりして（プレミアム パッケージが搭載されていて「折りたたみ式ミラー」がオンになっている場合）、ホーンが鳴り（ロック確認音がオンの場合）、ドアがロック解除/ロックされます。

注: ワイヤレス電話充電器または運転席側のドアピラーにキーカードを物理的に接触させ、キーカードをトランスマッターにかざしたままで 1~2 秒待つ必要があります。



乗車したら、キー カードをスキャンして **2 分以内にブレーキペダルを踏んで Model 3 の電源を入れてください** ([始動と電源オフ](#) を参照)。**2 分以上そのままの状態で待った場合**、キー カードをセンター コンソールのワイヤレス充電器にあるカード リーダーの近くに置いて、再認証を行う必要があります。キー カードが検出されると、**2 分間認証が再開します**。



注: 降車後オートロック ([降車後オートロック機能](#) 参照) が有効になっていると、電話キーを持って降車した場合に限って作動します。キー カードを持って降車した場合、Model 3 は自動的にロック解除/ロックされません。

キーの管理

Model 3 にアクセスできるすべてのキーのリストを表示するには、「コントロール」>「ロック」の順にタッチします。それぞれのキーの横に表示されるアイコンは、そのキーが電話キーまたはキー カードであることを表します。このリストを使用して Model 3 へアクセスできるキーを管理します。キーを追加または削除するには、[キーの追加または削除](#) を参照します。

Model 3 には最大 **19** 個のキーを登録することができます。この制限に達した場合は、新しいキーを登録する前に既存のキーを削除する必要があります。

注: 複数の **Model 3** で同じキーを使用することができます。これにより、複数の車両を使用していたとしてもキーを何個も持つ必要がなくなりました。1台の **Model 3** で認証されたキー カードの名前を（ペンシル アイコンをタッチして）カスタマイズすると、そのキー カードが認証された他の **Model 3** でもその変更された名前が表示されます。

注: 車両をリースしている場合、リース会社に連絡してキーを追加または削除してください。

キーの追加または削除

新しいキーを追加する：

- タッチスクリーンで「コントロール」>「ロック」>「キー」>「キーを追加」の順にタッチします。
- いずれかの無線電話充電器にあるカード リーダーで新しいキー カードをスキャンします。チャイムが鳴ると、新しいキー カードが認識されることになります。
- 車両にペアリング済みのキー カードをスキャンして、新しいキー ペアリングを確認します。
- 完了すると、キーリストに新しいキーが表示されます。該当するペンシル アイコンにタッチしてキーの名前をカスタマイズします。

キーの削除：

Model 3 にアクセスするためのキーを使用しなくなった場合（例えば、電話またはキー カードを失くした場合）、次の手順でキーを削除できます。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「ロック」の順にタッチします。
- キーリストで削除したいキーを見つけたら、該当するごみ箱アイコンにタッチします。
- 指示が表示されたら、認証済みのキー カードまたはキー フオブをカード リーダーでスキャンして、削除されていることを確認します。完了すると、キーリストに削除したキーが表示されなくなります。

注: Model 3 では少なくとも **1** つの認証されたキー カードが常に必要です。キーリストに **1** つのキー カードしかない場合は、キーを削除できません。

キー カードの交換

キー カードを紛失した場合は、Tesla ショップで交換用カードを購入できます。ペアリングの準備ができたら、[キーの追加または削除](#) の手順に従ってください。セキュリティ上の理由から、「コントロール」>「ロック」>「キー」の順に移動して古いキー カードを忘れずに削除してください。

2 個のキー カードを無くした場合、モバイル アプリからサービス予約をして交換およびペアリングをしてください。

外部ドア ハンドルを使用する

親指を使用してドア ハンドルの幅広の部分を押します。ハンドルが自分の方に旋回していくので、そのハンドルを引くかドアの端部をつかんで引くことによってドアを開けることができます。



ハンドルは自動的に収納されます。



ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。

注: 寒冷時に車両のドアハンドル機能を正常に作動させるには、**寒冷環境におけるベストプラクティス**を参照してください。

! **警告:** ドア ハンドルを使用するときは、指、ジュエリー、アクリル製ネイルなどがドアまたはドアハンドル機構に挟まれないように注意してください。これを怠ると、怪我や事故につながる恐れがあります。

車内からドアを開ける

Model 3 ドアは電動です。車内で座った状態でドアを開けるには、内部ドアハンドルの上部にあるボタンを押し、ドアを押して開けます。

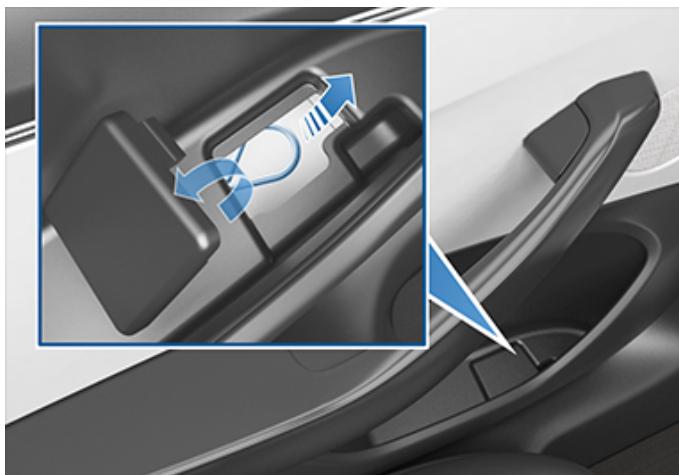


注: お子さまが後列座席のドアを開けないようにするには、チャイルドロックをオンにします ([チャイルドロック](#)参照)。

万が一、**Model 3** の電源が切れている状況でフロント ドアを開ける場合は、ウィンドウ スイッチの前にある手動ドア リリースを引き上げてください。



Model 3 に電力がないといった稀な事態にリア ドアを手動で開くことができます。



1. リア ドア ポケットの底からカバーを取り外します。
2. メカニカル リリース ケーブルを前方に引きます。

! 注意: 手動ドア リリースは、**Model 3** の電源が切れている状況に限った使用を想定して設計されています。
Model 3 に電力が供給されているときは、車内ドア ハンドル最上部にあるボタンを使用します。

内部からのロックとアンロック

Model 3 の車内に着席した状態で、タッチスクリーン上のロック アイコンにタッチすると、すべてのドアおよびトランクをロック/ロック解除できます。



アイコンの表示は、ドアがロックされているかロック解除されているかを示すように変化します。

降車後オートロック機能

ドアとトランクは、電話キーを携帯して車両から遠ざかると自動的にロックできます（2019年10月1日以降頃に発注された車両の場合）。この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「ロック」>「降車後オートロック」の順にタッチします。

ドアがロックされると、エクステリアライトが1回点滅してミラーが折りたたまれます（「ミラー折りたたみ」がオンになっている場合）。**Model 3** がロックされているときの確認音を聞くには、「コントロール」>「ロック」>「ロック確認音」の順にタッチします。

Model 3 次の場合、自動的にロックされません。

- 自宅を除くチェックボックスにチェックを入れ、**Model 3** を自宅として設定した場所に駐車します。場所を自宅として設定する方法の詳細については、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地](#)を参照してください。
- **Model 3** 内で電話キーが検出されている場合。
- ドアまたはトランクが完全に閉まっていない場合。

- 電話キーの Bluetooth 設定がオフになっています。
- 降車して、すべてのドアを閉めてから数分間、**Model 3** が認証済みのキーを検出すると降車後オートロック機能は無効になり、車両を離れてもロックされません。その場合は、次に車両を運転した後まで、手動でロックする必要があります。
- ドライバーが運転席ドアを使用しないで降車した場合。

注: 降車後オートロックが有効な場合であっても、車両がロックされていることを確認するのは、最終的にドライバーの責任です。

走行後オートロック

Model 3 走行速度が時速 5 mi. (時速 8 km) を超えると、すべてのドア（トランクを含む）は自動的にロックされます。

運転席ドアロック解除モード

最初に **Model 3** をロック解除するときは、「コントロール」>「ロック」>「運転席ドア ロック解除モード」の順で有効化した場合に限って運転席ドアのロックが解除されます。キーが車両の運転席側にはあって助手席側にはない場合、運転席ドアのロックだけが解除されます。残りのドアをロックを解除するためには、車内側の運転席ドアハンドルの上部にあるボタンを長押しするか、タッチスクリーンまたはモバイルアプリを使用します。

車両閉め忘れ通知

ドア、トランク、窓が開いたままになっているか、**Model 3** が誤ってロック解除されたままになっている場合に、モバイル通知を受けるためには、「コントロール」>「ロック」>「車両閉め忘れ通知」の順にタッチします。

チャイルドロック

Model 3 はリア ドアにチャイルドロックを搭載しており、インテリア リリース ボタンでドアが開かないようにすることができます。タッチスクリーンで、「コントロール」>「ロック」>「チャイルドロック」の順にタッチします。「両方」を選択して後部ドアの両方にチャイルド ロックをかけるか、「左」または「右」を選択して、特定のドアだけをオンにすることができます。

! 警告: 後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルド ロックをオンにすることを推奨します。

パーキング時にロック解除

Model 3 を停止してパーキングにシフトすると、すべてのドアをロック解除することを選択できます。この機能をオンまたはオフにするには、「コントロール」>「ロック」>「パーキング時にロック解除」の順にタッチします。

注: 「オフ」に設定すると、パーキング ギアに入れた後に再度パーキング ボタンを押すことによってすべてのドアをロック解除することができます。

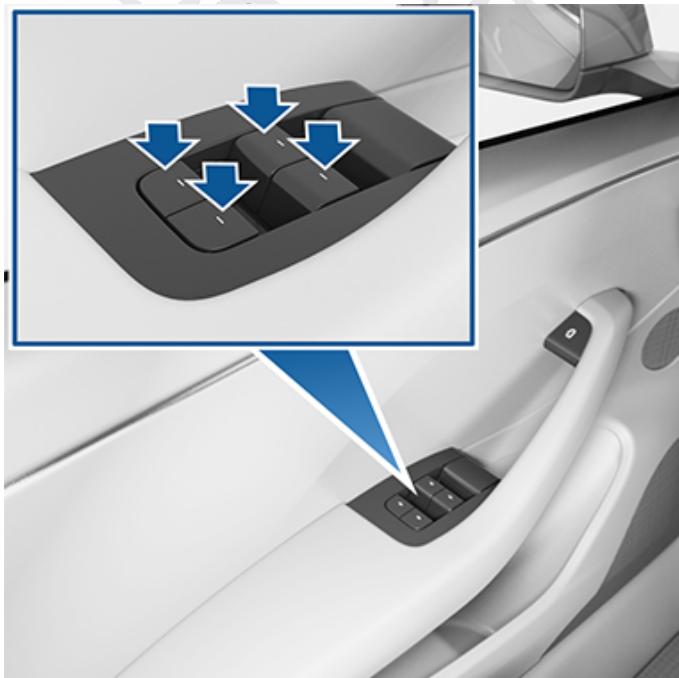
開閉

注: お客様の責任において、車両のロック後は、窓が閉じていることを確認してください。

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には**2段階**あります。

- ・ ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに放します。
- ・ ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押して希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

注: 窓が完全に開いているときにそのドアを開こうとした場合、窓は少しだけ閉じます。同様にドアが既に開いているときに窓を全開にしようとした場合、窓はドアの端部から少しだけ上の場所で停止します。ドアが開いているときに窓を完全に開くには、スイッチをもう一度押します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ・ ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに離します。
- ・ ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

ウィンドウを意図せずに開いたままにしておくと、**Model 3**がモバイルアプリに通知を送信できるように設定できます（「コントロール」>「ロック」>「開放ドア放置通知」の順にタッチして、「ドアとウィンドウ」を選択します）。

また、ロックしてウィンドウを閉めますを有効にするには、「コントロール」>「ロック」>「ロックしてウィンドウを閉めます」の順にタッチします。有効にすると、**Model 3**をロックした時に自動的にウィンドウを閉じます。

注: ウィンドウを寒冷時に備える際の情報は**寒冷環境におけるベストプラクティス**を参照してください。



注意: ドアを開閉する際は、損傷を避けるためにウィンドウが自動的に少し下がります。ドアを開けるときにウィンドウを手動で上げた場合、ドアを閉じる際にウィンドウが少し下がることを確認してください。



警告: ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出でていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

リア ウィンドウ スイッチを使用できないようにするには、「コントロール」>「ロック」>「ウィンドウ ロック」にタッチします。リア ウィンドウのロックを解除するには、「ウィンドウ ロック」を再度タッチします。



警告: 安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リア ウィンドウ スイッチをロックすることをお勧めします。



警告: お子さまを付き添いなしで **Model 3** 内に放置しないでください。

ウィンドウのキャリブレーション

ライト モールディングに触れたり、適切に開閉できなかったり、ドアが開いたときに通常よりも下がったりするなど、予期しない動作が発生した場合は調整して問題を解決することができます。

ウィンドウをキャリブレーションする方法:

1. 問題のあるウィンドウのドアを閉めます。
2. 運転席シートに座り、ドアを閉めます。
3. 運転席ドアのウィンドウ スイッチを使用して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを上げます。
4. 運転席ドアのウィンドウ スイッチを使用して、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを下げます。
5. 手順 3 を繰り返し、該当するウィンドウが止まるまでウィンドウを上げます。

これでウィンドウのキャリブレーションが終了しました。キャリブレーション手順を踏んだ後でも問題が解決されない場合は、**Tesla** に連絡してください。

UV インデックス評価

Model 3 のルーフ、フロント ガラスおよび窓は、人を UV 光線（赤外線）から保護する能力に優れています。これらのガラス製部品は**2未満**の UV インデックス スケールを得ています。詳細については地域の UV インデックス仕様を確認してください。なお、太陽光線保護のために必要な予防措置を取る責任は引き続きあります。



リアトランク

開く

リアトランクを開くには、**Model 3** がパーキングになっていることを確認して、次のいずれかの操作を行います。

- タッチスクリーンで、対応する「開く」ボタンをタッチします。
- モバイルアプリのリアトランクボタンをタッチします。
- リアトランクのエクステリアハンドルの下にあるスイッチを押します（有効なキーが検出されている必要があります）。

注意: 閉鎖されたエリア（ガレージなど）でリアトランクを開く前にリアトランクを開いたときの高さが適切に調整されていて低い位置にある天井やその他の物体にぶつかるがないことを確認してください（[電動トランクの開放時高さの調整](#)を参照）。

Model 3 このスイッチを使用してリアトランクを開くには、ロック解除するかキーを検知している必要があります。

2. 確認のチャイム音が聞こえるまで、トランクの底面にあるボタンを3秒間長押しします。



ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンに表示される **Model 3** の画像でトランクが開いた状態を示します。

Model 3 の電源が全くない状況で、内側からリアトランクを開ける方法については、[トランク内にある緊急トランクリリース](#)を参照してください。

電動トランクの開放時高さの調整

電動トランク（装備車の場合）は開放時に、楽に手が届くよう、あるいは低い天井や物（ガレージドアやライトなど）に当たるのを防ぐため、開放時の高さを調節できます。

1. トランクを開き、任意の高さまで手動で上げ下げしてください。

3. 電動トランクを閉めてもう一度開き、開いたときの高さが好みの高さであることを確認します。

注意: 構成（ホイール選択など）に応じて、車両のリアトランクを最大で約 **2 m** まで開くことができます。リアトランクの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

閉める

- タッチスクリーンで、対応する「閉める」ボタンをタッチします。
- 下側にあるスイッチを押します リアトランク

警告: 運転する前に、トランクの前端を持ち上げてみて、ラッチがしっかりと閉じられていることを確認してください。

貨物エリアへのアクセス

リアトランクの貨物エリアにアクセスするには、カーゴカバー後側にあるストラップを引きます。これで、**Model 3** のカーゴカバーを前方に折りたたんだり、取り外すことができます。

Model 3 を走行する前は、積荷をすべて固定し、重い積荷はトランクの下部に置くようにしてください。



警告: お子さまをトランクの中で遊ばせたりしないでください。閉じ込められる恐れがあります。お子さまにシートベルトを着用させないと、事故にあった際重度の怪我または死亡事故につながるおそれがあります。特に空調機能が作動していない場合、お子さまが車両に閉じ込められると熱中症にかかり、または死亡に至るおそれがあります。

リアトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

! **注意:** リアトランクの下部コンパートメントに重量 **40 kg** を超える荷物を載せたり、上部フロアに重量 **130 kg** を超える荷物を載せたりしないでください。この重量を超過して荷物を積むと、車に損傷を与える恐れがあります。

! **警告:** 荷物を載せるときは、必ず車両の技術的に許容される最大積載質量 (**TPMLM**) を考慮してください ([仕様](#)を参照)。**TPMLM** は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

トランク内にある緊急トランクリリース

Model 3 の電力が失われた場合、リアトランク内側にある照明付き機械式リリースを使えば、閉じ込められても内側から開けることができます。中に人が閉じ込められた場合は機械式リリースで脱出することができます。



1. 点灯したボタンを矢印方向にしっかりと長押しすると、ラッチが解除されます。
2. このボタンを押しながらリアトランクを押すと開きます。

注: このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。



フロントトランク

開く

フロントトランクを開くには、**Model 3** を確実にパーキングにシフトさせ、次のいずれかの操作でフードを引き出します。

- タッチスクリーンで、対応する「開く」ボタンをタッチします。
- モバイルアプリのフロントトランクボタンにタッチします。



ドアまたはトランクが開いているとき、タッチスクリーンに「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンに表示される **Model 3** の画像でフロントトランクが開いた状態を示します。

⚠️ 警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周囲に障害物(人や物)がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

閉める

Model 3 ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネットフロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

- フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。
- ここで示すように(緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
- 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



⚠️ 注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。
- スクラッチを避けるため、手には何も持たないでください(キー)。宝飾品もスクラッチの原因になります。

⚠️ 警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。運転前にフロントトランクがきちんと閉まっていることを確認することは、ドライバー責任です。

フロントトランクが開いたままになった状態でパーキングからシフトしようとすると、タッチスクリーン上に運転する意思を確認する通知が表示されます。運転中にフロントトランクを開いたままにすることを選択した場合、車速は制限されます。

以下の場合、フロントトランクがロックします。

- タッチスクリーン、キーまたはモバイルアプリを使用して**Model 3** をロックした場合。



- キーを携帯して Model 3 から離れた場合（降車後オートロック機能はオン状態）。
- バーモードが有効な場合（バーモードを参照）。

フロントトランク積載限度

積載物の重量は、前後のトランクでできる限り均等に配分されるようにしてください。

- !** 注意: フロントトランクには絶対に **50 kg** を超える荷物を積まないでください。この重量を超過して荷物を積むと、車に損傷を与える恐れがあります。
- !** 警告: 荷物を載せるときは、必ず車両の技術的に許容される最大積載質量（TPMLM）を考慮してください（仕様を参照）。TPMLM は、すべての乗員、フルード、および貨物を含む車両の最大許容総質量です。

内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリースボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。



内部解除ボタンを押して、フロントトランクのラッチを解除し、ボンネットを押し上げます。

注: トランク内のリリースボタンは、周囲からの光を受けたあと、しばらくの間は点灯します。

- !** 警告: フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。
- !** 警告: フロントトランクに荷物を入れるときは、荷物がリリースボタンに接触してフードが開いてしまうことのないよう注意してください。

電源がない状態でフードを開ける

Model 3 で低電圧電源が供給されなくなると、タッチスクリーン、またはモバイルアプリを使用してフロントトランクを開けることができなくなります。以下の状況でフロントトランクを開く方法を説明します。

注: Model 3 がロックされ、なおかつ低電圧の電力が供給されている場合は、以下のステップに従ってもフロントトランクは開きません。

- 外部低電圧電源（たとえば、ポータブルジャンプスターなど）を用意します。
- けん引ボルトカバー周囲の右上を内側に回るまで強く押し、持ち上がった部分をゆっくりと手前に引いてください。
注: けん引ボルトカバーは、車両側黒色マイナス（-）端子に接続されています。
- あなたの車両には、リアバンパーの近くにけん引用アイカバーが取り付けられている場合もあります。これは輸送のみに使用され、ジャンプスタート用の適切なワイヤーは含まれていません。フロントけん引用アイカバーのみを使用してください。



- 配線 2 本をけん引ボルト用開口部から引き出して、車両側の端子を露出します。



- 低電圧電源のプラス側（+）赤色ケーブルをプラス側（+）赤色端子に接続します。
- 低電圧電源のマイナス側（-）黒色ケーブルをマイナス側（-）黒色端子に接続します。

フロントトランク



注: 外部低電圧電源をこれらの端子に接続するとボンネットのラッチのみリリースします。これらの端子を使用して低電圧バッテリーを充電することはできません。

6. 外部電源をオンにします（製造元の取扱説明書を参照）。フードラッチがすぐにリリースされ、フードを開けてフロントトランク部にアクセスすることができます。
7. 外部電源ケーブルを外すときは、黒色マイナス（-）ケーブルから外してください。
8. 平ボディトラックに車両を引き上げる場合は、けん引ボルトカバーを交換しないでください。必要な場合は、けん引ボルト開口部にワイヤーを挿入し、けん引ボルトカバーの位置に合わせ、所定の位置に回してけん引ボルトカバーを取り付けます。

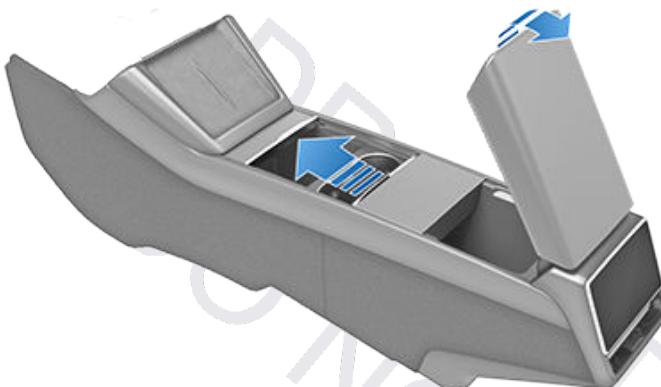




センター コンソール

センター コンソールにはキー カード（[キーを参照](#)）を読み取る **RFID** 送信機が収納されているに加え、カップ ホルダー、2つの収納コンパートメント、さまざまな充電器（[車内の電子装備品を参照](#)）、およびリア タッチスクリーンも装備されています。

メイン収納コンパートメントを開くには、フロント リップの下にあるラッチをひねります。カバーを前方にスライドさせて、フロント収納コンパートメントを開きます。



リア コンソール

Model 3 には 2 列目シートバック中央に統合されているリア コンソールがあります。コンソールを引き下げると、リア カップ ホルダーにアクセスできます。これはアームレストとしても使用できます。



注: リア コンソールは一定の状態で自発的にロックして、下げる事ができなくなります。例えば、急な坂道を走行している場合や急加速をした場合です。

グローブボックス

グローブボックスを開けるには、「コントロール」>「グローブボックス」にタッチします。グローブボックスが自動的に開き、ライトが点灯します。



注: 右ハンドル (RHD) 車では、上に図示されたグローブボックスが車両左側に左右反転した形で配置されています。

グローブボックスを閉じるには、ラッチが閉じる位置まで上に押します。

グローブボックスのセキュリティを強化するには、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス PIN」にタッチして 4 衴の PIN を設定します（[グローブボックス PIN](#) 参照）。

注: グローブボックスを開いたままにすると、しばらくするとそのライトは消えます。

注: グローブボックスは、閉じられているときや、**Model 3** をモバイル アプリ、キーカードを使用してロックしたとき、**Model 3** から電話キーを持って離れるとき（降車後オートロックがオンの場合）またはバレーモードが有効となっているときは常にロックされています（[バレーモードを参照](#)）。タッチスクリーンのロック アイコンをタッチすることによって **Model 3** がロックされているときは、グローブボックスはロックされません。

⚠️ 警告: 走行時はグローブボックスを閉め、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

コート ハンガー

あなたの **Model 3** には、車両の両側の 2 列目シートのリア ウィンドウの上にコート ハンガーが装備されています。コート ハンガーを押すとリリースされます。再び押すと格納されます。



フロントおよびリア シート

正しい運転位置

シート、ヘッドレスト、シートベルト、エアバッグはそれぞれ連動しており、乗員の安全性を最大限に確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能向上させることができます。



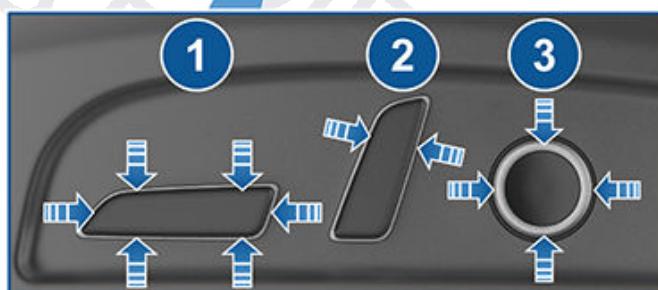
フロント シートの調整



シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートの背もたれを直立位置にします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から **25cm** 以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

Model 3 シートにはヘッドサポートが組み込まれていますが、これは調整や取り外しができません。



1. シートを前後に動かし、シートの高さを調節し、傾斜角を増減させます。
2. バックレストを調整します。
3. ランバー サポートを調整する（装備されている場合）。

! 注意: シートが最完全に前方にあるときは、フロント シートの背もたれを前方に完全に動かさないでください。シートの上部がサンバイザーに当たって破損する恐れがあります。

! 警告: フロント シートを調整する前に、シートの周りに何もないことを確認してください（人や荷物など）。

! 警告: 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。



! 警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、シートのリクライニングを **30°** 未満にしてください。

シートのキャリブレーション

(装備されている場合) 運転席のキャリブレーションを実行できます。この機能は、シートの可動範囲が制限された場合や、ドライバーのプロフィールによる専用シート調整の自動実行がされていない場合に役立ちます。「コントロール」 > 「サービス」 > 「運転席、ハンドルおよびミラーのキャリブレーション」の順に移動し、タッチスクリーン上の指示に従ってください。

! 警告: キャリブレーション中は、運転席の後部や下に何もないことを確認してください。これらを怠ると、重傷を負うおそれがあります。



リアシートの折りたたみ

Model 3 スプリット リアシートは前方へ折りたたむことができます。

注: リアシートを前に折りたたんで走行すると、車両後部（トランク、サスペンションなど）からの騒音や振動が増加する場合があります。

折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。リアシートバックを完全に平らにするには、フロントシートを前方へ移動させる必要がある場合もあります。



リアシートを折りたたむには、折りたたみ用のレバーを引き、シートを前方へ倒します。

リアシートの引き上げ

リアシートを引き上げる前に、シートベルトがバックレストの裏側に引っかかっていないことを確認します。

シートバックを上方へ引き、所定の位置にロックさせます。

シートバックを前方へ引き、直立位置でロックされていることを確認します。

! 警告: シートバックを直立位置に戻した際には、前後に押してロックされているか確認します。これを怠ると怪我をする危険が増します。

ヘッドレスト

フロントシートおよび**2列目シート**に装備されている組み込みヘッド サポートは調整することができません。

シートヒーター

フロントおよびリアシートには、ヒーター パッドがあり、**3 (強)** から **1 (弱)** の **3** つのレベルで動作します。シートヒーターの操作方法については、[空調を操作する](#)を参照してください。

! 警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。



フロントおよびリア シート

シートカバー

⚠ 警告: フロント シートにシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイド エアバッグの膨張が制限される可能性があります。また、車両に助手席フロントエアバッグのステータスを判断するために使用される乗員検知システムが搭載されている場合に、シートカバーを使用すると検知システムの障害になってしまいます。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

すべてのシートには、**3点式イナーシャリールシートベルト**が装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。

シートベルトリールは、**Model 3** が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の動きを抑えるために自動的にロックされます。

シートベルト リマインダー



タッチスクリーン上のシートベルト リマインダーは、運転席または助手席に座る人のシートベルトが外された場合に警告を出します。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がない座席から重い物（書類かばんなど）を移動してください。リマインダーランプが引き続き点灯している場合は、**Tesla** にご連絡ください。

! 警告: シートベルトはすべてのシート位置の乗客が着用する必要があります。

注: 法令で後部座席にシートベルト リマインダーが必要な地域の場合、これらのリマインダーを無効にすることはできません。物体が検出された場合に乗員のいない座席のリマインダーをキャンセルするにはシートベルトを締めるか、その物体を取り除く必要があります。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します。運転席シートの正しい位置の詳細については、(正しい運転位置参照) を参照してください。

2. ベルトをスムーズに引き出して、ベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。ベルトが正しく取り回され、ねじれていないと確認します。シートベルトまたはシートベルトコンポーネントの上には絶対に座らないでください。



警告: シートベルトがねじれていったり、正しく取り回していないと、シートベルトが損傷したり、シートベルトシステムの機能に支障をきたすおそれがあります。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。

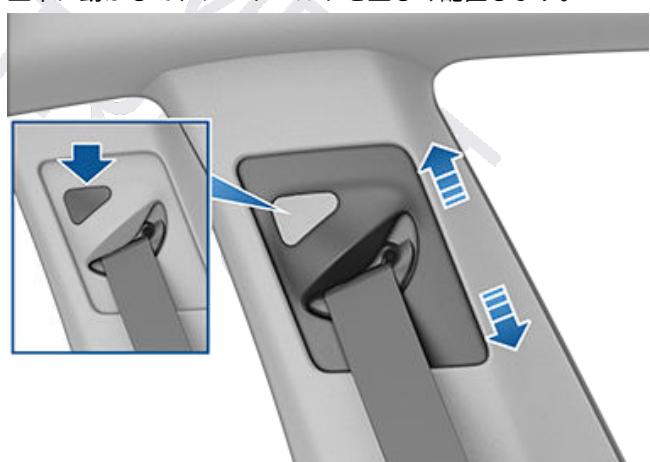


4. 安全に固定されたことを確認するため、ベルトを引きます。
5. ベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダー アンカーの高さを調整するには

Model 3 には各フロントシートに調節可能ショルダー アンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置（正しい運転位置参照）にあるときは鎖骨の中間点を横切って平らになるように作られています。シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダー アンカーの高さを調整します。

1. ショルダー アンカーのボタンを押されたままロック機構を解除します。
2. ボタンを押したまま、必要に応じてショルダー アンカーを上下に動かして、シートベルトを正しく配置します。



3. ショルダー アンカーのボタンを離して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルトのベルト部分を引っ張り、ショルダー アンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。



シートベルト

⚠️ 警告: 運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダーアンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダーアンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを着用するには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、ベルトが自動的に巻き込まれます。ベルトが完全に巻き込む際に邪魔になるような障害物がないことを確認し、ベルトが完全に巻き込まれるようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Teslaにご連絡ください。



妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置にくるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。



⚠️ 警告: シートベルトが不快な場合は、シートベルトを正しく装着しないのではなく着座位置を調整してください。

⚠️ 警告: 衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

フロントシートベルトには、前方からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルト下部アンカーとアップショルダーウェビングの両方を巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。

プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったこと意味します。

後列の窓側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルトストラップを巻き取るためのショルダープリテンショナーが装備されています。

⚠️ 警告: プリテンショナー アセンブリを曲げたり、上に座ったり、妨害しないでください。そうすることでシートベルトシステムの適切な機能を妨げる損傷を引き起こすことがあります。

⚠️ 警告: シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで**3**つの簡単な点検を行ってください。

1. シートベルトを締結している状態で、バックルに最も近いストラップを素早く力強く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. シートベルトを締結している状態で、ドアに最も近いウェビングを素早く力強く引きます。恒久的なシートベルト固定具はしっかりとロックされたままにしておく必要があります。この添付ファイルは絶対に削除しないでください。
3. ベルトを外した状態で、ストラップを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ストラップに摩耗がないか確認します。ストラップを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。



4. ストラップを半分引き出した状態で、バックルを持ち、前方に素早く引きます。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなつたことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、ただちに修理してください。故障したシートベルトの付いている座席には人を座らせないでください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、シートベルトを参照してください。

シートベルトに関する警告

- ⚠ 警告: シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。
- ⚠ 警告: 小さなお子さまは、オーナーズマニュアルに記載されているように、適切なチャイルドシートにしっかり座らせてください。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。
- ⚠ 警告: すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。
- ⚠ 警告: シートベルトコンポーネントの上に座らないでください。そうした場合、安全具が損傷したり、不適切に展開する可能性があります。
- ⚠ 警告: ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。
- ⚠ 警告: ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。
- ⚠ 警告: シートベルトは乗員1人につき1本使用します。お子さまを膝の上に乗せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。
- ⚠ 警告: 衝突事故発生時に着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla に点検または交換を依頼してください。
- ⚠ 警告: シートベルトに摩耗の兆候がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、ただちに交換してください。
- ⚠ 警告: シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。モバイル アプリを使用してサービス予約をする。
- ⚠ 警告: シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。シートベルトの緩みが大きいと、乗員の保護が十分にできません。
- ⚠ 警告: シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
- ⚠ 警告: シートベルトには、快適性や利便性を高めるために後付け製品を使用しないでください。



警告: シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、サービスを予約してください。



警告: シートベルトシステムにはユーザーが整備することができる部品ではなく、火薬類が使用されている可能性があります。構成部品の分解、取り外しおよび交換はしないでください。



チャイルドシート

助手席フロントエアバッグを OFF にする必要があります。

⚠ 警告: 助手席にお子さまを座らせることが法律で許可されている販売地域でも、助手席フロント エアバッグを有効にしたまま、お子さまを前席助手席には座らせないでください。必ずエアバッグが OFF になっていることを確認してください ([エアバッグ ステータス インジケーター](#) 参照)。

サンバイザーに貼付されているラベルを参照してください。



乳児または小児のお子さまを助手席に座らせるときは（適切なチャイルドシートを利用している場合であっても）、助手席フロント エアバッグを必ずオフにしてください。助手席にチャイルドシートを装着する前にエアバッグスイッチを OFF に切り替えることを、**Tesla** では強く推奨します。衝突が発生した場合に、特に後向きチャイルドシートを使用している場合、エアバッグが膨張することにより大怪我または死亡する可能性があります。

助手席フロントエアバッグの有効化/無効化の方法

助手席フロント エアバッグをオフにするには、「コントロール」 > 「安全」 > 「助手席フロント エアバッグ」にタッチします（[助手席のフロントエアバッグをコントロールする](#) 参照）。

⚠ 警告: 助手席フロントエアバッグを無効にしたときは、大人が助手席に座るときに有効に戻してください。

助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーン上部に表示されます。この状態アイコンをタッチして、助手席フロント エアバッグを無効または有効にすることもできます。



お子さまを助手席に乗せて運転する前に、助手席フロント エアバッグの状態がオフになっていることを必ずチェックしてください。



その次に助手席に乗る大人の安全を守るために、忘れないにフロント助手席のエアバッグをオンにしてください。

⚠ 警告: お子さまが助手席に乗車するとき、フロント エアバッグがオフになっていることを確認することはドライバーの責任です。

⚠ 警告: オフにしたのにも関わらず助手席用フロント エアバッグがオンになっている場合（あるいはその逆の場合）は、直ちに **Tesla** までご連絡ください。

チャイルドシートの適合性および取り付けについて

Model 3 に装備されているシートベルトは大人用です。乳児や小児のお子さまを乗車させる場合は、以下が必要です。

- お子さまの年齢、体重、または体のサイズに適したチャイルドシートを使用してください（[体重を基準とした推奨チャイルドシート](#) 参照）。
- Model 3** の座席に合ったチャイルドシートを使用してください。**Model 3** の助手席はそれ程後半なオプションがサポートされています。各座席に使用できるチャイルドシートのタイプについては、[助手席およびリアシート](#) を参照してください。
- 製造元の指示に従って、チャイルドシートを正しく設置してください（一般的なガイドラインはベルトベースのチャイルドシートの取り付けと [ISOFIX/i-Size チャイルドシートの取り付け](#) を参照します）。

体重を基準とした推奨チャイルドシート

Teslaでは、お子さまの体重グループ（**ECE R44**「子供用拘束装置に関する統一規定」に定義）に基づいた推奨チャイルドシートを示しています。Model 3の座席に重量制限はありませんが、各座席に使用できるチャイルドシートのタイプは異なります。例えば、後列中央座席には、シートベルトで取り付けるタイプのチャイルドシートだけが使用できます。

ステータス*	体重グループ**	お子さまの体重	Tesla 推奨
-	グループ 0 +	最大 13 kg (12~18か月)	Maxi-Cosi CabrioFix & Familyfix 3 / Cabriofix i-Size Base
45~105 cm	-	-	Maxi-Cosi Pearl 360 (Familyfix 360付き)
100-150 cm	-	-	Britax Römer KIDFIX I-Size
-	グループ III (ブースター)	22~36 kg	Peg Perego Viaggio 2-3 シャトルベース

* **R129 CRS** メーカー評価による
** **R44 CRS** による

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシートに収まらない、しかし車両のシートベルトで安全に固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合ったブースターシートを使用してください。Teslaでは、ブースターシートの必要なお子さま向けに **Peg Perego Viaggio 2-3 Shuttle** のシートベースを使用することを推奨しています。ブースターシートを取り付けるときは、製造元の説明書に従ってください。

2つの取り付け方法

注: 必ずチャイルドシート製造元の説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

たくさんバリエーションがありますが、一般的にチャイルドシートには座席への固定方法により 2種類あります。

- ・ベルト式 - 車両のシートベルトでチャイルドシートを固定（[ベルトベースのチャイルドシートの取り付け](#)を参照）。
- ・ISOFIX/i-Size 使用 - 車両の座席に組み込まれたアンカーバーに固定（[ISOFIX/i-Size チャイルドシートの取り付け](#)を参照）。

一部のチャイルドシートは、どちらの方法でも取り付けられます。チャイルドシートの製造元が提供する説明書を参照して、取り付け方法とその詳細を確認してください。

Model 3では、すべての座席にシートベルトで固定するチャイルドシートを取り付けられます。また、ISOFIX/i-サイズのシートも後列の窓際座席に取り付けられます。次に、各座席に使用できるチャイルドシートのタイプに関する特定詳細情報を記載しています。

注: ISOFIX および i-サイズは、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法に関する国際標準規格です。

 **警告:** お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて **33 kg** を超える場合、チャイルドシートやシートベルト一体型のブースターシートに **ISOFIX/i-Size** のアンカーを使用しないでください。

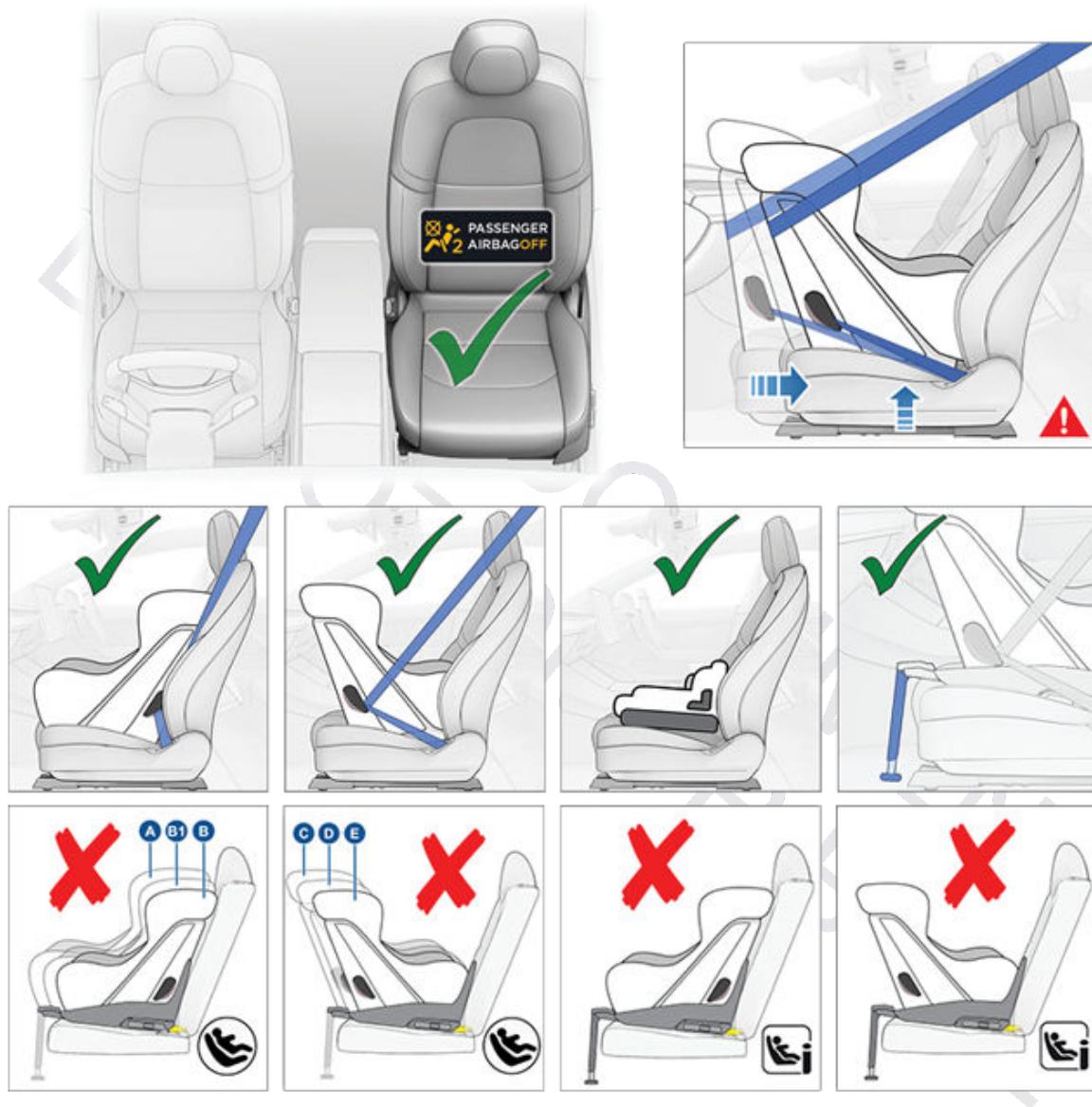


チャイルドシート

助手席

⚠ 警告: エアバッグを有効にした助手席にお子さまを座らせないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。エアバッグを参照してください。

⚠ 警告: シートベルトで取り付けるチャイルドシートをフロント助手席に取り付けるには、中央の高さ位置（おおよそ **3 cm**）まで座席を上げてください。



助手席フロント エアバッグが無効に、そしてシートが昇降高さの半分以上に上げられている場合、乳児および小児のお子さまは、以下に示すベルトベースのチャイルド シートを使用すれば助手席に座ることができます。

- 前向き、多目的。
- 後ろ向き、多目的。

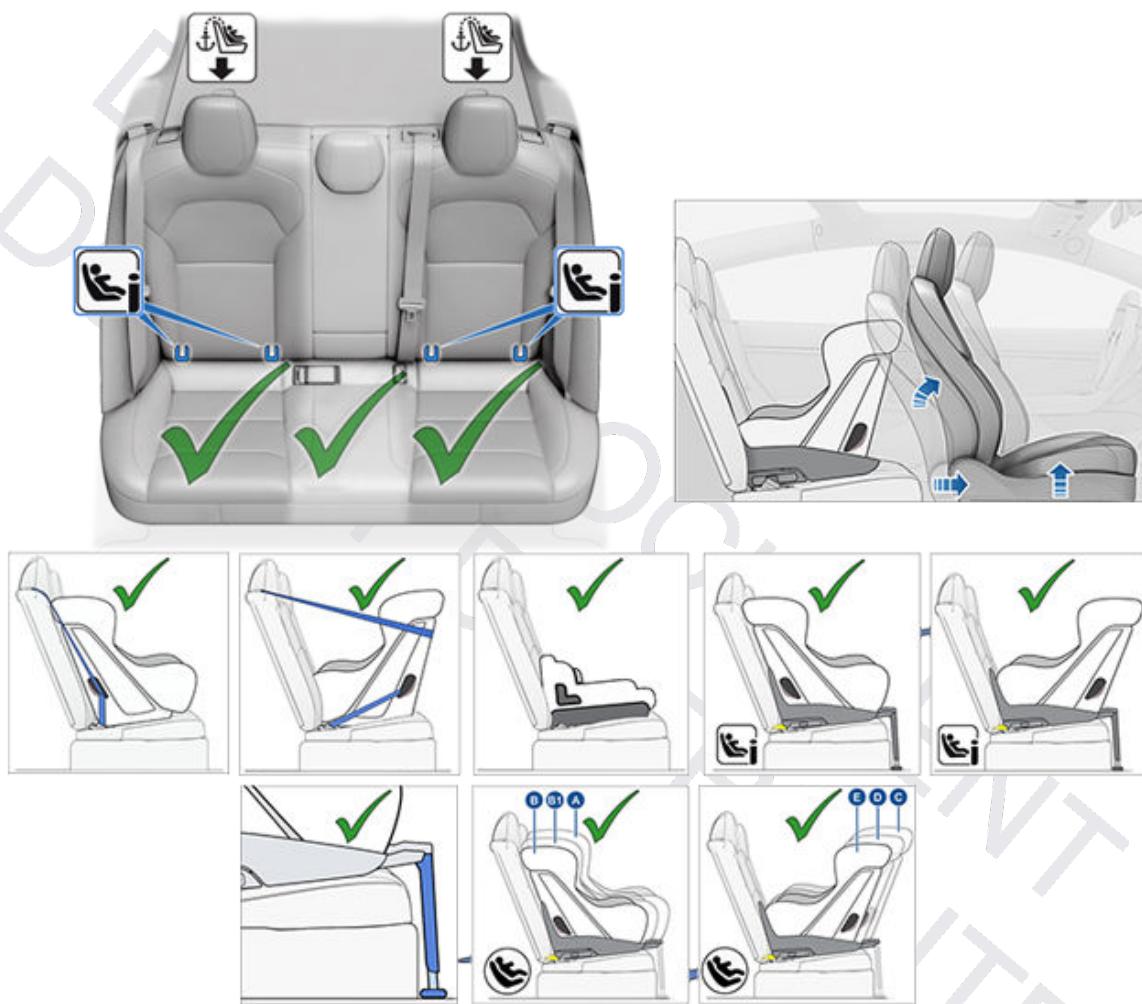
注: 助手席には、ISOFIX/i-サイズのチャイルドシートの取り付けに対応する低位置のアンカーバーが付いていません。

体重グループ	お子さまの体重	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ 0	10 kg 以下	使用禁止	許可
グループ 0 +	13 kg 以下	使用禁止	許可



体重グループ	お子さまの体重	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループ I	9~18 kg	使用禁止	許可
グループ II	15~25 kg	使用禁止	許可
グループ III	22~36 kg	使用禁止	許可

リア シート



シートベルトで取り付けるチャイルドシートまたは ISOFIX (IU)//i-サイズ (i-U) のチャイルドシートを使用して、乳幼児およびお子さまを後列の外側座席に乗せることができます。

注: 後列座席は、トップテザーストラップの利用に対応しています（[トップテザーストラップを取り付ける参照](#)）。

チャイルドシート製造元の取扱説明書に記載のとおり、ブースター シートを低い位置にあるアンカーバーに固定するか、シートベルトで固定して、大きなお子さまを後列の窓際座席に乗車させることができます。

以下の ISOFIX/i-Size サイズクラスのものは、後列の外側座席で使用できます。

- ・ サイズ分類 A、B、および B1 前向き。
- ・ サイズ分類 C、D、および E 後向き。

注: 大型の後向き ISOFIX/i-Size チャイルドシート（サイズクラス C）を取り付けるには、対応する助手席を前の位置から中央の位置（最後方の位置から最大 13 cm 前方）に動かし、座席を上に（一番低い位置から 2 cm）上げ、必要に応じて座席角度を後方へ傾ける必要があります。



チャイルドシート

⚠ 警告: 運転席の後ろのシートにチャイルドシートを取り付けている場合、運転席を自動で最後位置に動かすような設定で「イージーエントリー」を（[ドライバープロフィール](#)に記載されているように）使用しないでください。運転席を動かして後列座席との間隔が狭くなると、お子さまの足に強く当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

シートベルトベースの後向きのチャイルドシートを使用して、乳幼児を後列の中央座席に乗車させることができます。チャイルドシートをシートベルトで後向きまたは前向きに固定して、お子さまを後列の中央座席に乗車させることができます。

注: 後列の中央座席には **ISOFIX/i-Size** のチャイルドシートの取り付けに対応する低い位置のアンカーバーが付いていません。

チャイルドシート製造元の取扱説明書に記載のとおり設置したブースターシートを使用して、大きなお子さまを後列の中央座席に乗車させることができます。

ベルトベースのチャイルドシートの取り付け

チャイルドシートを使用する際は、チャイルドシートの製造元が提供する取扱説明書に必ず従ってください。ベルトベースのチャイルドシートの一般的なガイドラインに従ってください。

- ・ チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。
- ・ お子さまを厚着させて座らせないでください。
- ・ お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。
- ・ お子さまに合わせて毎回チャイルドシートのハーネスを調整します。

1. チャイルドシートを適した座席に置き、シートベルトを全部引き出します。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。

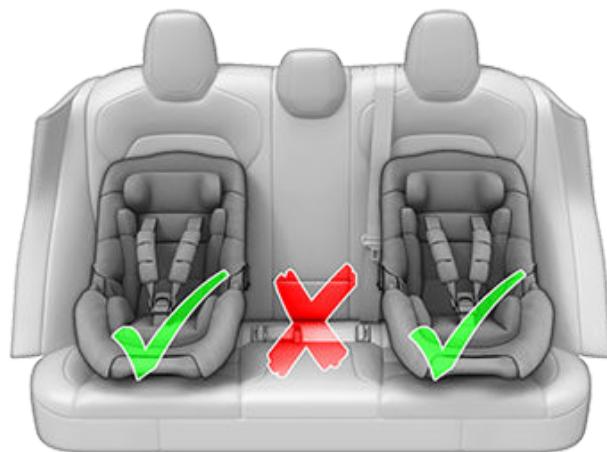


2. シートベルトを巻き取り、チャイルドシートを車両の座席にしっかりと押し込みながらシートベルトの弛みを完全に取り除きます。
3. チャイルドシート製造元の指示通りにトップテザーストラップを取り付けます（[トップテザーストラップを取り付ける](#)参照）。

ISOFIX/i-Size チャイルドシートの取り付け

Model 3 の後部座席には、**ISOFIX/i-Size** 用アンカーバーが装備されています。このアンカーバーは座席のクッションと背もたれの間にあります。各アンカーバーの正確な位置は、直接、関連アンカーバーの上についている座席の後ろ側のマーク（以下の例示）で分かるようになっています。





チャイルドシート製造元の説明書をよく読み指示に従って、**ISOFIX/i-サイズ**のチャイルドシートを取り付けてください。取り扱い説明書には、「カチッ」と所定の位置までチャイルドシートを座席アンカーバーにスライドさせる方法が記載されています。チャイルドシートをシートの背もたれにしっかりと押付け、ぴったりと収まるようにする必要があります。



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。片手でチャイルドシートの前面を掴んで、次を行ってください。

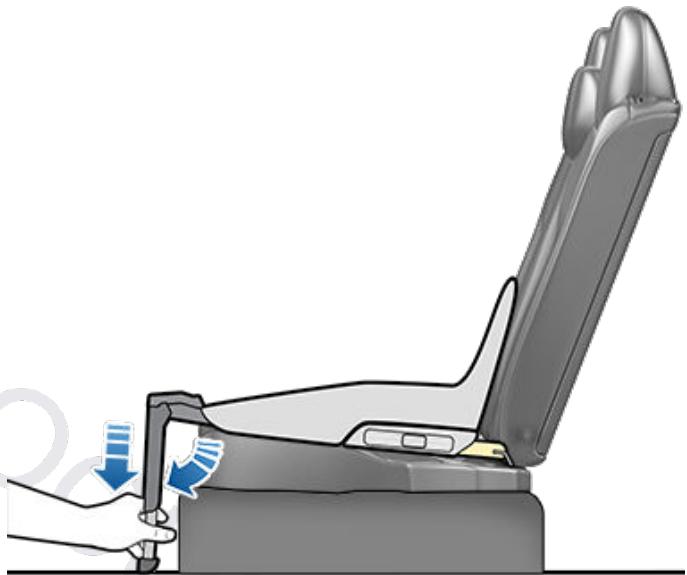
- ・ チャイルドシートを横方向に揺らします。
- ・ チャイルドシートを前後方向に揺らします。

チャイルドシートが回転したり座席から離れるようだと、両方のラッチがシートのアンカーバーにしっかりと取り付けられていません。再度付け直してください。チャイルドシートのあるラッチの両方が完全に取り付けられていることを必ず確認してください。

⚠ 警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて **33 kg** を超える場合、チャイルドシートやシートベルト一体型のブースターシートに **ISOFIX/i-Size** のアンカーを使用しないでください。

安全脚

運転席以外の座席がすべて、**Model 3** 安全脚付きチャイルドシートの使用に対応しています。チャイルドシートに脚がついている場合は、チャイルドシートの製造元が提供する説明書に従って脚を伸ばしてください。



トップテザーストラップを取り付ける

Model 3 の後列座席は、トップテザーストラップの使用に対応しています。チャイルドシート製造元の説明書にトップテザーストラップ取り付けについて記載がある時には、そのフックを関連座席の後ろにあるアンカーポイントに取り付けます。

注: チャイルドシートの製造元の説明書に従い、上部テザーストラップを締め付けてください。

注: リア ヘッドレストは動きません。

テザーストラップのアンカーポイントは、後部座席の後側にある棚に取り付けられています。



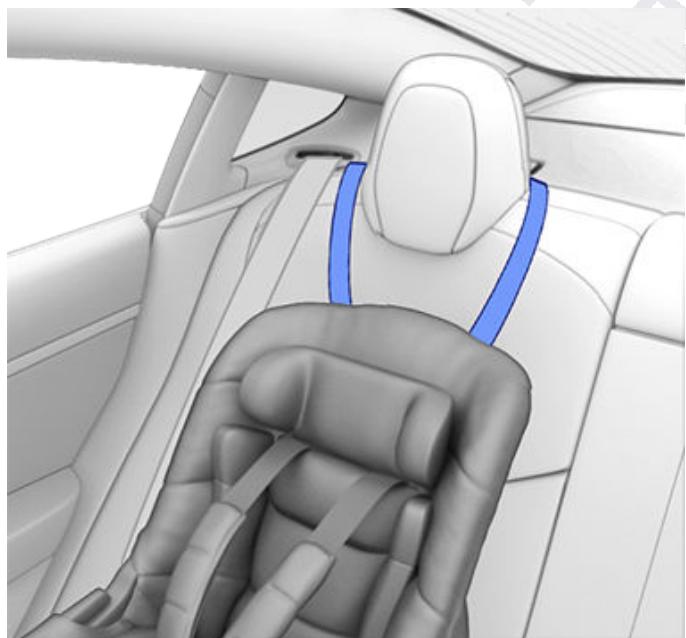


チャイルドシート

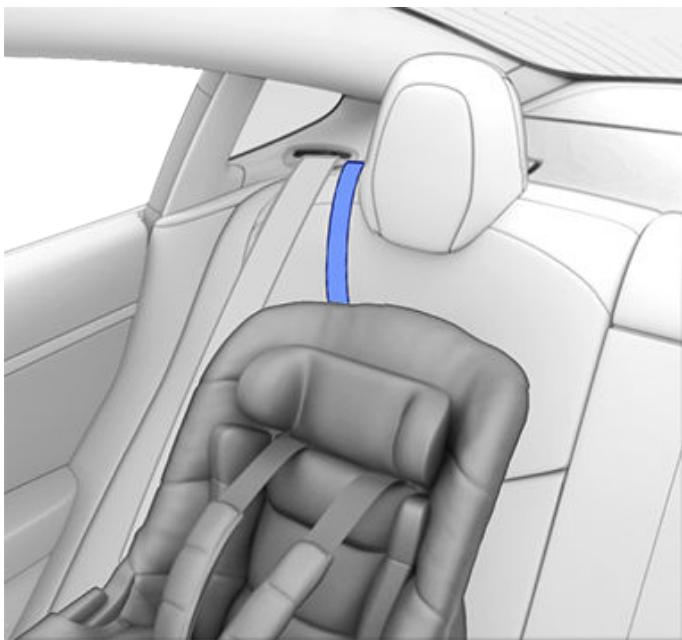
アンカー ポイントに届きにくい場合は、そのカバー後部を押し下げます。



デュアルストラップ テザーでは、ヘッドサポートの両脇にストラップを通します。



窓際の座席のシングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッド サポートの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）に通します。



後列の中央座席にシングルストラップテザーを使用する場合、ストラップをヘッドサポートの中央最上部に通します。



後列の中央座席にデュアルストラップテザーを使用する場合、ストラップをヘッドサポートのそれぞれの側面に通します。



NOT DOCUMENT
DISTRIBUTE

チャイルドシート

チャイルドシート警告

- ⚠ 警告:** 助手席のエアバッグがオンになっている時には、絶対にお子さまをチャイルドシートまたはブースターシートで助手席に乗せないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。
- ⚠ 警告:** 助手席のエアバッグがオンの状態で安全が守られている座席に、後ろ向きのチャイルドシートを使用しないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。サンバイザーにある警告ラベルをお読みください。
- ⚠ 警告:** ひざの上で締めるシートベルトやショルダーベルトの一部などシートベルトで車両座席を固定するように設計されているチャイルドシートもあります。チャイルドシートが車両内で適切に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険に晒される可能性があります。
- ⚠ 警告:** タッチスクリーン上のシートベルト リマインダーは身体の小さな乗員やチャイルドシートが正しく固定されていることを確認するための代わりにはなりません。乗員センサーは、身体の小さな乗員やチャイルドシートを識別できないことがあります。
- ⚠ 警告:** お子さまが体重 **9kg** 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。**2歳**以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- ⚠ 警告:** 小さいお子さまを大人の膝上に乗せるのは避けてください。必ずお子さまをチャイルドシートの中で動かないように固定してください。
- ⚠ 警告:** 本ドキュメントの指示およびチャイルドシート製造元の説明書に従い、お子さまを安全に乗せるようにしてください。
- ⚠ 警告:** 後ろ向きのチャイルドシート向けの最大身長または最大重量になるまで、出来る限り座席内蔵の **5点**装具を使い後ろ向きチャイルドシートにお子さまを乗せてください。
- ⚠ 警告:** より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかりと着用されていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかかるないようにする必要があります。
- ⚠ 警告:** **1つのアンカーポイントに2つのチャイルドシートを取り付けないでください。** 万一衝突事故が発生した場合、**1つのアンカーポイントでは2つのシートを支えきれない可能性**があります。
- ⚠ 警告:** 幼児抑制用のアンカーバーは、ぴったりと合うチャイルドシートに限り荷重に耐えうるよう設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
- ⚠ 警告:** ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
- ⚠ 警告:** お子さまがチャイルドシートで固定されている場合でも、絶対にお子さまを誰もいない車内に置いていかないでください。



警告: 衝突に巻き込まれたことのあるチャイルドシートを使用しないでください。チャイルドシート製造元の説明書に記載されているとおり、そのチャイルドシートは捨てて新しいものに交換してください。

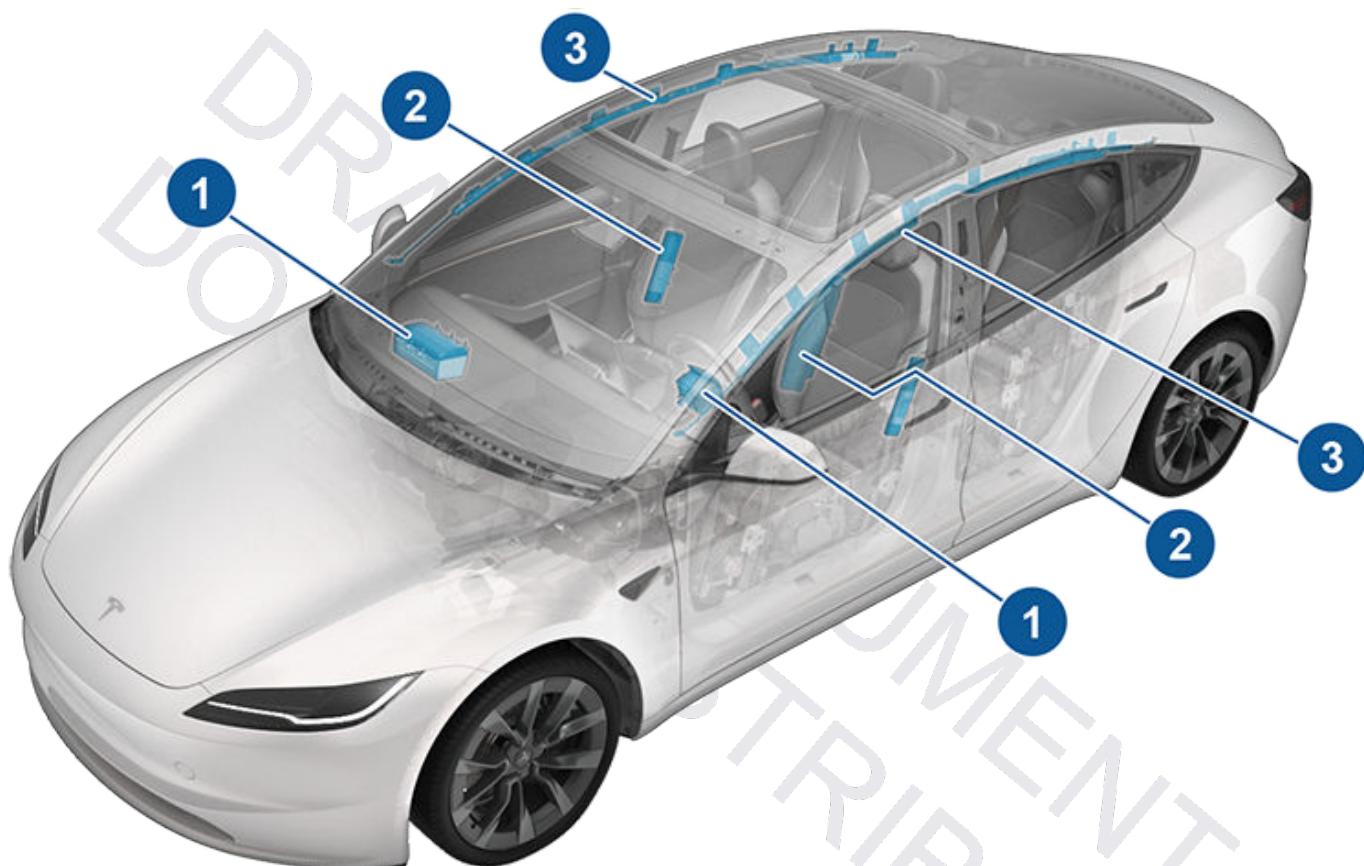


エアバッグの位置

エアバッグは以下のように適切な位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model 3 は、前席の両座席にエアバッグと肩および腰ベルトを装備しています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注: 右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. フロント エアバッグ

2. シート搭載サイドエアバッグ

注: 車両には、運転席の内側にシート搭載エアバッグも装備されています。

3. カーテン エアバッグ

エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロントエアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは軽度の正面衝突、乗り上げ衝突、細い物体（ポールや樹木など）への軽度の衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロントエアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

⚠️ 警告: 障害をお持ちの方のために、エアバッグシステムに影響が及ぶような改造を行う前に、Teslaまでご連絡ください。

エアバッグの種類

Model 3は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- フロントエアバッグ:** フロントエアバッグは、助手席に乗車した大きなお子さまや大人を最大限に保護できるように設計されています。すべての注意事項や指示に従って、助手席にお子さまを乗せてください（地域で許可されている場合）。[チャイルドシート](#)を参照してください。
- シート搭載式サイドエアバッグ:** 前席に取り付けられたシート搭載式サイドエアバッグは、骨盤と胴体の胸部を保護するのに役立ちます。また、運転席の内部に取り付けられたシート搭載式ファー サイドエアバッグは、ドライバーの頭部や胴体を保護するのに役立ちます。車両の衝突側と非衝突側の両方のシートに取り付けられたサイドエアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- カーテンエアバッグ:** カーテンエアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテンエアバッグは、重度の側面衝突を受けた場合、または車両が横転した場合のみに膨らみます。

エアバッグステータスインジケーター

助手席フロントエアバッグの状態は、タッチスクリーン上部に表示されます。



お子さまを助手席に乗せて運転する前に（地域で法的に許可されている場合）、助手席フロントエアバッグのステータスが **OFF** になっていることを必ず慎重に確認してください。助手席側のフロントエアバッグが **OFF** の場合、衝突が起きててもエアバッグは展開しません。このインジケーターは、座席に乗員がないときでも表示されます。



助手席に大人が座る場合は、必ず助手席フロントエアバッグを有効にしてください。助手席フロントエアバッグが **ON** の場合、衝突が起きるとエアバッグが展開します。

⚠️ 警告: お子さまを助手席に座らせることが地域で法的に許可されている場合、ドライバーが責任を持って、助手席フロントエアバッグが **OFF** になっていることを確認してください。助手席にチャイルドシートを装着する前にエアバッグスイッチを **OFF** に切り替えてください。チャイルドシートやブースター シートを使用する場合でも、エアバッグが作動する状態の助手席にお子さまを座らないでください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。

助手席のフロントエアバッグをコントロールする

お子さまが助手席に乗っている場合（チャイルドシートまたはブースター シートでも）、衝突時にお子さまが怪我しないように助手席のフロントエアバッグを無効にしなければなりません。「コントロール」>「安全」>「助手席フロントエアバッグ」の順にタッチして、運転前に、タッチスクリーン上部の助手席エアバッグのステータスが **OFF** と表示されていることを確認してください（[エアバッグステータスインジケーター](#)参照）。

注: Model 3は静電容量式のタッチスクリーンを搭載しており、手袋をしている場合は、タッチしても反応しないことがあります。タッチスクリーンが反応しない場合は、手袋を外すか、指先に導電性の素材を使った専用の手袋を着用してください。

⚠️ 警告: お住いの地域で合法的に助手席にお子さまを乗車させられる場合、エアバッグを有効にしたままでチャイルドシートやブースター シートでお子さまを助手席に乗せないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

⚠️ 警告: 助手席のフロントエアバッグが機能していないと思われる場合（エアバッグを **OFF** にしてもエアバッグが **ON** になっている場合、またはその逆の場合など）、助手席に人を乗車させないでください。ただちに Tesla にご連絡ください。

エアバッグ展開の影響

⚠️ 警告: エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが膨張した場合、または車両が衝突した場合、電源を入れる前に車両のサービスを受ける必要があります。これに加え、エアバッグ、シートベルト ブリテンショナーおよび関連するすべてのコンポーネントを必ず点検し、必要があれば交換してください。直ちに Tesla サービスにご連絡ください。

衝突時には、エアバッグの膨張に加えて以下のようなことが起こります。

- ・ ドアのロックが解除されます。
- ・ ハザード警告灯が点灯します。
- ・ 室内灯が点灯します。
- ・ 高電圧系統が **OFF** になります。

注: かかった衝撃や力の具合によっては、衝突の際にドアがロック解除しなかったり、損傷によってドアが開かなかったりする可能性があります。こういった場合、車内側の手動リリースでドアを開いたり、その他の脱出方法（他のドアから脱出する、窓を破るなど）を用いる必要があります。

注: 衝突によっては、エアバッグが膨張していなくても、車両が高電圧回路を遮断し電源が入らなくなり運転することができなくなります。直ちに **Tesla** サービスにご連絡ください。

エアバッグ インジケーター



エアバッグシステムが故障している場合、タッチスクリーンのエアバッグインジケーターが点灯したままになります。このインジケーターが点灯するのは本来 **Model 3** を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままの状態の場合は、運転するのを控え、ただちに **Tesla** にご連絡ください。

エアバッグについてのご注意

- ⚠ 警告: 衝突時の大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。
- ⚠ 警告: フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。
- ⚠ 警告: **Model 3** にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備されている場合は、その精度が低下する恐れもあります。
- ⚠ 警告: エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。
- ⚠ 警告: 地域の法令で許可されていない限り、助手席にお子さまを乗せないでください。地域のすべての法令に従い、お子さまの体重、身長、年齢に適した方法でお子さまを座らせてください。後列座席に乳幼児や小さなお子さまを安全に座らせてください。エアバッグが作動するシートには、後ろ向きのチャイルドシートで乳幼児やお子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、重傷や死亡につながる可能性があります。
- ⚠ 警告: 前方でエアバッグが作動するシートでは後ろ向きのチャイルドシートの使用を控えてください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。



警告: サイドエアバッグが正しく展開するように、乗員の胴体と **Model 3** の側面の間のすきまをふさがないでください。



警告: 助手席に座る人はドアに頭をもたれかけないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。



警告: 乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようしてください。



警告: ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。また、エアバッグが作動するほどの重大な衝突事故のときは、それらの物によって大けがをする可能性もあります。



警告: 展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。



モバイルアプリ

Tesla モバイル アプリにより、**Model 3** iPhone® または Android™ 携帯端末とリモート通信することができます。

注: 上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリで **Model 3** との通信をセットアップするには:

1. Tesla モバイル アプリをお使いのスマートフォンにダウンロードします。
2. Tesla アカウントの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. 「コントロール」 > 「安全」 > 「モバイル アクセスを許可」 の順にタッチして、**Model 3** へのモバイル アクセスを有効にします。
4. お使いの電話機の **Bluetooth** 設定が「オン」で、なおかつ Tesla モバイル アプリのグローバル設定で **Bluetooth** がオンになっている必要があります。例えば携帯電話の設定から Tesla モバイル アプリを選んで、**Bluetooth** 設定が有効化されていることを確認します。

モバイルアプリが車両と通信できるようにするには、スマートフォンおよび車両が両方とも携帯電話サービスに接続されている必要があります。屋内の駐車ガレージなど携帯電話サービスが制限されている場所や携帯電話サービスが利用できない場所に駐車する場合、Tesla では、常にすぐに利用できる物理キーを携帯することを推奨しています。

注: 携帯電話の通信接続が制限されていたり、予備キーが利用できないなど、保証対象外の問題のために Tesla のロックアウトアシスタンスが必要な場合にかかる費用は、ロードサイドアシスタンスポリシーの保証対象なりません。

注: Tesla は、**Model 3** との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。

概要

Tesla モバイル アプリのホーム画面の機能:

- 車両名を参照（ある場合）。
 - 車両の推計航続距離を表示。
 - 車両のドライブ モード（パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ）を表示する。
 - 車両をロック/ロック解除する。
 - 寒い天候時に車両を温め霜取り機能を最大限有効にする。
 - 車両の充電情報を確認して、充電ポートを開くまたは閉じます。
- 注: バッテリー アイコンの隣にあるねじられた赤い線は、バッテリーが能動的に加熱されていることを示します（充電中や充電準備中を含む）。
- フロントトランクを開きます。

- 車両のオドメーター、VIN、現在のファームウェア バージョンを確認します。

メディア設定がモバイル アプリに表示され、車両で現在再生されているメディアを一時停止、再生、巻戻し、早送り、および音量調整します。

サポート対象の動画ソースは、モバイル アプリのリンクを共有して動画を Tesla シアターに送信します。スマートフォンで再生したい映画、番組、ビデオに進み、共有ボタンにタッチします。Tesla アプリで動画を共有すると、**Model 3** が駐車中の場合は、タッチスクリーンに動画が表示されます。

プロフィール

スマートフォンの画面最上部の隅にあるこのプロフィールタブ（アバター アイコンで表示）では、次のことができます:

- Tesla アカウントを複数の車両に関連付けている場合は、車両を切り替えます。
- Tesla ショップに移動します。
- アカウント情報を管理して、注文履歴を表示します。
- セキュリティ アラームがトリガーした場合のカレンダーの同期、充電のアップデート、新しいソフトウェアのアップデートなど「設定」タブで受信する通知を表示してカスタマイズします。離れた場所からアップデートを開始し、進行をチェックすることができます。

コントロール

「コントロール」タブでは次のことが行えます。

- フロントまたはリアのトランクを開く。
 - 遠隔からの **Model 3** のロック、アンロック。
- 注: モバイル アプリからロック解除している場合、車両は自動的に再ロックしません。
- 充電ポートの開閉。
 - **Model 3** の駐車場所を見つけるために、ライトを点滅させたり、ホーンを鳴らす。
 - キーレス ドライブを有効にする。

注: キーを忘れてしまったり、ドライブ用 PIN を忘れ PIN をバイパスする必要がある場合や、タッチスクリーンが反応しなくなった場合などに、キーレス ドライブを使用することができます（[ドライブ用 PIN 参照](#)）。

- ウィンドウを換気する。

空調

車内温度を確認して、運転開始前に（車庫にある場合でも）キャビンを冷暖房し、シートヒーターを制御し、フロント ガラスの霜取りを行なうことができます。

- 「車の霜取り」を有効または無効にすると、画面の下から上にスワイプすることで、フロントガラス、ウィンドウ、およびミラーの雪、氷、霜を溶かすことができます。



- ・「ドック モード」または「キャンプ モード」を有効または無効にします。
- ・「キャビン過熱保護」を有効にすると、高外気温状態でキャビンが極端に高温になるのを防げます。キャビン内の温度が **40°C** または選択した温度（使用可能な場合）を超えた場合に、エアコンを作動させるかファンだけを作動させるかを選択することができます。詳細情報については、[空調を操作する](#)を参照してください。
- ・窓を開け閉めします。
- ・

モバイル アプリで **Model 3** の温度調整を行うと、必要に応じてバッテリーも暖められます。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング 温度に達したことを知らせます。

注: 車両仕様と製造日によっては、モバイル アプリで **Model 3** の霜取りを行うと、充電ポート ラッチの氷も溶かすことのできる車両もあります。これは、充電ポート ラッチがそのまま凍つて充電ケーブルの抜き差しができないような極端な寒冷時や凍結するような状況では便利な機能です。

場所

マップ上で **Model 3** の位置と方向を特定し、動きを追跡する。

サモン

サモン（[サモン参照](#)）またはスマート サモン（[スマート サモン参照](#)）を使用して **Model 3** を駐車したり、呼び出すことができます。

予約

予約充電または出発予定時刻を有効にし、車両をプレコンディショニングします。詳細情報については、[予約充電および出発予定時刻](#)を参照してください。

セキュリティ

「セキュリティ」タブでは次のことを実行できます。

- ・電話機を車両にペアリングする（[電話キー](#)を参照）。
- ・セントリー モードを有効/無効に設定する（[セントリーモードの使い方（カメラ + アプリ）](#)を参照）。
- ・バレーモードを有効/無効に設定する（[バレーモード](#)を参照）。
- ・速度制限モード使い、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 **5 km/h** に近づいたときに通知を受け取る機能を有効または無効に設定します（[速度制限モード](#)を参照）。

アップグレード

完全なセルフドライブなど、利用可能な最新のアップグレードを確認し、購入できます。

サービス

モバイル アプリでサービスを予約する方法については、整備の[予約](#)を参照してください。

ロードサイド

ロードサイドのリソースを表示し、（該当すれば）ロードサイドアシスタンスをリクエストします。ロードサイドアシスタンスに関する詳細については、[Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡する](#)を参照してください。

2人目のドライバーへのアクセス許可

Tesla モバイル アプリから別のドライバーへのアクセス許可を追加および削除することができます。

注: Tesla モバイル アプリ バージョン **4.3.1** 以降が必要です。追加されたドライバーは、事前に登録されている Tesla アカウントを使用するか、アプリを使用して新しい Tesla アカウントを作成することができます。

ドライバーを追加するには、Tesla モバイル アプリで車両のホーム画面から「セントリー」>「ドライバーの追加」に進み、画面の指示に従います。

注: 追加されたドライバーはアップグレードの購入を除くすべてのアプリ機能にアクセスできます。

アクセスを削除するには、モバイル アプリを使用して「セントリー」>「ドライバーの管理」の順に進み、画面の指示に従います。



Wi-Fi

データ接続方法として **Wi-Fi** が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。**Wi-Fi** 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを早く確実に行うには、可能な限り **Model 3** を **Wi-Fi** に接続させておくことが推奨されます（例えば夜間の駐車している時間など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. コントロール画面の上部で「コントロール」>「Wi-Fi アイコン」の順にタッチします。**Model 3** 圏内にある **Wi-Fi** ネットワークの検索を開始し、検出されたものを表示します。

Wi-Fi に接続するとタッチスクリーンの上部に **Wi-Fi** アイコンが表示されます。

注：リストに、既知の **Wi-Fi** ネットワークが表示されない場合、アクセス ポイントに **Model 3** を近づけるか、レンジ エクステンダーで感度を上げてください。

注：（使用可能な場合に）**5GHz** ネットワークに接続している場合、地域でサポートされているチャンネルを確認してください。

サポートされている **5GHz** ネットワーク チャンネル

36~48	52~64	100~140	149~165
		✓	

2. 使用する **Wi-Fi** ネットワークを選択してパスワードを入力してから（必要な場合）、「確認」をタッチします。

注：**Model 3** は現在、キャプティブ **Wi-Fi** ネットワークへの接続をサポートしていません（キャプティブ **Wi-Fi** は、一般的に公共のホットスポットで使用され、ログインを許可する前にカスタム Web ポータルにアクセスし、サービス条件に同意することが必要です）。

3. **Model 3 Wi-Fi** ネットワークに接続します。ネットワークの圏内にいるときは、**Model 3** を自動的に接続します。

検索したネットワークの一覧にない非表示のネットワークにも接続できます。「**Wi-Fi 設定**」をタッチして、検索結果のダイアログボックスにあるネットワーク名を入力し、セキュリティ設定を選択し、「ネットワークの追加」をタッチします。

注：過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、**Model 3** は直近に使用したネットワークに接続されます。

注：**Tesla** サービス センターでは、**Model 3** は **Tesla** サービス **Wi-Fi** ネットワークに自動的に接続されます。

ホットスポットおよび接続性

インターネットに接続するには、モバイル ホットスポットまたは携帯電話の **Wi-Fi** テザリングによるインターネット接続も使用することができます（モバイルキャリアの料金と制限により異なります）。ドライブまたはリバースにシフトしているときに **Wi-Fi** に接続したままにするためには **Wi-Fi** 設定画面から接続を選択し、「ドライブでも接続したまま」にタッチします。



Bluetooth® 互換性



Bluetooth デバイスがペアリングされていて通信範囲内にある場合、**Model 3** でさまざまな Bluetooth デバイスを使用することができます。例えば、Bluetooth 対応電話機をペアリングして、ハンズフリーで使用することができます。**Model 3** は電話機以外の Bluetooth 対応機器ともペアリングできます。例えば、iPod Touch、iPad、Android タブレットなどをペアリングして音楽を再生することができます。

電話機またはその他の Bluetooth デバイスを **Model 3** で使用する場合、ペアリングが必要になります。ペアリングすることで、**Model 3** はサポートしている Bluetooth デバイスと通信するようにセットアップされます。最大 10 台の Bluetooth 対応電話機をペアリングすることができます。特定の電話機を優先デバイスに指定していない場合、または優先デバイスに指定されている電話機が通信範囲内にない場合、**Model 3** は常に最後に使用した電話機と接続します（その電話機が通信範囲内にある場合）。別の電話機に接続する場合は登録済みのデバイスとの接続を参照してください。

注: キーとして使用するために電話機を認証しても（キーを参照）、電話機をハンズフリーで使用したり、電話機でメディアを再生したりはできません。電話機を以下のようにペアリングする必要があります。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: 通常、Bluetooth はおよそ 9 メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話機やその他のデバイスで異なることがあります。

Bluetooth デバイスのペアリング

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使用して、電話をかけたり受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内にあれば、**Model 3** はその電話機にいつでも接続できます。

電話を登録するには、**Model 3** の車内で以下の手順を実行します。

- タッチスクリーンと電話の両方の電源がオンになっていることを確認します。
- 電話で Bluetooth を有効にして、電話を検出可能にします。
注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定で手順のリマインダーへと進んでください。
- 「コントロール」ウィンドウの上にある Bluetooth アイコンをタッチします。
- タッチスクリーンで、「デバイスを追加」 > 「検索開始」にタッチします。Bluetooth 設定画面には、通信範囲内にあるすべての利用可能な Bluetooth デバイスのリストが表示されます。

- ペアリングしたい電話機（またはデバイス）を選択します。電話機をペアリングすると、Bluetooth 設定画面に無作為に作成した番号が表示されます。電話機にも番号が表示されます。
- 電話機に表示される数字が Bluetooth 設定画面に表示される数字と同じであることを確認します。次に、電話機からペアリングしたいことの確認をします。
- 電話にプロンプトが表示されたら、**Model 3** がカレンダー、連絡先、メディアファイルといった個人情報をアクセスすることを許可するかどうかを指定します（連絡先と通話履歴のインポートを参照）。

ペアリングが完了すると、**Model 3** は自動的にデバイスへの接続を行ない、Bluetooth 設定画面では、デバイスの名前の隣に、接続されていることを示す Bluetooth のロゴが表示されます。

Bluetooth 設定画面はいつでも表示することができ、接続しているデバイスに関する設定を変更することができます。たとえば、接続されている電話を優先デバイスに指定することができます。これは、複数の電話を接続していて、両方の電話が Model 3 で同時に頻繁に使用される場合に便利な機能です。Model 3 この場合、優先デバイスが他のデバイスに優先して接続されます。優先デバイスが指定されていない場合、または通信範囲内にない場合、**Model 3** は最後に使用した電話機に接続します（該当する場合）。

連絡先と通話履歴のインポート

ペアリングが完了したら、Bluetooth 設定画面を使用して電話機の連絡先、最近の通話履歴およびテキストメッセージへのアクセスを許可するかどうかを指定します。アクセスを許可している場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや発信履歴に登録のある人に電話をかけたり、メッセージを送信できます（電話、カレンダー、ウェブ会議参照）。連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

注: タッチスクリーンの Bluetooth アイコンをタッチし、電話を選択してからアクセス設定を変更することで、連絡先や最近の通話履歴へのアクセスをいつでもオン、オフできます。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

電話機または Bluetooth デバイスの接続を切り、後で再び使用したい場合は、Bluetooth 設定画面で「切断」をタッチします。デバイスを **Model 3** で再び使うことがない場合は、「このデバイスの登録を解除」をタッチします。登録を解除したデバイスを **Model 3** で使用するには、もう一度そのデバイスをペアリングする必要があります（Bluetooth デバイスのペアリングを参照）。

注: **Model 3** から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

注: 電話のペアリングを解除すると、電話をキーとして使用しても効果はありません。認証された電話機を解除するには、キーの管理を参照してください。



登録済みのデバイスとの接続

Model 3 Bluetooth 設定画面で優先デバイスに指定した電話に自動的につながります。優先デバイスとして電話を設定していなければ、**Model 3** は、前回接続した電話につながります(ただし、その電話が作動範囲にあり、**Bluetooth** がオンである必要があります)。最後の電話が動作範囲内にない場合、車両は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、「コントロール」画面の上にある **Bluetooth** アイコンにタッチします。**Bluetooth** 設定画面にペアリングされている電話のリストが表示されます。接続したい電話を選択し、「接続」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。[Bluetooth デバイスのペアリング](#) を参照してください。

接続している場合、**Bluetooth** 設定画面では電話機名の隣に **Bluetooth** のロゴが表示され、**Model 3** がその電話機に接続していることを示します。



電話アプリを使用する



Bluetooth を使用して電話機が **Model 3** に接続され (**Bluetooth** を参照)、電話の連絡先にアクセスが許可されると (連絡先と通話履歴のインポートを参照)、電話アプリを使用して、電話に登録されている連絡先を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- **通話:** 通話の履歴が時系列順で表示され、最新の通話が最初に表示されます。
- **メッセージ:** メッセージが時系列順で表示され、最新のメッセージが最初に表示されます。テキストメッセージを表示、送信および受信することができます。テキストメッセージを入力する代わりに、ハンドルの右側にあるマイクボタンにタッチして音声入力します。



警告: ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はテキストメッセージを確認したり送信したりしないでください。走行中は常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。

- 「連絡先」: 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報(住所など)とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。
- **お気に入り:** お気に入りに指定した、電話機の中の連絡先を表示します。
- **カレンダー:** 電話からのカレンダー エントリーを表示します (カレンダー参照)。エントリーに電話番号や住所が含まれている場合、そのカレンダー エントリーの該当する情報にタッチして、電話をかけたり、目的地までのナビをしたりすることができます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドの入力 (音声コマンドを参照)。音声コマンドは、連絡先に電話を掛けたり、テキスト送信するための便利なハンズフリー手段です。
- 電話アプリのリストに表示される電話番号にタッチする - 連絡先、通話、カレンダー。
- 電話アプリで **Model 3** のオンスクリーン ダイヤラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップ ウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、タッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていって、**Model 3** がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションにタッチして、電話に「応答」するか、または「無視」するかを選択します。使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。



警告: 道路の状況に常に注意して運転してください。

Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。



警告: テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中は、タッチスクリーンに通話メニューが表示されます。右スクロール ボタンを回してオプションを選択します。通話音量を調節するには、通話中に左スクロール ボタンを回します。

カレンダー



カレンダーには、スマートフォン (**iPhone**[®] または **Android**[™]) のカレンダーから送信された当日および翌日分の予定が表示されます。カレンダーは電話アプリに便利に統合されており、カレンダーの予定からミーティングに参加することができます。また、ナビゲーション システムにも統合されているのでイベントの場所へ移動することができます。

1. 電話が **Model 3** とペアリングされていることを確認します。
2. **Tesla** モバイル アプリにログインしていることを確認します。
3. **Tesla** モバイル アプリで、「プロフィール」>「設定」>「カレンダー同期」の順にタッチします。
注: カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することを推奨します。
4. 電話機か、「設定」に移動し、**Tesla** モバイル アプリとカレンダーを共有するためのアクセスを許可します。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから **Model 3** へ定期的 (かつ自動的) に送られるようになります。

カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。



電話、カレンダー、ウェブ会議

イベント毎に住所が指定されていて、乗車して運転の準備をしてから**2時間以内**にイベントが始まる場合、**Model 3**は自動でイベントの住所に経路を指定します（オートナビゲーション参照）。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに**1つ以上**の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには**1番目**に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます（これは特に電話会議の通話に便利です）。メモにウェブリンクが含まれている場合、リンクにタッチするとウェブブラウザーで開くことができます。

ズーム



車両のタッチスクリーンからシームレスにミーティングを開催し通話します。設定するには**Zoom**アプリにタッチしてサインインするか、ミーティングの**ID**を入力します。カレンダーに表示されているミーティングにアクセスすることや、**Zoom**のリンクにタッチしてテキストメッセージでアクセスすることもできます。**Model 3**がパーキングにシフトしているときに限れば、車両のキャビンカメラを使用して通話することもできます。**Zoom**で通話中にパーキング以外に車両をシフトさせると、キャビンカメラはオフになり、音声だけの通話に切り替わります。タッチスクリーンを使用して、映像のオン/オフ、ミュート/ミュート解除を切り替え、ミーティングのさまざまな設定をカスタマイズすることができます。

- ⚠ 警告:** 車両を公道上で「一時的に駐車」している（車両を縁石にそって、または駐車スポットに指定されていないところに、駐車しているなど）場合は、動画機能を使用しないでください。
- ⚠ 警告:** 周囲に注意を払い、ハンズフリー操作の義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。



運転を開始

Model 3 に乗車するためにドアを開くと、タッチスクリーンの電源がオンになります。すべてのコントロールを操作できます。

Model 3 をシフトさせるには、ブレーキペダルを踏み、タッチスクリーンのドライブ モードストリップで上にスワイプしてドライブにシフトするか、下にスワイプしてリバースにシフトします（[ギアシフト](#)を参照）。

「オートシフト・アウトオブパーク」が有効になっている場合、**Model 3** は自動的にドライブまたはリバースを選択します。

ブレーキペダルを踏むと、（運転席ドアが閉じられていて、運転席シートベルトが締められていると）車両はタッチスクリーンのドライブ モードストリップに表示されている選択したドライブモードにシフトし、アクセルペダルを踏むと、車両はその方向に移動します。

注：「オートシフト・アウトオブパーク」をオンにするには、「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「オートシフト・アウトオブパーク」にタッチします。

「オートシフト・アウトオブパーク」が有効なときに加速を行う前に、タッチスクリーンを見て、**Model 3** が希望するドライブモード（ドライブまたはリバース）にシフトしていることを確認します。選択が正しくない場合や、「オートシフト・アウトオブパーク」が有効ではない場合、タッチスクリーンのドライブモードストリップで上にスワイプしてドライブにシフトするか、下にスワイプしてリバースにシフトして、新しいドライブモードを選択します。[ギアシフト](#)を参照してください。

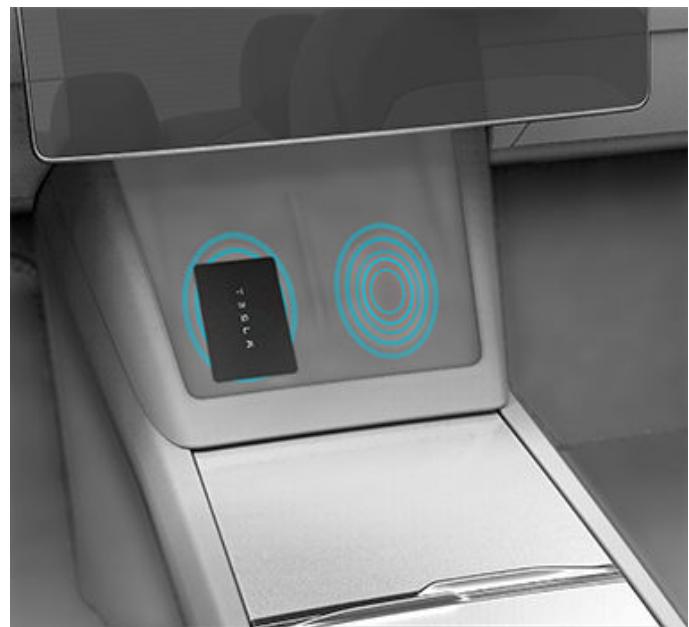
注：「ドライブ用 PIN」の機能が有効になっている場合（[ドライブ用 PIN](#)を参照）、**Model 3** を運転可能にするには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力する必要があります。

Model 3 の運転に必要な事項はすべてタッチスクリーンに表示されます。

ドライブが無効 - 認証が必要です

ブレーキを踏んだときに **Model 3** がキーを検出しない場合（電話キーが検出されないか、またはキーカードを使用してから 2 分が経過した場合）は、運転するには認証が必要であることを知らせるメッセージがタッチスクリーンに表示されます。

このメッセージが表示されたら、RFID トランスマッターが読み取りやすいように、いずれかの電話ドックにキーカードを置いてください。2 分間の認証期間が再開され、ブレーキペダルを踏むことで **Model 3** を開始できます。



Model 3 が電話キーを検出できるかどうかは、さまざまな要因（デバイスのバッテリー残量の低下、バッテリー切れ、Bluetooth 通信不可など）に影響されます。

電話キーまたはキー カードは常に携帯してください。運転終了後も、**Model 3** を停止してから再始動するときにはキーが必要です。また、**Model 3** から降車後、**Model 3** を手動または自動でロックするときにもキーが必要です。

停止

運転を終えたら、単に車両から降ります。電話キーを持って **Model 3** から離れると、自動的に電源がオフになり、タッチスクリーンもオフになります。

Model 3 また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で **Model 3** の電源をオフにすることもできます。「コントロール」>「安全」>「電源オフ」の順にタッチします。**Model 3** ブレーキを踏むか、タッチスクリーンをタッチすると、自動的に電源がオフになります。

注：**Model 3** 乗客が車両から降りたこと（例えば、運転席シートベルトが装着されておらず、車両がほぼ停止している）を検知すると自動的にパーキングにシフトします。ニュートラルにシフトする場合、ドアを開けて車から降りるとはパーキングにシフトします。車両をニュートラルのままにするには、輸送モードを有効にする必要があります（[車両輸送者向け注意事項](#)を参照）。

車両でパワーサイクリングを行う

異常な挙動を示す場合や、意味のない警告が表示される場合、**Model 3** の電源を入れ直すことができます。

注：タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示している場合は、車両の電源を再投入する前にタッチスクリーン再起動してください（[タッチスクリーンの再起動](#)を参照）。



始動と電源オフ

1. パーキングにシフトします。
2. タッチスクリーンで、「コントロール」>「安全」>「電源オフ」の順にタッチします。
3. 車両のどこにも触らないようにして、最低**2**分程度待ちます。ドアを開けたり、ブレーキペダルを踏んだり、タッチスクリーンを操作したりしないでください。
4. **2**分後、ブレーキペダルを踏むか、ドアを開けて車両を起動します。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE

ハンドル位置の調整

ハンドルを調整するには、「コントロール」にタッチしてから「ステアリング」アイコンをタッチします。

ハンドルの左スクロール ボタンを使用して、ハンドルを最適な位置に調整します。

- ハンドルの高さ/傾きを調整するには、左スクロール ボタンを上下に動かします。
- ハンドルを自分に寄せたり、自分から離したりするには、左スクロール ボタンを左右に動かします。



 警告: 運転中にハンドルを調整しないでください。

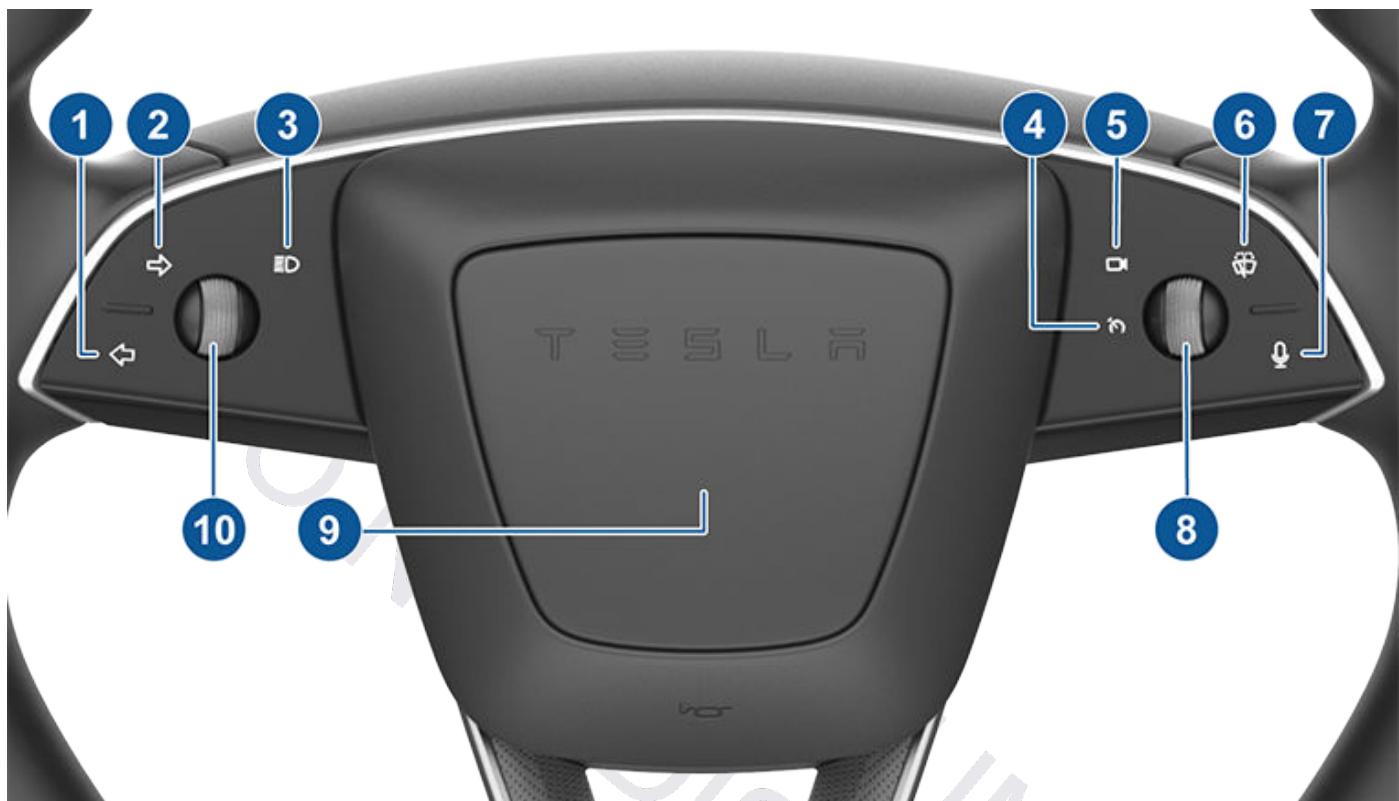
ステアリングの感触・感度を調整する

ステアリング システムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「ステアリングモード」の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - 「コンフォート」: ハンドルを楽に回せます。この設定になると、市街地での **Model 3** の運転と駐車が容易になります。
 - 「標準」: ほとんどの条件で最適な操作性と応答性が得られる **Tesla** が推奨する設定です。
 - 「スポーツ」: ハンドルを回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に **Model 3** の応答性がよくなります。

ハンドルの概要

Model 3 では運転中に必要なすべてのコントロールにハンドルでアクセスできるため、レバー操作なしで運転できます。



1. 左 ウィンカー（[ウィンカー参照](#)）
2. 右 ウィンカー（[ウィンカー参照](#)）
3. ハイビーム ヘッドライト*（[ハイビーム ヘッドライト参照](#)）
4. クルーズコントロール ライト（非機能性）
5. 後方カメラ ボタン
6. ワイパー（[ワイパーとウォッシャーを参照](#)）
7. 音声コマンド（[音声コマンド参照](#)）
8. 右側スクロール ホイール（[右側スクロール ホイール（オートパイロット）参照](#)）
9. ホーン（[クラクション参照](#)）
10. 左側スクロール ホイール（[左側スクロール ホイール（多機能）参照](#)）

スクロール ホイール

ハンドルの左側にあるスクロール ホイールは、ミラーの調整や音量コントロール、ワイパーの速度などの機能を制御します。右側スクロール ホイールは、オートステアリングの開始や最高速度制限などのオートパイロット機能を制御します。

左側スクロール ホイール（多機能）

モード	アクション	機能	詳細情報
ノーマル	押す	メディアの再生/一時停止	メディア
	左/右にチルト	次/前の曲	
	スクロール 上/下	音量調整	
ワイパー*	押す	速度の確定	ワイパーとウォッシャー
	左/右にチルト	ワイパー速度の選択	
多機能	長押し	機能の有効化/設定	左側スクロール ホイールのカスタマイズ
	左/右にチルト	ナビの実行リスト	
	スクロール	機能を選択	
電話	左/右にチルト	通話の承諾/拒否	電話アプリを使用する
	通話中、左にチルト	ミュート/ミュート解除	
	通話中、右にチルト	通話を終了	

*ハンドルにあるワイパー ボタンを最初に押して有効にします。

左側スクロール ホイールのカスタマイズ

機能へのクイックアクセスを作成するには「コントロール」>「ディスプレイ」>「スクロール ホイールの機能」の順にタッチして、リストから選択します。機能を選択すると、「毎回確認する」を選択しない限り、左側スクロール ボタンを長押しした時のデフォルト アクションが設定されます。

右側スクロール ホイール（オートパイロット）

モード	アクション	機能	詳細情報
シングル クリック*	押す	オートステアリングを有効にする	オートパイロット設定
	左/右にチルト	車間距離を調整する	
	スクロール 上/下	最高速度を調整する	
ダブル クリック*	押す	トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にする	
	2回押す	オートステアリングを有効にする	
	左/右にチルト	車間距離を調整する	
	スクロール	最高速度を調整する	

* オートパイロット機能を好みに合わせて有効にするには、「コントロール」>「オートパイロットの有効化」>「オートステアリングの有効化」>「シングル クリック/ダブル クリック」の順にタッチします。

両側のスクロール ホイール

モード	アクション	機能	詳細情報
ノーマル	両方を素早く押します	セコンド ギア シフター (P、R、N、D) を有効にします	オーバーヘッド コンソールを使用してシフトする

ハンドル

モード	アクション	機能	詳細情報
	両方を長押しします	タッチスクリーンを再起動します	タッチスクリーンの再起動

ヒーテッド ステアリング ホイール

ハンドルを温めるにはタッチスクリーンのファン アイコンにタッチして空調（[空調設定の調整参照](#)）を表示してから、ハンドル アイコンにタッチします。オンになると、輻射熱でハンドルを快適な温度に保ちます。

クラクション

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押し続けます。



外側ミラーの調整

「コントロール」>「ミラー」の順にタッチして、エクステリアミラーを調整します。ハンドルの左スクロールボタンを押して「左」と「右」のどちらのミラーを調整するのかを選択します。次に左スクロールボタンを以下のように使用して、選択したミラーを最適な位置に調整します。

- ミラーを上下に動かすには、左スクロールボタンを上下に動かしてください。
- ミラーを内側または外側に動かすには、左スクロールボタンを左右に押します。



車両をリバースにシフトすると、両方の外側ミラーを自動的に下向きに傾けることができます。他のドライブモードにシフトすると、ミラーの角度はまた通常の上方位置に戻ります。この機能のオンまたはオフを行うには、「コントロール」>「ミラー」>「ミラー角度自動調節」の順にタッチします。

注: 将来ソフトウェアをアップデートすると、「保存」ボタンによってそのミラー調整が保持されますが、現状通りには機能しません

夜間運転の際のまぶしさを減少させるため、リアビューミラーおよびサイドミラーは自動的に減光します。この機能を有効または無効にするには、「コントロール」>「ミラー」>「ミラー自動防眩」の順にタッチします。

この「ミラー自動防眩」機能は、販売地域および製造日によって利用できない場合があります。

注: どちらのミラーも、リア ウィンドウ デフロスターとあわせてオン/オフになるヒーターを備えています。

格納式ミラー

(狭い車庫やスペースの少ない場所に駐車する場合などに) ドアミラーを操作して格納および展開するには「コントロール」>「ミラーを格納/展開」の順にタッチします。

ミラーを操作して格納した場合、走行速度が **50 km/h** に達しない限り（または「コントロール」>「ミラーを展開」にタッチしてミラーを操作して展開しない限り）ミラーは格納されたままになります。

注: 走行速度が **50 km/h** を超えている場合、ミラーを格納することはできません。

降車して **Model 3** をロックしたときにミラーを自動的に格納するように設定するには、「コントロール」>「ミラー」>「ミラー自動格納」の順にタッチします。**Model 3** をロック解除するとミラーが自動的に展開します。

また、指定した場所に来るとミラーを自動的に格納するように設定することもでき、頻繁に訪れる場所でその都度操作して格納する必要がなくなります。この設定をするには、保存したい場所で停車（または **5 km/h** 未満で走行）し、ミラーを格納します。「ミラーを格納」コントロールの下にまもなく「場所を保存」が表示されます。ミラーがその位置で自動的に格納されないようにするには、もう一度タッチするか、「コントロール」でこのオプションを無効にします。

注: 保存済みの場所から離れる場合、走行速度が **50 km/h** に達するか、または、「コントロール」>「ミラーを展開」の順にタッチするまでミラーは格納されたままになります。

 **注意:** 保存した場所に戻り、**3 mph (5 km/h)** を超える速度で走行している場合、ミラーが自動的に格納されない場合があります。

注: ミラーの自動格納/展開は、いつでも（例えば **Model 3** に電力がない場合でも）ミラーアセンブリを奥へ押し込むと展開され、手前に引くと格納されて、無効にすることができます。

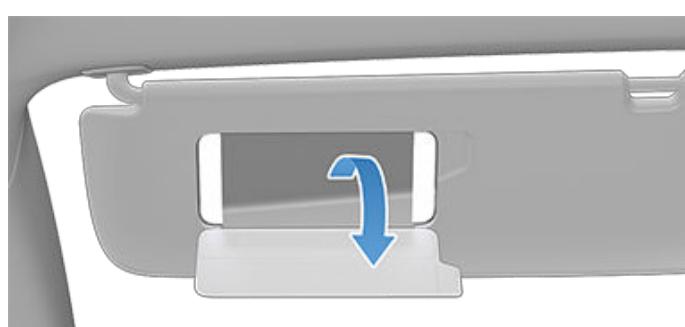
注: **Model 3** を駐車している間に着氷することが予測される場合は「ミラー自動格納」をオフにしてください。着氷により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。寒冷時にミラーを正しく作動させる方法については、**寒冷環境におけるベストプラクティス**を参照してください。

バックミラー

バックミラーを操作して調整します。ドライブまたはニュートラルにシフトされているとき、バックミラーは時刻に基づき低照明では周囲の明るさに合わせて自動的に暗くなります（夜間の走行時など）。

バニティミラー

バニティミラーを出して点灯させるには、サンバイザーを手前に折り畳み、タブを使用してミラーカバーを下ろします。ミラーカバーを閉じると、ライトが消灯します。



ギアシフト

タッチスクリーンを使用してシフトする

パーキング状態でブレーキペダルを踏み込むと、タッチスクリーンの片側にドライブモードストリップが表示されます。ドライブモードストリップを使用して **Model 3** をシフトする場合、ドライブにシフトするには、上にスワイプし、リバースにシフトするには、下にスワイプします。パーキングにシフトするには「P」に、ニュートラルにシフトするには「N」にタッチします。タッチスクリーンの端から助手席側に向けてスワイプするとドライブモードのストリップが表示されます。



注: ドライブからリバースにまたはその逆にシフトするには、走行速度を **8 km/h** よりも低速にする必要があります。

タッチスクリーンのドライブモードストリップには、常に「パーキング」と「ニュートラル」ボタンが表示されます。**8 km/h** 未満で走行しているときに、ブレーキペダルを踏みながら、ドライブモードストリップの「パーキング」ボタンにタッチすると、パーキングにシフトします。緊急事態に、**8 km/h** を超えて走行している場合、「パーキング」ボタンを長押しすると、パーキングブレーキがかかります。

手動でシフトする場合、タッチスクリーンの使用が推奨されます。ただし、万が一タッチスクリーンが使用できなくなった状況では、オーバーヘッドコンソールのドライブモードセレクターが自動的に作動し、ギアのシフトに使用されます（オーバーヘッドコンソールを使用してシフトするを参照）。

現在の走行速度では禁止されているシフトを試みると、タッチスクリーンにアラートが表示され、チャイムが鳴り、ドライブモードは変更されません。

オートシフト・アウトオブパーク

「オートシフト・アウトオブパーク」はベータ機能で、デフォルト設定ではオフになっています。

「オートシフト・アウトオブパーク」を有効にすると、**Model 3** はドライブまたはリバースを自動選択するようになります。運転席ドアが閉じられ、シートベルトを装着すると、タッチスクリーンに選択しているドライブモードが表示されます。

この選択を無効にすると、ブレーキペダルを踏みタッチスクリーンのドライブモードストリップを使用して、希望するドライブモード（ドライブ、リバース、パーキング（タッチスクリーンを使用してシフトするを参照））にシフトします。

ドライブモードの選択を確認し、タッチスクリーンの指示に従ったうえでアクセルを踏み込みます。

警告: いつもと変わらず、運転開始前には車両と周辺の人や物に注意します。**Model 3** のドライブモード自動選択に任せきりにせず、走行を開始する前には適切なドライブモードが選択されていることを必ず確認してください。

「オートシフト・アウトオブパーク」が使用できない場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

Model 3 以下の場合、自動的にドライブモードを選択します。

- オートシフト・アウトオブパーク利用不可。
- **Model 3** パーキングにシフトされている。
- 運転席のシートベルトが着用済みである。
- ブレーキペダルが踏み込まれている。
- すべてのドアとトランクが閉じている。
- オーバーヘッドコンソールのドライブモードセレクターが作動していない（オーバーヘッドコンソールを使用してシフトするを参照）。

注: **Model 3** 「バレーモード」ではドライブモードは自動選択されません。

オーバーヘッドコンソールを使用してシフトする

タッチスクリーン上で手動シフトする他に、オーバーヘッドコンソールにある「P」、「R」、「N」または「D」を押してもシフトすることができます。多くの場合、これらのボタンはどれか一つのボタンを押して作動させない限り使用できません。有効になっているときはそれぞれのボタンに該当するLEDが点灯し、「P」、「R」、「N」または「D」を選択すると該当するLEDがオレンジ色に点灯します。

タッチスクリーンが使用できない場合（例えば、技術的な問題）、または**Model 3** が「バレーモード」か「輸送モード」にある場合は、オーバーヘッドコンソールのドライブモードセレクターが自動的に作動するため、タッチする必要はありません。

注: ハンドルのスクロール ボタンを両方同時に短い間押しても、オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターをオンにできます。ただし、両方のボタンを押し続けるとドライブ モード セレクターが有効になるとと共にタッチスクリーンが再起動します（タッチスクリーンの再起動を参照）。

注: オーバーヘッド コンソールを使用してシフトするには、フロント トランクを閉じておく必要があります。



1. パーキング
2. リバース
3. ニュートラル
4. ドライブ

注: シフトのためにタッチスクリーンを使用することができて、オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターを手動で有効にした場合、10 秒以内にシフトしないとオーバーヘッド コンソールは自動的に無効になります。

駐車

Model 3 おおよそ時速 **2 km** 以下で走行中に、充電ケーブルを接続したとき、または以下の状況のうち **2 つ以上** に同時に該当する場合、自動的にパーキングに切り替わります。

- 運転席のシートベルトが外された場合。
- 運転席の乗員センサーが乗員を検知していない場合。
- 運転席側のドアが開いている場合。

手動でパーキングにシフトするには、ブレーキ ペダルを踏み、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップの「パーキング」ボタンにタッチします。タッチスクリーンを使用できない場合、オーバーヘッド コンソールにあるドライブ モード セレクターで「パーキング」を押してください。

8 km/h よりも高い車速でパーキング ブレーキをかけようとすると、緊急ブレーキになります（緊急ブレーキ操作を参照）。

注: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、センター コンソールまたはタッチスクリーンのドライブ レバーのパーキング ボタンを長押しして **Model 3** を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

注: パーキングを解除するにはブレーキ ペダルを踏みます。



注意: **Model 3** は、充電ケーブルが接続されている場合、または充電ポートを使用して充電ケーブルが差し込まれているかを判定することができない場合、パーキングからシフトすることができます。 **Model 3** がパーキングからシフトすることができない場合は、対処する方法に関する情報がないかタッチスクリーンを確認してください。



警告: ドライバーは自分で責任を持って、降車する前に必ず車両をパーキングに切り替えてください。**Model 3** を当てにしてパーキングに自動でシフトしようとしないでください。あらゆる環境で使用できるわけではありません。

ドライブ

ドライブに手動でシフトするためには、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップを上にスワイプするか、タッチスクリーンが使用できない場合はオーバーヘッド コンソールにあるドライブ モード セレクターで「D」を押します。ドライブへのシフトは **Model 3** が停止状態かまたはリバースに入った状態で、走行速度が時速 **8 km/h** 未満の場合にのみ行うことができます。

リバース

リバースに手動でシフトするためには、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップを下にスワイプするか、タッチスクリーンが使用できない場合はオーバーヘッド コンソールにあるドライブ モード セレクターで「R」を押します。リバースへのシフトは **Model 3** が停止状態かまたは走行速度が時速 **8 km/h** 未満の場合にのみ行うことができます。タッチスクリーンの上隅にある X にタッチすると、手動でパーキングアシスト ビューを終了できます。

ニュートラル

ブレーキを踏んでいないときにニュートラルに入れると、**Model 3** は自由に動ける状態になります。ニュートラルにシフトするには、以下のいずれかを実施してください。

- タッチスクリーンの端から助手席側にスワイプするとドライブ モード ストリップが表示されるので、ニュートラルを押します。
- オーバーヘッド コンソールのドライブ モード セレクターからニュートラルを選択します。

注: **Model 3** がおおよそ **8 km/h** より低速で走行中にニュートラル ポジションからシフトするには、ブレーキ ペダルを踏む必要があります。

Model 3 運転席ドアを開いて車両から降りると、輸送モードまたは洗車モードといったドライバー降車後もニュートラルのままであることを許可するモードに車両がある場合を除いて、自動的にパーキングにシフトします。

車両をニュートラルのままにする（輸送モード）

Model 3 停車して **Model 3** から降りると、自動的にパーキングブレーキがシフトされます。降車後も **Model 3** をニュートラルのままにしてホイールをフリーの状態にするには（平ボディトラックに載せる場合など）、輸送モードをオンにする必要があります。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキペダルを踏みます。
3. 「コントロール」>「サービス」>「けん引」にタッチします。タッチスクリーンには、**Model 3** の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. 青色に変わるまで輸送モードボタンを押し続けます。
Model 3 はブレーキが解除され、短い距離を押して動かす（歩行する速度以下）またはワインチで（平ボディトラックなどに）引き上げることができます。

輸送モードに関する情報については、[輸送モードの有効化](#)を参照してください。

注：輸送モードでは、**Model 3** のドライブモードへシフトしません。最初に輸送モードに再度タッチして輸送モードをキャンセルする必要があります。タッチスクリーンか、またはオーバーヘッドコンソールのドライブモードセレクターを使用してパーキングにシフトした場合、もしくは「コントロール」>「安全」>「パーキングブレーキ」にタッチして、パーキングブレーキを作動させた場合は、輸送モードはキャンセルされます。



ライトの調整

ライトを操作するには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ライト」にタッチします。

注: また、運転中にライト略称メニューにアクセスするには、ハンドルのハイビームボタンにタッチします。ライトメニューがタッチスクリーンに表示され、各種ヘッドライトコントロールにすばやくアクセスできます。

タッチスクリーンでコントロールできるライトに加え、**Model 3**には運転者の動作によって自動的にオン・オフするコンビニエンスライトがあります。例えば、**Model 3**をロック解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに、ルームライト、標識灯、テールランプ、パドルランプが点灯します。これらは**Model 3**をシフトまたはロックしてから1~2分後、自動的に消灯します。

エクステリアライト

エクステリアライト（ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト）は、**Model 3**の起動時に「自動」に設定されます。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際に「自動」設定に戻ります。

これらのオプションのどれかにタッチすると、エクステリアライトの設定が変更され、もう一度調整するか、次回運転するまでその設定を維持します。

OFF エクステリアライトは消灯します。走行すると、各販売地域の法律に応じて、デイタイムランニングライトが点灯したままになる場合があります。

パーキングランプ、側面標識灯、テールランプ、ナンバープレートランプが点灯します。

ロービームヘッドライト、側面標識灯、パーキングライト、ライセンスプレートナンバーが点灯します。

! 注意: 視認性が良好でない条件下（例えば暗い場所、霧、雪、あるいは道がぬれているなど）では、ヘッドライトおよびリアライトを必ずオンにしてください。デイタイムランニングライトがオンになっている間は、後部テールライトがオフになります。確認を怠ると、損傷や深刻な大けがにつながる可能性があります。

ドームライト

ルームライト（マップ）をオンまたはオフにします。「自動」に設定すると、応援される**Model 3**のロックを解除したとき、これまで同様にドアを開けたとき、またはパーキングにシフトしたときに、すべてのルームライトが点灯します。

ルームライトのレンズを押すと、それぞれのルームライトをオン/オフすることができます。ルームライトをオンにすると、**Model 3**の電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手動でライトを点灯させたとき、すでに**Model 3**の電源がオフになっていた場合、ライトは60分後に消灯します。



アクセントライト

車両のキャビンに並んでいるアクセントライトを有効または無効にし、好みに合わせてアクセントライトの色をカスタマイズします（装備されている場合）。足元スペースライトも、オンまたはオフにすることができます。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に**Model 3**を停めて駐車すると、エクステリアライトは一時的に点灯し続けます。1分後または**Model 3**をロックした時点のどちらか早い時点で、ヘッドライトは自動的に消灯します。

注: Tesla モバイルアプリを使用して**Model 3**をロックすると、ヘッドライトがただちに消灯します。ただし、降車後オートロックが有効になっているために車両がロックされた場合（を参照）、ヘッドライトは1分後に自動的に消灯します。

この機能のオンオフを切り替えるには、「コントロール」>「ライト」>「降車後ヘッドライト」にタッチします。「降車後のヘッドライト」がオフになっていると、パーキングにシフトしてドアを開けるとヘッドライトがすぐに消灯します。

ハイビームヘッドライト

ヘッドライトをコントロールするにはハンドルの左側にあるハイビームヘッドライトボタンを使用します。

- 押してすぐに離すと、ハイビームヘッドライトが点滅します。
- 長押しするとハイビームヘッドライトが点灯します。タッチスクリーンには短時間のタイマーが表示されるので、このタイマーの時間押したままにして、ハイビームヘッドライトをオンに位置に切り替えます。ヘッドライトが点灯したら、もう一度このボタンを押すとヘッドライトが消灯します。



オート ハイビーム（装備されている場合）

ヘッドライトがハイビームの時、**Model 3** の前方にライトが検知されると（例えば対向車など）自動的にロービームに切り替えます。この機能のオン、オフ切り替えを行うには、「コントロール」>「ライト」>「オートハイビーム」の順にタップします。選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

注: ハンドルの左側のハイビーム ヘッドライト ボタンにタップするか、または押し込むと、タッチスクリーンにライト略称メニューが表示され、ヘッドライト、フォグランプ（装備車の場合）、「オートハイビーム」設定をすばやく制御できるようになります。タッチスクリーンを使用して、このメニューからオプションを選択します。

注: オートハイビームはオートステアリングが有効になると自動的に有効になります。ロービームに切り替えるには、ハンドルのハイビームボタンを押します。オートステアリングを有効にすると、そのたびにオートハイビームが再び有効になります。

ヘッドライトの状態を示すために、タッチスクリーンに、以下のようにしてヘッドライトの状態が表示されます。

ロー ビーム ヘッドライトが点灯しています。



ハイビーム ヘッドライトが点灯しています。
「オートハイビーム」設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または「オートハイビーム」設定がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。

ハイビームが現在オンになっており、**Model 3** の前方に光を検知した場合には、「オートハイビーム」はハイビームをオフにする準備ができています。



「オートハイビーム」が作動していて、**Model 3** の前方に光が検知されたため、一時的にハイビームがオフになっています。光が検知されなくなるとハイビーム ヘッドライトは自動的にオンに戻ります。

 警告: オートハイビームは利便性のためのものに過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて常に適切にヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

ヘッドライトの調整

ヘッドライトの角度を調整するには、「コントロール」>「サービス」>「ヘッドライトの調整」の順にタッチし、スクリーンに指示に従ってください。タッチスクリーンから調節したいヘッドライトを選択します。

注: ヘッドライトは、通行車線が異なる地域で一時的に走行している場合（例えば、右側通行地域で運転しており、次に、左側通行地域を走る場合）、調節は必要ありません。

 警告: ヘッドライトを調整するときは慎重に行ってください。Teslaは、ほとんどの運転状況で最適となるようヘッドライトの位置を慎重に調整しています。このため、ヘッドライトの調整方法を熟知していない限り、ヘッドライトを調整しないでください。一度調整すると、元の位置に復元することができませんのでご注意ください。ヘッドライトを調整する場合は、Teslaまでご連絡ください。

ウィンカー

ウィンカーを作動させるには、ハンドルの左側にある対応する矢印ボタンを押します。ウィンカーはハンドルの角度に基づいて解除されます（例えば旋回を終えた場合）。ウィンカーを解除するには、もう一度ウィンカー ボタンを押します。

「コントロール」>「ライト」>「自動ウィンカー」が「自動 キャンセル」に設定されている場合、**Model 3** が、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の完了を検出したとき、ウィンカーが自動的にキャンセルされます。この自動解除機能はいつでも無効にすることができます（複数車線にわたって車線変更しているのでウィンカーを点灯したままにしたい場合など）。無効にするには、ウィンカー ボタンを少し長く押し続けることによりウィンカーを作動させます。その後、最初の動作が完了したとき、ウィンカーはオンのまになります。自動ウィンカーが「オフ」に設定されている場合は、合流、車線変更、車道の分岐などの操作の後にウィンカー ボタンを押して、手動でウィンカーをキャンセルする必要があります。

ヘッドライトまたはテールライト内の水分

天候の変化、湿度レベル、または水の浸入（洗車など）により、車両のヘッドライトやテールライトに水分がたまることがあります。これは正常なことであり、暖かくなったり、湿度が減少すると、ほとんどの場合、水分は自然になくなります。エクステリアレンズに水がたまっていることに気付いた場合や、水分がエクステリアライトの視認性に影響を与えている場合は、Tesla サービスにお問い合わせください。



WINC
DO NOT DOCUMENT DISTRIBUTE

ウィンカー作動中は、タッチスクリーンの該当するインジケーター ライトが点滅し、カチカチという音が鳴ります。



ハザード

ハザードランプを点滅するには、頭上中央のドライブ モード セレクターのボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。



注: ハザードランプはキーが近くになくても動作します。

† ワイパーとウォッシャー

ワイパーとウォッシャー

ワイパー設定にアクセスするには、ハンドルのワイパー ボタンにタッチするか、または「コントロール」>「ワイパー」にタッチします。

フロント ガラスをワイパーで拭くには、ハンドルのワイパー ボタンを押します。

ワイパー ボタンを押し続けると、フロント ガラスにウォッシャー液が吹き付けられます。ボタンから手を離した後、ワイパーはさらに**2**回動作し、車両および環境的な条件によっては、その後数秒おいてから**3**回目の動作を行います。ワイパー ボタンを押し続けても、ウォッシャー液を連続して吹き付けることができます。ボタンから手を離すとワイパーが作動します。

ハンドルのワイパー ボタンを押すと、タッチスクリーンにワイパー メニューが表示され、ワイパーの設定を調整することができます。ハンドルの左スクロールボタンを右または左に押して、希望する設定を選択します。



1. ワイパーをオフにします。

2. 次からワイパーの作動設定を選択します。

- 「自動」 - **Model 3** 雨が降っているかどうかを検出します。フロント ガラスに水滴を検出すると、**Model 3** はワイパーの理想的な作動頻度を判断します。**Model 3** がフロント ガラスに水滴を検出しない場合、ワイパーは作動しません。

注: オートステアリングおよびトラフィックアウェイ クルーズコントロールではワイパーを「自動」に設定する必要があります。この設定は自動で、変更はできません。

注: 現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

- I - 間欠、低速
- II - 間欠、高速
- III - 連続、低速
- IIII - 連続、高速

注: 「自動」を選択しているときにフロント ガラスの雨滴検出ができなくなると、ワイパーは最後に使用した手動設定に戻ります。手動設定が不明の場合、ワイパーはオフになります。

注: 音声コマンドを使用してもフロント ガラス ワイパーの速度と作動間隔を調整することができます ([音声コマンド](#) を参照)。

⚠ 注意: ワイパーの損傷を防ぐため、**Model 3** を洗車する際はワイパーを「自動」に設定したままにしないでください。

ワイパープレードのエッジを定期的にチェックし、きれいに清掃してください。ブレードが損傷している場合は、すぐに交換してください。ワイパープレードの点検と交換についての詳細は、[フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液](#) を参照してください。

⚠ 注意: ボンネットの損傷を避けるため、ワイパーを作動させる前に、ボンネットが完全に閉じていることを確認してください。

⚠ 注意: フロントガラスに氷がついている場合は、氷を取り除いてからワイパーを作動させてください。氷の角が尖っていてワイパープレードのゴムを傷める可能性があります。

⚠ 注意: 厳しい寒冷下では、ワイパープレードが凍結したり、フロントガラスに張り付いていないことを確認してください。



ブレーキシステム

! 警告: ブレーキ システムは安全にかかるため正常に機能することが非常に重要です。Model 3 ブレーキング システムのブレーキペダル、ブレーキ キャリパー、またはその他のコンポーネントで何か問題を感じた場合は、直ぐに Tesla までご連絡ください。

Model 3 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロック ブレーキ システム (**ABS**) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は **ABS** が常に各ホイールの速度をモニタし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキ ペダルから振動が伝わります。これは **ABS** が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキ ペダルを一定の圧力でしっかりと踏み続けてください。



Model 3 を最初にスタートさせると、最初に **ABS** インジケーターが「タッチスクリーン」上で短く黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは **ABS** に故障が発生しており、**ABS** は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。**ABS** が故障していても、ブレーキ システムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなることがあります。慎重に運転し、急ブレーキは避けてください。



Model 3 をスタートさせると最初に「タッチスクリーン」にこの赤いブレーキインジケーターが表示された場合（短く表示されるもの以外）には常に、ブレーキ システムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。ただちに Tesla にご連絡ください。一定の圧力でしっかりとブレーキをかけ、安全な場所に車両を停車させます。



ブレーキ ブースターの故障が検出されると、タッチスクリーンに黄色のブレーキ インジケーターが表示されます。安全が確認できたら、ブレーキを一定の力で長押しして車両を停車させます。油圧ブースト補正が起動します（[油圧ブースト補正](#) を参照）。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキ ペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。**ABS** は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

別の手段を使用して車両を停止させる必要がある場合は、タッチスクリーンのドライブ モード ストリップにあるパーキング ボタンを長押しして、ブレーキをかけ、ボタンを押したままにして駆動トルクを取ります。タッチスクリーンの端から助手席側にスワイプすると、ドライブ モード ストリップが表示されます。



警告: ブレーキ ペダルを軽く何度も踏むポンピングはしないでください。ポンピングは **ABS** の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。



警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。**ABS** は制動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。**ABS** はハイドロブレーニング現象（水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象）の危険を防ぐこともできません。



注意: 衝突の危険が差し迫っている状況では、自動緊急ブレーキ（[衝突回避アシスト](#) 参照）は自動的にブレーキをかけることがあります。自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。



注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、オーバーヘッド コンソールまたはタッチスクリーンのパーキング ボタンを長押しして **Model 3** を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

ダイナミック ブレーキ ライト（装備されている場合）

時速 **50 km** 以上で走行している時に急ブレーキをかけた場合（または、自動緊急ブレーキが作動した場合）、ブレーキライトが短い間隔で点滅し、他のドライバーに **Model 3** が急に減速していることを警告します。**Model 3** が完全に停止すると、ハザードランプが点滅します。アクセルを踏むか、ハザードライトのボタンを押すまで、ライトが点滅し続けます（[ハザード](#) 参照）。

注: トレーラーをけん引する場合は（該当する場合）、独立したブレーキ装置がトレーラーになくとも、トレーラーのブレーキ ライトも前述のように動作します。



警告: トレーラーをけん引する場合は（該当する場合）、必ず車間距離を十分にあけてください。急ブレーキを踏むと、横滑り、ジャックナイフ、およびコントロールの損失につながる場合があります。

ブレーキディスク ワイピング

寒冷気候や雨天でもブレーキを確実に制動させるために、**Model 3** にはブレーキ ディスク ワイピング機能が搭載されています。寒冷気候や雨天を検知すると、この機能はごくわずかな制動力を繰り返しかけて、ブレーキ ディスク 表面から水分を取り除きます。

油圧フェード補正

Model 3 油圧フェード補正も搭載しています。これは、ブレーキ圧と **ABS** 動作でブレーキ性能の低下がないかを監視するのに役立ちます。ブレーキ性能の低下が検出されると（ブレーキがフェードしたり、寒冷時や雨天時など）、ノイズが聞こえたり、ブレーキ ペダルが足から離れるような感触があつたり、ブレーキ圧力が大幅にアップしたと感じることができます。ブレ



ブレーキと停車

一キは通常どおりに使用します。ブレーキ ペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキを踏み続けます。

! 注意: 緊急時にブレーキが正常に機能しない場合、オーバーヘッド コンソールまたはタッチスクリーンのパーキング ボタンを長押しして **Model 3** を停車させてください。必要時以外は、この方法で車両を停車させないでください。

! 警告: 運転状況に危険が増している場合は、常に前方の車両との間に安全な車間距離を保ち、注意を払ってください。ブレーキ ディスク ワイピングおよび油圧フェード補正を使用中であっても、必ず適切な圧力をブレーキに付加してください。

油圧ブースト補正

Model 3 ブレーキ ペダルを踏んだときにブレーキを動作させるブレーキ ブースターを搭載しています。油圧ブースト補正には、ブレーキ ブースター故障時に機械動作面で支援する機能があります。ブレーキ ブースターの故障が検出されると、ブレーキ ペダルの踏み込みが固くなったように感じられ、ブレーキ ペダルを踏んだときにノイズが聞こえます。**Model 3** を停車させるには、ブレーキ ペダルから足を離したり、「ポンピング」したりすることなく、ブレーキ ペダルを一定の力で踏みます。ほかの車両や歩行者とは安全な距離を確保し、慎重に運転します。ブレーキ ペダルの反応性の劣化があり得ます。

回生ブレーキ

Model 3 の走行中に、運転者の足がアクセルペダル離れていると、回生ブレーキによって車両は減速し、余剰電力をバッテリーに戻します。停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。

回生ブレーキによる車両の減速は、バッテリーの現在の状態に応じて異なる場合があります。例えば、バッテリーが冷えている場合や既に完全に充電されている場合、回生ブレーキが制限される場合があります。

パワー メーター（タッチスクリーンの車のスタートス エリアの上を中心とした細い水平線）は電力使用量をリアルタイムで表示します。



1. パワー メーターの左側は、回生ブレーキによって発生した電力、または車両を減速するために使用された電力を示します。バッテリーに戻されている電力は緑色で表示され、通常のブレーキ システムで使用される電力は灰色で表示されます。
2. パワー メーターの右側は、バッテリーから出力される電力を示しており、車両の加速やキャビンの冷却などに使用されます。アクセルペダルを踏むと、パワーメーターは黒で（もしくは表示が暗い場合は白で）右に伸びていきます。

注: ディスプレイが暗い場合、視認性を確保するために、この灰色で表示される電力は白色で表示されます。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計されており、タイヤ交換の後、直線加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要がある場合があります。「サービス」 > 「ホイールとタイヤ」 > 「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

注: **Model 3** が回生ブレーキで減速されると（高速走行中に足をアクセルペダルから完全に離すなど）、ブレーキランプが点灯して、後続の人たちに車両が減速していることを知らせます。

注: **Model 3** は回生ブレーキを使用しているので、このブレーキ パッドは一般的に、従来のブレーキ システムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、**Tesla** ではブレーキ ペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキ パッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

! 警告: 積雪時やまたは凍結した道路状況では、**Model 3** のトラクションが失われる場合があります。低設定を使用することを推奨しています。低設定を使用することを推奨しています。

! 警告: 車両に頼って、車両を適切に減速させたり、完全に停車させたりにしないでください。下り坂や回生ブレーキの低減や制限などの様々な要因により、停止距離が伸びる可能性があります（回生ブレーキ参照）。必ず、ブレーキペダルを踏んで十分に減速したり停止させたりできるように準備をしておいてください。

! 警告: 安全でないときに **Model 3** が動く場合、ブレーキ ペダルを踏んでください。常に路上に注意を払い、車両を制御することはドライバーの責任です。巻き込み確認を怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

! 警告: 回生ブレーキに頼って、ドライバーや車両を安全に保とうとしないでください。重い荷重がある場合の走行、急な坂道の走行、濡れた道路や凍った道路の走行などの様々な要因が、減速の程度や **Model 3** が停車するまでの距離に影響します。十分に注意を払って運転し、必ず、交通状況や道路状況に合わせて適切にブレーキペダルを踏んで停車させられるよう準備をしておいてください。

! 警告: 非常に遅い速度で走行しているときには、正面衝突警告および自動緊急ブレーキは作動しません（衝突回避アシスト 参照）。これらの機能が常に警告してくれるあるいは衝突の衝撃を回避または低減してくれるわけではないことをご認識ください。

パーキング ブレーキ

パーキングブレーキをかけるには、「コントロール」 > 「安全」 > 「パーキングブレーキ」の順にタッチします。画面上の指示に従います。



手動でパーキング ブレーキを解除するには、タッチスクリーンを使用します（パーキング ブレーキが解除されると、**Model 3** はニュートラルにシフトされます）。

1. 「コントロール」 > 「安全」の順にタッチします。
2. ブレーキ ペダルを踏み、「パーキングブレーキ」にタッチします。**Model 3** がパーキングになっていた場合は、ニュートラルにシフトします。



タッチスクリーンを使用して、手動でパーキング ブレーキをかけた場合、タッチスクリーンの赤色のパーキングブレーキ インジケーターが点灯します。



パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、「タッチスクリーン」に黄色のパーキングブレーキインジケーターが点灯し、不具合発生のメッセージが表示されます。

注: パーキング ブレーキは後輪のみに作用し、ペダル ブレーキシステムからは独立しています。

! 注意: 万一、**Model 3** の電力が失われると、タッチスクリーンにアクセスできなくなるため、ジャンプスタートしないと（[ジャンプスタート](#)を参照）、パーキングブレーキを解除することはできません。

! 警告: 積雪や凍結した場所では、特に冬用タイヤを装着していない場合、勾配のある路面で **Model 3** がスリップするのを防ぐための十分なトラクションが後輪で得られない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

! 警告: 駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキングブレーキが適切に作動していない場合、**Model 3** にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代わりに行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみに頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

ブレーキの摩耗

Model 3 ブレーキ パッドはウェア インジケーターを備えています。ウェア インジケーターは、ブレーキ パッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキ パッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキ パッドを交換するには、[Tesla](#) サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターとブレーキ パッドの詳細な仕様と整備期限については、[サブシステム](#)を参照してください。さらに、[Tesla](#) では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または **20,000 km** 走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。



警告: 摩耗したブレーキ パッドを交換しないと、ブレーキ システムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

パーキングアシスト

パーキングアシストの動作原理

この機能は、**2023年10月**頃に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限されたり、無効になる場合があります。

Model 3には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ドライブまたはリバースでゆっくり動いているときに（駐車時など）、**Model 3**の近くに物体が検出されると、車両が警告を発します。選択した方向にある物体、すなわちドライブであれば前方、リバースであれば後方の物体だけを検知します。

⚠️ 警告: 反対方向に **Model 3** が勝手に動き出した場合に警告されないことがあります（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに **Model 3** が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。

8 km 未満で運転すると、パーキングアシストが作動します。

⚠️ 警告: 近づいている場所に物体があつたり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になつたり読み取りエラーが生じる場合があります（**制約と誤警告**を参照）。したがって、**Model 3** が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストは子ども、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、センサー（装備されている場合）またはカメラのすぐ近くもしくは離れたところにある物体、または、センサーまたはカメラのはるか上または下にある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、タッチパネルの左側にパーキングアシストビューが現れ、**Model 3** の前後の直近位置に存在する物体を表示します。**Model 3** の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトし、速度が 時速 **8 km** を超えると、自動的にパーキングアシストビューが終了します。リバース時は、タッチスクリーンにも視覚的なフィードバックが表示されます。（**リアビュー カメラ**参照）。Xにタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラアプリを表示し、時速 **8 km** 以下で運転している場合、パーキングアシストビューに切り替えることができます。カメラアプリ画面の左上にあるボタンをタッチします。縦列駐車の援助が必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（**チャイムによるフィードバックの調整**を参照）、物体に近づいたときにビープ音が鳴ります。

注: パーキングアシストがフィードバックを提供できない場合は、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

⚠️ 注意: センサー（装備されていれば）およびカメラを汚れ、異物、雪および氷のない状態に維持してください。高圧洗浄機をセンサーおよびカメラに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でセンサーおよびカメラをクリーニングしないでください。

⚠️ 注意: センサー（装備されていれば）およびカメラの近くにアクセサリーやステッカーを取り付けないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「パーキングアシスト チャイム」の順にタッチします。

制約と誤警告

以下の場合、パーキングアシストが正常に機能していない可能性があります。

- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
 - 物体がおよそ **20 cm** 下方にある場合（縁石や低い柵など）。
- ⚠️ 注意:** 高さがない物体（縁石や低障壁など）が死角に入ることがあります。**Model 3** 物体が死角にある間は、その物体について警告することはできません。
- 気象状態（豪雨、雪、または霧）。
 - 物体が薄い場合（道路標識など）。
 - パーキングアシストの動作範囲を超えている場合。
 - 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合（粉雪など）。
 - 物体が傾斜している場合（傾斜している土手など）。
 - Model 3** 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
 - センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
 - センサー（装備されている場合）の音波が車両に反射するような場所（壁や柱のすぐ横など）を走行している場合。
 - 物体がバンパーに近すぎる場合。
 - バンパーがずれている場合または損傷している場合。
 - Model 3** に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がパーキングアシストを妨害または遮蔽している場合。
 - Model 3** が選択したのとは反対方向に勝手に動き出す場合（たとえば、上り坂でドライブにシフトしているときに **Model 3** が後退しても、パーキングアシストからは警告が表示されません）。



その他のパーキング補助装置

パーキング アシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップカメラに **Model 3** の周囲の映像が表示されます ([リアビュー カメラ](#)を参照)。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



オートブレーキ ホールド

Model 3 が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。



このインジケーターは、**Model 3** のオートブレーキホールドが作動しているときは常にタッチスクリーンに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセル ペダルを踏むか、ブレーキ ペダルを踏んで離します。

注: ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されま

す。
注: 走行用のギアに入れたまま、**Model 3** のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、**Model 3** はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。 **Model 3** また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

動作の仕組み

トラクション コントロール システムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model 3 のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクション コントロール システムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



トラクション コントロール システムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「タッチスクリーン」上のこの黄色いインジケーターが常に点滅しています。トラクション コントロール システムに異常が検出されると、このインジケーターが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

⚠ 警告: トラクション コントロール システムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。スリップスタートは任意の速度で有効にすることができますが、高速走行時は有効性が低くなります。

通常時には、スリップスタートを有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたい次のような場合にのみ有効にしてください。

- ・積雪路面や砂利道での発進。
- ・深雪や砂、泥道での走行。
- ・穴や深い轍からの脱出。

ホイールを回転させるには、「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「スリップスタート」にタッチします。



タッチスクリーンにスリップスタートが有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

スリップスタートは次回 Model 3 を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

注: クルーズコントロールを使用しているときは、スリップスタートを無効にすることはできません。



加速モード

「コントロール」 > 「ペダル&ハンドル」 > 「加速」の順にタッチして、走行中に体感する加速の量を調整します。Model 3

- チル：加速が制限され。快適な乗り心地でゆったりと運転することができます

注：チルが選択されると、タッチスクリーンに表示される運転速度の上に「チル」と表示されます。

- 標準：通常レベルの加速を提供します。

選択した加速モードを下げることで、キャビン暖房の効率を改善することができます。これにより、ピーク加速性能を提供するためのバッテリーの能力を維持する代わりに、ヒートポンプシステムがバッテリーからより多くの熱を奪うことで、キャビンを効率的に暖房することができます。これは寒冷気象時における走行効率を最大限にするために役立ちます。その後に加速モードのレベルを上げる場合、増加した加速レベルが得られるまでにバッテリーを温めるための時間が必要になることに注意してください。

運転席シート、ハンドルポジション、またはドアミラーの調整を初めて行う際は、これらの調整を保存するためのドライバープロフィールを作成することを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。ドライバープロフィールでは、**Model 3**をカスタマイズする際に実施したさまざまな設定の保存もします。

プロフィール設定をクラウドに保存し、複数の**Tesla**車でアクセスするには**Tesla**プロフィールをセットアップします (**Tesla**プロフィールの使用参照)



新しいドライバー プロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバー プロフィールアイコンをタッチします。「ドライバープロフィールの設定」>「ドライバーを追加」をタッチして、ドライバーの名前を入力し、「プロフィールを作成」をタッチします。画面の指示に従い、ドライバー プロフィールにミラーおよびハンドル位置を保存します。ドライバーに合わせて運転席とハンドルを自動的に調整して**Model 3**への出入りをより便利にするイージーエントリー設定を保存（または既存のものを使用）する場合は、「イージーエントリーを使用」チェックボックスにチェックを入れます。

ドライバー プロフィールの保存または選択後、運転席シート、ハンドル、またはサイドミラーの位置を変更すると、新しい位置を保存するか、または前回保存した位置へ戻すことを促すメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

ドライバーのプロフィールを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバー プロフィールのアイコンをタッチし、「ドライバーのプロフィール設定」をタッチして、削除するドライバー プロフィールを選択します。選択すると、ドライバーのプロファイルを「削除」するオプションがあります。

注: バレーモードは、速度制限および**Model 3**の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトイン ドライバー プロフィールです（[バレーモード](#)を参照）。

注: ドライバー プロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバーのプロフィールのドロップダウンメニューにある「停止」をタッチします。手動でシート、ミラー、ハンドルを調整すると、自動調整も停止します。

ドライバー プロフィールの選択



ドライバー プロフィールに従って**Model 3**を調整するには、「コントロール」スクリーン最上部にあるドライバー プロフィールアイコンにタッチします。続いてドライバーを選択すると、そのドライバー プロフィールで保存されている設定に合わせて**Model 3**が調整されます。クラウドにプロフィール設定を保存して複数の**Tesla**車に簡単にアクセスできるように方法について詳しくは、[Tesla](#)プロフィールの使用を参照してください。

注: 希望されたトップモード設定はドライバーのプロフィールに同期していません。詳細な情報は、[#unique_260](#)を参照してください。

Tesla プロフィールの使用

シート調整、温度設定、ナビの最近の履歴やお気に入り、メディア設定およびデータ共有設定といったドライバーのプロフィール設定を**Tesla**プロフィールに保存し、**Tesla**アカウントでサポートされている車両で同期させることができます。これにより、サポートされているすべての**Tesla**車で、プロフィール設定に簡単にアクセスすることができます。

Teslaプロフィールをセットアップするには「ドライバーのプロフィール設定」に移動して**Tesla**アカウント名を選択します。新しいプロフィールとしてセットアップするか、以前に使用していた既存のドライバーのプロフィールから設定をコピーすることができます。

追加のドライバーに対して**Tesla**プロフィールをセットアップするには、モバイルアプリから車両をドライバーたちと共にし、「セキュリティとドライバー」>「ドライバーの管理」>「ドライバーの追加」の順に移動します。追加ドライバーの**Tesla**アカウントからの招待を受け入れると、ドライバーのプロフィール設定に**Tesla**プロフィールが表示されます。車両へのアクセス権を削除すると、**Tesla**プロフィールも削除されます。モバイルアプリのアクセス権付与に関する詳細については、[2人目のドライバーへのアクセス許可](#)を参照してください。さらに、**Tesla**モバイルアプリからプロフィールの写真を変更することができます。

注: シート、ミラー、ハンドルおよび通気口の位置といった一部の車両設定は、同じ車両モデル間でしか同期しません。シートやステアリングの位置が、期待するようには元に戻らない場合、該当する車両で「コントロール」>「サービス」>「シートおよびステアリングのキャリブレーション」の順にタッチします。

注: **Tesla**プロフィールは、ソフトウェアバージョン **2022.24**以降を搭載する車両でサポートされています。

車両から**Tesla**プロフィールを削除するには、次のようにしてその車両を**Tesla**アカウントから削除します。

1. **Tesla**モバイルアプリで右上隅のプロフィールアイコンにタッチします。
2. 製品を追加/削除にタッチします。
3. 削除にタッチします。
4. 削除する車両を選択します。

保存されている設定

Model 3をカスタマイズするために指定した設定の一部は、ドライバー プロフィールに自動的に保存されます。保存されると、タッチスクリーンのドライバー プロフィールアイコンの隣に緑色のチェックマークが表示されます。自動的に保存されるドライバー プロフィールの例としては、

- ナビゲーション、温度、ライトおよびディスプレイ設定があります。
- オートパイロットおよびドライブの好み。

ドライバープロフィール

ドライバー プロフィールとキーのリンク

ドライバープロフィールを特定のキーにリンクさせて、そのキーを持って車両に近づき運転席側ドアを開くと **Model 3** が正しいドライバープロフィールを自動的に選択できるようになります。ドライバーのプロフィールをキーにリンクさせるには、最初に必ずリンクを希望するドライバープロフィールを使用していることを確認してから、「コントロール」>「ロック」>「キー」の順にタッチします。ドライバー アイコンを切り替えると、キーのドライバープロフィールをリンクまたはリンク解除できます。リンクされると、キーの下にドライバープロフィール名が表示されます。

注: **Model 3** 最大 10 件のドライバーのプロフィールをサポートします。ドライバープロフィールに複数のキーをリンクさせることができますが、1つのキーに複数のドライバープロフィールをリンクさせることはできません。

イージーエントリー

イージーエントリー設定を定義すると、**Model 3** への出入りを容易にするようにハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージーエントリー設定がドライバーのプロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトして、運転席シートベルトが外されたときに、ハンドルと運転席が自動的に調整され、**Model 3** からの降車が楽になります。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキーに基づく）設定を使用します。

ドライバーのプロフィールでイージーエントリーを使用するには、「イージーエントリーを使用」ボックスにチェックが入っていることを確認してください。

⚠ 警告: 運転席の後ろの後列シートにチャイルドシートを取り付けているときには、運転席を自動で最後位置に動かすために「イージーエントリー」を使用しないでください。後列座席との間隔が狭くなると、運転席を動かしたときにお子さまの足に当たってしまったり、チャイルドシートを押し除けてしまう場合があります。

バレーモード

Model 3 がバレーモードになっているときは、次の制限が適用されます。

- **Model 3** にアクセスして運転するためには、キー カードを使用する必要があります
- 速度は **113 km/h** 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されます。
- フロントトランクとグローブボックスはロックされます。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーションシステムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。
- オートパイロットの便利な機能が無効になります。

- 「モバイル アクセスを許可」設定は変更できません。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。
- **Toybox** や **Theater** などの一部のアプリは利用できません。
- **Model 3** にアクセスできるキーのリストはタッチスクリーンに表示されません（[キーの管理](#)を参照）。
- **Wi-Fi** と **Bluetooth** が無効になります。**Model 3** がバーレーモードにあるときは、新しい **Bluetooth** 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。しかし通信エリア内に **Bluetooth** でペアリングした機器または既知の **Wi-Fi** ネットワークがある場合は、**Model 3** は接続を行ないます。

バレーモードの開始

Model 3 をパーキングにして、「コントロール」スクリーン最上部にあるドライバープロフィール アイコンにタッチしてから、「バレーモード」にタッチします。

バレーモードを初めて使用する場合は、バレーモードをキャンセルするときに使用する 4 衔の暗証番号を作成するようにタッチスクリーンから求められます。

バレーモードが動作している場合、タッチスクリーン上に「バー」の文字が表示され、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールが「バレーモード」に変わります。

また、モバイル アプリを使って、バレー モードを開始またはキャンセルすることもできます（**Model 3** のギアがパーキングに入っている必要があります）。モバイル アプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに **Tesla** アカウント認証情報を使ってログインしているので、**PIN** を入力する必要はありません。

注: 「ドライブ用 PIN」の設定がオンになっている場合（[ドライブ用 PIN](#) を参照）、ドライブ **PIN** を入力しないとバレー **PIN** を定義または入力できるようになります。バレーモードになると、**Model 3** は、ドライブ用 **PIN** の入力なしに車両を運転することが可能になります。

注: 「ドライブ用 PIN」の設定は、バレーモードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、**Model 3** 内で **Tesla** アカウント認証情報を入力するとリセットできます（バレーモードもキャンセルされます）。モバイル アプリを使って **PIN** をリセットすることもできます。

バレーモードのキャンセル

Model 3 をパーキングにして、「コントロール」スクリーン最上部にあるドライバープロフィール アイコンにタッチしてから、「バレーモード」にタッチして 4 衎の **PIN** を入力します。

バレーモードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバープロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。

注: バレーモードをキャンセルするにはモバイル アプリから **PIN** を入力する必要はありません。



アクティブボンネットの仕組み

Model 3 正面衝突した歩行者や自転車走行者の頭部の負傷を軽減するアクティブボンネットを使用した歩行者保護システムを備えています。車両の前部にある複数のセンサーは、**Model 3** が **30~52 km/h** で走行しているときに、歩行者との衝突を検出すると、ボンネット後部を **80 mm** 持ち上げるように設計されています。これにより、ボンネットとその下にあるコンポーネントとの間のスペースが広がり、負傷の可能性を減らします。

注: 歩行者保護システムは、アクティブボンネットの作動タイミングを決めるよう設計および調整された一連のセンサーとアルゴリズムを使用していますが、歩行者との衝突事故で必ず作動するとは限りません。同様に、アクティブボンネットは **Model 3** が動物や車両あるいは物体に衝突したときに展開する場合もあります。



アクティブボンネットが作動したときは、タッチスクリーンに警告が表示され、チャイムが鳴ります。直ちに最寄りの **Tesla** サービスセンターまたは **Tesla** 認定ボディショップまで **Model 3** を持ち込んでください。アクティブボンネットが作動した場合は、その都度アクティブ ボンネットの関連センサーおよびアクチュエーターを整備する必要があります。

⚠️ 警告: アクティブボンネットが作動すると、アクティブボンネットが上昇し、ドライバーの視界を遮るために衝突を起こす原因となる恐れがあります。安全に走行できる場合は、**Model 3** を最寄りの **Tesla** サービスセンターまたは **Tesla** 認定ボディショップまで車を持ち込んでください。安全に走行できない（持ち上がったボンネットで視界が遮られたり、ボンネットのハッチが損傷していたりなど）場合、車両を輸送する必要があります。

⚠️ 警告: アクティブボンネットが作動していないときに作動したことを示す警告がタッチスクリーンに表示されるときは、ただちに **Model 3** を最寄りの **Tesla** サービスセンターへ運んでください。

注: フロントバンパーに損傷を被った場合は、**Tesla** 認定ボディショップでセンサーに損傷がないか点検を受けてください。

走行情報を表示する

走行情報はタッチスクリーンの車両ステータスのカードで表示するか、「コントロール」>「トリップ」の順にタッチして表示します。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に保存を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応するリセットにタッチします。

オドメーター

オドメーターを表示するには、次のいずれかを行います。

- ・「コントロール」>「ソフトウェア」の順にタッチします。
- ・「コントロール」>「トリップ」の順にタッチします。
- ・モバイル アプリを開き、メイン画面の最下部までスクロールダウンします。



カメラ位置

Model 3 後部ナンバープレートの上にリアビューカメラが搭載されています。



明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。洗車を参照してください。

ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ハンドルの位置に応じてラインが運転方向を示します。ハンドルが動いても、これらのラインは調整されます。

Model 3 は、サイド カメラの画像も表示します（装備されている場合）。

注：タッチスクリーンにパーキング アシストからの視覚的フィードバックも表示されます（パーキングアシストを参照）。

リアビューカメラのビューを表示するには、常にアプリ ランチャーを開いて、カメラ アプリにタッチします。



リバースにシフトしているときに、リアビューカメラの画像の代わりにタッチスクリーンに黒い画面が現れた場合、バックミラーを使用して周囲が安全であることを確認してから、後進を継続してください。リアビューカメラが使用できない状態が継続する場合、モバイル アプリを使用してサービス予約してください。

⚠ 警告：車両の背後に人の存在や障害物の有無はカメラ（複数）の映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故を招くおそれのある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因で低下することがあります。このため、カメラに頼って、**Model 3** が障害物に近づいているかどうかを判断することは、車両や物体に損傷を与えたり、人身事故につながる恐れがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラはあくまで補助手段としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりではなく、安全運転を不要にするものではありません。



歩行者警告システム

歩行者警告システムは、**Model 3** が **40 km/h** 未満で前進しているか、後進している時に音を出します。電気自動車は音がしないため、歩行者に車が接近していることを音で知らせます。この音は、**Model 3** がパーキング以外にシフトされているときに鳴り、速度が上がるにつれて音量が上がります。

⚠️ 警告: 音が聞こえないと、歩行者は近く車両に気づかない可能性があり、重傷事故や死亡事故につながる恐れがあります。歩行者警告システムが作動しない場合は、直ちに **Tesla** にご連絡ください。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



運搬能力- トレーラーけん引

けん引能力	最大ヒッチ荷重
750 kg	100 kg

注: Model 3 トレーラー ブレーキの使用をサポートしていません。

法定プレート（車両総重量参照）、またはけん引ヒッチラベルを参照してトレーラーの総重量を確認してください。これには、貨物と追加器材、Model 3 で安全に運搬できるトレーラーのヒッチ荷重が含まれます。ヒッチ荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。少なくとも総荷重の 4% である必要があります。最大トルク重量（またはカップリング ポイントでの技術的に許容される質量）は、**100kg** です。けん引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるタンク荷重が減少することがあり、その場合は最大けん引能力も減少します。最大けん引能力は、TPMLM (Technically Permissible Laden Mass、技術的に許容される最大積載質量) を超えない前提で計算します（車両総重量を参照）。

注: ヒッチラベル、法定プレートの情報が本オーナーズマニュアルに記載の情報と一致しない場合、より先に示したもの情報が優先されます。

- ⚠ 注意: けん引が車両に与える影響についての経験と知識があり、車両に積載物を安全に積み込み、固定し、運転することができる場合にのみ、Model 3 でけん引を行ってください。Tesla の取扱説明は、安全にけん引することに必要な知識とスキルをすべて網羅したものではありません。トレーラーけん引によって生じた損傷は保証対象にはなりません。
- ⚠ 警告: 車両やトレーラーを過積載しないでください。お守りいただけない、パフォーマンスの低下、車両の損傷や車両コントロールの損失を招く恐れがあります。
- ⚠ 警告: トレーラーヒッチを使って Model 3 を輸送しないでください（車両輸送者向け注意事項参照）。

けん引時のタイヤ空気圧

トレーラーをけん引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。**18** または **19** インチのタイヤはけん引に使用することが許容されます。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください（異なる場合、この数値はタイヤと荷重載荷情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します）。

前輪	後輪	タイヤ空気圧（冷間時）
235/45R18	235/45R18	42 psi (290 kPa)
235/40R19	235/40R19	42 psi (290 kPa)

注: ウィンタータイヤを装着したけん引に関する情報は、Tesla サービスにお問い合わせください。

- ⚠ 注意: 上記に記載のないタイヤを装着している場合、Model 3 をけん引に使用しないでください。
- ⚠ 警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。1.6 km 走行すると、タイヤが十分に加温されてタイヤ空気圧に影響を及ぼします。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になる恐れがあり大変危険です。
- ⚠ 警告: Model 3 のタイヤに異常があるか、タイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーをけん引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによるけん引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

けん引とアクセサリー

トレーラーをけん引する前に

トレーラーをけん引する前に、以下を実行する必要があります。

- ・ タイヤのお手入れとメンテナンスに指定された冷間時タイヤ空気圧でタイヤに空気を入れます。
- ・ トレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ・ ブラインドスポットが大きくならないよう、後方の視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。
- ・ 「けん引モード」に設定します（[けん引モード](#)参照）。

以下を確認します。

- ・ **Model 3** 取り付けたトレーラーとともに水平になっている。車両正面を上げて車両後部を下げる場合、[運搬能力- トレーラーけん引](#)に記載の最大けん引能力や最大ヒッチ荷重を超えないよう確認してください。
- ・ トレーラー ヒッチの部品や付属品、安全チェーン、と電気コネクター（リバースライトやフォグライトなど）すべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- ・ トレーラーの灯火類が正しく点灯することを確認してください（ブレーキ灯、方向指示器灯、標識灯）。

注: **Model 3** がけん引モードの場合、またはトレーラーライトの接続を検出し、**Model 3** がトレーラーの方向指示器の電気接続不良を検出した場合、接続不良側の方向指示器が通常より速く点滅します（[けん引モード](#)を参照）。

- ・ トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接合されている。
- ・ 安全チェーンがトレーラーとけん引車両間に適切につながれている。トレーラー タングの下に安全チェーンを通し、タングがヒッチから離れてもタングが路面に接触しないようにする。安全チェーンにはカーブを曲がるときの余裕をもたせ、同時にチェーンが地面をひきずらないようにします。
- ・ 積み荷がすべて固定されている。
- ・ 車輪輪止めを使用できます。
- ・ トレーラーのヒッチ荷重がトレーラー総重量の約 **4~10%** で、「[運搬能力- トレーラーけん引](#)」に示す最大ヒッチ荷重を超えずにトレーラー荷量が均等に分散されています。

注意: 荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

警告: トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我につながることがあります。

けん引ガイドライン

Model 3 は、基本的には乗用車両として設計されています。トレーラーをけん引すると、エンジン、ドライブトレイン、ブレーキ、タイヤ、およびサスペンションにさらに負荷がかかり、航続距離が大幅に減少します。トレーラーをけん引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- ・ 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラーけん引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。
- ・ 前方車両から最低 **2 倍** の距離を維持し、車間距離を十分に開けてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフを発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。
- ・ 急激に曲がらないようにしてください。急な旋回をすると、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通過することに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- ・ トレーラーの灯火類や方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。
- ・ 貨物の安全を定期的に確認してください。
- ・ 勾配のある場所に駐車しないでください（[トレーラーをついた状態での駐車](#)を参照）。
- ・ けん引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。



警告: けん引ではブレーキを踏んでから停止するまでの距離が長くなります。けん引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないよう留意してください。事故につながる危険があります。



警告: お客様の管轄区でトレーラーのけん引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。



警告: トレーラーのブレーキを車両のブレーキ系に接続しないでください。車両とトレーラーに損傷を与え、ブレーキ系の誤動作を招き、大けがにつながる可能性があります。

けん引モード

トレーラーをけん引している時は、けん引モードを常に動作させてください。駐車中にトレーラーを電気接続すると、**Model 3** は自動的に「けん引モード」を作動させます。トレーラーの電気接続を切断しても、「けん引モード」が自動で解除されるわけではありません。手動で「けん引モード」にする、または「けん引モード」を解除するには、タッチスクリーンで「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「けん引モード」の順にタップしてください。以下のいずれかのインジケーターがタッチスクリーンに表示されます：



けん引モードが有効です。



Model 3 トレーラー灯火類の接続を検出していますが、けん引モードが無効になっています。アクセサリーが接続されている可能性があります。



Model 3 トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。問題が解決されたにも関わらずアイコンが赤色のままの場合は、けん引モードを一度オフにしてから再度オンにしてください。けん引を終了し、トレーラーの電気コネクターを取り外した場合は、けん引モードを手動で解除して、赤いアイコンをクリアします。



Model 3 がけん引モードの場合、またはトレーラー ライトの接続を検出し、車両がトレーラーの方向指示器の電気接続不良を検出した場合、接続不良側の方向指示器が通常より速く点滅します。けん引を終了して、トレーラーの電気コネクターを取り外すと、方向指示器が通常より速く点滅し始め、けん引モードが手動で解除されるまで、赤いトレーラー インジケーターがタッチスクリーンに表示されます。

けん引モードが有効になっているとき、一部のオートパイロット機能およびパーキングアシストセンサー機能が使用できない場合があります。さらに、これらの機能は異なる動作をすることがあります。

- トライフィックアウェア クルーズコントロールは、前方にいる車両との車間距離を長めにとります。
- 側面衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- 自動緊急ブレーキ（衝突回避アシスト参照）による制動力は制限されます。



警告: **Model 3** がトレーラーを検出して自動的にけん引モードに入るとはいえ、それに任せっきりにしないでください。トレーラーを引く前に必ず、けん引モードになっていることを常に確認してください。



警告: トレーラーをけん引している時には、いかなる状況でもけん引モードを終了してはなりません。大けがにつながる可能性があります。

トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。ただし、勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。以下の手順を他の人に手伝ってもらってください。

- 1人がブレーキ ペダルを踏んだ状態を維持します。

- もう一人の人が車両タイヤの下り坂側のホイール下に車輪止めを置きます。

- 車輪止めが配置されたら、ブレーキ ペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。

注: 車輪止めをテストするときは、車両のホールド機構（オートブレーキ ホールド参照）が車両を支えていないようにします。車両ホールドが **Model 3** にブレーキをかけているときは、タッチスクリーンの車両ホールドインジケーターライトが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

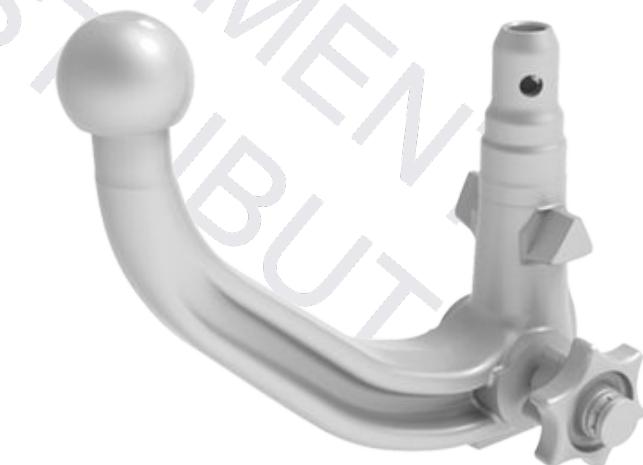
- 車両をパーキングにシフトします。



警告: 勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。巻き込み確認を怠ると重大な損傷やけがにつながる恐れがあります。

けん引ヒッチの接続

Model 3 けん引パッケージには、**50mm** ポールカップリング付きのけん引ヒッチが含まれています。使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチハウジング上にダストカバーをつけたままでし、汚れやごみがロック内に入れるのを防止してください。



警告: トレーラーをけん引する際には必ず **Model 3** 用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けないでください。

注: けん引する場合は必ず安全チェーンを取り付けてください。トレーラータンクの下でチェーンを交差させ、トレーラーの積載物がしっかりと固定されるようトレーラーのアイレットを取り付けます。

注: 連結ポイントの最大許容アーバーハングは **1053 mm** です。



けん引とアクセサリー

注: トレーラー ヒッチ アセンブリは、車両本体にナット **6** 個で取り付けます。

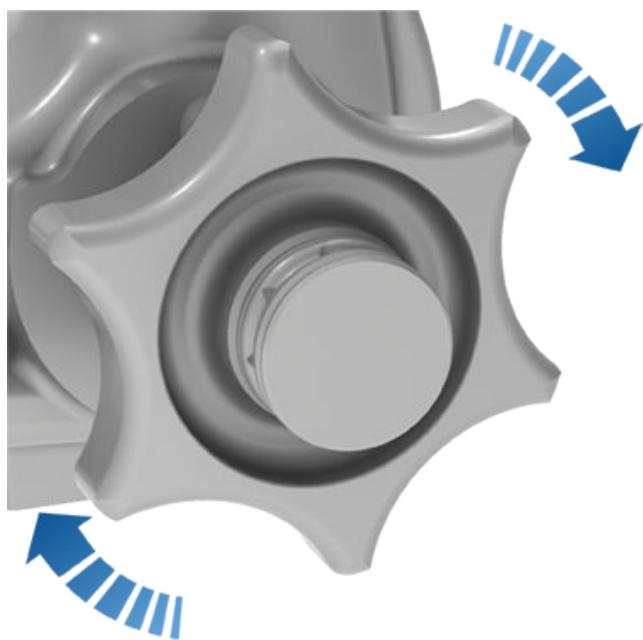


注意: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開」位置にロックされない場合、元の「閉」位置に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。



トレーラーヒッチは次のように取り付けます。

- マイナスドライバなどの小さな工具をダストカバーの両側にあるプッシュクリップに差し込んで、ヒッチハウジングからダストカバーを取り外します。プッシュクリップが外れる位置まで回して外し、ダストカバーを取り外します。
- ヒッチのロッキング シリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「開」位置に合わせます。
- ロッキング シリンダをアダプタから約 **0.5 cm** 引き出し、ロック解除アイコンがロッキングシリンダの上部に固定されるまで時計回りに回します。



- ヒッチを下からしっかりとつかみ、ヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

注: ロッキング シリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまいでください。

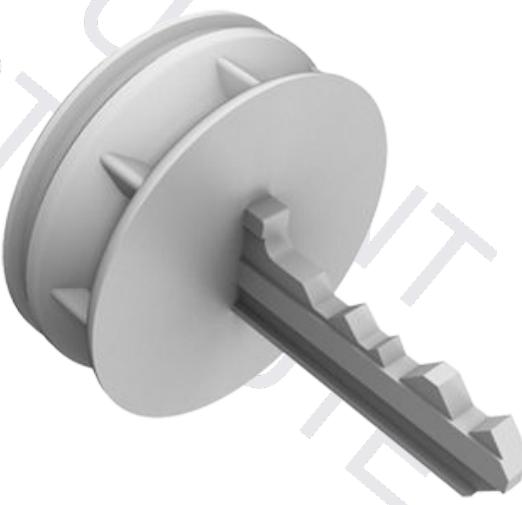
- ヒッチをヒッチ ハウジングに押し入れるとロッキング シリンダーが速く回転し、自動的に「閉」位置でロックされます。
- ヒッチを引き下げて、ヒッチがハウジングに完全に挿入されたことを確認します。ヒッチは引いても落ちないはずです。

注: ヒッチがハウジング内でロックされていなければ、引いた時に落ちてしまいます。

- キーを回して矢印をロッキング シリンダーにあるロック アイコンに合わせます。
- キーを外し、安全な場所に保管します（車両内部を推奨）。

注: キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

注: Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このキーコードが必要になります。



注: トレーラーヒッチは、車両本体にボルト **6** 本で取り付けます。

けん引ヒッチの取り外し

けん引後は、ヒッチを取り外します。

- キーを挿入し、アンロック アイコンにキー上部を合わせます。



2. ヒッチを（床に落とさないように）その底をしっかりと支えながら、ロッキング シリンダーを約 **0.5 cm** ほど引き出し、ロック アイコンが最上部にくるまで時計方向に回します。この位置で、ロッキング シリンダーは「開」位置でアンロックされ、ヒッチがヒッチハウジングからはずれます。

! 警告: ロッキング シリンダーは慎重に回してください。それが「開」位置にロックされない場合、元の「閉」位置に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

3. ハウジング内にごみがたまらないように、ヒッチ ハウジングにダスト カバーをプッシュクリップを使用して再取り付けします。
4. ヒッチのロッキング シリンダー上のダスト カバーを閉じ、ヒッチを安全な場所に保管します。

注: ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。

電気系の接続

トレーラーは、テール ランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示器灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー照明の電源供給のため、ヒッチをサポートしこのトレイラータイプに接続できるワイヤープラグ近くに **13** ピンワイヤー接続内蔵コネクタがあります。すべての電気的接続が作動し、すべてのトレーラー 灯火が事前におよびけん引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。

すべてのピンには低電圧電源があります。けん引中にトレーラー灯火類が消えた場合は、ヒューズ切れの可能もあります。

Model 3 は、ヒューズが切れても警告を出しません。Tesla サービスにお問い合わせください。

注: 現時点では補助電力は利用できません。

注: **Model 3** には現在ブレーキコントローラーが装備されていないため、現時点ではピン **9~13** は対応していません。

注: トレーラーのフォグラランプが検出されると、**Model 3** はリヤフォグラランプを無効にします（装備されている場合）。

! 注意: トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

! 警告: 電気コネクターは Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。

航続距離への影響

トレーラーをけん引すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリップ プランナーがけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとしますが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。

オートパイロットについて

オートパイロットは、運転をより安全でストレスの少ないものにすることを目的とした高度なドライバーアシスタンス機能を組み合わせたものです。これらの機能のどれも、**Model 3** を完全に自律的にはしませんし、ドライバーとしてのあなたに取つて代わることもありません。オートパイロット機能は、すべての新型 **Tesla** 車両に標準装備されています。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、以下に記載されているすべての機能が装備されてはいない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

基本型オートパイロットには、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングが含まれています。

- **トラフィックアウェア クルーズコントロール**: 車速を維持し、先行車両がある場合、先行車両との車間距離を調整して維持します。（「**トラフィックアウェア クルーズコントロール**」を参照）。
- **オートステアリング**: 車速と先行車両との車間距離を維持しながら、インテリジェントに **Model 3** が車線を維持するようにします（「**オートステアリング**」を参照）。

⚠️ 警告: 基本型オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

強化型オートパイロットには追加機能が含まれています。強化型オートパイロット機能は、ドライバーの作業負荷をさらに軽減し、車線変更や駐車などの一般的なアクションをより簡単にするように設計されています。

- **自動車線変更**: オートステアリングが有効なときにウインカーを操作すると、**Model 3** は隣接する車線に移動します（「**自動車線変更**」を参照）。
- **ナビゲート オン オートパイロット**: 車線変更、インターチェンジのナビゲーション、ウインカーの自動操作、正しい出口の選択といった、高速道路への進入から退出まで、**Model 3** を能動的にガイドします（「**ナビゲート オン オートパイロット**」を参照）。
- **オートパーキング**: **Model 3** の縦列駐車または車庫入れ駐車を実行します（「**オートパーキング**」を参照）。
- **サモン**: ドライバーが車外にいるときでも、**Model 3** を前方または後方に移動します。これは、狭い駐車場での駐車に役立ちます（「**サモン**」を参照）。
- **スマート サモン**: **Model 3** を駐車スペースから出し、より複雑な周囲環境を通過し、障害物や他の車両の周囲を移動して、ドライバーのいるところまたは事前設定した目標に到達させます（「**スマート サモン**」を参照）。

⚠️ 警告: 強化型オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常に手でハンドルを握り、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。即座に対応できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

フルセルフドライビングに含まれる機能:

- **信号機/一時停止標識コントロール**: 車速を維持し、車間距離を保ち、車線をはみ出すことなく **Model 3** を走行させながら、信号機や停止標識に合わせて減速や停止を行います（「**信号機と一時停止のコントロール**」を参照）。

⚠️ 警告: フルセルフドライビング機能は、ハンズフリー機能ではありません。常に手でハンドルを握り、道路状況、周囲の交通状況、その他の道路利用者（歩行者や自転車など）に注意を払ってください。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

オートパイロットは、**Model 3** のカメラを使用して、周囲を監視し、他の車両、歩行者、道路標識、障害物（障壁や縁石など）を検知します。**Model 3** の前面、背面、左側および右側にカメラが取り付けられています（「**カメラ**」を参照）。

Model 3 には、ドライバーの注意力を監視するキャビン カメラがリアビューミラーに搭載されている場合があります。ご自身の責任において、常にハンドルの上に手を置き、道路に注意を払い、直ちに対処できるように備えてください。

オートパイロットが作動している場合、**Model 3** には段階的に強まる一連の警告が表示され、ハンドルを握ったまま道路に注意を払うように促します。対応しない場合、オートパイロットは解除され、残りのドライブでは使用できなくなります。

⚠️ 警告: オートパイロットは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。オートパイロットに頼って **Model 3** を十分に減速させようとしないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパイロットの限界を理解し、常に自ら制御できるように準備することはドライバーの責任です。制限、注意、警告の詳細については、「**制限と警告**」を参照してください。



オートパイロットの使用条件

それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないことを確認します（[カメラのクリーニング](#)を参照）。カメラおよびセンサー（装備されていれば）の汚れは、周囲状況や消えかかった車線マー킹などの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、**Model 3** のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

オートパイロット機能を使用する前、および一部のサービスのための訪問の後は、カメラをキャリブレーションするために短い距離をドライブする必要があります。詳細な情報については、[走行中のカメラキャリブレーション](#)を参照してください。

また、以下の場合、これらの機能が意図したとおりに動作しないことがあります。

- 道路に急カーブがある、または標高が大幅に変化している。
- 道路標識や信号機が不明瞭、あいまい、または整備が不十分である。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている場合。

上述の一覧はオートパイロット機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。詳細については、「[制限と警告](#)」を参照してください。

オートパイロット機能	使用可能な条件
トラフィックアウェア クルーズコントロール	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中 <p>注: Model 3 の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でトラフィックアウェア クルーズコントロールを作動させることができます。</p>
オートステアリング	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中 <p>注: Model 3 の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でオートステアリングを作動させることができます。</p> <p>注: 生活道路、センターラインのない道路、またはアクセス管理されていない道路では、最大許容巡航速度が制限され、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。制限速度は、道路の制限速度に 10 km/h プラスした値です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッドライトは「オン」または「自動」に設定されます。オートパイロットは昼間でも暗い場所（夕暮れ時や夜間）でも使用できますが、ヘッドライトが「オフ」に設定されていると、オートステアリングは中止されるか、使用できません。オートステアリングが作動すると「オートハイビーム」が自動的に有効になり（ハイビーム ヘッドライトを参照）、ワイパーが「自動」に設定されます。
ナビゲート オン オートパイロット	<ul style="list-style-type: none"> • 30 km/h から 140 km/h で運転中。 <p>注: Model 3 の前方 1.5 m 以上のところに車両が検出された場合、より低速でナビゲート オン オートパイロットを作動させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセス管理された高速道路を走行しています。アクセス管理された高速道路を離れるとき、ナビゲート オン オートパイロットはオートステアリングに戻ります。



オートパイロット機能

このトピックでは、以下のドライバー アシスタンス機能を有効にして使用する方法について説明します。

- **トラフィックアウェア クルーズコントロール** 従来のクルーズコントロールと同様に、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定された走行速度を維持します。ただし、トラフィックアウェア クルーズコントロールは、先行車両からの距離を維持するために、必要に応じて **Model 3** を減速または加速します。トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間であっても、**Model 3** の操縦運転はドライバーの責任です（トラフィックアウェア クルーズコントロールを参照）。
- **オートステアリング**: オートステアリングは、トラフィックアウェア クルーズコントロールと同様に、設定速度（目の前に車両がない場合）または設定された車間距離（目の前に車両がある場合）を維持します。さらに、オートステアリングは、車線マーキング、路肩および車両や物体の存在を検出して、インテリジェントに **Model 3** の走行車線を維持します（オートステアリングを参照）。

注: オートステアリングは、ベータ版の機能です。

- **自動車線変更**: オートステアリングが作動しているときにワインカーを作動させると、自動車線変更によって **Model 3** は、ワインカーが示している方向に隣接する車線に移動します（自動車線変更を参照）。
- **ナビゲート オン オートパイロット**: ナビゲート オン オートパイロットは、トラフィックアウェア クルーズコントロールおよびオートステアリングの機能の上に構築されています。オートステアリングが作動している場合、ナビゲート オン オートパイロットを使用すると、**Model 3** が車線を提案し、設定されている場合、車線を自動的に変更して他の車両を追い越し、ナビゲーション ルートをたどることができます（ナビゲート オン オートパイロットを参照）。

注: ナビゲート オン オートパイロットはベータ版機能です。

トラフィックアウェア クルーズコントロールおよびオートステアリングは、**Model 3** のカメラからの情報を使用して車線マーキング、路肩、ならびに **Model 3** の周囲の他の車両および道路の使用者を検出します。

! 注意: オートパイロット機能を使用する前に、すべてのカメラに汚れや障害物がないことを確認してください（カメラのクリーニングを参照）。カメラやセンサー（装備されている場合は、周囲状況や消えかかった車線マーキングなどの周囲条件と同様に、オートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします）。

! 注意: オートパイロットの制限事項およびドライバーの介入が必要となる状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、制限と警告を参照してください。

オートパイロット設定

オートパイロット機能を使用する前に、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチして機能をカスタマイズします。

• **設定速度**: 現在検出している速度制限と現在の走行速度のどちらでオートパイロットを作動させるかを選択します。「コントロール」>「オートパイロット」>「設定速度」の順にタッチし、「速度制限」または「現在の速度」を選択します。

• **オフセット**: 「速度制限」を選択した場合、「速度オフセットの設定」にタッチしてオフセット量を指定できます。「固定」（すべての道路で特定量だけ巡航速度が調整されます）または「パーセント」（巡航速度は、その道路に対して検出された速度制限のパーセンテージとして調整されます）を選択できます。

• **オートステアリング作動**: オートステアリングを有効にする方法を選択します。「シングルクリック」に設定している場合、右スクロール ホイールを1回押すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールとオートステアリングの両方が作動します。「ダブルクリック」に設定している場合、オートステアリングを作動させるためには右スクロール ホイールを2回押す必要があります。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールをオートステアリングから独立して使用する場合は、「オートステアリング作動」を「ダブルクリック」に設定する必要があります。

トラフィックアウェア クルーズコントロール

トラフィックアウェア クルーズコントロールは常に有効になっています。

40
MAX

トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用可能であっても有効となっていない場合、タッチスクリーンに灰色で巡航速度が表示されます。表示されている数値は、トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にしたときに設定される速度を表しています。

40
MAX

トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効にして、設定速度で巡航している場合、速度は青色の文字で強調表示されます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを作動させるには、右スクロール ホイールを押し、アクセル ペダルをゆるめると、トラフィックアウェア クルーズコントロールで巡航速度が維持されます。いつでもアクセル ペダルを踏んで、設定された巡航速度を一時的に無効にすることができます。

注: 「オートステアリング作動」を「シングルクリック」に設定している場合、右スクロール ホイールを1回押してもオートステアリング（トラフィックアウェア クルーズコントロールを含む）が作動します。「コントロール」>「オートパイロット」>「オートステアリング作動」の順にタッチして「ダブルクリック」を選択すると、右スクロール ホイールを1回押したときに、オートステアリングから独立してトラフィックアウェア クルーズコントロールを使用することができます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを有効または無効に切り替えた時にチャイムを鳴らしたい場合は、「コントロール」>「オートパイロット」>「トラフィックアウェア クルーズコントロール チャイム」の順にタッチします。



警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。

Model 3 を適切に減速させる操作をトラフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。詳細な情報は、[制限と警告](#)を参照してください。

オートステアリング

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にオートステアリングが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

オートステアリングを有効にするには:

- 「コントロール」>「オートパイロット」>「オートパイロット機能」>「オートステアリング（ベータ版）」の順にタッチします。
- ポップアップウィンドウをよく読んで理解したら、「はい」をタッチします。



オートステアリングが利用可能である（ただし、**Model 3** を能動的に操舵してはいない）ことを示すため、タッチスクリーンの上隅のドライビングギアの隣に灰色のオートステアリングアイコンが表示されます。オートステアリングが一時的に利用できない状況では、オートステアリングアイコンが消えます。（この例としては、運転速度がオートステアリングの作動に必要な速度内にない場合などがあります。）



オートステアリングが有効であることを示すために、タッチスクリーンにオートステアリングアイコンが青色で表示されます。オートステアリングが車線マーキングを検出できる場合、車線も青で表示されます。

オートステアリングを開始するには、右スクロール ホイールを押します

注: 「オートステアリング作動」の設定が「ダブルクリック」に設定されている場合、右スクロール ホイールを 2 回押してオートステアリングを作動させる必要があります（[オートパイロット設定](#)を参照）。

オートステアリングにすると、作動していることを確認するためにチャイムが鳴り、道路に注意を払い、ハンドルに両手を置いておくことを注意喚起するメッセージが、タッチスクリーンに短い間表示されます。

オートステアリングが作動しているときは常に、トラフィックアウェア クルーズコントロールも作動します。

オートステアリングが起動していて制限速度を検出できない場合、巡航速度はオートステアリングによって **70 km/h** に制限されます。手動で加速して制限速度を超えることはできますが、アクセルペダルを踏んでいる間は、障害物を検知しても **Model 3** はブレーキをかけません。アクセルペダルから足を離すと、オートステアリングはこの制限速度まで減速させます。その道路から離れるか、またはハンドルを使用してオートステアリングをオフにすると、必要に応じて再度、設定速度を上げることができます。



警告: オートステアリングが有効になると、ハンドル操作が制限されます。そのため、**Model 3** は急カーブを回りきれないことがあります。いつでも車両の運転を引き継げるようにしておいてください。



警告: オートステアリングはハンズオンのアシスタンス機能です。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐに行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死の原因となる可能性があります。オートステアリングの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、[制限と警告](#)を参照してください。

自動車線変更

オートステアリング作動中にウィンカーを作動させると、次の条件が満たされている場合、**Model 3** はウィンカーが示す方向にある隣の車線に移動します。

- ・ ウィンカーを作動させている。
- ・ この車線区分線は車線変更が行えることを示しています。
- ・ 自動車線変更機能は、手がハンドルに置かれていることを検知しています。
- ・ 車線変更の途中で、**Model 3** は目標車線の外側車線マーカーを検出する必要があります。車線区分線を検出できない場合は、車線変更は中止され、**Model 3** は元の車線に戻ります。
- ・ カメラの視野が遮られていない。
- ・ **Model 3** 死角にある車両、または目標車線の中心まで車両や障害物を検出しません。車両またはその他の障害物が目標の車線に検知された場合、その障害物はタッチスクリーンの視覚化において赤色で表示され、車線変更が安全になるまで、**Model 3** は車線変更を完了しません。

注: 車線変更を 5 秒以内に完了しない場合、自動車線変更はキャンセルされます。



警告: オートパイロットは、隣接する車線の車両や障害物を検知するように設計されていますが、常に目視点検を実施して、目標の車線に安全かつ適切に移動できることを確認する責任がドライバーにはあります。データが不十分なためにオートパイロットが車線変更できない場合、タッチスクリーンに一連の警告が表示されます。そのため、自動車線変更機能の使用中は、常にタッチスクリーンに注意を払い、**Model 3** のハンドルを手動で制御できるように準備しておく必要があります。

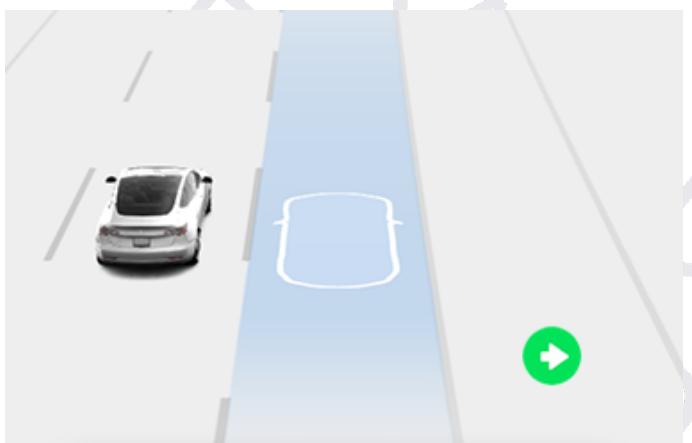


オートパイロット機能

オートパイロットが車線変更を実行する最小速度は、地域、隣接する車線の速度、およびその他の要因によって異なる場合があります。いつでも手動でハンドルを操作して、必要に応じて車線変更をする準備をしておいてください。自動車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し **Model 3** が前方の車両に近づくように加速します（**追い越し加速**を参照）。

ウィンカーを作動させると、オートパイロットによって **Model 3** は一度に1車線ずつ移動します。さらに車線を変更するためには、最初の車線変更が完了した後にウィンカーを再度作動させる必要があります。

Model 3 で車線変更を行う際は、前方の運転経路と周囲の状況を注視することで、自動車線変更機能の動作を監視することが重要です。いつでもハンドルを引き継げるよう準備しておいてください。隣の車線に入ると、**Model 3** が進入した車線の場所がタッチスクリーンに表示されます。



ナビゲート オン オートパイロット

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にナビゲート オン オートパイロットが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

ナビゲート オン オートパイロットを有効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「ナビゲート オン オートパイロット（ベータ版）」の順にタッチします。次に、ナビゲート オン オートパイロットの操作をカスタマイズするため、「ナビゲート オン オートパイロットのカスタマイズ」にタッチします。

- ・毎回運転開始時に有効にする: ナビを実行する時にナビゲート オン オートパイロットを自動的に有効にするかどうかを選択します。有効にすると、運転を開始するたびに「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが経路案内リストに表示されます。
- ・速度に応じた車線変更: ナビゲート オン オートパイロットは、経路に応じた車線変更と速度に応じた車線変更の両方を実行できるように設計されています。速度に応じた車線変更はオプションです。この設定を使用して、速度に応じた車線変更を無効にすることや、設定した巡航速度を達成するために、ナビゲート オン オートパイロットでの車線変更をどの程度積極的に行うか（「マイルド」、「平均値」、または「マッドマックス」）を指定することができます。

「運転開始時に有効にする」がオンになっているとき、次の場合にナビゲート オン オートパイロットは自動的に作動します。

- ・オートステアリングが作動している。
- ・ドライバーが目的地に向かって移動しています。
- ・アクセスが管理された高速道路を走行しています。

有効になると、ナビゲーション ルートが有効になっていて、ルートに少なくとも1つの進入制限されている道路が含まれる場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンが常に地図の経路案内リストの上部に表示されます。

「運転開始時に有効にする」がオフになっている場合、経路案内の上にある「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチすると、有効になります。「ナビゲート オン オートパイロット」を選択すると、オートステアリングが作動するたびに作動します。

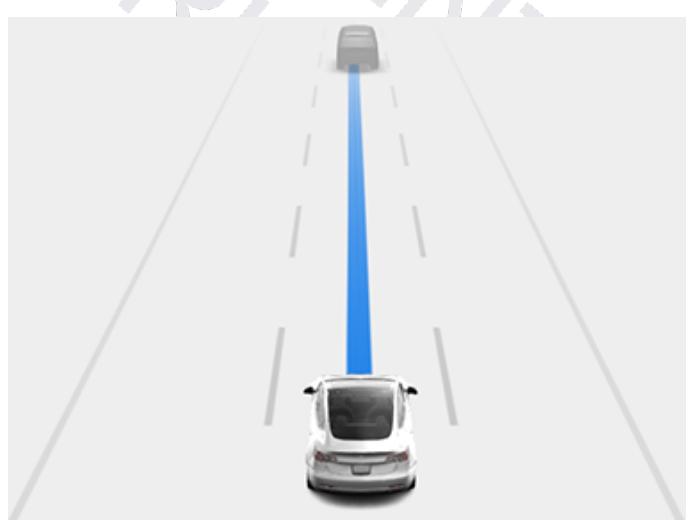


目的地に移動中に、「ナビゲート オン オートパイロット」が使用可能ではあるがアクティブではない場合、「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが経路案内リストに表示されます。



「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、アイコンは青色になります。「運転開始時に有効にする」がオンになっている場合、ナビゲーションを開始する際に「ナビゲート オン オートパイロット」アイコンが選択されます。アイコンにタッチすると、「ナビゲート オン オートパイロット」がキャンセルされ、「オートステアリング」に戻ります。

「ナビゲート オン オートパイロット」が作動しているとき、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になり、走行車線は、**Model 3** の前にある1本の青い線として、タッチスクリーンに表示されます。



経路案内には、オートパイロット ナビ走行によって誘導される地点（高速道路出口など）の隣に、オートステアリング アイコンが表示されます。



ナビゲート オン オートパイロットが作動すると、**Model 3** は速度に応じた車線変更と経路に応じた車線変更の両方を自動的に行います。

- 速度に応じた車線変更: ナビゲート オン オートパイロットでは車線を変更することで、目的地までの走行時間を短縮します。例えば、**Model 3** が設定した巡航速度よりも低い速度で走行する車両の後ろを走行している場合、ナビゲート オン オートパイロットによって、追い越し車線に移動して追い越します。速度に応じた車線変更はオプションです。
- 経路に応じた車線変更: ナビゲート オン オートパイロットは車線を変更して目的地までドライバーを誘導します。たとえば、**Model 3** がナビゲーション ルートで指定している出口に近づくと、ナビゲート オン オートパイロットによって出口車線に移動します。

タッチスクリーンが車線変更の確認を求めるメッセージを表示したら、該当するウィンカーを作動させます。**3** 秒以内に車線変更の確認を行わない場合、ナビゲート オン オートパイロットで車線変更の確定が必要であることを知らせるチャイムが鳴ります。車線変更を**5** 秒以内に完了しない場合、自動車線変更是キャンセルされます。

ルートベースの車線変更推奨を無視する（高速道路の右側の出口車線に向かっているが左車線を運転している場合など）と、ナビゲート オン オートパイロットでは出口へ誘導することができなくなるため、目的地に向かって再度ルート設定を行います。

注意: ナビゲート オン オートパイロットでは、ナビゲーション ルートによって退出や車線変更が決められている場合でも、オフランプでの退出や車線変更を試みない可能性があります。オフランプに向けて手動でハンドルを切ることや、オフランプまたはインターチェンジで必要な車線変更を行ったり出る方向に進むことができるよう、常に警戒を怠らずに、準備をしておいてください。

ナビゲート オン オートパイロットは、走行中の道路の種類に応じて、有効または無効に切り替わります。ナビゲート オン オートパイロットが有効で、経路案内に従ってオフランプまたはインターチェンジに近づくと、該当するウィンカーが作動して、オーステアリングにより **Model 3** がオフランプまたはインターチェンジに誘導されます。

アクセス管理されている高速道路から降りると、ナビゲート オン オートパイロットがオーステアリングに戻ります。チャイムが鳴り、タッチスクリーンに、走行車線が（**Model 3** の前にある青色の線に代わって）青色の複数の線で表示されます。ナビゲート オン オートパイロットが無効になった時でも、オーステアリングは有効なままで。常に適切に対応できるように準備してください。

警告: ナビゲート オン オートパイロットはハンズフリー機能ではありません。常にハンドルの上に手を置き、道路状況や周囲の交通状況に注意し、常にすぐ行動できるように準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死の原因となる可能性があります。ナビゲート オン オートパイロットの制限事項および予測通りに作動しない状況をよく知ることは、ドライバーの責任です。詳細な情報は、**制限と警告** を参照してください。

オートパイロットのキャンセル

トライックアウェア クルーズコントロールは以下の場合にキャンセルされます。

- ハンドルの右スクロールホイールを押した場合。
- ブレーキ ペダルを踏んだ場合。
- 150 km/h** を超えている。
- リバース、パーキング、ニュートラルにシフトした場合。
- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（衝突回避アシスト参照）。
- 運転者のシートベルトが解除されるか、または運転者が座席から離れたとき。

トライックアウェア クルーズコントロールがキャンセルされると、タッチスクリーン上の巡航速度アイコンが灰色になり、トライックアウェア クルーズコントロールが無効になっていることを知らせます。

上記のいずれかの操作が実行されると、オーステアリングはキャンセルされます。さらに、オーステアリングは次の場合にキャンセルされます。

- 140 km/h** を超えている。
- （わずかな量でも）ハンドルに回転力を掛けます。



警告: 「オーステアリング作動」が「ダブルクリック」に設定されている場合にハンドルに回転力を掛け、オーステアリングがキャンセルされても、トライックアウェア クルーズ コントロールは有効なままになります。「オーステアリング作動」が「シングルクリック」に設定されている場合にドライバーが自ら操舵を始めると、オーステアリングはキャンセルされ、トライックアウェア クルーズ コントロールもキャンセルされます。

- ドライバーがタッチスクリーンに表示される、ハンドルに手を置いたままにするように指示する反復的なリマインダーおよび後続のメッセージに応答しません（ドライバーの注意力）を参照）。

オーステアリングをキャンセルすると、チャイムが鳴り、アイコンが灰色になって、オーステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンが完全に消えて、オーステアリングが現在利用できないことを示します。

前述のように、オーステアリングをキャンセルすると、ナビゲート オン オートパイロットもキャンセルされます。さらに、以下の場合、ナビゲート オン オートパイロットがキャンセルされます。

- 地図の経路案内リストで、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンにタッチします。この場合、オーステアリングはまだアクティブです。
- アクセス管理されている高速道路から離れます。この場合、オーステアリングはアクティブのままで。



オートパイロット機能

オートパイロットでナビゲーションがキャンセルされてもオートステアリングがアクティブのままの場合、チャイムが鳴り、運転レーンの1本の青色の線が、車線の両側にある2本の青い線に視覚化されます。

トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはオートステアリングキャンセルした場合、**Model 3** は慣性走行しません。代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセル ペダルから足を離した場合と同様、回生ブレーキによって **Model 3** が減速します（[回生ブレーキ](#) を参照）。

オートパイロット使用時

トラフィックアウェア クルーズコントロールが作動していて、オートパイロットが設定速度を維持している場合、タッチスクリーンに青色のテキストで速度が強調表示されます。

オートステアリングが有効な場合、ハンドルアイコンは青色で表示され、車線マーキングはその視覚化において青色で強調表示されます。ナビゲート オン オートパイロットも作動している場合、「ナビゲート オン オートパイロット」ボタンは青色になります。タッチスクリーンには、走行車線が **Model 3** の前にある1本の青い線として表示されます。

路面標示、赤信号、障害物（ゴミ箱、柱など）といった車道およびその周辺の詳細情報を表示するには「コントロール」>「オートパイロット」>「フルセルフドライビングの表示プレビュー」の順にタッチします。

オートステアリングが車線マーカーを検知できない場合、先行車両を元に車線を決定します。オートステアリングは通常、**Model 3** に走行車線の中央の位置を維持させようとします。ただし、オートステアリングが車線の中心から外れた走行経路に従う場合があります（たとえばガードレールが検出された場合）。

設定速度の変更

オートパイロットが有効な場合、前方に他の車両が検出されていないのであれば、**Model 3** は設定巡航速度を維持します。車両の後ろで巡航する場合、**Model 3** は必要に応じて加速および減速して、選択した車間距離を維持します（「車間距離の調整」を参照）。

アクセルペダルを踏み込むことで、いつでも手動で加速することができますが、ペダルをゆるめると、**Model 3** は設定速度での巡航を再開します。

Model 3 カーブに進入または退出する際も巡航速度を調整します。

先行車両からの選択した距離を維持するため、**Model 3** が積極的に減速すると、ブレーキランプが点灯します。ブレーキ ペダルのわずかな動きに気付くことがあります。ただし、**Model 3** が加速をしているときは、アクセル ペダルは動きません。

設定速度の変更

右のスクロール ホイールを上（加速）または下（減速）に回して、設定速度を変更します。



Model 3 が新たな設定速度に達するまで数秒かかる場合があります。

車間距離の調整

Model 3 と前方を走行する車両との車間距離を調整するには、ハンドルの右スクロール ボタンを左または右に押します。

最も短い追従距離は 2 です。

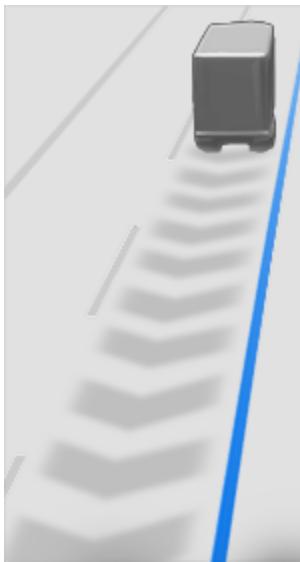
各設定は、**Model 3** が現在の位置から先行車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。オートパイロットは、再度変更するまで設定を保持します。

車間距離を調整すると、タッチスクリーンに現在の設定が表示されます。



停止とスローダウン

隣接する車線を走行する車両より著しく速い速度で走行しているとき、**Model 3** は自動的に走行速度を減速します。これは、交通量が多い場合や他の車両が頻繁に車線変更するような状況などにとても効果的です。**Model 3** が他の車両が非常に低速であることを検知すると、タッチスクリーンには隣の車線が矢印でハイライト表示され、検知された車両は灰色に表示されて、**Model 3** は適宜減速します。一時的にこの機能を無効にするためには、アクセル ペダルを踏み込みます。



前方に他の車両がある場合、**Model 3** が完全停車したとしても、オートパイロットは低速において有効となつたままとなります。たとえば、高速道路での著しい渋滞時に、**Model 3** が完全またはほぼ完全な停止まで減速しても、オートパイロットは有効なままであります。交通の流れがより速くなりだすと、オートパイロットによって再び設定速度まで加速します。

Model 3 が完全に停止している場合、オートパイロットがホールド状態になります。その場合、アクセルペダルを短い間踏み込むと、巡航を再開します。



ホールド状態が有効な場合、タッチスクリーンにはホールドアイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要があることを示します。

Model 3 は、以下の状況でオートパイロットがアクティブな場合、ホールド状態になります。

- **Model 3** が 5 分間停車していた場合。
- **Model 3** が歩行者を検出した場合（歩行者が検出されなくなるとホールド状態は解除されます）。
- **Model 3** の前にいた車両が突然視界からいなくなつた場合。
- **Model 3** の前に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

アクセス管理された道路（高速道路や自動車専用道路など）の出口付近を巡航しているときに、オフランプに向かってワインカーを入れると、オートパイロットはドライバーが出口から退出しようとしているものとみなして **Model 3** を減速させます。オフランプに向かって走行していない場合、オートパイロットは設定速度での巡航を再開します。

右側通行の地域の場合は、最も右側の車線を走行している時に出口の **50 m** 手前で右ワインカーを出したときに限つてこれが行われます。同様に左側通行の地域の場合は、最も左側の車線を走行している時に出口の **50 m** 手前で右ワインカーを出したときにこれが行われます。

注: 「ナビゲート オン オートパイロット」が有効な場合、**Model 3** は経路ベースの車線変更を実行して出口車線に入り、必要に応じてオフランプを通ってナビゲーション ルートをたどります。

進入制限のある道路（高速道路や自動車専用道路など）に進入するとき、オートパイロットは、高速道路の速度制限にユーザーが指定したオフセットを反映した走行速度に自動的に調整します。「ナビゲート オン オートパイロット」が作動している場合、アクセス管理された高速道路を出ると解除されます（[オートパイロットのキャンセル](#)を参照）。この場合、オートステアリングはアクティブのままでです。

追い越し加速

ワインカーを一時的に作動させ、前方車両に向かって **Model 3** を加速します。以下の場合、一瞬だけワインカーに保持すると、アクセルペダルを踏まなくても、設定速度まではやく加速することができます。

- トライフィックアウェイ クルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線上に障害物または車両が検出されていない場合。
- **Model 3** が、設定速度を下回り、かつ **45 mph (72 km/h)** を上回る速度で走行している場合。

注: オートステアリングが作動しているときに、ワインカーを完全に作動させると、**Model 3** は自動的に車線を変更します（[自動車線変更](#)を参照）。

Model 3 は、車線変更に時間がかかりすぎている場合、または **Model 3** が先行車両に近すぎる場合、設定巡航速度に達したときに、加速を停止します。**Model 3** は、ワインカーを解除すると、加速も停止します。

赤信号と一時停止標識の警告

オートステアリングの使用中に、赤信号や一時停止標識を通過しそうな事象を検出した場合、**Model 3** はタッチスクリーン上に警告を表示し、チャイム音を鳴らします。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。

2、3 秒後、またはドライバーがブレーキペダルを踏んだ時のいずれか早い時点で、視覚および音声警告はキャンセルされます。

赤信号および一時停止標識の警告これにより、赤信号、一時停止標識、路面標示などで **Model 3** は減速や停止することはありません。信号機/一時停止標識コントロール装備車の場合は、この機能を有効にすることで信号機や一時停止標識で **Model 3** が自動的に停止します（[信号機と一時停止のコントロール](#)を参照）。

緊急車両

市場地域で利用可能な場合、高速道路で夜間オートステアリングを使用しているときに緊急車両からのライトが検出されると、**Model 3** は自動的に車速を下げます。この際、タッチスクリーンには減速を知らせるメッセージが表示されます。また、チャイムが鳴り、ハンドルに手に置くようにリマインダーが表

オートパイロット機能

示されます。検出したライトが通過するか、見えなくなると、オートパイロットは巡航速度を再開します。または、アクセルを踏んで巡航速度を再開することもできます。

緊急車両の有無を判断するのにオートパイロット機能に依存しないでください。**Model 3** 緊急車両からのライトを検出できるとは限りません。進行方向に注意を払い、常に即座に反応できるよう準備をしてください。

ドライバーの注意力

オートステアリングは、**Model 3** の最適な操縦方法を決定します。オートステアリングが有効になっている時は、ハンドルを握っておく必要があります。ハンドルの上に手が置かれていることを一定期間検知しなかった場合、タッチスクリーンの車の状態セクションの最上部に青色ライトが点滅表示され、次のメッセージが表示されます。



ハンドルを少し回してください



オートステアリングが停止します

このメッセージに気づいたら、今すぐ運転を引き継いでください。

手が検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能は通常動作に戻ります。オートステアリングは、ハンドルを回したときにわずかな抵抗を認識すること、またはドライバーがハンドルを（操舵をとて代わるために十分なほどの力を掛けることなく）手で回したことを認識することで、ドライバーの手を検知します。ウィンカー レバーの操作や、ハンドルのボタンやスクロール ホイールの使用を検知した場合も、オートステアリングはドライバーの手を認証します。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代わるように備えていなければなりません。それでもオートステアリングがハンドル上に置かれている手を検出しない場合、タッチスクリーンの車両ステータス セクションにあるライトの点滅が速くなり、チャイムが鳴ります。

ハンドルにわずかな力をかけるように促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、残りの運転でオートステアリングは無効となり、以下に示すように自分で運転することを求めるメッセージが表示されます。



この走行ではこれ以降オートステアリングを使用できません。ハンドルを保持して手動で運転してください。

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次回の運転でも再び利用できます（停車し **Model 3** をパーキングに切り替えた後）。

手動で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。

オートステアリングが **Model 3** を操作できない状況では、オートステアリングは警告チャイムを鳴らし、インストゥルメントパネルにメッセージを表示します。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両に信号機/一時停止標識コントロールが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

注: 信号機と一時停止のコントロールはベータ版で、**Tesla** の車両が頻繁に走行している道路でもっともうまく機能します。信号機と一時停止のコントロールは、青信号を含むすべての信号で停止を試み、青信号でも停止することがあります。

信号機と一時停止のコントロールは、信号機と一時停止標識を認識して反応するように設計されており、トラフィックアウェイクルーズコントロールやオートステアリングの使用時には**Model 3** を減速し、停止させます。この機能では、GPSデータだけでなく車両の前方カメラを利用して、一時停止標識と一部の路面標示の他、緑色、点滅黄色、消灯など検出されたすべての信号機で車両を減速します。**Model 3** が交差点に近付くと、タッチスクリーンに、減速動作の開始予告が表示されます。タッチスクリーンのドライビングディスプレイに表示された赤色の線で、そのまま走行するか、**Model 3** を停止するかを判断する必要があります。

警告: 交差点や路面表示で信号機と一時停止のコントロールがどのタイミングで、またどの位置で停止するか、あるいは動作を続けるかは決して思い込みで予測しないでください。ドライバーの目線から、信号機と一時停止のコントロールがいつも同じように動作するわけではありません。常に道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。交差点で停止するか通過するかを決めるのはドライバーの責任です。交差点で停止する、あるいはそのまま通過することが安全で適切であるとの判断を、信号機と一時停止のコントロールに委ねないでください。

ご利用の前に

信号機と一時停止のコントロールを利用する前には、次の事項が必要です。

- 前方カメラの視界が遮られておらず（カメラのクリーニングを参照）、キャリブレーション済（[走行中のカメラキャリブレーション](#)を参照）であることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールが信号機や一時停止標識、路面標示を検出できるかどうかは、カメラの能力に依存します。
- 地図の最新バージョンが**Model 3** にダウンロードされていることを確認してください。信号機と一時停止のコントロールは基本的に、車両のカメラからの視覚データを利用しますが、最新の地図データを使用することで一層の精度が得られます。現在ダウンロードされている地図のバージョンを確認するには、「コントロール」>「ソフトウェア」の順にタッチします。更新された地図を受け取るには Wi-Fi ネットワークに接続している必要があります（[地図のアップデート](#)参照）。
- 機能の有効化。車両がパーキングに入っている状態で、コントロール > オートパイロット > 信号機と一時停止のコントロールをタッチします。これを有効にしておくと、トラフィックアウェイクルーズコントロールかオートステアリングが有効な場合に、信号機と一時停止のコントロールが動作します。

動作の仕組み

信号機と一時停止のコントロールが有効で、オートステアリング、トラフィックアウェイクルーズコントロールまたはフルセルフドライビング（ベータ版）を利用している場合、タッチスクリーンにポップアップメッセージが表示され、前方に信号機、一時停止標識、路面標示のいずれかが検出されたことを伝えます。停止位置に近づくと、青信号の交差点であっても、**Model 3** は減速して、**Model 3** の停止予定位置が赤い線で表示されます。交差点をそのまま通過するには（たとえ信号機が青であっても）またはアクセルペダルを短く踏んで通過を承認する必要があります。そのまま進むことを確定すると、赤い停止線がグレーに変わり、**Model 3** は交差点に進入し、設定した巡航速度に戻ります。

注: またはアクセルペダルを短く踏んで通過を承認した後でも、交差点進入直前に信号機が変わった場合（青から黄色、または黄色から赤）は、**Model 3** がそのまま交差点に進入するのが不適切であると判断することがあります。その場合、**Model 3** は停止動作に入るため、それを無視して前進させる場合は、アクセルを踏む必要があります。車両が適切かつ安全に停止あるいは加速するようにさせることは、常に運転者の責任です。

警告: 信号機および一時停止のコントロールでは、フルセルフドライビング（ベータ版）が作動していない限り、**Model 3** は交差点を曲がって通過しません。**Model 3** は、右左折専用車線上では、赤色停止線で停止します。またはアクセルペダルを短く踏むとそのまま走行できます。ただし、**Model 3** は、交差点をまっすぐ通過しようとするため（右左折専用車線でも）、交差点では手動で**Model 3** のステアリングを操作する必要があります（この結果オートステアリングはキャンセルされます）。

信号機と一時停止のコントロールは、以下の条件を満たす場合にのみ、説明したような動作をします。

- オートステアリング、フルセルフドライビング（ベータ版）、またはトラフィックアウェイクルーズコントロールが作動している。
- 前方の信号機、一時停止標識、路面標示をカメラが検出できる（カメラの視界が遮られておらず、信号機、一時停止標識、路面標示が見通せる位置にある等）。
- Model 3** のタッチスクリーンが先方の信号機を「強調」フォーマットで表示している。**Model 3** はタッチスクリーンに暗く表示されている信号機は認識していません。信号機がカメラの真正面にない場合（カメラの斜め前や隣の車線等）、タッチスクリーンはそれを暗く表示し、**Model 3** そこで減速や停止を行いません。

警告: タッチスクリーンが前方の交差点を赤い停止線で表示していない場合、**Model 3** は減速や停止を行いません。前方の交差点に注意し、交通状況を監視して車両がいつ停止すべきかを判断し、必要に応じて適切な行動をとるのは、運転者の責任です。

警告: 交差点で停止するかあるいはそのまま進むかの判断を、信号機と一時停止のコントロールに頼らないようにしてください。道路、前方の交差点、交通状況、横断歩道、歩行者に気を配って、慎重に運転してください。交差点で停止するか、そのまま進むかの判断は、常に運転者の責任です。すぐに対応できるように準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。



信号機と一時停止のコントロール

⚠ 警告: 状況によっては、信号機と一時停止のコントロールが、信号機や一時停止標識を誤って認識して **Model 3** が想定外の減速をすることがあります。いつでもすぐに操作できるように準備しておいてください。

⚠ 警告: 信号の色に関係なく、交差点をそのまま通過するには、またはアクセルペダルを短く踏む必要があります。確認を行わない場合、**Model 3** は停止が適切ではないとしてもタッチスクリーンに表示されている赤い停止線で停止します。青信号で停止すると周りの運転者を混乱させるだけでなく、衝突や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。そのため、前方の交差点に気を配り、周囲の状況に応じて手動でブレーキやアクセル操作ができるように備えてください。

⚠ 警告: 信号機や路面標示（特に複雑な交差点や、信号機や標識の一部が隠れているような交差点等）の自分の認識能力を過信しないでください。すなわち、**Model 3** もそれを認識して適切な対応をするだろうと思いつかないでください。

⚠ 警告: 最新のマップデータでさえ、すべての信号機や一時停止標識が含まれているわけではありません。したがって、この信号機と一時停止のコントロールでは、信号機、一時停止標識、路面標示などを検出するためにカメラの能力が重要な役割を果たします。そのため、カメラの視野が塞がれた（樹木や大型車両、あるいは急勾配の坂や、急カーブにある大きな物体などで）交差点では **Model 3** が見落とすことがあります。

⚠ 警告: 信号機と一時停止のコントロールは、注意深い運転や適切な判断に取って代わるものではありません。



信号

オートステアリングやトラフィックアウェイ クルーズコントロールを有効にし、さらに信号機と一時停止のコントロールを有効にして運転する際は、**Model 3** が信号機で制御された交差点に近付くとき、以下のような反応をするよう設計されています：

信号機の種類	車両の意図した応答
	<p>青色信号機、または現在消灯している信号機（点灯していない）では、Model 3 は減速します。</p> <p>交差点をそのまま通過する場合、確定操作としてまたはアクセル ペダルを短く踏みます。この確定操作をしないと、Model 3 はタッチスクリーンに表示される赤い停止線で停止します。</p> <p>注：Model 3 交差点を抜けるときは、前方車両の走行速度を考慮しながら、すみやかに設定巡航速度に復帰します。</p>
	Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点をそのまま通過する場合（青信号に変わった場合や Model 3 が完全停止した場合など）は、またはアクセルペダルを短く踏みます。
	<p>Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過する場合（青信号に変わった場合など）は、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p> <p>注：交差点を通過する指示を与えた後に信号機が変わった場合（青信号が黄色に変わる等）、Model 3 が交差点に入る前に安全に停止できると判断した場合は、Model 3 は通過せずに停止する場合があります。</p> <p>注：Model 3 は、信号機が赤色の場合や黄色に変わった場合、交差点に入る前に安全に停止できる適切な距離があれば停止するように設計されています。</p> <p>注：ブレーキを踏んで、オートステアリングやトラフィックアウェイ クルーズ コントロールをキャンセルすれば、いつでも運転を引き継ぐことができます。</p>



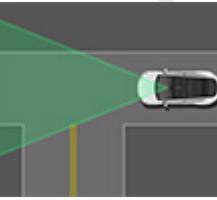
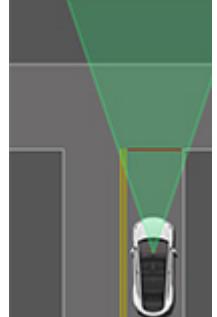
信号機と一時停止のコントロール

信号機の種類	車両の意図した応答
	<p>Model 3 減速。そのまま走行するには、アクセルペダルを短く踏みます。この操作をしないと、Model 3はタッチスクリーンに表示される赤い停止線で停止します。</p> <p>注: 停止線で Model 3を停止させず、停止線への接近時の減速を最小限に抑えるには、タッチスクリーンに赤い停止線が表示された後に、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p> <p>Model 3は、運転者による確認後、(前方車両の走行速度を考慮して) すみやかに設定した巡航速度に復帰します。</p> <p> 警告: 注意深く近づき、減速あるいは停止できるようブレーキペダルを踏む準備をします。</p>
	<p>Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。このまま交差点を通過したい場合 (交通法規に抵触せず安全に通過できる状況などで)、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p>



一時停止標識や路面標示

オートステアリングやトラフィックエア クルーズコントロールを有効にし、さらに信号機と一時停止のコントロールを有効にして、**Model 3** が信号機、停止線、路面表示で制御された交差点に近付くと、車両は以下のように反応します。

交差点の種類	車両の意図した応答
 交通整理なし	Model 3 は、優先通行権があると考え、減速や停止をすることなく進みます。
 T字路の直進方向	
 T字路の突き当たり道路	<p>Model 3 が T字路をマップデータで検出した場合、Model 3 は減速し、タッチスクリーンに表示されている赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過したい場合は、ハンドルとアクセルを引き継ぐ必要があります。</p> <p>⚠️ 警告: Model 3 は、一時停止標識や停止線がない場合や、マップデータに T字路が含まれていない場合、T字路で停止できません。注意して走行し、すぐに停止できるように備えてください(必要な場合や適切な場合)。</p>
 一時停止標識	<p>Model 3 減速し、タッチスクリーンに表示される赤い停止線で完全に停止します。交差点を通過する場合、またはアクセルペダルを短く踏みます。</p> <p>注: Model 3 の停止前に、またはアクセルペダルを短く踏んで、一時停止標識のある交差点を通過しようと指示しても、その指示は無視されます。Model 3 は一時停止標識を停止せずに通過できるようには設計されていません。</p> <p>注: 交差点を曲がるには、オートステアリングを使用している場合であっても、方向指示器を出しても、ご自分でハンドルを回す必要があります(それでオートステアリングはキャンセルされます)。</p>



信号機と一時停止のコントロール

交差点の種類	車両の意図した応答
	一時停止標識や路面標示
	路面標示

⚠ 警告: Model 3 環状交差点でも減速して停止します。ステアリング操作をシステムから引き継ぎ（それでオートステアリングがキャンセルされ）アクセルペダルを短く踏んで、ラウンドアバウトの通過を承認します。

⚠ 警告: 横断歩道では、横断歩道が信号機で制御されているかどうか、また、カメラが横断歩道に歩行者や自転車を認識したかどうかによって、Model 3 は減速し、停止します。横断歩道では特に注意を払い、いつでも操作を引き継げるよう準備しておいてください。それを怠ると怪我や死亡につながる恐れがあります。

制限事項

信号機と一時停止のコントロールは以下の場所では、さまざまな状況と環境条件次第で停止することもあれば停止しないこともあります:

- 踏切
- 立ち入り禁止区域
- 料金所
- 横断歩道
- 譲れ標識や、一時的な信号機および一時停止標識（工事区間等）
- その他の交通 U ターン信号や歩行者横断用信号、走行車線指示信号等

さらに、次の条件が1つまたは複数ある場合には、信号機と一時停止のコントロールは想定通りの動作をしないか、切り離される、あるいは動作しないことが考えられます。

- それぞれの間隔が非常に短い連続した信号機のある交差点。
- 見通しが悪い（豪雨、雪、霧等）あるいは悪天候がカメラやセンサーの動作を妨げている。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている場合。
- カメラが妨げられている、覆われている、損傷している、適切にキャリブレーションされていない。



- 急速な上り坂や急カーブでカメラが前方の信号機や一時停止標識を認識できない。
- 信号機、一時停止標識、路面標示が妨害されている（木や大型車などにより）。
- Model 3** が前方車両に非常に近くまで接近し、カメラの視界を妨げている。

A 警告: 上記の制限は、**Model 3** が期待通りに動作しない原因の一部です。多くの予期せぬ状況が、信号機と一時停止のコントロールの正確な動作に悪影響を与えます。この機能を利用することで、注意深く、責任をもって運転する必要性が減るあるいはなくなるわけではありません。いかなる時でも適切かつとっさの行動がとれるよう備えておく必要があります。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



オートパーキング

この機能は、**2023年10月**頃に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限されたり、無効になる場合があります。

注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、オートパーキング機能がないモデルがあります。

オートパーキングではデータを使用して **Model 3** を操作して、縦列駐車や直角駐車スペースに駐車することで、駐車を簡単にしています。

! **注意:** カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

! **警告:** オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。

! **警告:** ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。

パラメーター

オートパーキングは、少なくとも幅が **2.9メートル** あって、両側に他の車両が駐車されている直角駐車ができそうな駐車スペースを検出します。オートパーキングは、少なくとも **6メートル** あるが、以下の平行駐車スペースを検出します。

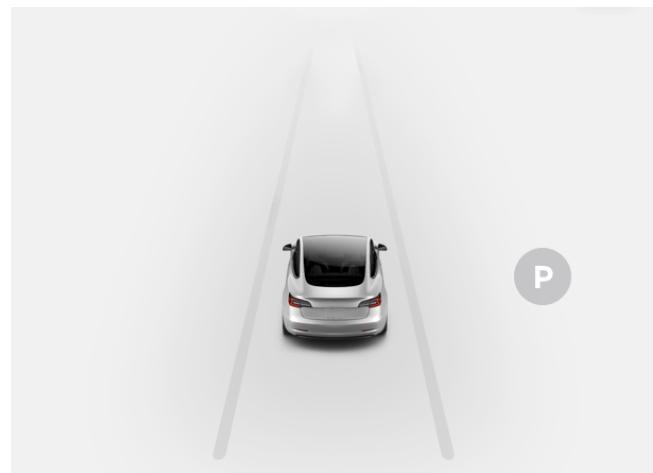
車両スピードは、縦列駐車の場合は **13 mph (21 km/h)** 未満、直角駐車の場合は **8 mph (13 km/h)** 未満にする必要があります。走行速度が速いと、オートパーキングが希望する駐車スペースを正確に検知することができない可能性があります。

注: オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

オートパーキングを使うには

運転中、オートパーキングで、**Model 3** を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

1. ゆっくり運転しながら、タッチスクリーンを監視して、オートパイロットによって検知された駐車スペース候補を確認します。**Model 3** が検出された位置の**1つ**に更新して入ることができるように配置されると、タッチスクリーンにパーキングアイコンが表示されます。



注: パーキングアイコンは、車両の位置および/または車両の周囲で適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を検出できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探すか、手動で駐車してください。

2. スポットを選択して適切で安全であるかを確認したら、（縦列駐車または後進で直角に車庫入れする際に通常行うように）車両を駐車スペースの前方、車1台分のところまで車を前進させて停車します。
3. ハンドルを解除してから、タッチスクリーンのドライブモードストリップで「オートパーキング」をタッチし続けます。ボタンを1回離すとオートパーキングが作動します。
4. 駐車が完了するとオートパーキングによってメッセージが表示されます。

オートパーキングが **Model 3** を駐車動作をしているときにブレーキペダルを踏むと、タッチスクリーンの「復帰」ボタンが押されるまで、駐車動作は停止します。

! **警告:** 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。

! **警告:** オートパーキングがアクティブにステアリングを操作している場合 **Model 3**

- ハンドルの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- 周囲を継続的に確認してください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- タッチスクリーンを監視し、オートパーキングからの指示に注意を払ってください。



パーキングを一時停止する

オートパーキングを一時停止させるには、ブレーキペダルを一度踏んでください。Model 3は、タッチスクリーンにある「再開」をタッチするまで停止します。

パーキングをキャンセルする

ハンドルを手動で動かすか、ギヤを変更するか、またはタッチスクリーンの「キャンセル」をタッチすると、オートパーキングは駐車操作をキャンセルします。オートパーキングは以下の場合でもキャンセルされます：

- 駐車するための動作が**7**回以上ある場合。
- Model 3が、ドライバーは車両から退出していると検出した場合。
- ドアが開いた場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- オートパーキングが一時停止中にドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき(衝突回避アシスト参照)。

この機能は、**2023年10月**頃に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限されたり、無効になる場合があります。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にサモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

サモンでは、車両の外側に立って、**Model 3**を自動的に駐車させたり、呼び寄せることができます。サモンでは、**Model 3**を前後に最大**12 m**駐車スペースとの間で移動させます。

スマートサモン（装備されている場合）と携帯電話を利用して、障害物を避けながら**Model 3**をより長い距離移動させることができます。スマートサモンを使用すれば、車両がお客様のいる位置を検知することができます（または、選択した場所まで車両を移動させることができます）。[スマートサモン](#)を参照してください。

サモンを使用するには、**Model 3**の近くに有効なキーが検出できる必要があります。

⚠️ 警告: サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

⚠️ 警告: サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、サモンを責任をもって安全に、意図どおりに使用する責任があります。サモンの制限とその使用を妨げる可能性のある条件の詳細については、「[警告と制限](#)」を参照してください。

サモンを使用する前に

サモンを作動させる前に、タッチスクリーンでサモンをオンにしてお好みの動作方法にカスタマイズしてください。「コントロール」>「オートパイロット」>「サモンのカスタマイズ」の順にタッチし、お好みに合わせて以下の設定を調節します。

- バンパークリアランス: サモン使用時の検知物体から離れて停止する距離設定（例：ガレージの壁から数インチ内に停止を希望）。この距離は、前進時サモンが**Model 3**の前面に検知する、または後進時サモンが**Model 3**の後ろに感知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。
- サモン距離: 駐車スペースへの出入り時に、**Model 3**が移動する最長距離の設定。
- サイドクリアランス: サイドクリアランスの許容距離を指定するオプションを選びます。「タイト」では、**Model 3**が非常に狭い駐車スペースに出入りできるようになります。

⚠️ 警告: 狹いスペースに駐車することは、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が障害物の位置を正確に検出する能力を制限するため、**Model 3**または周囲にある物体に損傷を与えるリスクがあります。

上記設定は、サモン装備車のみに適用されスマートサモン（装備されている場合）には適用されません（[スマートサモンを使用する前に](#)を参照）。スマートサモンでバンパーとの間隔、距離、側面の間隔はカスタマイズできません。スマートサモン使用時には、必ずモバイルアプリ上のボタンを長押しして**Model**

3を動かしてください。また、スマートサモンは、モバイルアプリでのみ作動します。設定はすべて手動で変更するまで保たれます。

サモンを使用した車両の駐車・呼び出し

サモンを使用し**Model 3**を駐車するには、次の手順を行います。

- Model 3**を**12 m**の駐車スペース内に駐車させますので、前進でも後進でも**Model 3**はスペースの内外へ一直線の経路を辿ります。
- モバイルアプリ上で「サモン」をタッチすることで、車外から駐車動作を開始し、「前進」または「後進」ボタンを長押しします。

サモンは**Model 3**を前進または後進（指定方向に基づく）へと切り替え、駐車スペース内外へ運転します。駐車完了時、または障害物を検知した場合、サモンは**Model 3**をパーキングへと切り替えます。サモンが**Model 3**をパーキングへと切り替える時：

- Model 3** その進行経路（指定した「バンパークリアランス」設定範囲内）にある障害物を検知します。
- サモンが**Model 3**を最大移動距離**12 m** 移動させた場合。
- 「前進」または「後進」ボタンから指を離します。
- 手動でサモンを停止させるには、いずれかのボタンを押してください。

Model 3の駐車にサモンを使用した場合、**Model 3**を元の位置（**Model 3**が駐車したままの状態）および指定した最大の「サモン距離」まで戻すのにも（どちらが先でも）、サモンを使用できます。障害物がない場合は、モバイルアプリ上で反対方向を指定するだけで、サモンが元の経路に沿って**Model 3**を移動させます。障害物を検知した場合、**Model 3**はその元の経路にごく近い経路を辿りながら障害物を避けようとします（サモンは障害物周辺で車両を移動させません）。

注: サモンを使用して**Model 3**を複数回同じ方向へ動かす（最大移動距離が**12 m**以内）には、サモンをキャンセルし、同じ方向を用いて駐車動作を再開してください。

注: 障害物を避けるために**Model 3**をサモンが少しだけ外側に移動させますが、元の運転経路に戻す際に**Model 3**を障害物周辺で動かすことはありません。スマートサモン（装備されている場合）の場合のみ、**Model 3**が障害物周辺を操舵して動くことができます。

注: サモンを使用するには、**Model 3**の近辺に認証済み携帯電話が検出できる必要があります。

⚠️ 警告: **Model 3** バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があり、そのため適切に**Model 3**を移動させないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して**Model 3**を停止できるよう準備して待機する必要があります。



サモンの停止またはキャンセル

サモンが有効なときは、モバイル アプリを使用して、**Model 3** をいつでも停止できます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- **Model 3** が障害物を検知した場合。
- サモンが、**Model 3** を最大移動距離約 **12 m** 動かした場合。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、**Model 3** への接続が途切れた場合。

スマート サモン

この機能は、**2023年10月**頃に製造された車両用の将来のソフトウェアアップデートで有効になるまで、一時的に制限されたり、無効になる場合があります。

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にスマート サモンが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。

スマート サモンは、**Model 3** がドライバーのいる場所（携帯電話の **GPS** を設定目的地として）まで、または選択した場所まで、必要に応じて物体を避けながら走行できるように設計されています。スマート サモンは、携帯電話が **Model 3** から約 **6 メートル**以内にあるときに、**Tesla** モバイルアプリを使って操作します。

スマート サモンは、駐車スペースからの車両の出し入れを行い、自分がいる近くの場所まで **Model 3** を運転します。狭い駐車場の外へ **Model 3** を移動させるとき、水溜りを通るとき、荷物を運んでいる最中に車を呼び寄せるのに役立ちます。お客様と **Model 3** の間に障害物のない見通しの良い場所を選び、車両やその周囲を常にしっかりと監視するようにしてください。

! 注意: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

! 警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

! 警告: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。スマート サモンの制限事項を理解するのは、お客様の責任です（**制限と警告**を参照）。

スマート サモンを使用する前に

- 最新版の **Tesla** モバイルアプリを携帯電話にダウンロードして、必ず携帯電話のサービス圏内にあるようにし、**GPS** を有効にしてください。
- 車両から約 **6 メートル**以内で携帯電話を **Model 3** に接続してください。
- 車両のカメラを正しくキャリブレーションしてください（[走行中のカメラキャリブレーション](#)を参照）。
- Model 3** まで障害物なく見渡せるように視界を保ってください。
- Model 3** を充電中の状態ではなく駐車状態にしてください。そして、すべてのドアヒンジとトランクを閉めてください。

! 注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

スマート サモンを使用する

- Tesla** モバイルアプリを開き、「サモン」にタッチします。

2. Model 3 の画像中央にあるスマート サモンアイコンをタッチします。スマート サモンが起動するまで数秒かかります。

注: スタンバイモードを使用して、スマート サモンの起動時に発生する遅れを解消することができます（[スタンバイモード](#)参照）。

モバイルアプリの地図に **6 メートル**という使用可能範囲を示す青い円が表示されます。**Model 3** から携帯電話までの距離がこの範囲内となるような場所で使用してください。地図上の青い点がお客様の現在地を表し、赤い矢印が車両を表しています。

3. 障害物がなく Model 3 をはっきりと見渡せる、青い円内の場所で使用してください。

4. 以下のモードのどちらを使用してもスマート サモンを操作することができます。

- 「ここに来る」モード: 「ここに来る」ボタンを長押しします。**Model 3 GPS** が検知されている場所まで車両が移動します。お客様が動くと、**Model 3** も後を着いて行きます。お客様の場所に **Model 3** がたどり着くと停車し、ギアをパーキングに切り替えます。
- 「指定地に進む」モード: 十字アイコンをタッチしてから地図をドラッグして、選択する目的地にピンを置きます。「指定地に進む」ボタンを長押しします。**Model 3** は目的地へ移動します。場所に到着したら、**Model 3** は停止し、パーキングにギアを切り替えます。また、モバイルアプリにサモンが終了した旨のメッセージが表示されます。

注: 続けて場所を変更したい場合、指を放してから地図に再度ピンを置き、「指定地に進む」をもう一度長押しします。

「ここに来る」または「指定地に進む」ボタンから指を話せばいつでも **Model 3** を停車させることができます。

 地図の十字アイコンが「指定地に進む」と「ここに来る」モード間で切り替わります。「ここに来る」モードが選択されているときには、アイコンが青色になります。

注: 地図には、衛星画像を表示/非表示できるアイコンもあります。

いずれのモードでもスマート サモンを開始するとすぐに、ハザードランプが点滅し、ミラーが格納され、**Model 3** はドライブまたはリバースにシフトします。**Model 3** その後、「ここに来る」モードでは) 自分のいる位置の **1 メートル**範囲内まで、(「指定地に進む」モードでは) 選択した場所まで、必要に応じて障害物を避けながらゆっくりと移動します。**Model 3** が移動すると、地図上で対応している赤い矢印も動き車両の位置を示します。お客様が動くと、対応している青い点も動き、お客様の位置を示します。

いずれのモードでも、以下の状況では **Model 3** が移動を停止しパーキングに切り替わります。

- モバイルアプリのボタンから指を離したとき。



- ・携帯電話と **Model 3** 間の最大範囲を超えた場合（車両をドライバーの位置から離れていくように目的地に移動させる場合、ドライバーはこの利用範囲内を維持するために車両の後についていく必要があります）。

- ・走行経路が遮られているとき。

- ・**Model 3** が、スマート サモンの使用を開始してから、移動最長距離の **20 メートル** を移動している場合。

注：スマート サモンが **Model 3** を **3 メートル** 前方に動かしてから **2 メートル** 後方へ動かす場合、**5 メートル** の移動距離となります。

注：モバイルアプリを見る必要はありませんので、常に **Model 3** やその走行経路を注視しながらボタンを押し続けてください。また、必要に応じて車両を停車させられるようにボタンから指を放すことができるようにしておいてください。

⚠ 警告：ボタンから指を離して **Model 3** を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。

⚠ 警告：障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例：人、子供、または動物がいる場所。

⚠ 警告：スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に **Model 3** を停止できるように注意を払ってください。

スタンバイ モード

Model 3 でサモンを開始できるようにしてウォームアップ時間を短縮するためには、スタンバイモードをオンにします。「コントロール」>「オートパイロット」>「スタンバイモード」の順にタッチします。スタンバイモードがオンのとき、以下の場所でスタンバイモードを無効にしてバッテリーを省エネモードにすることができます。

- ・自宅を除く - お気に入りリストに自宅として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- ・勤務先を除く - お気に入りリストに勤務先として設定した場所でスタンバイモードを無効にします。
- ・お気に入りを除く - お気に入りリストに登録した場所でスタンバイモードを無効にします。

注：省エネのため、スマート サモンは深夜から午前 **6 時**まで自動的にスタンバイモードでなくなります。この時間帯は、スマート サモンの起動には少し時間がかかります。

注：スタンバイ モードが有効になっている間は、バッテリー電力が多く消費されます。

注：目的地を自宅、勤務先、またはお気に入りとして設定する方法の詳細は、[自宅、勤務先、お気に入りの目的地](#)を参照してください。

スマート サモンを停止またはキャンセルする

モバイルアプリ上のボタンを放すと、スマート サモンは **Model 3** を停止させます。スマート サモンは、「ここに来る」または「指定地に進む」をもう一度押すだけで再開できます。

⚠ 警告：常に **Model 3** を停車させる必要があるかどうかを予測してください。携帯電話と **Model 3** 間の通信接続状況により、ボタンから指を放してから車が停車するまで多少の遅れが生じる場合があります。

次の場合は、スマート サモンをキャンセルをして再開が必要です。

- ・ドア ハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。
- ・ハンドル、ブレーキ ペダル、アクセル ペダル、シフトのいずれかを操作している場合。
- ・**Model 3** が障害物で遮られている場合。
- ・スマート サモンが **Model 3** を最大距離まで移動させました。この距離よりも遠くに移動させるには、**Model 3** をドライブまたはリバースに切り替えてから、スマート サモンの操作をはじめから再開します。
- ・お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、**Model 3** への接続が途切れた場合。



制限と警告

このトピックでは、以下のオートパイロットおよびフルセルフドライビング（ベータ版）機能に関する警告、注意、および制限事項について説明します。

- トライフィックアウェア クルーズコントロール
- オートステアリング
- ナビゲート オン オートパイロット
- オートパーキング
- サモン
- スマート サモン

注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、前述の機能がすべて装備されてはいない場合や、機能が記述通りには作動しない場合があります。

⚠️ 警告: オートパイロットを使用する前に、以下の警告と制限をよくお読みください。すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

注: それぞれのドライブを開始する前、またはオートパイロットの機能を使用する前に、すべてのカメラが汚れていないことを確認します（カメラのクリーニングを参照）。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。カメラが遮られている場合、または覆われている場合、**Model 3** のタッチスクリーンにメッセージが表示され、オートパイロット機能が使用できなくなる可能性があります。

トライフィックアウェア クルーズコントロール

トライフィックアウェア クルーズコントロールを使用する際は、常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。

さらに、常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。トライフィックアウェア クルーズコントロールが作動している間は、次の制限に注意してください。

- 速度制限で変わっても巡航速度は変わらないような状況があることが考えられます。
- トライフィックアウェア クルーズコントロールは道路や運転の状況に応じて運転速度を調整しません。急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結してたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトライフィックアウェア クルーズコントロールを使用しないでください。
- 適切な車間距離を維持するために、トライフィックアウェア クルーズコントロールのみに頼らないでください。
- 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトライフィックアウェア クルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トライフィックアウェア クルーズコントロールが先行車両との車間距離を誤判定することもあります。下り坂を走行すると、**Model 3** の走行速度が上がり、設定速度（場合によっては制限速度を超過する恐れがある）を超えてしまうことがあります。

- トライフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに **Model 3** にブレーキをかけることがあります。その原因是、先行車両との車間距離が短いことや（特にカーブで）隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。

- 車載 GPS（グローバル ポジショニング システム）の限界により、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、ナビを使って目的地に向かっている時に提示ルートに従わない時など、**Model 3** によって車両が減速することがあります。

- 場合によっては（データが不足している場合など）、トライフィックアウェア クルーズコントロールは高速道路のインターチェンジまたはオフランプの走行時に設定された速度を自動的に減速しない場合があります。

- トライフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検知できない場合があり、静止した車両や物体と衝突しないようブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に **50 mph (80 km/h)** 以上で走行しているときに追尾していた車両が視界から消え、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。

- トライフィックアウェア クルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、**Model 3** を必要でないときまたは不適切なタイミングで減速させる場合もあります。

⚠️ 警告: トライフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはセンサー（装備されていれば）が障害物に覆われている（霧の発生、汚れ、ステッカーで覆われているなど）。

⚠️ 警告: 前記のリストはトライフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。トライフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。**Model 3** を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

⚠️ 警告: トライフィックアウェア クルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。**Model 3** を適切に減速させる操作をトライフィックアウェア クルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

⚠️ 警告: トライフィックアウェア クルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、**Model 3** の速度を減速するのに決してトライフィックアウェア クルーズコントロールだけに頼らないでください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。



オートステアリング

! 警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。常にハンドルに手を置いて、道路状況や周囲の交通状況に注意し、すぐ行動できるように常に準備してください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

! 警告: オートステアリングは、注意力の高いドライバーが進入制限された高速道路などを走行するときに使用することを前提としています。オートステアリングを道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある場所では使用しないでください。

! 警告: 適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。

! 注意: オートステアリングおよび関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- オートステアリングが車線マーカーを正確に認識できない場合。たとえば、車線マーカーがひどくかすれている、以前のマーカーが見えている、道路工事のために車線マーカーを変更している、車線マーカーが短区間に変更されている（車線の分岐、交差、合流で）、車線マーカーに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- ウィンカーを出した時に、車両がドライバーの死角で検出された場合。
- **Model 3** が走行中に先行車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている場合。

! 警告: 様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは **Model 3** を適切に操車できない場合があることを常に頭に入れておいてください。常に注意深く運転し、直ちに行動できるよう備えてください。

! 警告: オートステアリングは、部分的に車線内にある物体の周りで **Model 3** を操舵するようには設計されていません。また、場合によっては、車線を完全にブロックしている物体に対して停止しない場合もあります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすればやく取れるようしてください。**Model 3** を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

自動車線変更

! 注意: 自動車線変更を使用して車線を変更する場合、車線変更が安全かつ適切であるかどうかを判断するのは運転者の責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

! 注意: 自動車線変更を使用する場合は、次の制限に注意してください。

- 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、タッチスクリーンの警告に気を配りながら注意深く運転してください。即座に対応できるように準備してください。
- 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が多い市街地の道路では、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。
- 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサー（装備されていれば）の機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。
- 追い越し加速は、上記の状況（たとえば **GPS** データの欠落）以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。
- 追い越し加速では、該当するウィンカーを出すと車速が増し、**Model 3** は加速して先行車両に近づきます。トラフィックアウェイ クルーズコントロールは先行車両との車間距離を保ちますが、特に先行車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

赤信号と一時停止標識の警告

! 警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能は、車両が赤信号や一時停止標識があることを地図で認識している必要があります。場合によっては、地図データが不正確であるか古くなっているために、すべての赤信号や一時停止標識が含まれていないことがあります。したがって、赤信号および一時停止標識の警告機能では、一部の赤信号や一時停止標識を検出できない可能性があります。

! 警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能においては、**Model 3** にブレーキングや減速を適用せず、すべての信号機および一時停止標識を検出できるとは限りません。赤信号および一時停止標識の警告機能は、ガイダンス目的で設計されており、注意深い運転や適切な判断をしなくてもよいわけではありません。走行中は、赤信号および一時停止標識を警告する赤信号および一時停止標識の警告機能に任せきりにせず、常に道路に注意を払ってください。



制限と警告

⚠ 警告: 赤信号および一時停止標識の警告機能は、目に見える赤信号が点灯または黄色の信号機の後半部分に近づいたときにのみ警告するように設計されています。信号が点滅している交差点については警告しない場合があります。また、「道譲れ」標識や工事現場などの一時的な停止標識についても警告しません。さらに赤信号および一時停止標識の警告機能は、赤信号や一時停止標識に接近しているときに、アクセルペダルやブレーキペダルを踏んでいる場合は警告を出しません（オートステアリングが無効になります）。

ナビゲート オン オートパイロット

⚠ 警告: オフランプでの適切な車線を決定する際は、ナビゲート オン オートパイロットに依存しないでください。常に注意を払い、目視チェックを行い、安全で適切な走行車線を確実に選ぶように心がけてください。

⚠ 警告: 「車線変更の確認をする」をオフにした場合、ナビゲート オン オートパイロットは、近づく車線変更とオフランプを知らせますが、常に周囲環境を監視して **Model 3** の制御を維持するのはドライバーの責任です。突然、急に車線変更をしなければいけない可能性があります。常にハンドルから手を離さず、前方の走行経路から目を離さないでください。

⚠ 警告: ナビゲート オン オートパイロットは、自律的な運転を行うものではありません。ドライバーは、走行する道路に注意を払い、常にハンドルを握った状態を維持し、ナビゲーションルートを認識し続けている必要があります。

⚠ 警告: 通常の運転と同様に、見通しの悪い曲がり角や高速道路の入口、出口、またはインターチェンジでは、障害物が突然現れる可能性がありますので特に注意を払ってください。

⚠ 警告: ナビゲート オン オートパイロットでは、近づいてくる車両、静止した物体、バイクやカーブールや緊急車両などの専用の特別な車線を認識したり検出したりすることができない場合があります。常に警戒を怠らずに、即座に対応できる準備をしておいてください。そうしない場合は、損傷や重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

オートパーキング

⚠ 注意:

オートパーキングのパフォーマンスは、車両が縁石、物体およびその他の車両に接近している程度を、カメラおよびセンサー（装備されていれば）が判定する能力によって左右されます。オートパーキングの使用前および使用中は、以下の警告に注意してください。

- ボールヒッチ、バイクラック、トレーラーなどをけん引ヒッチに取り付けている場合はオートパーキングを使用しないでください。他の車両の間や前方に駐車する場合、オートパーキングがヒッチで停止しない可能性があります。
- 決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見て確認してください。
- **Model 3** のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。
- パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。
- オートパーキング作動中はタッチスクリーンに目を配り、オートパーキングからの指示を認識できるようにしてください。

⚠ 注意:

オートパーキングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキングは平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している場合（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されていれば）の動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。



! 警告: 予期しない状況により、オートパーキングで **Model 3** を駐車できないことがあります。この点に留意してください。結果的にオートパーキングでは **Model 3** を適切に駐車できない場合があります。**Model 3** のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしてください。

サモン

! 注意:

サモンの性能は、物、人、動物、また他の車両への車両の接近を把握するカメラおよびセンサー（装備されれば）の性能によって決まります。サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。サモンでは、約 2.5 cm の差がある端部を越えて **Model 3** を動かしません。
- 1つ以上のセンサー（装備されれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model 3** は、けん引モードになっているか、アクセサリーが取り付けられています。

! 警告: サモンの適当な動作を妨げる恐れのある状況は、上記の一覧に限りません。**Model 3** を常にコントロールできる状態でいることは、ドライバーの責任です。サモンが **Model 3** を動かしている時その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

! 警告: **Model 3** バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体、または天井からぶら下がっている物体（例、自転車など）などは検出できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、サモンの駐車スペース内外へ移動させる性能が低下する場合があり、そのため適切に **Model 3** を移動させないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して **Model 3** を停止できるよう準備して待機する必要があります。

スマート サモン

! 注意: スマート サモンは、ベータ版の機能です。継続して車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしてください。ドライバーには、スマート サモンを責任をもって安全に、意図したとおりに使用する責任があります。

! 注意: スマート サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。スマート サモンを公道で使用しないでください。

注: **Model 3** がバーレーモード（バーレーモード参照）の場合、スマート サモンは無効になります。

! 注意:

以下の状況では、スマート サモンが意図どおりに動作し難くなります。

- 携帯電話の電波通信が弱いために **GPS** データが利用できない時。
- 走行経路に傾斜・勾配がある場合。スマート サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）でのみ動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出した場合。コンクリートの角が高い場合、スマート サモンでは **Model 3** がその上を超えられない場合があります。
- 1つ以上のセンサー（装備されれば）またはカメラのいくつかが損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサー（装備されれば）やカメラの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model 3** は、けん引モードになっているか、アクセサリーが取り付けられています。

! 警告: スマート サモンの適した動作を妨げる恐れのある状況は、上記一覧に限りません。**Model 3** を常にコントロールできる状態でいることは、ドライバーの責任です。スマート サモンをオンにして **Model 3** を移動させている時は常に細心の注意を払い、すぐに対応できるようにしておいてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。

! 警告: スマート サモンは、舗装道路でのみ使用してください。

! 警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、あらゆる交通状況に反応するというわけではありません。スマート サモンは、交通の進行方向を認識せず、他に車両が停まっていない駐車場ではナビ走行を行いません。また、交差点での車の行き来を予測することはできません。

! 警告: スマート サモンの使用時、お客様と **Model 3** 間に障害物がなく見渡せるようにし、いつでもモバイルアプリのボタンから指を放して車両を停止できるようにしておいてください。

! 警告: ボタンから指を離して **Model 3** を停止させる時、車両の停止までわずかに遅れが出ます。そのため、常に車両の走行経路に細心の注意を払い、前もって車両が検知できない可能性のある障害物を予測することが重要です。



制限と警告

⚠ 警告: 障害物の動きが予測できない環境でスマート サモンを使用する時、厳重に注意してください。例:人、子供、または動物がいる場所。

⚠ 警告: スマート サモンはすべての物体（特に縁石などの非常に低い物体、または棚などの非常に高い物体）を検知して停止するわけではなく、すべての対向または縦断交通状況に反応するわけでもありません。モバイルアプリ上のボタンを放して、常に **Model 3** を停止できるように注意を払ってください。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



Model 3 走行中の車線のマーカーおよび周囲に車両やその他の障害物がないか監視します。

死角や **Model 3** (車両、ガードレールなど) の側面近くに物体を検知すると、タッチスクリーンに車両の画像から放射状に色付きのラインが表示されます。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインの色（白色、黄色、オレンジ色、または赤色）は、物体が **Model 3** に対してどれだけ近くにあるかを示し、白色が最も遠く、赤色が、ただちに注意を払わなくてはならない最も近い状態を表します。この色の付いたラインは、約時速 **12 km ~ 140 km** で走行している時のみ表示されます。また、オートステアリングが有効にされているとき、走行速度が時速 **12 km** 以下になると色の付いたラインが表示されます。しかし、**Model 3** が停止状態（渋滞時など）になると色の付いたラインは表示されません。



! 注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。汚れたカメラやセンサーは、雨天や消えかかった車線マークなどの環境条件と同様にオートパイロットのパフォーマンスに影響をもたらします。

! 警告: レーンアシスト機能の役割は誘導のみであり、運転者の目視による確認に代わるものではありません。車線変更前には、必ずサイドミラーを使用し、適切な肩越しチェックを実行して、車線を変更しても安全で、それが適切であるかを目で確認する必要があります。

! 警告: レーンアシストは、気付かないうちに走行レーンの外側を運転している状態や、自車のそばや死角に車両がいるなどの状態を知らせてくれるものではありません。レーンアシストのパフォーマンスを損なう外的な要因はいくつかあります（制限事項および不正確性を参照）。警戒を怠らず、走行車線や他の車両に注意を払うのはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

ステアリング介入

レーンアシストは、**Model 3** が隣の車線に入り込み（近づいて）車両などの物体が検出された場合、操舵に介入します。このような状況では、**Model 3** は自動的にハンドルを操作して、走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングは、車線マーカーがよく見える主要道路を **Model 3** が **48~145 km/h** で移動しているときのみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

km/h で移動しているときのみ作動します。自動的なハンドリングが実行されると、少しの間、タッチスクリーンに警告メッセージが表示されます。

車線逸脱防止

車線逸脱防止機能は、**Model 3** が走行車線から逸脱している、または走行車線の端に接近した場合に警告するように設計されています。

車線逸脱防止機能は、車線区分線がはっきり見える道路を時速 **64~145 km** で走行中にのみ作動します。「コントロール」>「オートパイロット」>「車線逸脱防止」をタッチし、以下のオプションのどちらかを選択すると車線逸脱警告の動作を選択できます。

- オフ: 車線逸脱や隣接車線の車両との衝突が起こりそうな場合も警告は発せられません。
- 警告: フロントホイールが車線区分線を超えると、ハンドルが振動します。
- アシスト: **Model 3** が隣接車線に入り込むか、道路の端に接近した場合、**Model 3** を安全な位置に留めるため、ステアリング修正が適用されます。

車線逸脱防止が有効で、トラフィックアウェイ クルーズコントロールが機能している場合、該当するウインカーがオフの場合に **Model 3** が走行車線を逸脱すると、レーンアシストが、ドライバーの手がハンドルの上にあるかを確認します。ドライバーの手が検知されなければ、タッチスクリーンには、オートステアリングで運転するときに使用したものと同様の連続警報が表示されます。手の検知に繰り返し失敗すると、**Model 3** は速度制限または設定クルージング速度から **25 km/h** 遅い速度まで徐々に減速し、ハザードライトが点滅し始めます。

注: 車線逸脱防止機能では、対応する方向指示器がオンになっていて意図的な車線変更が示されていれば、車線を離れても警告は発生せず、操舵の割り込み動作も発生しません。

! 警告: 車線逸脱防止機能は、安全に走行できるようにアシストすることを目的としたものですが、必ず作動するものではありませんので、ドライバーは注意して車両を運転する必要があります。

! 警告: 常に手はハンドルに置いて、慎重に運転してください。

! 警告: ステアリング介入は最小限しか行われず、**Model 3** を走行車線外に移動させることはできません。側面衝突を避けるためにステアリング介入に頼ることはしないでください。

緊急車線逸脱防止

緊急車線逸脱防止機能では、以下のような状況で衝突の危険性を回避するため、ハンドルが自動的に切られます:

- **Model 3** が車線を離れて（方向指示器のステータスとは無関係に）、隣の車線で同じ方向に走行している車両と衝突しそうなとき。
- **Model 3** が方向指示器がオフで車線を離れて対向車線に入りそうになり、対向車が検知されたとき。



レーンアシスト

- Model 3 が道路から逸脱しそうで、方向指示器がオフのとき（道路端に非常に近寄り過ぎて、衝突する恐れがある場合など）。

この機能をオン、オフするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「緊急車線逸脱防止」をタッチします。

緊急車線逸脱防止がステアリングに適用されると、チャイムが鳴り、タッチスクリーンには警告が表示されて車線区分線が赤色で強調表示されます。

緊急車線逸脱防止機能は、Model 3 が車線区分線や縁石などで区分がはっきりしている道路を時速 **64~145 km** で走行中のみ作動します。

⚠️ 警告: 緊急車線逸脱防止機能があるからといって、注意深い運転や適切な判断が不要になるわけではありません。運転時は道路を注視し、緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できるとは思わないでください。運転パフォーマンスを低下させ、損なう要因がいくつもあります。緊急車線逸脱防止機能で衝突が回避できると考えてしまうと、重傷事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブラインドスポットインジケータ

自動ブラインドスポットカメラ

方向指示器を出したときに対応する側のリピーター カメラ映像を表示するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動ブラインドスポットカメラ」の順にタッチします。

ウィンカーが作動し、タッチスクリーンにサイドリピーターカメラからの画像が表示されている場合、タッチスクリーン上の別の場所に画像を移動できます。これを行うには、画像をタッチして新しい位置にドラッグします（有効な位置は、画像を長押ししたときに表示される影付きの領域で示されます）。

⚠️ 警告: 自動ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

ブラインドスポット衝突警告チャイム

死角に他の車両がいて衝突の危険が検知されたときにチャイムがなるよう設定するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「ブラインドスポット衝突警告チャイム」の順にタッチします。

⚠️ 警告: ブラインドスポット カメラが搭載されていても、車線変更するときは周囲に注意を払い、肩ごしから後方確認を必ず行ってください。

⚠️ 警告: ブラインドスポット衝突警告チャイムは、すべての衝突を検出できるわけではありません。車線変更するときは、注意を怠らず、肩越しから後方確認を行うことはドライバーの責任です。

ブラインドスポットインジケータ

左右のフロント ドア ピラーにあるアップルスピーカー グリルにはブラインド スポットインジケータが装備されています。「コントロール」>「ライト」>「ブラインドスポットインジケータ」の順にタッチすることで、ブラインド スポットインジケータを有効または無効にすることができます。ドライバーの死角に隣接する車線を走行する車両を検出した場合、アップルスピーカー グリルに赤色のライトが表示されます。

- 赤色のライトが点灯している場合、ドライバーの死角に車両が検出されたことを示します。
- 赤色のライトが点滅している場合、ドライバーの死角に車両があり、その方向に曲がろうとしてウィンカーが出ていることを示します。
- 赤色のライトが急速点滅している場合、車両が検出されていて、衝突を回避するためには直ちに是正措置をとる必要があることを示します。



⚠️ 警告: 死角にある車両を検出するのに、ブラインドスポットインジケータを信頼しないでください。車線変更をする際は、障害物や車両がないことを必ず目視確認してください。

制限事項および不正確性

レーンアシスト機能は、必ずしも常に車線区分線を検出できるわけではなく、以下のような状況では不必要的警告は不正警告が発生することがあります：

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model 3 の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- フロント ガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。



- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります：

- 1つ以上のセンサー（装備されている場合）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model 3**に取り付けられている物体（バイクラックやバンパー、ステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは **Model 3** を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- Model 3** が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model 3** レーンアシスト機能が動作する設計上の速度範囲内で走行していない。
- 1つ以上のセンサー（装備されれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model 3** に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。



警告：上記のリストは、レーンアシスト機能を妨げるすべての状況を表しているわけではありません。レーンアシスト機能が想定どおり機能しない理由はさまざまです。衝突を回避するために、万が一の場合にできるだけ早く反応できるよう走行する道路に注意を払ってください。



衝突回避アシスト

以下の衝突回避機能は乗員の安全性を高めることを目的とするものです。

- 正面衝突警告システムは、**Model 3** が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、視覚、聴覚、および触覚による警告を発します（[正面衝突警告](#)を参照）。
- 自動緊急ブレーキは、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます（[自動緊急ブレーキ](#)を参照）。
- 障害物検知走行モード - **Model 3** がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させます（[障害物検知走行モード](#) を参照）。

! 注意: カメラ、センサー類すべてに汚れがないことを確認してください。カメラやセンサーが汚れていると、雨天時や車線マークが色あせしている場合などと同様にパフォーマンスに影響が出ます。

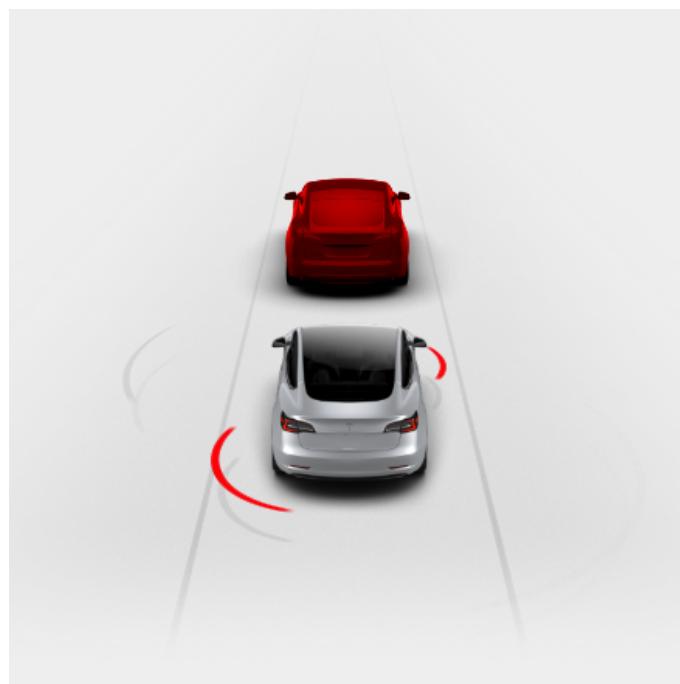
! 警告: 正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、必要性または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

! 警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によっては、走行速度を落とすことにより衝突の衝撃を最小限にいくとめることができます。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

! 警告: 障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

Model 3 前方に、車両、オートバイ、自転車または歩行者といった障害物が存在しているかを監視します。ドライバーがどちらの正行動をとらず衝突しそうな場合、正面衝突警告がチャイムを鳴らし、タッチスクリーンには前の車が赤く警告表示されます。これが表示されたら、直ちに是正措置を取ってください。



視覚、聴覚および触覚的警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します（例えば **Model 3** を減速または停止させた場合や、車両前方の物体が走行経路から外れた場合など）。

Model 3 が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキ（有効になっている場合）がかかる場合があります（[自動緊急ブレーキ](#)を参照）。

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。正面衝突警告をオフにする、または感度を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「正面衝突警告」の順にタッチします。標準設定の「中間」のほか、警告を「OFF」、「遅め」または「早め」に設定することができます。

注: 手動で正面衝突警告を「OFF」にすると、それぞれのドライブの開始時に、正面衝突警告は自動で「中間」にリセットされます。

! 警告: 正面衝突警告に関するカメラやセンサー（装備されているれば）は、走行ルート上およそ 160 メートルの範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

! 警告: 正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行なうためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、**Model 3** を減速させるものではありません。警告の表示や音声通知があった場合は、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

! 警告: 正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、**Model 3** の前方に注意を払い、何らかのアクションの必要がないか予測してください。

正面衝突警告は、およそ **5 km/h** から **200 km/h** で走行している場合に限って作動します。

! 警告: 正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。



自動緊急ブレーキ

Model 3 検出した物体までの距離を判定するように設計されています。自動緊急ブレーキは、衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、減速して衝突の衝撃を和らげるよう設計されています。減速の程度は、巡航速度や環境など多数の要因に左右されます。

自動緊急ブレーキがかかると、タッチスクリーンに警告が表示され、警告音も鳴ります。ブレーキペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。



自動緊急ブレーキは、およそ **5 km/h** から **200 km/h** で走行している場合に限って作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況ではブレーキをかけない場合や、作動させていたブレーキを解除する場合があります。

- ハンドルを急に回転させた場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている際に運転手が加速した場合。
- 車両、オートバイ、自転車、または歩行者がもはや前方に検出されなくなった場合。

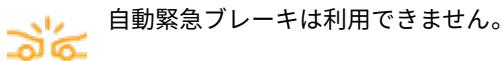
Model 3 を始動すると自動緊急ブレーキは常に有効になります。現在の運転において無効化する場合、パーキングにシフトし、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。自動緊急ブレーキを無効にしても、最初の衝突を検知すると、車両がブレーキを掛けたさらなる衝撃を減らそうとする可能性があります（[マルチ衝突ブレーキ](#)を参照）。無効にすると、タッチスクリーンに視覚的なメッセージが表示されます。



⚠ 警告: 自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、**Model 3** は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。

注: 自動緊急ブレーキは、正面衝突および後進時の衝突の衝撃を緩和するように設計されていますが、リバースにシフトしているときは機能に制限があります。

自動緊急ブレーキは利用できない場合は、タッチスクリーンに、警告が表示されます。



警告: 自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。



警告: 車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破損があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとしないでください。



警告: 自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。



警告: 自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。運転席フロアマット（追加のマットも含む）の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

マルチ衝突ブレーキ

自動緊急ブレーキに加え、エアバッグの展開が検知されると、**Model 3** は最初の衝突の後、その後の衝撃を防止または軽減するためにブレーキを掛けることができます。ブレーキは運転速度に関係なく掛けられることがあります。

障害物検知走行モード

障害物検知走行モードは、**Model 3** が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げるによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。ブレーキが自動適用されると、タッチスクリーンに、警告が表示され、チャイム音が鳴動します。例えば、**Model 3** がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。**Model 3** は加速してガレージドアに衝突してしまうが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて満たされると作動します：

- ドライブまたはリバースにシフトされている。
- Model 3** 停止しているか、または **16 km/h** 未満で走行している。
- Model 3** 進路方向にある直近の物体を検出している。

障害物検知走行モードを無効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。



警告: 障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するには設計されていません。



衝突回避アシスト

- ⚠ 警告:** 障害物検知走行モードは、場合によりトルクを制限できないことがあります。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。
- ⚠ 警告:** 障害物検知走行モードは、駐車スペースに入る時など急な旋回を行うときにトルクを制限しないことがあります。
- ⚠ 警告:** 障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。
- ⚠ 警告:** いくつか要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モータートルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、することがあります。どのような場合にも、安全運転と **Model 3** のコントロール維持はドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い場合（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- カメラまたはレーダー センサーがさえぎられている（汚れている、覆われている、曇っている、ステッカーなどでふさがれている）場合。
- 1つ以上のセンサー（装備されていれば）が損傷を受けたり、汚れたり（泥、氷、雪、車両のブラ、過剰なペンキ、またはラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど接着製品により）、遮られたりした時。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）が、センサーの動作を妨げている場合。
- センサー（装備されていれば）が超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。

- ⚠ 警告:** 前述の制限事項は衝突回避アシスト機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

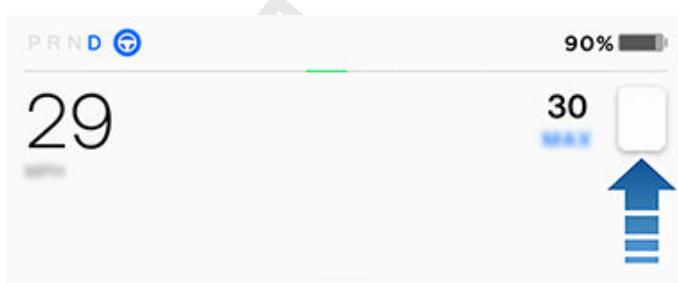
- ⚠ 注意:** 衝突回避アシスト機能が故障した場合は、**Model 3** に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。



スピードアシストの動作原理

Model 3 「タッチスクリーン」上に速度制限が表示され、走行速度が速度制限を超えたときの警告の有無、警告方法を選択することができます。また、検出された速度制限を利用せずに、手動で入力する任意の速度制限をもとに警告を出すことができます。

注: トライフィックアウェア クルーズコントロールを使用しているときにこの速度制限記号をタッチすると、検出した速度制限(設定したオフセットを含む)に設定速度を自動的に変更できます。



Model 3 が速度制限を判断できない状況、またはスピードアシストが確実でなく別の速度制限が正確であった場合、「タッチスクリーン」に速度制限標識が表示されない場合があり、警告が実施されません。

注: 速度制限警告は **10** 秒後または **Model 3** が速度制限未満に減速すると解除されます。

⚠️ 警告: 適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないでください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「制限速度警告」の順にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- オフ - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- 表示 - タッチスクリーンに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- チャイム - 速度制限を超えたたら、視覚的な表示に加えて、チャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- 相対 - 速度制限に指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値 (+または-) を設定することができます。たとえば、速度制限を時速 **10 km** 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 **10 km** 上げます。
- 絶対 - 時速 **30 km** から **240 km** の間で速度制限を手動で指定します。

注: スピードアシストが必ずしも正確というわけではありません。道路の位置を誤って計算し、スピードアシストが速度制限の異なる直接隣接した道路の速度を表示する状況が発生する可能性があります。たとえば、**Model 3** が高速道路または有料道路などアクセスが制限された道路を走行しているとスピードアシストが判断しても、実際には近くの一般道路を走っていることや、その逆となる場合があります。

注: 選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

制限事項および不正確性

スピードアシストは完全に機能しないことがあります。以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない(豪雨、降雪、霧など)。
- 明るい光(対向車のヘッドライトや直射日光)がカメラの視野を妨げている。
- **Model 3** 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている(くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- 地図データベースに保存されている速度制限が不正確であるか、古い情報である場合。
- **Model 3** が GPS や地図データが利用できない場所や、速度制限標識が検出できない領域を走行している場合。
- デジタル式や一時的な速度制限標識といった、標準認識可能な様式に準拠していない交通標識である。
- 道路や速度制限が最近変わった。

⚠️ 警告: 前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。



キャビン用カメラ

Model 3 は、バックミラーの上にキャビンカメラを装備しています。



注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラレンズの表面に傷がつく可能性があります。



キャビン カメラはオートパイロットが作動している場合、ドライバーの注意不足を判断して、道路を注視するように警報を出します。

デフォルトでは、データ共有を有効にしない限り、カメラで撮られた画像や動画が外部に流出したり他人に送信されたりすることはありません。データ共有を有効にしているときに（衝突といった）深刻な安全上のリスクやイベントが発生すると、

Model 3 により画像や短時間のビデオクリップが **Tesla** と共有され、**Tesla** は、それらを今後の安全性強化のための開発やキャビン カメラを利用したインテリジェント機能の継続的な改良に役立てます。また、キャビン カメラ機能によって診断が要求される場合も、データを共有します。キャビン カメラは顔認識およびその他の本人確認方法を実行しません。お客様のプライバシーを守るため、キャビン カメラ データは車両 ID 番号と関連付けされていません。

データ共有設定を調整にするためには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「データ共有」>「キャビンカメラ分析を許可する」の順にタッチします。データ共有設定はいつでも変更することができます。



注: カメラのレンズは、常にきれいに保ち障害物がないようにしてください。たまつてくるゴミやほこりは、ときどききれいな布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。



セキュリティ システムについて

Model 3 が認証された携帯電話またはキー フォブを検出していない状態でロックされたドアやトランクが開かれると、アラーム音が鳴ります。ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームを解除するには、モバイルアプリにあるいはかのボタンを押すか、キーカードで運転席側ドアピラーのオートパイロット用カメラのすぐ下にあるカードリーダーをタップします。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、「コントロール」>「安全」>「セキュリティ アラーム」の順にタッチします。**ON** に設定すると、**Model 3** から離れ、認識されたキーが車内またはその近くで検出されなくなってから 1 分経つとアラームが作動し、ドアがロックされます。

ロックされたドアやトランクが開かれたときに **Model 3** が近くにキーを検知できない状況においては、バッテリーでバックアップされたサイレン（装備されている場合）が鳴動します。車両がキャビン内で動きを検知した時にこのサイレンが鳴るように設定したい場合は、「チルト/侵入」を有効にします（チルト/侵入（装備されている場合）を参照）。

注: **Model 3** がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（カメラ + アプリ）を参照）、「セキュリティアラーム」設定は使用できません。

チルト/侵入（装備されている場合）

構成、販売地域、または製造日により、この機能が車両に装備されていない場合があります。

「セキュリティ アラーム」を有効にするには、「傾き/侵入検知」をオンにしなければなりません。

「傾き/侵入」設定がオンになっていると、**Model 3** がキャビン内の動きを検出したり、車両が動かされたり傾けられたりした場合（けん引やジャッキアップにより）にサイレンが鳴ります。有効にするには、「コントロール」>「安全」>「チルト/侵入」の順にタッチします。

車両を離れた後に空調システムが作動している場合、侵入センサーは自動的に無効になります（を参照）。これを有効のままにするには、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ モード」、または「キャンプモード」を選択した後に手動で侵入センサーを **ON** にします。

チルト/侵入センサーは、各走行サイクルの開始時に自動的に再度有効になります。

注: キャビン過熱保護を使用するには、チルト/侵入アラームをオフにする必要があります（キャビン過熱保護を参照）。

注: ロックした後、車内に何か動くものを残さなければならない場合、チルト/侵入は必ずオフにしてください。この設定がオンの場合、**Model 3** 内部で動きが検知された場合、侵入アラームが鳴動します。

注: **Model 3** がセントリーモードの場合（セントリーモードの使い方（カメラ + アプリ）を参照）、「チルト/侵入」設定は使用できません。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、**Model 3** を運転する前に入力を要求する 4 衔の暗証番号（個人識別番号）を設定できます。この設定をオンにするには、「コントロール」>「安全」>「ドライブ用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用 PIN を作成してください。

有効になると、運転する前だけではなく、初めてバレー モードをオンにするとときにも、4 衔のドライブ用 PIN が必要となるため、バレー モードを開始、終了するための 4 衔の暗証番号を作成します。バレー モードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにバレー 係の人が **Model 3** を運転できるようになります。バレー モードがオンになっているときは常にドライブ用 PIN 設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れた場合は、リンクをタッチして「ドライブ用 PIN」ポップアップに Tesla ログイン認証情報を入力し、画面の指示に従います。

注: まず発生しませんが、万タッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください（タッチスクリーンの再起動を参照）。タッチスクリーンが反応しない場合でも、ドライブ用 PIN をバイパスして Tesla モバイル アプリからキーストライプを有効にすることができます。

グローブボックス PIN

グローブボックスの中身を 4 衔の PIN で保護することで、セキュリティをさらに強化することができます。この設定を有効にすると、「コントロール」>「安全」>「グローブボックス用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従います。有効になると、グローブボックスを開くための PIN の入力を求めるプロンプトが表示されます。この設定を無効にするにはトグルを選択して無効に切り替え、PIN を入力します。

グローブボックスの PIN を忘れた場合は、Tesla ログイン認証情報を入力してグローブボックスの PIN をいったんリセットし、画面の指示に従います。

注: グローブボックス PIN を使用すると、**Model 3** がバレー モードのときでもグローブボックスを開けることができます。

速度制限モード

速度制限モードでは、加速や最大走行速度を **80~193 km/h** の範囲内の所定の値で制限できます。この速度制限モードを初めて使用する際は、オンオフを切り替えるときに使用する 4 衔の PIN を設定する必要があります。有効な場合に車速が最大速度の約 **5 km/h** 以内に近づくと、チャイムが鳴り、タッチスクリーンにメッセージが表示され、**Model 3** がモバイル アプリに通知を送信します。また「セキュリティ」>「速度制限モード」の順にタッチして Tesla モバイル アプリから有効にすることもできます。速度制限モードの有効化:

1. **Model 3** がパーキングに入っていることを確認してください。
2. タッチスクリーンで「コントロール」>「安全」>「速度制限モード」の順にタッチします。
3. 最大走行速度を設定します。



安全とセキュリティ設定

4. スライダーをオンの位置までドラッグします。
5. 速度制限モードをオンオフを切り替えるには、4行の **PIN** を入力します。

注: **PIN** を忘れてしまった場合、**Tesla** アカウントのログイン認証情報を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注: 速度制限モードがオンのときに、加速設定（「コントロール」> 「ペダル&ハンドル」> 「加速」）は自動的に「コンフォート」に設定されます。

⚠ 警告: 下り坂では走行速度が上昇し、**Model 3** の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。

⚠ 警告: 速度制限モードは、ドライバーの正しい状況判断、日々の鍛錬、制限速度および運転状態の注視にとってかかるものではありません。事故は速度に関係なく発生します。

ブラウザのデータをクリア

「コントロール」> 「サービス」> 「ブラウザのデータのクリア」の順に進むと、（コンピュータやスマートフォンで行う場合と同様の方法で）車両のブラウザのデータをクリアできます。これは、設定や他のドライバーがした検索を消去するといった、多くの状況で役立ちます。

都合に応じて、タッチスクリーン ポップアップのボックスをオンにして、ブックマークや履歴を除外します。



注: 販売地域、車両構成、購入したオプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にダッシュカムが装備されていない場合や、その機能が記述通りには作動しない場合があります。カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。

Model 3 を運転しているとき、ダッシュカムは車両の周囲の動画を撮影しています。他の車両の外部ダッシュカムに対するのと同様にして、ダッシュカムを使用して走行中のインシデントやその他の注目されるイベントを記録します。

ダッシュカム アイコンはアプリ ランチャーにあります。アクセスを容易にするためにダッシュカム アプリを下部バーに追加することができます（[マイ アプリをカスタマイズ](#)を参照）。

Model 3 がパーキングにシフトされているときに、ダッシュカム アイコンをタッチするとビューアが立ち上がります（[録画映像を見る](#)を参照）。



プライバシーを守るため、録画はフォーマットされた **USB** フラッシュドライブの車載メモリーにローカルに保存されます。

記録が **Tesla** に送信されることはありません。**Model 3** ダッシュカムが「オフ」のときは、録画は実行されません。

ダッシュカムの使用方法

1. **USB** フラッシュドライブをフォーマットします。ダッシュカムを使用するためには、映像を保存および検索するためには、正しくフォーマットされた **USB** ドライブを車両の **USB** ポート（**Tesla** では、装備されているのであればグローブボックスの **USB** ポートを使用することを推奨しています）に挿入する必要があります。およそ **2020** 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット済みの **USB** ドライブが装備されています。フラッシュドライブをフォーマットには次に示す **2** つの方法があります。

- フラッシュドライブを **USB** ポートに挿入し「コントロール」>「安全」>「**USB** ドライブのフォーマット」の順に移動します。**Model 3** 自動的にフラッシュドライブをフォーマットします。
- コンピューター上でフラッシュドライブをフォーマットします。

詳細情報については、[ビデオ録画のための **USB** ドライブの要件](#)を参照してください。

2. **USB** フラッシュドライブを車両の **USB** ポート（できればグローブボックスの **USB** ポート）に挿入します。

注: **2021年11月1日** ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール **USB** ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の **USB** ポートを使用してください。

3. 「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」の順にタッチしてダッシュカムを有効にします。ダッシュカムを使用して、映像の保存方法および保存タイミングを選択することができます。次から選択できます。

- オート: **Model 3** が衝突やエアバッグの展開といった安全重要イベントを検知すると、ダッシュカムは **USB** ドライブに録画を自動保存します。「オート」を選択している場合、検知はばらつく可能性があり、車両の電力、スリープおよびオートパイロットの状態に影響されます。

注: ダッシュカムが安全上の重大な状況を自動保存するかしないかは、いくつかの要因によって決まります（力のかかり具合、エアバッグが作動したかなど）。安全上の重大な状況がすべてダッシュカムにより自動録画されることを期待しないでください。

- マニュアル: 最新 **10** 分間の映像を **USB** フラッシュドライブに保存するにはダッシュカム アイコンをタッチする必要があります。
- クラクション: ホーンを押すと、ダッシュカムは最新 **10** 分間の映像を保存します。この機能は「オート」または「マニュアル」と共に有効化することができます。

4. 有効にしている場合、ダッシュカム アイコンは映像が保存されていることを示します。「コントロール」でもダッシュカム アイコンの状態を表示することができます。



アイコンが変化してダッシュカムの状態を示します。



録画しています: ダッシュカムは録画中です。ビデオクリップを保存するには、このアイコンにタッチします。録画を一時停止するには、このアイコンを長押しします。



一時停止: ダッシュカムは一時停止しています。録画を再開するには、このアイコンにタッチします。ビデオクリップを消去しないようにするには、ダッシュカムを一時停止してから、フラッシュドライブを取り出してください。



保存済み: 映像が保存されました。走行中にアプリ ランチャーのダッシュカム アイコンにタッチしてもダッシュカムのクリップを保存できます。

注: 保存すると、ダッシュカムは最新 **10** 分間の映像を保存します。

5. 希望する映像を保存すると、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターで表示することができます。

- タッチスクリーン: **Model 3** がパーキングにシフトしていることを確認し、アプリ ランチャーのダッシュカム アイコンをタッチします。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る](#)を参照してください。

- コンピューター: USB フラッシュ ドライブをコンピューターに挿入し、TeslaCam フォルダーに移動します。動画はタイムスタンプの順序で並んでいます。詳細情報については、[録画映像を見る](#)を参照してください。
6. ダッシュカムをオフにするには「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」>「オフ」の順に移動します。「自動」、「手動」、または「ホーン」に設定している場合、ダッシュカムは走行する度に自動的に起動します。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



注: 販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアバージョンによっては、車両にセントリーモードがない場合がありますまたは機能が説明通りに作動しない可能性があります。カメラの使用に関しては、ドライバーの単独の責任において、すべての地域の規則および財産権の制限を確認して、それらを遵守する必要があります。

有効な場合、**Model 3** をロックしてパーキングにシフトしているときに車両のカメラやセンサー（装備されていれば）の電源がオンのままになり、不審な行動があればそれを記録できるようになります。セントリーモードは、近くに潜在的脅威を検知したときにアラートを発する、インテリジェントな車両セキュリティシステムであるとお考えください。

脅威が検知されると、セントリーモードによってヘッドライトが点滅し、カメラが記録している可能性があることを車外にいる人に知らせるメッセージがタッチスクリーンに表示されます。モバイル アプリを介してスマートフォンにアラートが送信され、**USB ドライブ**（装着されていれば）にイベントの映像が記録されます。

セントリーモードはデフォルトでは無効になっています音声コマンドや **Tesla** モバイル アプリを使用して、セントリーモードを簡単に有効化または無効化することができます。音声コマンドを使用してセントリーモードを有効にするには、「**Tesla** を安全に」、「自分の車の安全に」、「セントリー オン」、または「セントリーを有効にする」などと発話します（[音声コマンド](#)を参照）。

注: **2021年11月1日** ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール **USB ポート** が充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の **USB ポート** を使用してください。

セントリーモードを使用するには、少なくともバッテリー残量が **20%**以上必要です。バッテリー残量が **20%**よりも低くなつた場合、セントリーモードは無効となりモバイルアプリより通知されます。セントリーモードを有効にすると、バッテリー消費が増加します。

注: セントリーモードが有効になっている場合、セキュリティアラーム設定（「コントロール」>「安全」>「セキュリティアラーム」）は使用できません。



注意: セントリーモードを有効にしたからといって、潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から **Model 3** を保護できるわけではありません。セントリーモードは多くの要因を利用してセキュリティアラームを発動させるかを判断します。すべての影響因子が検出されるわけではない可能性がありますし、あらゆる状況でアラームが発動するわけではない可能性があります。セントリーモードは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、すべての攻撃を防げるわけではありません。

セントリーモードの使い方（カメラ + アプリ）

- セントリーモードを使用するためには、映像を保存および検索するために、正しくフォーマットされた **USB ドライブ** を車両の **USB ポート**（**Tesla** では、装備されているのであればグローブボックスの **USB ポート** を使用することを推奨しています）に挿入する必要があります。およそ **2020** 年以降に製造された車両の場合、グローブボックスにフォーマット

済みの **USB ドライブ** が装備されています。フラッシュ ドライブをフォーマットするには次に示す **2** つの方法があります。

- USB ドライブを **USB ポート** に挿入し「コントロール」>「安全」>「USB ドライブのフォーマット」の順に移動します。車両は自動的に **USB ドライブ** をフォーマットします。
- コンピューターで **USB ドライブ** をフォーマットする

詳細情報については、[ビデオ録画のための USB ドライブの要件](#)を参照してください。

- USB ドライブを車両の **USB ポート** に挿入します。
- 車両をパーキングにシフトし、「コントロール」>「安全」>「ダッシュカム」の順に移動してダッシュカムを有効にします。
- 「コントロール」>「安全」>「セントリーモード」>「オン」の順にタッチします。有効になると「コントロール」タブのセントリーモード アイコンが赤色に変わります。



注: リア カメラでの録画は **2018年2月** ごろ以降に製造された車両のみ使用可能です。

有効になっている場合、セントリーモードはアイドル状態になり、トリガーされた場合に、すぐにアラームを出して、そのセキュリティイベントを録画することができます。映像の表示については、[録画映像を見る](#)を参照してください。

- 次の走行までセントリーモードを手動で有効/無効にするには、「コントロール」でセントリーモード アイコンにタッチします。このアイコンが赤くなつてない場合、セントリーモードはオフです。



「コントロール」>「安全」>「セントリーモード」でセントリーモードを「オフ」にすると複数回の走行サイクルで無効になります。

セントリーモードの使い方（アプリのみ）

セントリーモードが有効な場合に、セキュリティイベントが検知されたものの、**USB ドライブ** は **USB ポート** に挿入されていない場合、車両はモバイルアプリを介してドライバーに警告を出しますが、カメラ録画は行いません。

セントリーモードの設定

- 指定場所を除外する



セントリーモード

「コントロール」>「安全」>「セントリーモード」では、指定された場所でセントリーモードを有効にしないことを設定することができます（詳細情報については[自宅、勤務先、お気に入りの目的地](#)を参照）。

- **自宅を除く:** お気に入りリストで「自宅」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオフになります。
- **勤務先を除く:** お気に入りリストで「勤務先」と設定した場所では、セントリーモードが自動でオフになります。
- **お気に入りを除く:** お気に入りリストにある場所では、セントリーモードは自動でオフになります。

注: 自宅、勤務先またはお気に入りとしてリストされている場所を認識させるには、**Model 3** を保存した場所の約 **500 m** 以内に駐車する必要があります。

自宅または勤務先を設定するには、「ナビ」>「自宅を設定/勤務先を設定」の順にタッチします。「お気に入り」を設定するには、マップに住所が表示されているときに星印にタッチします。タッチスクリーンまたはモバイル アプリを使用して手動でセントリーモードをオフまたはオフにすると、次に車を運転するまで、自宅、勤務先またはお気に入りが無効になります。

• カメラベース検出を設定する

「カメラベース検出」を有効にすると、セントリーモードが車両のセンサーの他に外部カメラを使用して駐車中のセキュリティ イベントを検出します。無効にした場合、物理的脅威が検出されても、車両は映像を **USB** ドライブに保存する以外のことをしません。調整するには「コントロール」>「安全」>「セントリーモード」>「カメラベース検出」の順にタッチします。

セントリーモードの映像の表示に関する詳細は、[録画映像を見る](#)を参照してください。

注: 内部ストレージの空き容量がなくなると、アラートおよびアラーム イベントの新しい記録によって古い記録が上書きされます。

ビデオ録画のための USB ドライブの要件



一部の機能（ダッシュカム、セントリーモードおよびトラックモード（装備されている場合））では、以下の要件に適合するUSB ドライブの使用が必要です。

- 最小ストレージ容量 **64 GB**。できるだけ保存領域が多いUSB ドライブを使用してください。動画は大量の保存領域を占有することができます。
- 4 MB/s** 以上の持続書き込み速度であること。持続書き込み速度はピーク書き込み速度とは異なることに注意してください。
- USB 2.0** 互換であること。**USB 3.0** のドライブを使用する場合、**USB 2.0** もサポートしている必要があります。
- 適切にフォーマットされていること（以下に説明するとおり）。

注: センター コンソール内およびリア タッチスクリーンの下にある **USB-C** ポートは動画映像のフォーマット、保存および視聴をするための機能をサポートしていません。これらの機能について詳しくは、グローブボックス内の **USB-A** ポートを使用してください（車内の電子装備品を参照）。

注: 一部の販売地域では、<http://www.tesla.com> の推奨 USB ドライブを購入することができます。

USB ドライブの自動フォーマット

USB ドライブをフロント **USB** ポートに挿入し、「コントロール」>「安全」>「USB ドライブのフォーマット」の順にタッチします。これによって USB ドライブが **exFAT** として自動的にフォーマットされ、**TeslaCam** フォルダおよび

TeslaTrackMode フォルダ（該当する場合）が作成されます。これで USB ドライブで動画映像を記録して保存する準備が整いました。

「USB ドライブをフォーマット」は、USB ドライブ（1つ以下のパーティションを持つもの）をフロント **USB** ポートに差し込んでいる場合に限って利用可能です。「USB ドライブをフォーマット」を選択すると、その USB ドライブの既存のデータが消去されてしまいます。この機能を使用する前に、保存しておきたいデータを別のデバイスに移動しておく必要があります。

USB ドライブの手動フォーマット

Model 3 で USB ドライブをフォーマットできない場合は、コンピューターを使用してフォーマットしてください。

- USB ドライブを **exFAT**、**MS-DOS FAT (for Mac)**、**ext3**、または **ext4** でフォーマットします（**NTFS** は現在サポートされていません）。
- TeslaCam** というタイトルのベース レベル フォルダーを作成し、トラック モード（装備されている場合）で使用するのであれば、**TeslaTrackMode** という名前のベース レベル フォルダーを作成します。1つの USB ドライブを、ダッシュカム、セントリーモード、トラック モード（装備されている場合）、およびオーディオ ファイル用に使用することができますが、**exFAT** USB ドライブ上の各フォルダーに対して個別のパーティションを作成する必要があります。

3. フォーマットが完了したら、USB ドライブをグローブボックスの **USB** ポート（装備されている場合）に挿入するか、センター コンソール内のフロント **USB** ポートを使用してください。後部にある **USB** ポートはデバイス充電専用ですので、使用しないでください。Model 3 が USB ドライブを認識するまでに数秒かかる場合があります。

4. 認識されたら、「コントロール」にタッチするとダッシュカムとセントリーモードのアイコンが利用できるようになります。Model 3 はこれで動画を記録することができます。

注: 最初にセントリーモード（装備されている場合）を有効にする必要がある場合があります。「コントロール」>「セントリー」の順にタッチしてください。

録画映像を見る

映像が保存されている場合、そのクリップをタッチスクリーンまたはコンピューターに表示することができます。

USB ドライブに空き容量がない場合、これ以上動画を保存することはできません。USB ドライブに空きがなくなることを防ぐため、保存されたビデオを定期的に別の装置に移動し、USB ドライブから削除してください。

タッチスクリーンでの表示

Model 3 がパーキングにシフトしているときに、タッチスクリーンで録画した映像を見ることができます。アプリ ランチャーのダッシュカム アイコンまたは「コントロール」画面のダッシュカム アイコンをタッチします。画面の上隅にあるメニュー アイコンにタッチします。タブには、すべてのビデオクリップのリストが、場所やタイムスタンプで整理されて、表示されます。必要に応じて、クリップを一時停止、巻き戻し、早送り、および削除します。

「コントロール」>「安全」>「ダッシュカムのクリップを消去」の順に移動して、すべてのダッシュカムおよびセントリーモードの映像を消去することができます。

注: ビューアを起動すると、ダッシュカムの録画が一時停止します。

コンピューターで表示

USB ドライブをコンピューターに挿入し、**TeslaCam** または **TeslaTrackMode**（該当する場合）フォルダーに移動します。

TeslaCam フォルダーには、次のサブフォルダーがあります。

- 保存済みのクリップ:** ダッシュカムを使用して保存したすべての記録が含まれます。
- セントリー クリップ:** すべてのセントリーモード セキュリティ イベントで記録された録画が含まれます。USB ドライブの記憶スペースが制限されると、もっとも古いセントリー クリップが削除されて、新しいクリップのためのスペースを提供します。一旦削除されたクリップを復元することはできません。



空調を操作する

温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からアクセスできます。温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度を「オート」で設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。

空調設定を調整できるときは、タッチスクリーンの下部側にある表示温度にタッチして、メイン空調画面にアクセスできます。「自動」にタッチするといつでも自動に戻ることができます。メイン空調コントロール画面の電源ボタンにタッチすると、オンまたはオフに切り替えることができます。一般的なコントロールにすばやくアクセスするには、<または>にタッチして空調ポップアップを表示します。

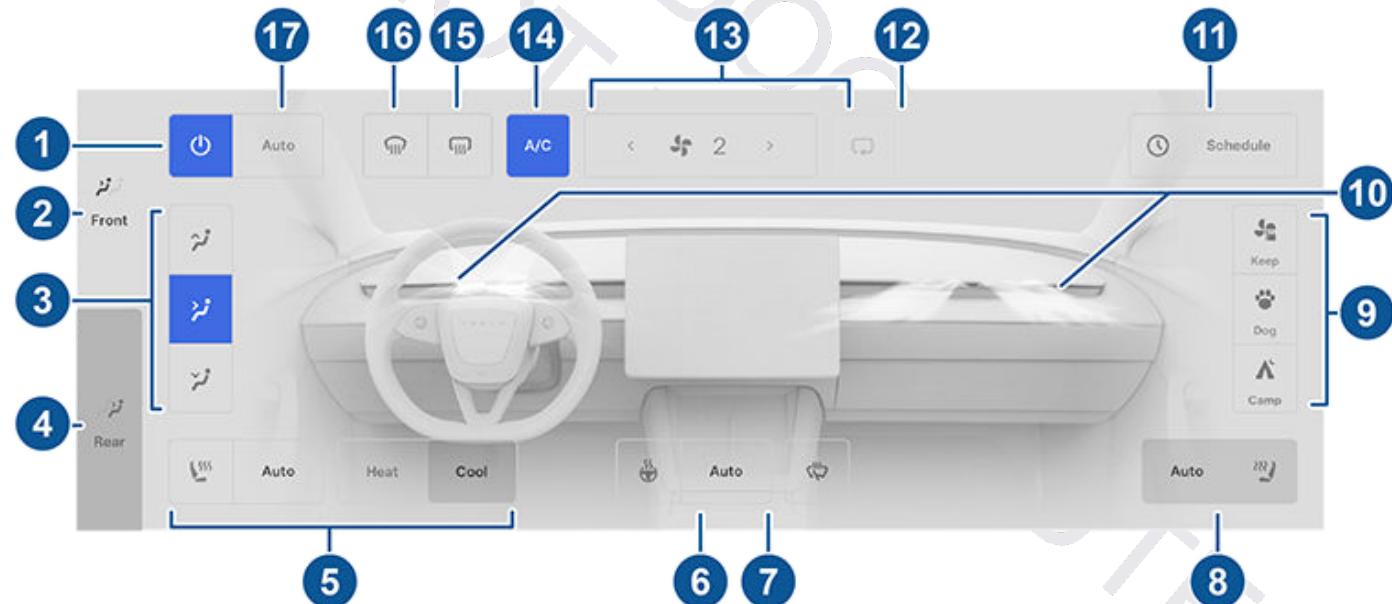
キャビンが暖まっているときや冷えているときは、ファンの速度が低下する場合があります。タッチスクリーンには、希望の温度に達するまで「Warming Up」または「Cooling Down」が表示されます。

注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

A 警告: 長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

空調設定の調整

注: シートヒーターをオンにしたり、キャビン温度を変更したりするといった空調の設定を、音声コマンドを使用してハンズフリーで簡単に調整することができます（[音声コマンド](#)を参照）。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイ アプリに追加することができます。マイ アプリをカスタマイズを参照してください。

1. タッチすると、空調システムのオンオフを切り替えできます。
2. タッチすると、フロント キャビンの空調設定を調節することができます。
3. フロント キャビンに送風する位置を選択します（フロントガラス、顔の高さ、足元のいずれか）。1つ以上の通気口を選択できます。
4. タッチすると、リア キャビンの空調設定を調節することができます。「オート」が有効であり、乗員が検知されると、リア キャビンに対して設定温度が維持されます（[フロント通気口および後部座席通気口](#)を参照）。



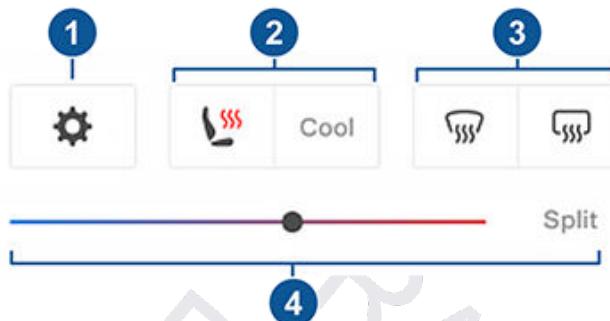
5. 運転席側のシートアイコンにタッチすると、運転席のシートヒーターを調整できます。シートには、**3**（最高）から**1**（最低）までの**3**段階あります。シートアイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）または青色（冷房）に変わります。「オート」は空調システムが「オート」に設定されている場合に表示されますが、室内温度に応じてフロントシートを暖房または冷房します。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイアプリをカスタマイズ参照）。
6. タッチしてハンドルの暖房を制御します（装備されている場合）。このアイコンには設定レベルに合わせて赤色の波線が表示されます。「自動」に設定すると、空調が「自動」に設定されていれば、キャビン温度に基づいて、必要に応じてハンドルを加熱します。ワンタッチアクセスするために、このコントロールをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイアプリをカスタマイズ参照）。
7. タッチするとワイパー デフロスターがオンになります（装備されている場合）。ワイパーは**30**分間霜取りしてから、自動でオフになります。
8. 助手席側のシートアイコンにタッチすると、前席乗客のシートヒーターを調整できます。シートには、**3**（最高）から**1**（最低）までの**3**段階あります。シートアイコンの波線が設定レベルに応じて赤色（暖房）または青色（冷房）に変わります。「オート」は空調システムが「オート」に設定されている場合に表示されますが、室内温度に応じてフロントシートを暖房または冷房します。シートヒーターにワンタッチアクセスするため、シートヒーターをタッチスクリーンの下部バーに追加することができます（マイアプリをカスタマイズ参照）。
9. 「パーキング」にシフトされている場合、これらの設定が表示され、**Model 3**から離れても空調システムを動作したままにしておくことができます（エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプを参照）。
10. タッチすると、フロント通気口からの空気吹き出しの流れを調整できます。空調システム作動中は、運転席通気口とは別に助手席通気口をオフにすることができます。フロント通気口および後部座席通気口を参照してください。
11. **Model 3**をパーキングに入れた状態で、「スケジュール」にタッチし、バッテリーと車内の空調をプレコンディショニングし、オフピーク時間帯に充電して、毎日同じ時刻に**Model 3**の出発準備が整うように設定します（予約充電および出発予定時刻を参照）。
12. タッチすると、キャビン内の空気の流れを制御できます。外部から**Model 3**への空気の導入や、キャビン内での空気循環ができます。
13. スライダーを使用してファン速度を調節します。自動の場合、ファン回転数は**Low/中間/High**に変わります。
注：ファンの速度を調整すると、空気吹出し風量を増加または減少させるために、**Model 3**内への空気吹出し設定が変更される場合があります。
14. これをタッチしてエアコンシステムをオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。
注：これは、**Model 3**はガソリン車と比べ走行音が格段に静かなため、エアコンディショナー コンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。
15. タッチするとリア ウィンドウを暖めます。**15**分経つと、リア ウィンドウのデフロスターは自動的にオフになります。リヤ ウィンドウ霜取り装置が作動している場合は、外部のサイドミラーも常に加熱されます。
16. フロントガラスのデフロスターはフロントガラスの表面に空気を流します。**1**回タッチすると、フロントガラスの霜取りができます（アイコンが橙色に変わります）。**2**回タッチするとフロントガラスの霜取りを行ないます。**3**回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。寒冷時にフロントガラスの霜取り装置の作動中は、外部サイドミラーも常に暖められます。寒冷時に備えるための情報は寒冷環境におけるベストプラクティスを参照してください。
17. 「オート」をタッチしてオート設定をオンまたはオフにします。



空調を操作する

空調用ポップアップ

タッチスクリーンの下部にある温度矢印をタッチしてポップアップを表示すると、よく使う空調設定に簡単にアクセスできます。



注: シートヒーターおよびデフロスターにワンタッチでアクセスするために、これらのコントロールをマイアプリに追加することができます。マイアプリをカスタマイズを参照してください。

1. タッチして、メインの空調画面にアクセスします。
2. シートヒーターまたはシートクーラーを有効または無効にします。
3. フロントまたはリアのウィンドウ デフロスターを有効または無効にします。
4. スライダーをドラッグしてキャビンの温度を調整します。また、温度調整する部分をスプリットして、運転席と助手席に座る人が自分の好みの温度にカスタマイズできるようにすることもできます。助手席に座る人は、タッチスクリーンの下部にある温度アイコンまたはメインの温度調節画面をタッチして調整します。もう一度「スプリット」をタッチして空調の分割を無効にします。

エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」および「キャンプ」設定を使うと、**Model 3** から離れた後でも、車内にとどまるを選んでも、駐車中に空調を **ON** のままにしておくことができます。これらの設定は、暑い天候時や寒い天候時に車内温度を保つ必要がある場合に役立ちます。例:暑い日に **Model 3** 内に食料品を入れたままにするとき、「エアコンをオンに保つ」を使用して食料品が傷まないようにしたいと思う場合。

「ドッグ」は、ペットのために快適なキャビン温度を維持するよう設計されており、モバイル アプリを使用してこの温度を積極的にかつ頻繁に監視します（電話機と車両にセルラー接続を確立する必要があります）。「ドッグ」では、タッチスクリーンに現在のキャビン温度が表示され、ペットが安全であることを通り過ぎる人に教えます。この設定は人用ではなく、短い間だけに使用して、温度を維持することができない状況で車両に戻る必要があるので、ドライバーは近くにいる必要があります。

注: (愛犬が踏むなどして) 窓スイッチをまちがって押さないようになりますため、「ドッグ」では窓を開けることができなくなっています。

「キャンプ」では、車内温度を維持することに加え、**USB** ポートと低電圧コンセントから電子機器の電源を取ることができます。タッチスクリーンは表示されたままになりますので、音楽を再生したり、インターネット検索をしたり、アーケードでゲームをプレイしたり、Tesla シアターで映画を観ることができます。ペアリングした携帯電話でメディアや空調設定をコントロールすることもできます。「キャンプ」はキャンプ時やお子さまに付きそう場合など、車内に留まるときに最適です。このモードが有効な場合、セントリーモードと車両のアラームシステムが無効になります。降車後オートロックが作動しています。

「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」を有効にするには次のようにします。

1. バッテリーの充電レベルが **20%**以上であることを確認します。
2. シフトをパーキングにします。「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、および「キャンプ」設定は **Model 3** のギアがパーキングに入っているときのみ使用できます。
3. 必要に応じて、空調設定を調節します。
4. 空調画面で、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」をタッチします。

注: 空調画面の灰色のバーから上にスワイプすることで、モバイル アプリから「ドッグ」および「キャンプ」を制御することもできます。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または空調システムを手動でオフにするまで、空調の設定を維持しようとします。バッテリーの充電レベルが低い場合、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、または「キャンプ」の使用を控えてください。バッテリーの充電レベルが **20%**未満に低下した場合、**Model 3** 内に残したままにしたものがないか確認する通知を Tesla モバイル アプリが繰り返しドライバーに送信します。

注: 「エアコンを **ON** のままにする」、「ドッグ」、または「キャンプ」が有効なときは、ソフトウェア アップデートは行えません。

- ⚠ 警告: 子供を車の中に放置しないでください。
- ⚠ 警告: 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。
- ⚠ 警告: ドライバーは犬などのペットの安全に責任を負っています。ペットを **Model 3** の中に長時間放置しないでください。継続的に車内温度およびペットの健康状態を監視してください。電話機がカバーエリア内にあることや、必要に応じて、車両に戻るまでの時間を確認してください。

- ⚠ 警告: 万が一、空調システムの整備が必要になったり、空調システムが予期した通りに作動しない場合は、「エアコンをオンのままにする」、「ドッグ」および「キャンプ」の使用を避けてください。ペットや子供の保護を車両に任せないでください。

- ⚠ 警告: 空調システムはモバイル アプリから遠隔で調整および監視することができます。ただし、空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンをオンに保つ」、「ドッグ」、「キャンプ」も併せて停止されます。



キャビン過熱保護

キャビン過熱保護は高外気温状態でキャビンが高温になりすぎないようにします。Model 3 から離れているときにいつも作動させる必要がない場合でも、空調システムは車両のキャビン温度を下げ、維持することができます。この機能は日光の当たる場所に駐車したときにキャビンが過熱することを防止し、帰ってきたときに車両をより快適にすることができます。キャビン過熱保護は、降車してから作動するまでに最長で **15 分**かかる可能性があります。この機能は搭乗者の快適性を目的としたものであり、車両のコンポーネントの信頼性に影響を与えません。

オンにするには、「コントロール」>「安全」>「キャビン過熱保護」の順にタッチし、以下を選択します。

- **オン:** エアコンは、キャビンの温度が **40°C** を超えるか、タッチスクリーンまたはモバイル アプリで選択された温度（利用可能な場合）を超えると作動します。温度を調整するには、最新バージョンのモバイル アプリが必要になる場合があります。
- **A/C なし:** タッチ面が熱くなり過ぎないようファンのみが動作します。
- **オフ:** キャビン過熱保護を無効にします。

また、「空調」にタッチすることで、モバイル アプリからリモートでキャビン過熱保護を有効にすることもできます。下のメニューをスワイプアップして「キャビン過熱保護」から設定を選択します（モバイルアプリを参照）。

キャビン過熱保護は、Model 3 を降りてから **12 時間** 経過またはバッテリー残量が **20%** を下回った時点のいずれか早い方の時点まで動作します。キャビン過熱保護を使用するにはバッテリーからのエネルギーが必要なので、航続距離が減少する可能性があります。

注: キャビン過熱保護を有効にするには、チルト/侵入およびセントリーモードをオフにする必要があります。

⚠ 警告: 自動シャットダウン、極端な外気温またはその他の潜在的な機能不全などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。選択した温度を繰り返し超える温度が発生する場合は、Tesla サービスまでお問い合わせください。

⚠ 警告: 子供またはペットを車の中に置き去りにしないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく高い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

- モバイル アプリを使用して空調システムをオンにした場合、充電レベルが **20%** まで低下すると、空調システムは自動的にオフになります。より長い間キャビンの暖房または冷房を行なうには、車両を充電し、モバイル アプリから空調設定を再度有効にしてください。

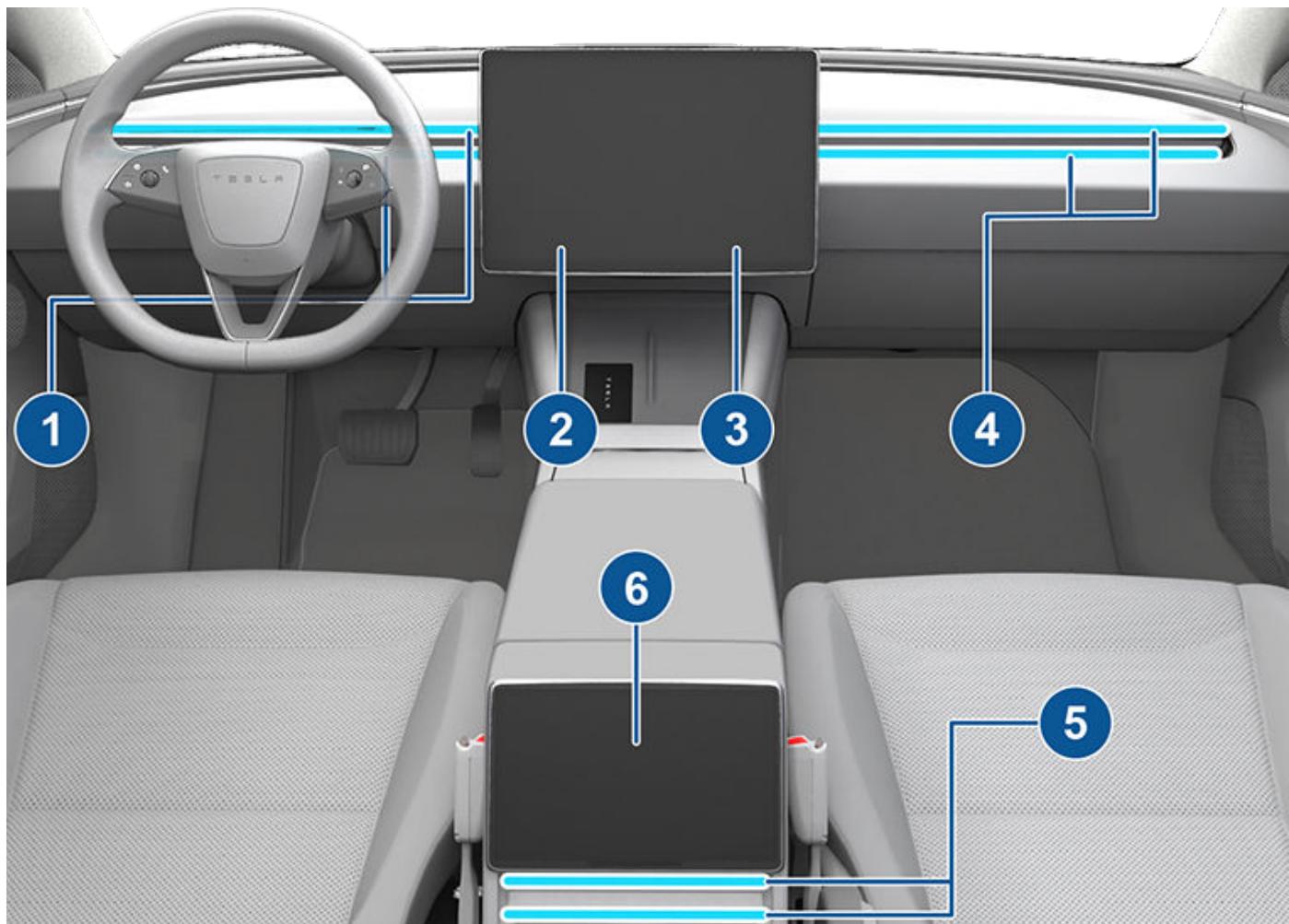
- 駐車しているとき、Model 3 のキャビン内から空調システムの音が聞こえことがあります。小さいファンの音がします。空調システムは、余分な湿気やかび臭を最小限に抑えるために、自らを乾燥しようとします。これは正常な動作で、問題はありません。

- 気温が極めて低く、霜が降りるような状況では充電ポートのラッチが凍結する場合があります。ラッチが凍結したために、充電ケーブルの取り外しまたは挿入ができない、または車両のスーパーチャージャーが機能しない場合、モバイル アプリで「車の霜取り」を有効にします。これにより、充電ポートの留め金が融氷され、充電ケーブルを外したり差し込んだりできるようになります。詳細情報については、寒冷環境におけるベストプラクティスを参照してください。
- 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げて使用してください。
- 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを **OFF** に設定したとしても、**ON** になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- 使用していないときでも、Model 3 からうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態で、内部の冷却システムがオンになります。低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。
- 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロント ガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつまらないように注意してください。
- 湿度が非常に高い場合、空調を **ON** にした直後にフロント ガラスが少し曇ることがあります。
- 駐車している間、Model 3 の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは充電量が **20%** 以上ある時ののみ作動します。



フロント通気口および後部座席通気口

Model 3 には、ダッシュボード全幅に渡って顔の高さにあるユニークな通気口を備えています。リア コンソールの底部にも通気口があります。

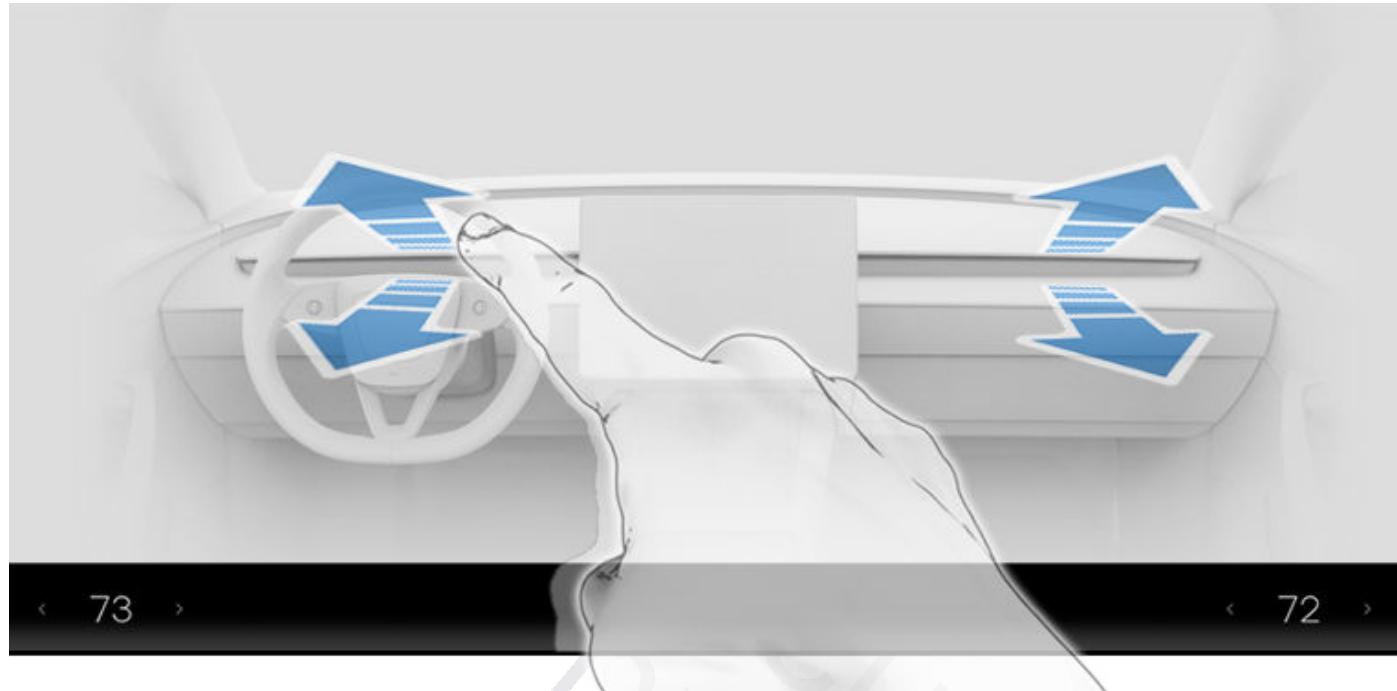


1. 運転席通気口
2. 運転席コントロール
3. 助手席コントロール
4. 助手席通気口
5. 後部座席通気口
6. 後部座席コントロール



キャビンで暖房または冷房を使用するとき、タッチスクリーンを使用して空気が流れる方向をピンポイントで好きな向きに調整することができます。顔の高さレベルの通気口をオンにすると、各通気口から空気の流れの方向を調整することができます。空気が流れる方向を調整するには、タッチスクリーンで対応する通気口の波線部分をタッチします。通気口中央から外向きまたは内向きに空気の流れが向けられているとき、中央に向けられているときは流れが一つとなり、分割すると左右対称に流れ出します。

空調システムがオンの時に助手席通気口をオフにするには、タッチスクリーンの助手席の空気の波にタッチし、指示に従います。



注: 空気の流れを分割すると、空気の流れは流れを一方向にしているときと比べると流れが弱くなります。

注: 外気はフロント ガラスの前のグリルを通して **Model 3** に取り込まれます。木の葉や雪などの障害物がグリルをふさがないようにしてください。

キャビンエアフィルター

Model 3 は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを 1つ以上備えています。

注: キャビンエアフィルターは定期交換が必要です。[定期サービス](#) を参照してください。



寒冷環境におけるベストプラクティス

寒冷環境において **Model 3** でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベスト プラクティスを実施します。

運転の前に

雪や氷が車両に付着すると、ドアハンドル、ウィンドウ、ミラー、ワイパーなどの可動部が凍結する場合があります。走行距離を最大限に伸ばし、性能を確保するためにも、キャビンやバッテリーは車を離れる前に暖めておくとよいでしょう。方法としてはいくつかあります：

- 充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[予約充電および出発予定時刻](#)を参照）。
- モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内を暖める温度を調整できます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。
- モバイルアプリで、「空調」 > 「デフロスター」の順に移動し、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。また、これにより必要に応じて高電圧バッテリーも温まります。

注：空調は、少なくとも出発の **30~45 分**前に作動させておくことをお薦めします（[空調を操作する](#)を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイル アプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

充電ポート

- 充電ポートのラッチが凍結してしまい、充電ケーブルが抜き取れなくなってしまった場合は、手動で充電ケーブルを外すよう試みます。[手動で充電ケーブルを外す](#)を参照してください。
- 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。車両によっては充電ポートヒーターが装備されており、寒冷気象エリア デフロスターをオンにするとヒーターもオンになります。モバイル アプリで「デフロスター」を有効にしても、充電ポート ラッチの氷を溶かすことができます。

注：「スケジュール」設定を使用しても、充電ポートのラッチの凍結を防止することができます（[予約充電および出発予定時刻](#)を参照）。

注：充電ポートのラッチが凍結してしまった場合、充電ケーブルを挿入した時にロックしないことがあります。しかし、ラッチがかからていなくても充電速度は低下しますが充電は可能です。

充電

トリップ プランナー（販売地域で使用可能な場合）を使用して Tesla 充電ポイントまで移動すると、**Model 3** が高電圧バッテリーを予熱するので、充電ポイントに到着したときには、バッテリー温度は最適化され、充電の準備が完了しています。これにより、充電の所要時間を短縮できます。参照（[トリップ プランナー](#)を参照）してください。

注：Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも **30 分**から **45 分間**、トリップ プランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までに **30 分**から **45 分**もかかる場合は、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に](#)を参照）。

注：ヒートポンプを搭載している車両の場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります（お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「追加車両情報」をタッチしてください）。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

ウィンドウ

- モバイルアプリで、「空調」に移動し、下からスワイプして「デフロスター」を選択します。これで、フロントガラス、ウィンドウ、ミラーについた雪、氷、霜を溶かすことができます。
 - 寒冷時、**Model 3** は、ドアが開きやすくなるよう自動的にウィンドウの位置を微調整します。
- 注：ウィンドウを破損しないように、車両に電力がない場合は常に、ドアを開ける前に外部の低電圧電源に接続するようしてください。
- Tesla では低価格でウィンドウの横側および下側（前面は対象外）に疎水性コーティングを施すことができますので、モバイル アプリからサービスを予約してください。

ドア

厳寒気象条件においては、着氷によってドアハンドルを開くのがより困難になる可能性があります。この場合、モバイル アプリを使用して運転席ドアを自動で開くことができます。

- モバイルアプリで **4** 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押しし、指示に従って「ドアのラッチ解除」を使用したクイック コントロールをカスタマイズします。
- 車のすぐそばにいるときに「ドアのラッチ解除」にタッチすると運転席ドアが自動で開きます。

ドアハンドルに付着した氷を取り除く

寒冷時には、ドアハンドル内に氷が付着しドアハンドルが開かなくなることがあります。**Model 3** のドアハンドルを開くための手順は、着氷を除去するための他のモデルのものとは若干異なります。

注：予め **WD-40** をドアハンドルのピボットピンに塗布しておくと、ドアハンドル内部が凍結することを防ぐことができます。

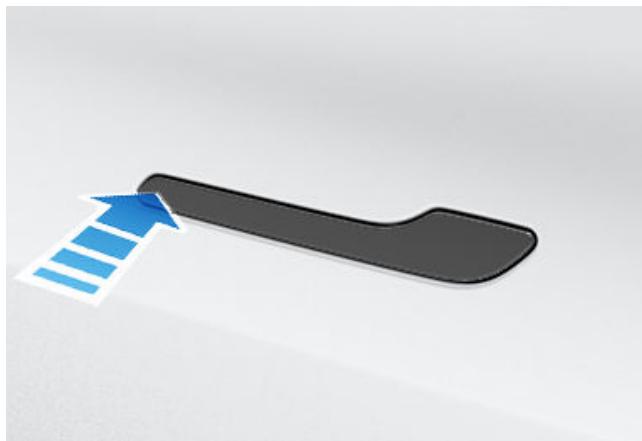
 注意：工具を使用したり、過剰な力を加えたりして、ドアハンドルから氷を取り除こうとしないでください。

車両のドアハンドルが黒色の場合：ドアハンドルから氷を取り除くには以下の手順を実施します。

寒冷環境におけるベストプラクティス



- ドアハンドルの最前方を強く押し込みます。これにより内側に少し動いて氷を割るのに役立ちます。

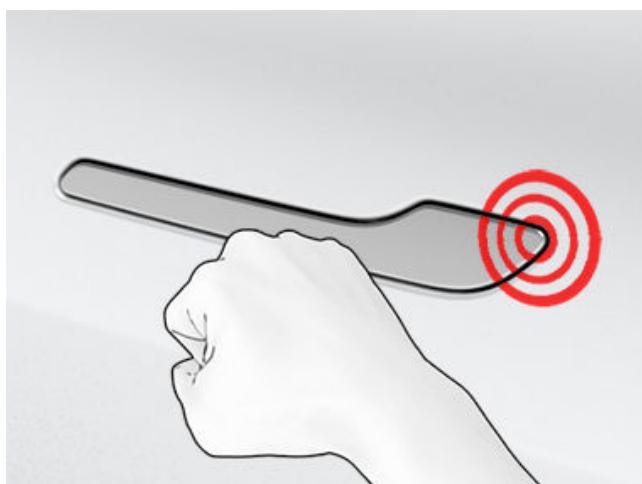


- ドアハンドルの最後方を押して、普段するようにドアハンドルを開こうとしてください。
- ドアハンドルが動くようになったら、ドアハンドルを数回開け閉めして残りの氷を取り除いてください。車両に入る前にドアハンドルが完全に格納されることを確認し、運転前にドアが完全に閉じられていることを確認してください。

車両のドアハンドルが銀色の場合: こぶしの下側を使ってドアハンドルを数回叩いてみると、通常は氷を取り除くことができます。ドアハンドルから氷を取り除くには以下の手順を実施します。

注意: ジュエリーなど塗装を傷つけてしまうようなものは外してからこの手順を実施してください。また、道具や過度の力を使ってこの手順を行わないでください。

- ドアハンドルの最後部に力を入れて押すことで、ドアハンドルを開くことができます。
- こぶしの下側を使ってドアハンドルの周辺を円を描くように叩き、ドアハンドルの氷を取り除きます。
- ドアハンドルの幅広になっている部分の後部を、こぶしの下側を使って叩きます。必要に応じて叩く力を強め、氷が除去されドアハンドルが開くようになるまで手順 1~3 を繰り返します。



注意: 絶対に車両をへこましてしまうような力を使って叩かないでください。ドアをノックするのときと同等の力を使ってください。

- ドアハンドルが動くようになったら、ドアハンドルを数回開け閉めして残りの氷を取り除いてください。車両に入る前にドアハンドルが完全に格納されることを確認し、運転前にドアが完全に閉じられていることを確認してください。

ミラー

駐車時に着氷が予想される場合は、「自動格納式ミラー」をオフにしておきます。「コントロール」>「自動格納」の順にタッチします凍結により、サイドミラーの展開、格納ができなくなる場合があります。

注: プレコンディショニング中や、リア デフロスターをオンにしたとき、サイドミラーが必要に応じて自動的に温められます。

ワイパー

駐車中に積雪や凍結が予想される場合は、「コントロール」>「サービス」>「ワイパー サービス モード」の順にタッチします。これで、ワイパーがフロントガラスから持ち上がり、フロントガラスの霜取り時に同時にワイパーの霜取りができます（[ワイパーとウォッシャーを参照](#)）。また、ワイパー デフロスターをオンにすることもできます（[装備されていれば](#)）。[空調を操作する](#)を参照してください。

タイヤおよびタイヤチェーン

- 雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。ウインタータイヤは <http://www.tesla.com> で購入することができます。（[季節別タイヤ保管](#)を参照）。
- タイヤチェーンを装着することで、雪道や凍結路でトラクションを高めることができます。地域の法令を確認し、冬季に地域でタイヤチェーンが推奨されているか、使用が義務付けられているかを確認してください。詳細情報については、[タイヤチェーンの使用](#)を参照してください。

周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。[TPMS インジケーター](#) ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が **6°C** 低下するとタイヤ空気圧は **1 PSI** 低下します（[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照）。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

運転中

寒冷時は、運転や車内の暖房、バッテリーの加熱などで電力消費が多くなります。電力消費を下げるためには以下が推奨されます。

- シートヒーターで暖めます。シートヒーターは車内ヒーターより消費エネルギーが少なくてすみます。車内の温度設定を下げ、シートヒーターを使用すれば電力消費を削減することができます（[空調を操作する](#)を参照）。
- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。



寒冷環境におけるベストプラクティス

回生ブレーキ

バッテリーの温度が低すぎると回生ブレーキの働きが制限されることがあります。運転を続けるとバッテリーの温度が上がり、回生電力が増加します（[回生ブレーキ](#)を参照）。

注：回生ブレーキの制限は、車両のプレコンディショニングに十分な時間をとるか、「スケジュール」を使用して出発時刻まで **Model 3** をプレコンディショニングすれば回避できます（[予約充電および出発予定時刻](#)参照）。

注：冬用タイヤを取り付けると、回生ブレーキ力が一時的に減少することがありますが、短時間の走行で、**Model 3** によって正しいブレーキ力に再キャリブレーションされます。「サービス」>「ホイールとタイヤ」>「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

青色の雪の結晶アイコン



バッテリー温度が下がって電力の利用可能量が減ると青色の雪の結晶アイコンがタッチスクリーンに表示されます。利用できない電力量はバッテリーメーターで青色に表示されます。回生ブレーキ、アクセル、および充電速度が制限される場合があります。バッテリーが十分に温まると、雪の結晶アイコンが消えます。

運転後

使用していないときは、**Model 3** に充電プラグを挿入してください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムが使用され、バッテリーは温めておくことができます（[高電圧バッテリーに関する情報を参照](#)）。

出発予定時間

駐車したら、**Model 3** の充電ケーブルを差し込み、充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」設定で **Model 3** のプレコンディショニングを実行する時刻を設定します（[予約充電および出発予定時刻](#)を参照）。これにより、車両は出発時に充電が完了し、オフピーク時間帯に車内とバッテリーが温まるように充電を開始する時間が決まります。詳細な情報は、[予約充電および出発予定時刻](#)を参照してください。

車両の保管

Model 3 を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、**Model 3** は自動的にスリープモードに入ってエネルギーを節約します。モバイル アプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。



暑熱環境において Model 3 でのユーザー体験を最大限に向上させるには、次のベスト プラクティスを実施します。

運転の前に

以下に示すいくつかの方法でドライブのために車両を準備して、既に熱くなっている車両に乗り込まなくても済むようにすることができます。

- 充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[予約充電および出発予定時刻](#)を参照）。
- 通気口からの気流の向きを動かしてキャビンをプレコンディショニングし、シートヒーターをオンまたはオフにします。モバイルアプリで、「空調」に移動し、車内を暖める温度を調整できます。
- モバイルアプリで「コントロール」に移動して、ウィンドウを換気します。

注：空調は、少なくとも出発の **30～45 分**前に作動させておくことをお薦めします（[空調を操作する](#)を参照）。プレコンディション開始時間は外気温およびその他の条件により異なります。モバイルアプリは、車両が希望するプレコンディショニング温度に達したことを知らせます。

- 「キャビン過熱保護」を有効にすると、高外気温状態でキャビンが極端に高温になるのを防げます。キャビン内の温度が **105°F (40°C)** を超えた場合、または選択した温度を超えた場合、エアコンを作動させるかファンだけを作動させるかを選択することができます（利用可能な場合）。

運転後

使用しないとき、特にプレコンディショニングまたはキャビン過熱保護を使用している場合は、Model 3 にプラグを挿入したままにしてください。これにより、バッテリーの代わりに充電システムを使用して、快適温度を維持します（[高電圧バッテリーに関する情報](#)を参照）。さらに、以下に示すいくつかの方法で、キャビン温度の上昇を最小限に抑えることができます。

- 車両から離れる前に、ドッグ モードを使用して、ペットや生鮮食料のためにキャビンを涼しく保ちます。詳細情報については、[エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプ](#)を参照してください。
- Tesla では、車両の下に水たまりが発生するのをできる限り抑えるため、空調を **30 秒間オフ**にしてからパーキングにシフトすることを推奨しています。
- 日陰に駐車することは、電力消費の削減およびキャビン温度を低く維持するために役立ちます。
- 日の当たる屋外に駐車しなければならない場合は、サンシェード（Tesla ショップで購入可能）を使用してください。
- 駐車する際は Model 3 にプラグを挿入し、充電をスケジュールします。車両が充電を開始する適切なタイミングを判断し、オフピーク時間帯に充電を完了します。キャビンおよびバッテリーも設定した出発時刻までに準備されます。詳細な情報は、[予約充電および出発予定時刻](#)を参照してください。

充電

トリップ プランナーを使用している場合またはスーパーチャージャー ステーションに移動している場合、最も効率的な充電のために、車両が自動的にバッテリーの準備をします。酷暑の場合、スーパーチャージャーへの移動の際に車両がバッテリーのプレコンディショニングをしているメッセージが表示されないことがあります、それでも車両はバッテリーの準備をしています。

注：Tesla では、充電ポイントに到着する前の少なくとも **30 分**から **45 分間**、トリップ プランナーを使用して充電ポイントへ移動することで、最適なバッテリー温度と充電条件を整えることをおすすめしています。充電ポイント到着までに **30 分**から **45 分**もかかる場合は、運転前にバッテリーをプレコンディショニングしておくことを検討してください（[運転の前に](#)を参照）。

可能であれば、温暖な天候であっても、使用していないときは、とりわけプレコンディショニングやキャビン過熱保護を使用している場合、車両に充電器のプラグを差し込んだままにしてください。

車両の保管

Model 3 を長期間駐車する場合は、充電ケーブルを挿入しておけば、正常な走行可能距離の短縮を防ぐことができ、さらにバッテリーを適切な温度に保つことができます。車両に充電ケーブルを挿したまま長期間放置しても安全です。

使用していないとき、Model 3 は自動的にスリープモードに入つてエネルギーを節約します。モバイルアプリで車両の状態をチェックする回数を減らしてください。チェックするたびに車両は自動的に起動し通常の電力を消費します。

マップとナビゲーション

地図の概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます（**Model 3** がリバースにシフトされたときを除く）。

地図は指で操作します。

- 地図を任意の方向に動かすには、指を置いてドラッグします。
- 地図を任意の方向に回転させるには、2本の指を置いて回転させます。
- ズームイン、ズームアウトするには、それぞれ2本の指でピンチイン、ピンチアウトします。

注：地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなりに「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選択します。

注：ナビゲーションルートがオンになっていると、地図は自動でズームイン、ズームアウトします。

マップの向きを変えるには以下のオプションを切り替えます。

北が上 - スクリーンは常に北が上になります。



進行方向 - 運転している方向が常にスクリーンの上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注：目的地に向かってナビゲーション中に、このアイコンにタッチすると、ルート概要が表示されます。



目的地に向かってナビゲーションしている間はいつもルート概要を利用できます。道順案内方式の経路案内リストを展開すると（下にスワイプ）、ルートの概要も表示されます。上にスワイプしてターンバイターン経路リストを折り畳むと、地図の表示は前回選択した向きになります。

地図には、車両の現在位置が表示されます。地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選びます。地図のどこかをタッチすると再表示されます。

地図表示

Model 3 がパーキングにシフトしていると、マップ上に次のアイコンが表示され、マップに表示する情報のタイプをカスタマイズできます。走行中にこれらのアイコンにアクセスするためには、マップ上のどこかをタッチします（数秒するとアイコンは消えます）。



衛星画像を表示する/非表示にする（プレミアムコネクティビティが装備されている場合）。



混雑状況を表示する/非表示にする（プレミアム接続が装備されている場合）。



地図詳細（人気スポットなど）の表示/非表示を切り替えます。

地図の任意の場所にピンを設定するには、行きたい場所を指で長押しします。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、そのロケーションの情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、そのロケーションへのナビゲーションやそのロケーションへの電話（電話番号がある場合）、お気に入りの目的地のリストへの追加やそこからの削除ができます（[自宅、勤務先、お気に入りの目的地](#)を参照）。



すべての充電場所と地図上で都市および対応するステーションの近くを表示/非表示。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、ディスティネーション チャージング サイト、サード パーティの急速充電器およびこれまでに使用したことのある公共の充電ポイントが含まれます。[充電ポイント](#) を参照してください。

ポップアップリストの電アイコンにタッチし、最大出力に応じて充電器のタイプの検索範囲を絞ります。

注：一部の市場地域では、充電場所を表示する場合、サード パーティの急速充電器もダーク グレーのピンとして地図に含まれています。

ナビ設定



目的地への移動を開始してから...をタッチすると、ナビゲーション設定アイコンが表示されます。

注：このナビ設定は、「コントロール」>「ナビゲーション」をタッチしてもアクセスできます。

ナビゲーション設定アイコンをタッチしてナビゲーションシステムが自分の好みに合うようにします（利用できる設定は、販売地域と車両構成によって異なります）。

- ナビ ガイダンス：「音声」にタッチして、ナビゲーション指示の音声読み取りを有効にします。



- ナビゲーションの音声指示の音量は、-または+をタッチして増減します。左端まで下げるか、またはスピーカー アイコンにタッチすると、音声指示はミュートされます。ナビゲーション指示をミュート/ミュート解除するには、スピーカー アイコンにタッチします。この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディア プレーヤーや電話の音量は変わりません。

注: Model 3 は走行速度と空調の設定に基づいて音量を自動調整します。

- 車両に乗ったときに **Model 3** がナビが目的地へ向かうよう自動的に開始するには、オートナビゲーションを有効にします。目的地は、日常的に運転される経路、時刻、およびカレンダーの予定に基づいて予測されます（オートナビゲーションを参照）。
- トリッププランナー（販売地域で利用可能な場合）を有効にして、必要に応じてスーパーイヤージャーストップを追加します。スーパーイヤージャーストップを経路案内に追加するのは、運転と充電に費やす時間を最小限に抑えることが目的です（トリッププランナーを参照）。
- 渋滞を避けるために自動的に経路変更させるには、「オンラインルート案内」をオンにします（オンラインルート案内参照）。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、「フェリーを使用しない」をタッチします。
- 可能であれば、有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるために、「有料道路を使用しない」をタッチします。

注: 使用可能なナビ設定は、地域や車両構成によって変わることがあります。

目的地へのナビゲーション

目的地に向かってナビゲーションするには、地図のコーナーにある検索バーにタッチして目的地を入力するか、電話から目的地を送信する、または音声コマンドで指示を与えます（音声コマンド参照）。住所、ランドマーク、会社名などで、入力および発話します。検索バーにタッチすると、以下の目的地タイプから選択もできます。

- 保存された「自宅」または「勤務先」の場所（自宅、勤務先、お気に入りの目的地参照）。
- 充電場所（充電ポイント参照）。
- 「最近の履歴」の場所（もっとも直近の目的地がトップに表示）。
- 「お気に入り」に設定した場所（自宅、勤務先、お気に入りの目的地参照）。
- お腹がすいて人気レストランに行きたければ、「食事」。美術館やテーマパークなどの人気スポットに行きたければ、「名所」（「名所」および「食事」）。

注: データ接続ができない場合でも車載マップを使用すれば任意の目的地へのナビゲーションが可能ですが、その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。

注: iOS® または Android™ デバイスからリモート操作でナビゲーションを開始するには、Tesla モバイル アプリのアクセスを許可してから「共有」機能を使用します。

場所を指定すると、タッチスクリーンがズームアウトして経路案内の概要が表示され、道順案内方式の経路案内リストが表示されます。到着予定時刻、運転時間、走行距離が経路案内リストの下に表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご注意ください。

- ターンリストにあるバッテリー アイコンは、目的地に到着したときおよび目的地に行き現在地に戻った場合の残存エネルギーの推定値を視覚的に示したものです。エネルギー消費量の推測を参照してください。
- 目的地に到着する前に充電が必要な場合で、なおかつ「トリッププランナー」がオンになっている場合（販売地域で利用できる場合）は、経路案内にスーパーイヤージャーストップが自動的に含まれます（トリッププランナー参照）。
- 目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーイヤージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- 各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- リストの一番最後を見るには、リストを上にドラッグしてください。
- リストを最小化するには、リスト最上部をタッチします。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。下にスワイプして、ターンバイターンの方向リストを開くか、またはルート概要アイコンにタッチすると、いつでもルート全体を表示することができます

ナビゲーションを終了するには、道順案内の経路案内リストの下隅にある「キャンセル」にタッチします。



ナビゲート オン オートパイロットが有効になっている場合（販売地域で利用できる場合）、ターンバイターンの方向リストのナビゲート オン オートパイロットをタッチして、ナビゲーションルート上で機能をオンにできます（この機能が有効な場合、アイコンは青色です）。ナビゲート オン オートパイロットはフルセルフドライビング（ベータ版）の一機能であり、アクセス管理された道路において、ナビルートに沿って、自動的に車線変更や **Model 3** の操舵を行ないます。詳細はナビゲート オン オートパイロットを参照してください。

代替経路を選択する

地域や車両の設定により、お客様の車両でこの機能が利用できない場合があります。車両にプレミアム コネクティビティが装備されている必要があります。

1つの経由地を持つ目的地を入力すると、マップには最大で 3 つの代替経路が表示されます。これにより、各ルートの総移動時間および交通情報を簡単に比較することができます。タイムアウトにする前に希望のルートを選択しなければ、最速の経路が自動的に選択されます。



マップとナビゲーション

経路に経由地を追加する

目的地を入力した後に、経由地を追加、消去または整理することで経路を編集することができます。道順の下にある**3**つのドットをタッチして、ルートを編集するためのオプションを表示します。



経由地の追加は、場所を検索する、自宅を追加する、最近の目的地、またはお気に入りの目的地を追加することで経由地を追加できます。マップ上のピンをタップして、情報ポップアップから追加を選択することで、経由地を追加することもできます。



経由地の編集は、経路に経由地を追加または削除することで詳細な経路を設定することができます。等号サインをタッチして経由地をドラッグアンドドロップすると順番を並べ替えることができます。

オート ナビゲーション

注: すべての販売地域およびすべての車両構成においてオートナビゲーションが使用可能であるわけではない可能性があります。

オートナビゲーションは、乗車したときに目的地を予測することができます。**Model 3** に携帯電話のカレンダーが同期されている場合、カレンダーには車両運転のために乗車したときから**2**時間以内に実施されるイベントが含まれます。オートナビゲーションでは、そのイベントの位置を推奨します（イベントの実施される有効な住所があることを前提とします）。

さらに、平日（月曜日～金曜日）の午前**5**時～午前**11**時の間に自宅で車両に乗車すると、オートナビゲーションは自動的に指定されている「勤務先」までの経路を示します（**自宅、勤務先、お気に入りの目的地**参照）。平日の午後**3**時から午後**11**時の間に勤務先で車両に乗り込むと、オートナビゲーションは自動的に指定されている「自宅」までの経路を示します。

オートナビゲーションを有効にするは、「コントロール」>「ナビゲーション」>「オートナビゲーション」の順にタッチします。電話機のカレンダーを**Model 3** に同期させる必要があり、イベントに重複のなく指定された有効な住所を含める必要があります（**電話、カレンダー、ウェブ会議**を参照）。

注: 手入力した、または**Model 3** に送信したナビの道順は、オートナビゲーションの推奨経路より優先されます。

「名所」および「食事」

注: 「名所」および「食事」はすべての販売地域およびすべての車両構成において使用可能なわけではありません。

選択した目的地までのナビに加え、**Model 3** はお客様の気分に合わせ近所にある食事または名所を提案することもできます。ナビ検索バーで「食事」または「名所」をタッチします。「食事」では、人気のレストランの一覧を提案し、「名所」では人気の目的地（美術館やアミューズメントパークなど）の一覧を提案します。関心のある目的地を見つけたら、「ナビ」をタッチして目的地へ進みます。

この機能には、最新版のナビゲーションマップが必要です。ダウンロードするには、**Model 3** をWi-Fiに接続してから、「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチして、利用できるアップデートの有無をチェックします（**地図のアップデート**参照）。

自宅、勤務先、お気に入りの目的地

頻繁に利用する目的地がある場合、その都度目的地の名称や住所を入力することを避けるため、お気に入りに追加することをお勧めします。目的地をお気に入りとして追加する場合、ナビゲーション検索バーをタッチしてからお気に入りをタッチし、お気に入りのリストから目的地を選択することで、目的地に簡単に向かうことができます。



目的地をお気に入りリストに追加するには、地図上で行き先のピンをタッチして、表示されるポップアップウィンドウにあるスター アイコンをタッチします。名前（またはデフォルト名のまま）を入力し、お気に入りに追加をタッチします。星マークが塗りつぶされると、その目的地がお気に入りリストに設定されたことになります。

最近の目的地またはお気に入りの目的地を削除するには、目的地リストで「X」が表示されるまで長押しします。続いて、Xをタッチしてリストから削除します。

「自宅」および「勤務先」の場所も、ナビ検索バーの下に表示されます。タッチすると、これらの場所の住所を設定できます。住所を入力したら、「自宅として保存」または「勤務先として保存」をタッチします。これにより、これらのショートカットをタッチするだけで自宅や勤務先のナビゲーションができます。

該当する住所を変更または削除するには「自宅」または「勤務先」を長押しします。ポップアップが表示され、新しい住所を入力して、「自宅として保存」または「勤務先として保存」を実行しますまたは「削除」または「削除」にタッチして関連する住所を完全に削除します。

注: 使用パターンによっては、検索した目的地を自宅または勤務先として保存するように**Model 3** から求められることがあります。

注: 自宅や勤務先が保存されると、**Model 3** は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲーションするかの指示を求めるようになります。現在の交通状況に基づいて到着までの推定時間が表示されます。**オート ナビゲーション**を参照してください。

セキュリティ上の理由から、**Model 3** を売却される場合は自宅と勤務先の場所を削除することを推奨します。個別に削除することもできますが、工場リセットを実行して個人データをすべて消去することもできます（「コントロール」>「サービス」>「工場リセット」にタッチします）。

充電ポイント

充電ポイントを地図に表示するには、地図の検索バーにタッチしてから、「充電ポイント」にタッチします。充電ポイントはリストで一覧表示（最寄りの充電ポイントが一番上に表示）されるとともに、地図上ではピンで表示されます。ピンにタッチすると、詳細情報の表示、ナビゲーションの開始、お気に入りとして設定が行えます。



稻妻アイコンをタッチして、地図に含める充電場所のタイプを指定します（デフォルトでは、マップにはスーパーチャージャーのみが表示されます）。



タッチして **70 kW** までの低電力ステーション（ディスティネーション チャージング サイトなど）を含めます。

タッチして **70 kW** を超える高電力チャージャーを含めます。



注: 一部の販売地域では、すべての充電場所を表示する設定にした場合、サードパーティの急速充電器もダークグレーのピンとして表示されます。

充電ポイントにピンが表示されると、当該施設の情報が表示されるようになります。ピンをタッチすると詳細が表示されます。



スーパーチャージャーの場所はオプションであり、ピンに付けられている番号は使用可能なスーパーチャージャー区画の数です。

注: 現在のナビゲーション ルート上にあるスーパーチャージャーは黒で表示されます（タッチスクリーンが夜間モードのときは白）。



この場所では、スーパーチャージャーの利用者が多いため、充電を開始できるようになるまで、しばらく待つ必要がある可能性があります。



この場所では、通常より利用可能なスーパーチャージャーが少ない可能性があります。



スーパーチャージャー ステーションは閉場している可能性があります。



この場所のスーパーチャージャーに関するデータはありませんが、稼働中です。



この場所にあるのは、目的の充電ステーションの場所、サードパーティの急速充電器、または過去に使用したことのある公共充電ステーションです。タッチすると、使用制限や利用可能な充電電流など詳細な情報が表示されます。

注: 地図がズームアウトされ、エリア内に利用可能な充電ステーションが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数を表示します。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチすると各地点の詳細が表示されます。

充電ポイントのピンにタッチすると、ポップアップが表示され、以下のようなことができます。

- 正確な場所と現在地からのおおよその距離がわかります。
- 充電ポイントで利用できるアメニティ（トイレ、レストラン、宿泊施設、ショップ、Wi-Fi の使用可否など）を表示できます。スーパーチャージャー ポップアップでアメニティアイコンにタッチすると、周辺エリアのアメニティ施設を検索できます。
- 矢印アイコンにタッチすると、充電ポイントまでのナビを利用できます。

注: スーパーチャージャー（地域によってはサードパーティの急速充電器）へと移動する場合、**Model 3** は充電に備えてバッテリーのブレコンディショニングを実行します。これにより、最適なバッテリー温度で到着するので充電時間が短縮されます。場合によっては（寒冷時など）、モーターやコンポーネントからノイズが聞こえることがあります、これはバッテリーを温めているためで異常ではありません（充電を参照）。

- さまざまな時間帯ごとのスーパーチャージャーの一般的な混雑状態と該当する充電料金、超過時間料金、および渋滞料金を表示します（[スーパーチャージャー 使用料と超過時間料金](#)を参照）。

エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、**Model 3** は目的地に到着した時点でのエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。ナビゲーション中、地図にはターンバイターンの方向リストにあるバッテリー アイコンの隣にこの計算値が表示されます（[目的地へのナビゲーション](#)参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

使用エネルギーを予測する計算は、運転スタイル（予測速度など）と環境要因（標高の変化、風速と風向、周囲温度と予測温度、空気密度と湿度など）に基づいた推定値です。運転中、**Model 3** は使用エネルギー量を継続的に学習し、時間の経過とともに精度を向上させます。**Model 3** は個々の車両で行われた運転スタイルに基づいてエネルギー使用量を予測することに留意してください。たとえば、一定期間アグレッシブに運転すると、将来の航続距離予測では大きな消費量を想定します。また、中古の Tesla 車両を購入する場合は、工場リセットを実施して（「コントロール」> 「サービス」> 「工場リセット」）、予測エネルギーを可能な限り正確になるようにすることをお勧めします。

ルートの全体にわたって、**Model 3** はエネルギー使用量を監視して、走行後の推定残存エネルギーを更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストに警告のポップアップが表示されます。

マップとナビゲーション

注: エネルギー予測に寄与する要因(予測されている温度や風速など)の一部は、**Model 3**がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

- 目的地到着までに必要な充電残量がごくわずかになったら黄色の警告が表示されます。電力を浪費しないように減速してください。エネルギーを節約する方法は**航続距離を最大限に伸ばす**を参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

往路および復路の走行に充電残量が十分か確認するには、ターンバイターンの方向リストにあるバッテリーアイコンにタッチして、往復走行に要する想定エネルギー量を表示します。

オンラインルート案内

Model 3は、リアルタイムの交通状況を検出して、自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行います。ルートを変更する前に、時間短縮しなければならない最短時間を分数で指定することもできます。この機能のオンオフの切り替えは、地図の設定アイコン([ナビ設定参照](#))、オンラインルート案内の順にタッチして行います。

トリッププランナー

トリッププランナー(販売地域で利用可能な場合)を使えば、安心して長い道のりを運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリッププランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリッププランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートの選択と、充電時間を提供します。トリッププランナーを有効にするには、地図の設定アイコン([ナビ設定参照](#))をタッチしてから、トリッププランナーをタッチします。

トリッププランナーがオンになっていて、なおかつ目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにスーパーチャージャー所在地、各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、スーパーチャージャー所在地到着時点の予測エネルギー残量が表示されます。

注: トリッププランナーによってスーパーチャージャーまたは一部地域のサードパーティの急速充電施設にナビゲーションされているあいだは、スーパーチャージャーまたはサードパーティの急速充電施設に到着時点で最適なバッテリー温度になるように、**Model 3**によりエネルギーが自動的に予熱に割り当てられることがあります。この結果、充電時間が短縮されます([充電参照](#))。

スーパーチャージャー所在地を削除して、道順だけを表示させるには、道順リストの下部にある「充電ポイントを全て削除」にタッチします。充電ポイントを削除する場合に、目的地到着には充電が必要だというアラートがターンバイターンの方向リストに表示されることがあります。スーパーチャージャーストップを道順に再度追加するには、充電ポイントを追加をタッチします。

スーパーチャージャーで充電している間、充電スクリーンには次のスーパーチャージャー所在地または目的地まで(これ以上の充電が不要な場合)の運転に必要な残り充電時間が表示されます。実際の充電時間が長かったり、短かったりした場合には、後続のスーパーチャージャー所在地での充電時間が再調整されます。

注: モバイルアプリを使用して、充電に要する残り時間を監視することもできます。

注: ナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーが故障中の場合には、トリッププランナーは通知を表示して、別のスーパーチャージャー所在地に経路変更しようと試みます。

トリッププランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断しても、ルート上にスーパーチャージャーが見つからない場合、トリッププランナーはターンバイターンの方向リストの最上部に警告を表示し、目的地到着には充電を要することを通知します。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それはWi-Fi経由で自動的に**Model 3**に送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的に**Model 3**をWi-Fiネットワークに接続してください([Wi-Fi参照](#))。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されます。



概要

メディア プレイヤーはカードエリアまたはタッチスクリーンに表示され、さまざまなタイプのメディアからの再生に使用できます。ミニプレーヤーの表示と同様に、メディア プレイヤーを上にドラッグすると展開し（ブラウズすることが可能になる）、下にドラッグすると最小化できます。ミニプレーヤーは便利にできており、現在再生中のものをタッチスクリーンに最小スペースで表示するとともに、再生に必要な基本機能だけを表示します。

メディアプレーヤーには、アプリ ランチャーから選択した、またはメディアプレーヤーを拡大したときに表示されるドロップダウン リストから選択したアプリ（またはソース）に関するコンテンツおよびオプションが表示されます。

注: メディア アプリは、販売地域および車両構成によって異なります。販売地域によっては利用できないアプリがあり、別のアプリで代用することができます。



「ラジオ」：聴取可能なラジオ局のリストから選択するか、または数字キーパッドにタッチして、ラジオ局の周波数を直接入力して選曲します。周波数を次へ（または前へ）移動させるには、周波数を選んでから、次の矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。

「Bluetooth」：Bluetooth 接続された電話や USB デバイスに保存されている音源を再生します（デバイスからメディアを再生参照）。



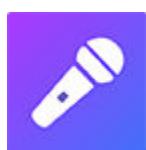
「ストリーミング」：販売地域で利用可能なオーディオ ストリーミング サービスを再生します（装備車の場合）。



「Spotify」：Spotify で利用可能な音源を再生します。



「Apple Music」：Apple Music で利用可能な音源を再生します。



Caraoke（装備されている場合）：さまざまな曲を歌うことができます（カラオケを参照）。



「TuneIn」：TuneIn で利用可能な音源を再生します。

注: メディア アプリ/ソースを表示するまたは非表示にすることができます。メディアの設定を参照してください。

インターネット ラジオや音楽ストリーミング サービスを聞く場合、メディア プレイヤーで選択できるオプションは何を視聴するかによって変わります。次に進む（または、前に戻る）矢印にタッチすると、利用可能な次の（または前の）ラジオ局、エピソード、楽曲が再生されます。次の曲を再生、または前の曲を再生の操作は、ハンドル上の左スクロール ボタンでもできます。

ストリーミング サービスはデータ接続（Wi-Fi やプレミアム コネクティビティなど）が利用可能な場合に限って利用することができます。一部のメディア サービスでは、Tesla アカウントがデフォルト設定されています。それ以外は、初回使用時にアカウント認証情報の入力を求められます。

注: メディア プレイヤーのドロップダウン リストからソースを選択して、メディア プレイヤー ウィンドウでソースを変更することができるため、さまざまなメディア アプリを起動する必要はありません。

注: 音声コマンドを使用して、音量コントロール、音楽再生、またはメディアソースの切り替えといったメディア設定や好みを調整することができます（音声コマンドを参照）。

音量調節

再生音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロール ハイールを上下に回します。スクロール ボタンは、メディア、音声コマンド、電話の音量を調節します。

注: Model 3 は走行速度と空調の設定に基づいて音量を自動調整します。

タッチスクリーン下部コーナーにあるスピーカー アイコンにある矢印にタッチしても、音量が調整できます。

音量をミュートするには、左スクロール ボタンを押してください。もう一回押すとミュートが解除されます。

注: 通話中に左のスクロール ボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

メディアの設定

注: 各種設定は、販売地域によって異なります。また、設定が適用されない音源もあります。



オーディオ音源スクリーンの表示中に、検索バーにある設定アイコンを押すと、オーディオ設定にアクセスできます。

以下の設定を調整することができます。

- 「トーン」：スライダーをドラッグすることで、サブウーファーおよび 5 種類の波長帯域（低音、低中音、中音、中高音、高音）を調節できます。プレミアム オーディオが装備されている場合、お好みに合わせてイマーシブ サウンド スライダーをドラッグすることで、サウンド イマーションのレベルを調整してミュージック エクスペリエンスをより魅力あるものにすることができます。

- 「バランス」：聴きたい **Model 3** の位置に合わせて中央の円をドラッグします。
- 「オプション」：オプション機能を設定します。たとえば、「DJ コメンタリー」、「不適切なコンテンツ」、「モバイル コントロールを許可」のオンオフの切り替えができます。
- 「ソース」：利用可能なすべてのメディアソースを表示して、それぞれのソースの表示/非表示を選択することができます。使用しないメディアソースは非表示にすることができます。非表示になると、そのメディアソースはメディアプレイヤーのドロップダウン リストに表示されなくなり、アプリ ランチャーにタッチしてもアプリ レイに表示されなくなります。いつでもこの設定画面に戻って、非表示になったメディアソースを再度表示させることができます。

オーディオ コンテンツの検索



特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレイヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。音声コマンドを使用してハンズフリーで検索することもできます(音声コマンドを参照)。

カラオケ

様々なストリーミングサービスに加え、カラオケも備わっています。カラオケにアクセスするには、メディアプレイヤーに移動して、ドロップダウンメニューを選択してメディアソースをカラオケに変更します。または、カラオケをアプリランチャーのアプリとして追加します。様々な曲を検索して、歌いたい曲を選択します。マイクアイコンをタッチして曲のメインボーカルを有効/無効にします。マイクを無効にすると、曲の演奏やバックコーラスのみが流れます。歌詞アイコン(マイクアイコンの隣)をタッチして曲の歌詞を有効/無効にします。

注: 車両の設定や地域により、お客様の車両ではカラオケを利用できない場合があります。

⚠️ 警告: 運転中には絶対にカラオケの歌詞を読まないください。常に道路状況や交通状況に注意を払ってください。運転時には、他の乗員がカラオケの歌詞を見ることを目的としています。

最近の履歴とお気に入り

もっとも直近に使用したコンテンツは、最近の履歴でもお気に入りでも、使いやすいようにトップに表示されます。



現在再生中のラジオ局、ポッドキャスト、オーディオファイルをお気に入りリストに追加するには、メディアプレイヤー上の「お気に入り」アイコンをタッチします。



ある項目をお気に入りから削除するには、強調表示された「お気に入り」アイコンにタッチします。複数のお気に入りを削除するには、メディアプレイヤーを展開して、適用できるソース コンテンツのタイプごとにすべてのお気に入りを表示します。そしてお好きなお気に入りを押し続

けます。「X」はすべてのお気に入り項目上に表示されます。お気に入りリストから削除したい項目の「X」にタッチします。

最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。



注: (装備されていれば) FM ラジオ局で再生する選択局は「最近の履歴」リストには表示されません。

デバイスからメディアを再生

Bluetooth 接続されたデバイス(電話など)や **USB** 接続されたフラッシュ ドライブにあるオーディオ ファイルを再生することができます。Bluetooth(Bluetoothを参照)または **USB** デバイスに接続すると、メディアプレイヤーが当該デバイスをメディアソースとして登録します。

USB 接続されたフラッシュ ドライブ

フロント **USB** ポートにフラッシュ ドライブを挿入します(**USB** ポート参照)。「メディアプレイヤー」>「**USB**」をタッチし、再生したい曲が含まれているフォルダーの名前をタッチします。USB接続されたフラッシュ ドライブのフォルダー内のコンテンツが表示されたら、リスト内の曲をタッチできます。または、メディアプレイヤーの戻る矢印か進む矢印で楽曲をスクロールします。次の楽曲に進む、または前の楽曲にスクロールする操作は、ハンドルの左スクロール ボタンでもできます。

注: USB接続したメディアを再生する場合、**Model 3** はフラッシュ ドライブのみを認識します。iPodなど別のタイプのデバイスからメディアを再生するには、当該デバイスを Bluetoothで接続する必要があります(Bluetooth接続された機器を参照)。

注: メディアプレイヤーは、exFATでフォーマットされた **USB** フラッシュ ドライブに対応しています(NTFSには現在対応していません)。

注: センター コンソール前にある **USB** ポートを使用します。コンソールのリア側にある **USB** 接続は充電専用です。

注: 2021年11月1日ごろ以降に製造された車両の一部では、センター コンソール **USB** ポートが充電サービスしかサポートしていない可能性があります。その他のすべての機能については、グローブボックス内の **USB** ポートを使用してください。

Bluetooth接続された機器

電話などの **Bluetooth** 接続可能なデバイスを **Model 3** とペアリングして接続した場合、そこに格納されているオーディオ ファイルを再生できます(Bluetoothを参照)。メディアプレイヤーの「電話」ソースを選択して、Bluetooth接続したデバイスの名前にタッチしてから、「接続」にタッチします。



Bluetooth デバイスによって、お使いのデバイスで現在使用中のオーディオ ファイルの再生が開始されます。オーディオ ファイルが再生されていない場合は、聴きたいオーディオ ファイルを選択してください。選択したファイルの再生が開始されると、メディア プレイヤーの進むアイコンと戻るアイコン（またはハンドルの左スクロール ボタン）を使用して、さまざまな楽曲を再生できるようになります。

注: **Bluetooth** 接続された機器でメディアを再生するには、メディアへのアクセスが機器でオンになっていることを確認してください (**Bluetooth** を参照)。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



シアター、アーケード、おもちゃ箱

概要

注: 地域、製造日、および車両構成によって、エンターテインメントオプションが異なる場合があります。

以下のアプリを選択すると、タッチスクリーンにエンターテインメント ウィンドウが表示されます。



「シアター」: 駐車中は、さまざまな動画ストリーミング サービス (**Netflix**、**YouTube**、**Hulu** など) をお楽しみください。Model 3 が Wi-Fi に接続しているか、プレミアムコネクティビティが装備されていて、携帯電話信号が使用できる場合に限って利用可能です。



「アーケード ゲーム」プレーしてみませんか。ゲームによっては、プレーする際にハンドルのボタンや **Bluetooth** または **USB** 接続のコントローラーを使用する必要があります。ゲーミングコントローラーを参照してください。

注: 2021年11月1日頃以降に製造された一部の車両では、センターコンソールの **USB** ポートは、デバイスの充電にのみ使用できます。これらの車両では、グローブボックス内の **USB** ポートを使用する必要があります。



「おもちゃ箱」: パーキングにシフトしているときにおもちゃ箱で遊んでください。

⚠️ 警告: これらの機能は、Model 3 が駐車しているときのみ使用してください。運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。運転中のエンターテイメント機能の使用は、違法なうえに非常に危険です。

注: 音声コマンドを使用してこれらの機能にアクセスすることもできます(音声コマンドを参照)。

おもちゃ箱

車両のおもちゃ箱には、楽しく使える機能が含まれています。ここでは、おもちゃ箱の機能の一例をご紹介します。

これを選択すると—	できることは—
ブームボックス	<p>Model 3 に歩行者警告システムが備わっていれば、パーキングにシフトしているときに、車両の外部スピーカーからさまざまなサウンドを流して歩行者を楽しませることができます。詳細については ブームボックス を参照してください。</p> <p>注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。</p> <p>⚠️ 注意: この機能を使用して、ホーン音、ホーン音に類似する音、またはホーン音と混同するおそれのある音を発生させないでください。この機能を使用する場合、常に周囲の環境、他の人の生活、作業や交通の安全などに配慮し、発生させる音の種類と音量を慎重に選択して、調整してください。不適切に使用すると、道路交通法およびその他の適用法令違反と見なされる可能性があります。</p>
排出ガス	楽しみは、意外なところからやってくるものです。お好みのブーブー スタイルと目的のシートを選んでください。「いたずら」する準備ができたら、ウィンカーか左スクロール ホイールを押してブーブークッションを鳴らします。歩行者警告システムが備わっていれば、お客様の車両がパーキングにシフトしているときに、外部に向かって音を出すことができます。でも待ってください。お楽しみはそれだけではありません。モバイル アプリを使用すると、4 個のクイック コントロール ボタンのどれかを長押ししてから「おなら」ボタンを選択することで、遠隔音出しテストを実行することができます。
火星	マップには Model 3 が火星の大地を走る流浪者として表示され、お客様の Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
レインボー 充電ポート	Model 3 がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?
レインボー ロード	カウベルがもっと必要? オートステアリングを有効にした状態ですばやく 4 回続けてレインボー ロードが起動します。
ロマンス	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンティックなひと時を過ごすことができます。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気を演出!



スケッチパッド	あなたの内なるピカソを呼び出してみましょう。あなたの才能を見せるチャンス！出版をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送付ください。
TRAX	世界的に有名な DJ になる夢を追い続けるのに遅すぎることなんて決してありません。を使えば TRAX 、車両を自分だけの音楽スタジオに変えられます。「 P (パーキング)」に入れている間、たくさんの楽器やユニークなサウンドを組み合わせて新しいヒットソングを作り出せます。マイクとヘッドセットは含まれておりません。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	お車の名前を「 42 」に変更します（「コントロール」>「ソフトウェア」にタッチしてから、車両の名前にタッチします）。新しい名前に注目してください。
車載用カラーライザー	タッチスクリーンで Model 3 の色を変更します。車両名の隣にあるカラー スイッチにタッチして、エクステリアのカラー、トーンなどをカスタマイズします。

ブームボックス

注: ブームボックスは、歩行者警告システム (**PWS**) の装備車でしか使用できません。

注: 公共の場所でブームボックスを使用する前に、現地の法律をご確認ください。

ブームボックスを使用すると、**Model 3** が駐車時に、歩行者警告システム (**PWS**) スピーカーから外部に音を出すことができます。例:

- 現在のメディアを再生。
- メガホンを使用して、声を変調できます。
- ホーンを押すと互換性のある **USB** デバイスから任意のサウンドの最初の **5** 秒間を再生します。

注: 空調でキャンプモードを選択している場合、降車後 **Tesla** アプリで音量を調整することができます。

ブームボックス用の **USB** ドライブの準備

これらのステップに従って最大で **5** つのカスタムブームボックスサウンドを追加することができます。

- コンピューターで、**USB** ドライブを **exFAT**、**MS-DOS FAT (for Mac)**、**ext3**、または **ext4** でフォーマットします (**NTFS** は現在サポートされていません)。
- USB** ドライブに「**Boombox**」というフォルダーを作成します。
- .wav** と **.mp3** の音声ファイルをフォルダーに追加します。**USB** ドライブの容量が許す限りファイルを追加することができますが、選択できるのは、アルファベット順に並べられたリストにある先頭の **5** つだけです。ファイル名は任意の長さで、大文字と小文字のアルファベット (**a-z/A-Z**)、**0~9** の数字、ピリオド (.)、ダッシュ (-)、アンダースコア (_) を使用できます。
- USB** ドライブをフロント **USB** ポートに差し込みます。

注: **2021年11月1日**頃以降に製造された一部の車両では、センターコンソールの **USB** ポートは、デバイスの充電にのみ使用できます。これらの車両では、グローブボックス内の **USB** ポートを使用する必要があります。

- 「ブームボックス」ドロップダウンメニューで、**USB** ドライブからサウンドを選択します。

ゲームのアンインストール

ゲームのアンインストールは、車両のストレージ容量を空けたい場合に便利です。ゲームをアンインストールするには、「アーケード」に移動し、アンインストールするゲームを選択し、「アンインストール」をタッチします。一度アンインストールしたゲームを再びプレイするには、ゲームをダウンロードする必要があります。

ゲーミングコントローラー

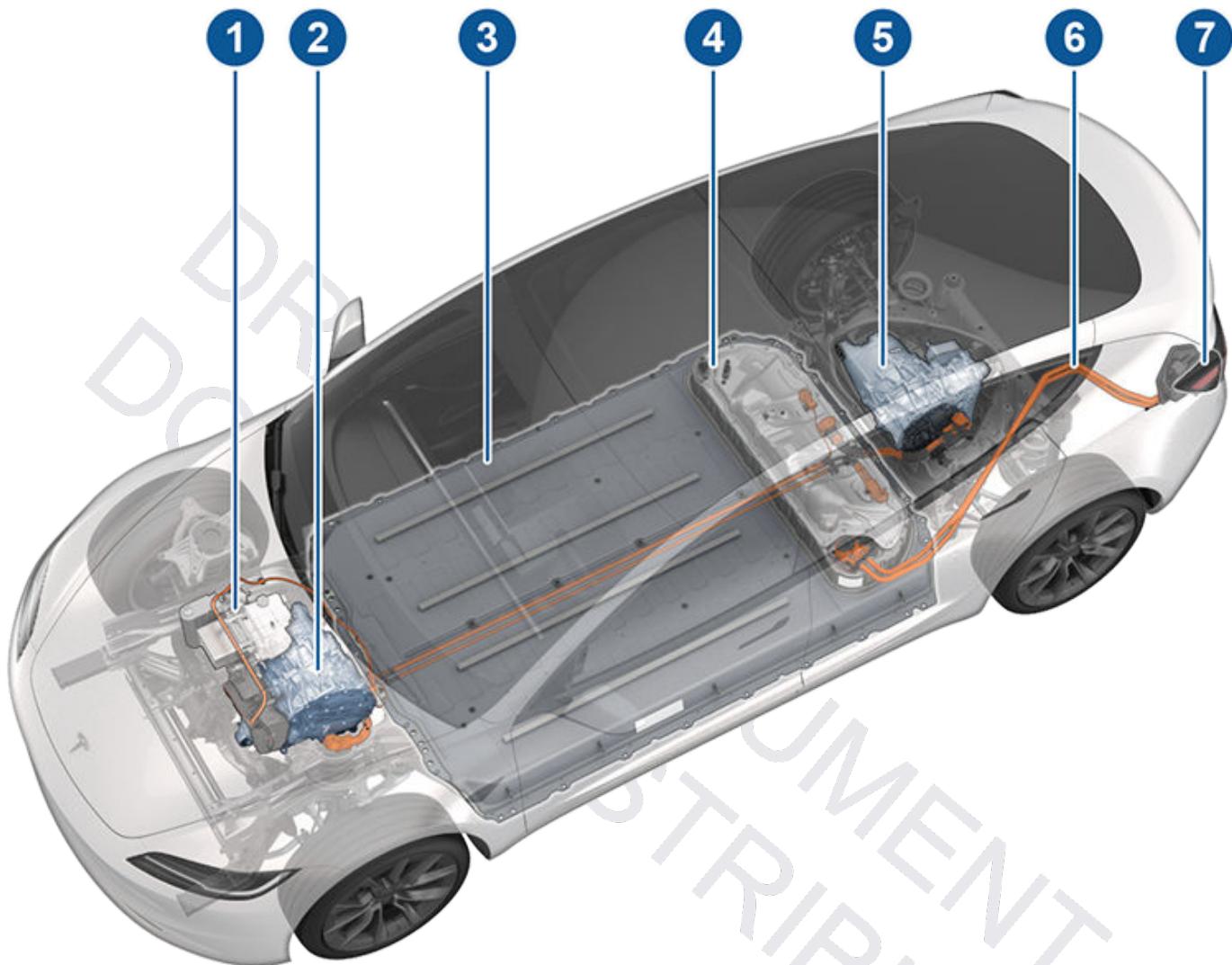
Bluetooth Classic ゲーミングコントローラーは、携帯電話のペアリングと同じ手順で **Model 3** にペアリングできます（電話、カレンダー、ウェブ会議を参照）。ペアリング後、コントローラーは自動的に車両に接続します。接続すると、コントローラーを使用して選択したゲームをプレイすることができます。**Model 3**一度に **2 台**の **Bluetooth** デバイスのみに対応することが可能ですが（例えば、コントローラー **2 台**、または携帯電話とコントローラー）。

およそ **2021 年 11 月 1 日**よりも前に製造された車両の場合、**USB** 互換のゲームコントローラーを車両のセンターコンソールにあるフロント **USB** ポートに接続することができます。およそ **2021 年 11 月 1 日**よりも後に製造された車両の場合、グローブボックスの **USB** ポートを使用する必要があります。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



高電圧コンポーネント



1. ヒート ポンプ アセンブリ
2. フロント モーター（デュアルモーター車のみ）
3. 高電圧バッテリー
4. 高電圧コンポーネント用のサービス アクセス パネル（ペントハウス）
5. リア モーター
6. 高電圧回線
7. 充電ポート

⚠ 警告: 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

⚠ 警告: **Model 3** に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

⚠ 警告: 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。



充電機器

Model 3 の充電専用に設計された充電機器は Tesla から入手できます。

お客様の販売地域で使用可能な充電機器については、<http://shop.tesla.com> をご覧ください。

- ウォールコネクターは駐車スペースに設置するタイプであり、車両を日常的な使用で最も高速に充電することができます。
- モバイル コネクターを使用することで、一般的に使用されているほとんどのコンセントに差し込むことができます。モバイル コネクタを使用する場合は、スマート アダプタ（必要な場合）をモバイル コネクターに取り付けてからコンセントに差し込み、その後、車両に接続してください。
- Tesla は地域で最も一般的に使用されている公共充電ステーションで使用できるアダプターも提供しています。公共充電ステーションでは、最初にアダプターをステーションの充電コネクターに取り付けてから、車両に接続してください。



高電圧バッテリーについて

Model 3 は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。高電圧バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も充電プラグを差し込んだままにしておくことです。特に数週間以上 **Model 3** を運転する予定がない場合、これは重要です。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および低電圧バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されていると最高の性能を発揮します。

注: バッテリーを **0%**まで放電せると、他のコンポーネントが損傷し、場合によってはコンポーネントの交換が必要になることがあります（例：低電圧バッテリー）。このような場合には、お客様に修理費用や輸送費用を負担していただきます。放電により生じた費用は、保証やロードサイドアシスタンスサービスの保証対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。スーパーチャージャーに向かって走行中に、トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）を使用してバッテリーを温めておくと、充電時間を最短にすることができます。詳細情報については、[トリッププランナー](#)を参照してください。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。**Model 3** を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくり放電しています。放電率は環境要因（寒い天候など）、車両構造、タッチスクリーン上の選択した設定により異なりますが、1日におおよそ **1%** の割合でバッテリーが放電します。**Model 3** が充電されない状態が長期間続くような場合もあります（たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど）。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の **1%** について留意してください。たとえば、**2 週間 (14 日)** 充電しないと、バッテリーはおよそ **14%** 放電します。

バッテリーを **0%** まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが **0%** 近くまで低下すると、**Model 3** は低消費電力モードに入ります。このモードで、バッテリーは車載電子回路および低電圧バッテリーへの電源供給を停止します。低消費電力モードを有効にしたら、ジャンプスタートや低電圧バッテリーの交換などを避けるために、すぐに **Model 3** を差し込んでください。

注: ロックが解除されない、ドアが開かない、充電が開始されないなど、**Model 3** が反応しない場合は、低電圧バッテリーが放電している恐れがあります。このような場合は、低電圧バッテリーのジャンプスタートをお試しください（[ジャンプスタート](#)を参照）。それでも車両から反応がない場合は、[Tesla](#) にご連絡ください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、**Model 3** を **60°C** 超または **-30°C** 未満の環境に **24** 時間以上連続して置かないでください。

省エネ機能

Model 3 には省エネ機能があり、**Model 3** を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「コントロール」>「ディスプレイ」>「省エネモード」の順にタッチして消費電力をコントロールすることができます。航続距離を最大限に伸ばし、電力を節減する方法について詳しくは、[航続距離を最大限に伸ばす](#)をご参考ください。

水没した車両について

他の電気自動車と同様に、お客様の [Tesla](#) が洪水や極端な気象現象にさらされたり、水（特に塩水）に浸かったりした場合は、事故として扱い、保険会社に連絡してサポートを求めてください。[Tesla](#) サービスが車両を検査する前に車両を操作しないでください。ただし、けん引または動かして車両を建物から遠ざける必要があります。

注: 水没による損傷は保証の範囲外になります。

バッテリーに関する警告と注意事項

! **警告:** バッテリーには、オーナーまたは [Tesla](#) により認定されていないサービス技術者が整備できる部品はありません。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。必ず [Tesla](#) に連絡して、バッテリーの修理を依頼してください。

! **注意:** バッテリの充電レベルが **0%**に達した場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたま長時間放置すると、低電圧バッテリーをジャンプスタートさせるか、または交換しない限り、**Model 3** を充電または使用できない場合があります。**Model 3** を長期間にわたって充電せずに放置すると、バッテリーが損傷し、修復不能になる場合があります。低電圧バッテリーをジャンプスタートさせても **Model 3** を充電できない場合は、直ちにテスラにご連絡ください。

! **注意:** バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラント フィラー キャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告がタッチスクリーンに表示された場合は、ただちに [Tesla](#) にご連絡ください。

! **注意:** このバッテリーは固定電源として使用しないでください。固定電源として使用した場合は、保証が無効になります。



充電方法

充電ポートを開ける

充電ポートは **Model 3** の左側に位置し、ドアの後ろ、リア テール ランプ アセンブリの一部にあります。充電ケーブルが充電ポートに届きやすいように、**Model 3** を駐車します。

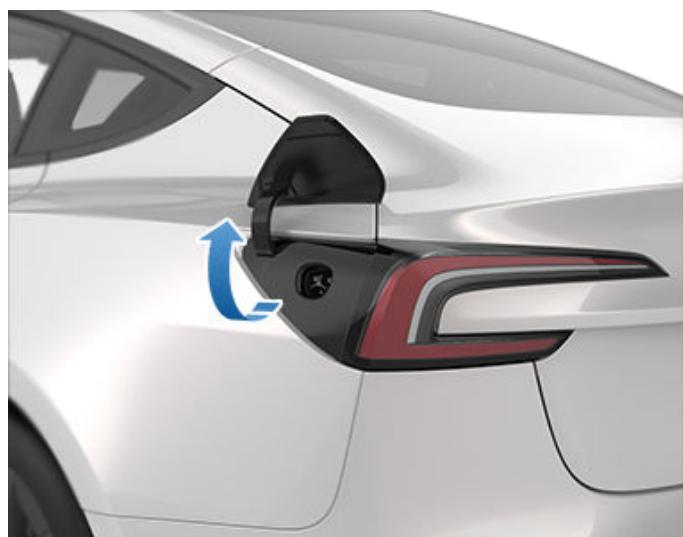
Model 3 がパーキングにシフトしている状態で、**Tesla** 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、「コントロール」をタッチして、充電ポートアイコン（稻妻アイコン）をタッチします。
- タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「充電」 > 「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- Model 3** がロック解除されているときに充電ポート ドアの下部を押します。
- 音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを開きます（[音声コマンド](#)を参照）。音声コマンドを使用して、充電ポート ドアを閉じることや、充電を開始または停止することもできます。

注: 次の画像は、デモンストレーションの目的でのみ提供されています。販売地域および製造日によっては、充電ポートに若干違いがある場合があります。



注: 充電ポート扉を開けると、**Tesla** の「T」が点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

注: 極端な寒冷時や凍結するような状況では、充電ポートラッチがそのまま凍ることがあります。一部のモデルには、寒冷時にリア デフロスターをオンにすると、連動してオンになる充電ポートヒーターがあります。モバイル アプリでプレコンディショニングを有効にすれば、充電ポート ラッチの氷を溶かすこともできます。この発生を防ぐには、充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」設定で、出発時刻を設定し、プレコンディショニングを有効にします（[予約充電および出発予定時刻](#)を参照）。

注意: 充電ポートを無理に開けようとしないでください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電制限と充電電流を変更します（[充電設定](#)を参照）。

公共の充電ステーションで充電するには、適切なアダプターを車両の充電ポートに差し込み、ステーションの充電コネクターをアダプターに接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクターを使用する場合は、先に電源に挿してから **Model 3** につなぎます。

コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込みます。コネクターが正しく差し込まれている場合に **Model 3** が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクターが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。



注: **Model 3** に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、充電機器からエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、**Model 3** の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、**Model 3** が消費するエネルギーはバッテリーではなく充電機器から取り込まれます。

ただし、**Model 3** が差し込まれているもののほとんどエネルギーを使用していない場合、バッテリーから直接エネルギーを取り込むことがあります。例えば、**Model 3** を使用せずに数日間差し込んだままで放置すると、車両のシステムをサポートするために、バッテリーから直接少量のエネルギーを段階的に取り込むことがあります。

バッテリーが十分に放電すると、バッテリーは充電を開始して再び制限に到達します。点検時期によっては、バッテリーは十分に放電することなく、充電サイクルをトリガーすることができます。その結果、長時間差し込んだ場合でも、充電限度よりも若干低くなることがあります。これは正常な作動であり、十分に放電した後に、**Model 3** は再び充電を開始します。または、新しい充電サイクルを手動で開始するには、プラグ一旦を抜いてから **Model 3** を差し込みます。

! **注意:** 充電ケーブルのコネクター側を **Model 3** の上に落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電ポート ライト

- 白色（またはライトブルー色）：充電ポートが開いています。**Model 3** 充電準備ができていますが、コネクターが挿入されていないか、充電ポートのロックが解除されコネクターが取り外せる状態になっています。
- 注: 初期世代の充電ポートが装備されている場合、車両が充電されておらず、周囲温度が **5°C (41°F)** 未満の場合は充電ポートのロックが解除されたままになります。これらの状況では、充電ポートのライトは白色で点灯します。
- 青色: 充電器は接続されているが、**Model 3** は充電をしていません（予約充電が有効になっている場合など）。
- 青色の点滅: **Model 3** 充電器と通信しているが、まだ充電を開始していません（車両が充電準備をしている場合など）。
- 緑色の点滅: 充電中。**Model 3** の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- 緑色の点灯: 充電完了。
- オレンジ色の点灯: コネクターが完全に差し込まれていません。コネクターと充電ポートの向きを合わせて、コネクターを奥まで挿し込んでください。
- オレンジ色の点滅: **Model 3** は電流を減少して充電しています（AC 充電のみ）。
- 赤色: 故障が検出され、充電が停止しました。タッチスクリーンでアラートを確認してください。

充電ステータス

充電ポートのドアが開いていると、車のステータス画面の上部に充電ステータスが表示されます。

- 1. 残り時間:** 設定限度まで充電するための推定残り時間（充電設定参照）

注: 100%まで充電する場合、充電完了と表示されても、車両は低電力で充電を継続している可能性があります。これは設計通りの動作です。このポイントを超えて追加されるエネルギーは小さいので、一般的には充電を継続しても利点はありません。

- 2. 充電:** 充電器の現在の電力。
- 3. 充電速度:** 接続している充電器ケーブル使用可能な最大電流。
- 4. 取得航続距離:** 充電で増加した推定航続距離。
- 5. 走行距離:** 推定総航続距離または利用可能エネルギー残量のパーセント表示（表示設定により異なる）で表示されます。
- 注:** 表示されるエネルギー単位を変更するには、「コントロール」>「スクリーン」>「エネルギー表示」の順にタッチします。
- 6. 充電ステータス:** 充電ステータス メッセージ（「スーパーチャージング」、「充電中」など）はここに表示されます（予約充電および出発予定時刻参照）。

充電

充電中は、充電ポート ライト（Tesla の「T」のロゴ）が緑色に点滅し、タッチスクリーンに充電状況が表示されます。充電レベルが満充電に近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: **Model 3** がロックされていると、充電ポート ライトは点灯しません。

充電ポート ライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。タッチスクリーンで故障に関するアラートを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 車両にヒートポンプが搭載されている場合、特定の条件下でサーマルシステムから蒸気が発生することがあります（お客様の車両にヒートポンプが搭載されているかどうかは、「コントロール」>「ソフトウェア」>「追加車両情報」をタッチしてください）。たとえば、気温が低いときにスーパーチャージャーで充電していると、無臭の蒸気が車両の前方から発生することがあります。これは正常な動作で、問題はありません。

注: 充電中にノイズが聞こえますが異常ではありません。特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況（たとえば、気温が高い日に大電流で充電しているなど）では、通気口から出る空気が冷たくない場合があり、タッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。

! **警告:** 充電している間、絶対に充電ポートに勢いよく液体をかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

T 充電方法

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「充電を停止」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブル ラッチはロックされたままの状態となり、**Model 3** のロックが解除されるか、認証されたスマートフォンを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

注: 初期世代の充電ポートが装備されている場合、**Model 3** がロックされている場合でも、車両が充電されておらず、周囲温度が **5° (41°F)** 未満の低温の場合、充電ポートはロック解除されたままになります。

充電ケーブルを取り外す:

1. コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。
2. コネクターを充電ポートから引き抜きます。充電ポート扉は自動的に閉じます。

公共の充電ステーションでアダプターを使用して充電ケーブルを取り外す方法 :

1. **Model 3** をロック解除します。
2. 一方の手で公共充電ステーションの充電ハンドルを、もう一方の手でアダプターを押さえながら、充電ハンドルのボタンを長押しして外側に引くと、ハンドルとアダプターが同時に外れます。
3. 充電ハンドル ボタンをもう一度長押しして、公共用充電ハンドルからアダプターを外します。

注: 充電ポートは、コネクターを充電ポートから取り外すと約 **10** 秒以内に自動的に閉じます。

! 注意: Tesla では、**Model 3** を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

充電設定

Model 3 がパーキングにシフトされているときに、「コントロール」 > 「充電」の順にタッチして、充電設定にアクセスします。タッチスクリーンのバッテリー アイコンにタッチして充電設定にアクセスすることもできます。

① — 290 mi



1. 走行距離: 推定総航続距離を表示します。
2. 制限を設定する: 充電ライダーを希望する充電レベルに調整します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。

注: 推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」 > 「充電」に移動）またはモバイル アプリ（充電アイコンにタッチ）を参照してください。

注: バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。

さらに以下のようにして充電設定を変更できます。

- この場所での充電電流: あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、- または + にタッチして電流を変更します（たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げることがあります）。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、**Model 3** はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

国内用コンセントを持つモバイル コネクターを使用して充電する場合、車両はデフォルトの充電電流を自動で選択することができます。この場所での充電電流をカスタマイズするかモバイルアプリで、このデフォルト電流値をより高い設定にします。

- 充電ポートを開き、充電ポートのロックを解除して、充電を停止します。充電していないときは、「充電ポートを開く」または「充電ポートのロックを解除」をタッチして、充電ポートのドアを開くか、充電ポートから充電ケーブルのロックを解除します。自動車のステータス概要で充電ポートの近くにある雷アイコンをタッチすることもできます。「充電を停止」を使用して充電を終了します。

注: 寒冷時の気温が **5° C (41° F)** より低くなった場合は、車両が充電中でなくとも充電ポート（初期世代の充電ポート ハードウェアが搭載された車両の場合）のロックは解除されます。

- スケジュール：「出発予定時刻/予約充電へ切り替え」をタッチして選択した設定に応じて、ここには、車両をプレコンディショニングおよび/または充電する場合の出発時刻または充電開始時刻が表示されます（[予約充電および出発予定時刻](#) 参照）。
- スーパーチャージャー充電: スーパーチャージャーの使用料、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用（[スーパーチャージャー使用料と超過時間料金](#) 参照）。

注: 利用率の高いスーパーチャージャー サイトの混雑緩和のために、トリップ プランナー（販売地域で利用可能な場合）を利用してないときは、最大充電レベルを **80%** に自動的に制限される場合があります。（[トリップ プランナー](#) を参照してください）。



スーパーチャージャー使用料と超過時間料金

Tesla のスーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に充電セッションの情報が表示されます。この情報には、場所、充電開始時間、そのセッションの推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかった推定費用が次回スーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。

注: 推定費用は、スーパーチャージャー充電セッションの最終費用を反映していない場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。

Tesla スーパーチャージャーで充電するとき、アイドル料金が発生する場合があります。超過時間料金は、ドライバーの方にスーパーチャージャー充電が完了したら車両をすぐに移動していただくことを促す目的で設けられています。超過時間料金は、充電場所にあるスーパーチャージャーの数の半数またはそれ以上が使用中のときのみに適用されます。Tesla モバイルアプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから 5 分以内に車両を移動されれば、超過時間料金は免除されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。

充電におけるベストプラクティス

- ・バッテリーが極めて低い充電レベルにならないようにしてください（バッテリーの残り容量が 20% 以下になるとバッテリー アイコンが黄色になります）。
- ・推奨される通常および長距離走行時の充電限度については車両のタッチスクリーンの情報（「コントロール」> 「充電」に移動）またはモバイル アプリ（充電アイコンにタップ）を参照してください。

手動で充電ケーブルを外す

通常の方法（充電ハンドル取り外しボタン、タッチスクリーン、またはモバイル アプリの使用）で充電ケーブルを充電ポートから取り外せない場合は、以下の手順に慎重に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model 3 が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、充電を停止をタッチします。
2. リア トランクを開く
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。



警告: 充電ポートから充電ケーブルを引き抜こうとしているときに同時にリリースケーブルを引かないでください。リリースケーブルは必ず充電ケーブルを引き抜く前に引いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。



注: 解除ケーブルは、トリムの開口部に収めることができます。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。



注意: リリース ケーブルは、通常の方法で充電ケーブルを引き抜くことができない場合にのみ使用してください。リリース ケーブルを頻繁に使用すると、リリース ケーブルや充電機器が損傷する恐れがあります。



警告: 車両の充電中や、橙色の高電圧電線が露出している場合は、この操作を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この操作の安全性に不安がある場合は、最寄りのサービスセンターまでお問い合わせください。



予約充電および出発予定時刻

Model 3 がパーキングにシフトしているときに、「コントロール」>「充電」>「予約充電/出発予定時刻へ切り替え」の順にタッチして、出発予定時刻/予約充電を切り替えます。

注: 「予約充電/出発予定時刻」設定は、空調画面および **Tesla** モバイル アプリでも使用可能です。

「予約充電」は「充電開始希望時刻」とと考えてください。「出発予定時刻オフピーク充電」は「充電終了希望時刻」とと考えてください。

「予約充電」は「出発予定時刻プレコンディショニング」と一緒に使用できますが「出発予定時刻オフピーク充電」と一緒に使用できません。

「予約充電/出発予定時刻」設定は各場所で自動的に保存されます。

注: 「オフピーク充電」と「予約充電」の両方を選択解除した状態で、**Model 3** のプラグを差し込むと、車両は直ちに充電します。

予約充電の使用

「予約充電」を使用して、**Model 3** が充電を開始する毎日の時間を指定することができます。

「予約充電」を選択した状態で、この機能を有効にし、充電を開始する毎日の時間を設定します。

注: 「予約充電」では、出発予定時刻の **6 時間** 後までに **Model 3** の充電ケーブルが差し込まれると、すぐに充電を開始します。しかし、**6 時間** を過ぎて **Model 3** に充電ケーブルを差し込むと、翌日の充電予定時間にならないと充電は開始しません。

出発予定時刻の使用

「出発予定時刻」が表示されているときに毎日 **Model 3** の運転準備を整える時刻を設定します。**Model 3** はプレコンディショニングや充電を開始する必要のある時間を自動的に計算します。こうすることで、出発時刻までに確実に充電を完了し、キャビンの空調とバッテリーをプレコンディショニングすることができます。

「出発予定時刻」が表示されているときに「スケジュール」にタッチして、毎日 **Model 3** の運転準備を整える時刻を設定します。時刻を設定し、「設定」にタッチして、以下の一方または両方の機能を有効にします。「オフピーク充電」を有効にしてプラグを差し込むと、車両は短時間で電力を引き込み（カチッという音が聞こえる場合があります）、所要充電開始時刻を計算します。

希望する設定にしたら、「設定」にタッチします。タッチスクリーンに出発予定時間が表示されます。

- 設定した出発時刻には、「プレコンディショニング」でバッテリーは暖められてパフォーマンスが向上し、車内の空調は快適に整えられます。

注: **Model 3** のプラグが差し込まれていない場合、バッテリーの充電レベルが **20%** を超えている場合に限ってプレコンディショニングが作動します。

- 「オフピーク充電」では充電を遅らせて自動で開始することで、出発予定時刻までに充電を完了しつつ、オフピーク時間にバッテリーを確実に充電することで、エネルギー コストを削減します。「オフピーク時間帯に変更」にタッチして、オフピーク電気代が終了する時刻をカスタマイズします。

注: オフピーク時間帯の電気代が適用されない市場地域でも、「オフピーク充電」を選択すると、エネルギー コストを節約できます。たとえば、プラグを差し込んですぐに充電が開始されると、充電が完了するまでの時間が大幅に短縮される可能性があります。その場合、出発時間までに「バッテリー」が周囲の温度まで冷却されるため、今度は、バッテリーを暖めるエネルギーが必要になります。このため、オフピーク電気代が適用されない地域でも、エネルギー消費を抑えるため、「オフピーク時間帯」を出発時間と同じ値に合わせることをおすすめします。

注: 充電限度に達するための十分な時間がない場合、すぐに充電を開始して、できる限りの充電を行ないます。

注: 充電を開始したものの、オフピーク時間帯で充電を完了するだけの時間ががない場合、充電限度に達するまで充電を継続します。

「プレコンディショニング」と「オフピーク充電」の適用を、平日だけに制限することができます。



電力消費量に影響する要因

走行中:

- 増加した走行速度。
- 環境条件（低温、高温、風など）
- 空調による車内温度調整
- 上り坂走行: 上り坂を走行するときには多くのエネルギーを必要とし、電力消費率が速くなり、航続距離の減りが早まります。その代わり下り坂の走行では、車両の回生ブレーキにより上り坂で消費されたエネルギーの一部を回収できます（[回生ブレーキ](#)参照）。
- 短距離走行や交通渋滞車両の始動時、車内とバッテリーを指定の温度にするには電力を消費します。非常に短い距離を複数回走行したり、交通渋滞時に空調をオンにしたままでいると平均電力消費量が大きくなる場合があります。
- 過積載
- ウィンドウが複数下りている
- ホイールおよびタイヤがメンテナンスされていない
- 設定のカスタマイズまたはサードパーティのアクセサリー（ルーフ、トランク内のラック、ホイール）

充電器に接続せずに駐車中

- キャビンをプレコンディショニングするまたは空調を使用する。
- サモン
- 車載インフォテインメントと空調システム
- セントリーモード
- Tesla** またはサードパーティのモバイル アプリのリクエスト

航続距離を最大限に伸ばすためのヒント

ガソリンエンジン車で行うような省エネ運転で、航続距離を最大限に伸ばすことができます。航続距離を最大限に伸ばすために:

- 運転速度を落とし、急激、頻繁な加速を避けてください。加速と速度の制御をアシストするコンフォート モード（「コントロール」>「ペダル&ハンドル」>「アクセル」の順にタッチ）およびスピードアシスト（[スピードアシスト](#)参照）の使用を検討してください。
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに **Model 3** を走行させると、回生ブレーキが車両を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（[回生ブレーキ](#)を参照）。
- ヒーターやエアコンなどの電装品の使用を控えます。車内を空調で暖房するより、シートヒーターおよびハンドルヒーター（搭載車の場合）を利用して温めるほうが効率的です。

- 運転する前に、車両を充電接続したままの状態で、モバイルアプリから「空調」>「空調をオン」の順にタッチして、優先設定をカスタマイズし、車両のプレコンディショニングを実行することで、車内を快適な温度にして、必要に応じてウィンドウの霜取りを行います（[モバイルアプリ](#)を参照）。
- 充電画面と空調画面の両方にある「スケジュール」をタッチして、車両を運転する予定時刻を設定します（[予約充電および出発予定時刻](#)を参照）。
- ストップモードを「ホールド」に設定して、低速走行時の回生ブレーキの効果を上げます（[#unique_260](#) 参照）。
- ホイールは仕様どおりのものを使用し、タイヤには所定の空気圧（[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)参照）で充填したうえで必要に応じて（[メンテナンスサービスの間隔](#)参照）、タイヤ位置を交換するようにします。
- エアロ カバーを装着（搭載車の場合）して、風力抵抗を低減します（[エアロ カバーの取り外しと取り付け](#)参照）。
- 不要な荷物は車両から降ろして、積載量を減らします。
- すべてのウィンドウを閉じます。
- セントリーモードやキャビン過熱保護などの機能は航続距離に影響します。不要な機能は無効にしてください。
- 車両の待機中にエネルギー消費が過剰にならないよう、使用していないときには車両を充電器に接続してください。

レベル オフする前の最初の数か月間に、予測航続距離がわずかに減少するのは正常です。時間が経つにつれて、フル充電における航続距離が徐々に、自然に減少していく可能性があります。これはバッテリーの効率、経年劣化といった要素によります。バッテリーや航続距離の過度の劣化の原因となるハードウェア問題が万が一発生すると、**Model 3** がドライバーにそのことを知らせます。

タッチスクリーンのパワー メーターでは、エネルギー使用量のフィードバックを確認できます。

レンジプランナー

Model 3 に表示される航続距離は、残存バッテリー エネルギーの推定量であり、**EPA** 評価消費量に基づいています。ドライバー個人の運転パターンや外的な条件には左右されません。タッチスクリーンに表示される航続距離は、実際に走行した距離に比べて減り方が速くなることがあります。お客様の直近の電力消費量を基に予想航続距離を確認するには、電力アプリを開きグラフを表示します。

注: 定格航続距離は、米国では **EPA** 評価消費量に基づいており、他の地域で掲示および実行されている試験によるものとは異なります。

Model 3 ドライバーをエネルギー切れから守ります。車両は常にエネルギーレベルと最寄りの充電ステーションを監視します。



ナビゲーション検索バーの「充電ポイント」にタッチすると、スーパーチャージャーやデスティネーション チャージング サイトなど、充電ポイントがさまざまなタイプで切り替えできます。



航続距離を最大限に伸ばす

既知の充電ステーションの範囲外に出ようとすると、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、**Model 3** がナビゲーションの指示とタンパク質経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。

トリッププランナー（販売地域で使用可能な場合）では、スーパーイヤージャー経由のルート設定を行い、充電と走行にかかる時間を最低限に抑えます。有効にするには、「コントロール」>「ナビゲーション」>「トリッププランナー」（トリッププランナー参照）の順にタッチします。

エネルギー アプリ

エネルギー アプリでは、車両の推定エネルギー使用量をリアルタイムに視覚的に表示します。



1. アプリ ランチャー（3 個の点）にタッチして下部バーのエネルギー アプリを見つけます。
2. タッチしてエネルギー アプリを開き、いろいろなタブを選択します。エネルギー チャートの色付きの線は実際の走行時のエネルギー消費を示しており、灰色の線は予測使用量を示します。

注：「コントロール」>「ディスプレイ」>「エネルギー表示」の順にタッチして表の値をカスタマイズできます。

- **ドライブ:** 走行中に使用されるエネルギー量を監視します。カテゴリごとのリアルタイムのエネルギー消費を追跡し、さまざまなベースライン予測に対して比較を行い、エネルギー効率の向上させ方を理解するために、ご自分のドライブに特化した航続距離に関するアドバイスを表示します。
 1. 目的地への移動中に「トリップ」を選択すると、予測に対して実際の使用量を比較します。
 2. 「定格値」を選択すると、利用可能な推定走行距離（またはエネルギー）に対して実際のエネルギーまたは航続距離の使用量を比較します。
 3. 「現在の走行」を選択して現在の走行から得られたデータを表示するか、「前回の充電以降」を選択して車両が最後に充電されて以降のデータを含めることができます。
 4. 「航続距離に関するヒント」を表示すると、バッテリー消費量に関する影響と、航続距離および効率を最大化するための提案を理解することができます。
- **パーキング:** **Model 3** がパーキングにシフトしている間に喪失するエネルギー量を監視します。
 1. 「前回の走行以降」または「前回の充電以降」のどちらかを選択します。
 2. 車両がパーキングにシフトしている間に消費されるアイドルエネルギー量と、エネルギー喪失を減少させるための提案を表示します。
- **消費量:** **Model 3** が過去 10、25、または 50 km に消費したエネルギー量を表示します。

1. 「瞬間値」にタッチして予想航続距離を調整します。「瞬間値」では最新の数少ないデータ ポイントを使用して予測航続距離を見積もります。
2. 「平均値」にタッチすると過去の 10、25、または 50 km のエネルギー消費を使用してより正確な予測航続距離を提供します。

エネルギー アプリ

エネルギー アプリを使用すると、リアルタイムのエネルギー使用量を表示できます。消費量チャートは、**Model 3** が過去 10、25、または 50 km で消費したエネルギー量を表示します。

平均値ボタンをタッチして、過去 10、25、または 50 km でのエネルギー消費量の平均値を示すグラフを表示します。平均値とエネルギー消費量データは、予想航続距離を計算するために使用されます。瞬間値をタッチして、直前の数データポイントでのエネルギー消費量のグラフを表示します。瞬間値とエネルギー消費量データは予想航続距離の計算に使用されます。



新しいソフトウェアの読み込み

Tesla では車両のソフトウェアをワイヤレスでアップデートし、常に新機能を導入します。**Tesla** では、できるだけ早い時機に車両にソフトウェアのアップデートをインストールすることを推奨しています。ソフトウェアアップデートを一番速く確実に行うため、常に **Wi-Fi** をオンにし、できる限り **Wi-Fi** に接続したままにしておいてください。ほとんどの場合、アップデートを開始できるように車両を **Wi-Fi** に接続しておいてください (**Wi-Fi** 参照)。

以下の機能が有効になっているときは、ソフトウェアのアップデートを行うことはできません。

- 「エアコンをオンに保つ」、「ドッグモード」、または「キャンプモード」
- セントリーモード

注: 必要に応じて、**Tesla** ではセルラー接続を用いてソフトウェアアップデートを送信します。

! **警告:** ソフトウェアのアップデート中には、車両の使用をしないでください。ソフトウェアアップデート進行中には、一部の安全システムおよびドアおよび窓の開閉を含む車両機能が制限されたり無効となっている場合があり、車両に損傷が出る恐れがあります。

ソフトウェアのアップデートが利用可能になると、「コントロール」画面上部に黄色の時計アイコンが表示されます。ソフトウェアアップデートをインストールする方法は 3 通りあります:

- 黄色の時計アイコンをタッチして、スケジュール画面を表示します。そこで、アップデートのインストール時間を選択する（「時間を指定する」）、または今すぐにインストールする（「今すぐにインストールする」）というプロンプトが表示されます。予約されると、アップデートが開始されるまで、時計アイコンが黄色から白色に変わります。アップデート開始前には、この時計アイコンをタッチしてアップデート時間を再予約することができます。
- 「コントロール」 > 「ソフトウェア」の順にタッチし、車両に利用できるアップデートがあるかを確認します。アップデートできるものがある場合、上記の通り、「ソフトウェアアップデート」をタッチしてスケジュール画面に進みます。
- **Tesla** モバイルアプリを使用してアップデートを開始します。

注: ソフトウェアアップデートの中には完了までに最大 3 時間かかるものもあります。**Model 3** ソフトウェアのアップデート中は、ギアを **P**（パーキング）に入れておく必要があります。ソフトウェアアップデートを最も速くそして確実に受け取るには、できる限り **Wi-Fi** に常時接続した状態にしてください (**Wi-Fi** 参照)。

ソフトウェアのアップデートには、2 つのフェーズがあります。

- ダウンロード フェーズ: このフェーズでは、新しいアップデートがワイヤレスで車両に送信されます。ソフトウェアのアップデートがあるにもかかわらず、車両が **Wi-Fi** に接続されていないためにダウンロードできない場合、タッチスクリーンの上部に黄色のダウンロードアイコンが表示されます。次回、車両が **Wi-Fi** に接続すると、自動的にダウンロードされます。ダウンロードが進行中の場合、ダウンロードのアイコンは緑色に変わります。ソフトウェアのアップデートをダウンロードしている際にも運転はできますが、**Wi-Fi** 接続が切れた場合、ダウンロードが中断されることがあります。ソフトウェアのアップデートが完全にダウンロードされ、インストールできる状態になると、タッチスクリーンの上部に黄色の時計アイコンが表示されます。

• インストール フェーズインストール フェーズでは、運転することはできません。プラグが差し込まれている場合、インストールが完了するまで車両は充電を停止します。インストール フェーズを開始するには、タッチスクリーンの上部にある黄色の時計アイコンをタッチします。すぐにインストールを開始する場合は「今すぐインストール」を、インストール開始時間を選択する場合は「この時間に設定」をタッチします。ソフトウェアのアップデートを後でインストールするようにスケジュールすると、インストールが開始されるまで、黄色の時計アイコンが白い時計アイコンに変わります。アップデートがインストールされる前であれば、いつでもこの時計アイコンをタッチして、スケジュールを変更できます。

注: エアコンをオンに保つ、ドッグモード、キャンプモードが有効な場合、ソフトウェアのアップデートはインストールされません（エアコンをオンに保つ、ドッグ、およびキャンプを参照）。

ソフトウェアのアップデート優先設定

Tesla では、各リリース固有の要因を考慮した上で車両にアップデートを送信する方法、時期、場所を判断しています。ソフトウェアのアップデートを受け取る時期や頻度を選択することができます。優先設定を変更するには、「コントロール」 > 「ソフトウェア」 > 「ソフトウェアのアップデート優先設定」の順にタッチし、以下から設定を選択します。

- **Standard:** 通常リリース時に、お住いの地域や車両設定に合ったソフトウェアのアップデートを受け取ります。ソフトウェアリリースが利用可能になった場合、通常は一定期間の間に他のお客様の車両でアップデートが実行されています。
- **Advanced:** 利用可能な最も早い時機に、お住いの地域や車両設定に合った最新のソフトウェアのアップデートを受け取ります。最も早い時機にアップデートを受け取ったからといって、必ずしもアップデートを受け取る最初の **Tesla** オーナー グループであるわけではないことにご留意ください。**Advanced** 設定は、早期取得プログラムに車両を登録するものではありません。

注: **Tesla** では、最新機能や最新の改善事項の受信を希望する方のリクエストを受けてソフトウェアのアップデートを行うわけではありません。ソフトウェアのアップデート設定の「優先」を選択して常に **Wi-Fi** に接続しておくことで（**Wi-Fi** 参照）、早い時期に最新のソフトウェアのアップデートを受け取ることができます。



ソフトウェア アップデート

注: アップデートをインストールするまで、ソフトウェア アップデート画面が表示されたままになります。ソフトウェアのアップデートが利用可能になったらできる限り早期に、ソフトウェアのアップデートをインストールしてください。ソフトウェアアップデートのインストールに失敗して危害があっても、車両の保証対象にはなりません。アップデートのインストールに失敗またはインストールを拒否した場合、一部の車両機能にアクセスできなくなり、デジタル メディア デバイスの互換性がなくなる可能性があります。

注: Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることができます。

注: 以前のバージョンのソフトウェアにダウングレードすることはできません。

タッチスクリーンにソフトウェア アップデートが完了しなかった旨のメッセージが表示された場合は、Tesla にご連絡ください。

充電中

ソフトウェア アップデートの開始時に Model 3 が充電中の場合、充電は中止されます。ソフトウェア アップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。予約したアップデート時刻に Model 3 を運転している場合、アップデートがキャンセルされますので、再予約する必要があります。

リリース ノートの表示

ソフトウェアアップデートが完了したら、タッチスクリーン上に表示されるリリースノートを読んで変更点や新機能について確認します。車両のソフトウェアの現行バージョンに関するリリース ノートを表示するには、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリース ノート」にタッチします。

Tesla では、すべてのリリースノートをお読みいただくよう推奨しています。リリースノートには、Model 3 に関する重要な安全情報や操作説明が含まれています。



定期サービス

Tesla では、**Model 3** の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

自主メンテナンス手順および情報について詳しくは、<https://www.tesla.com/support/do-it-yourself-guides> を参照してください。

車両のアラートに関する詳細については、[トラブルシューティングのアラート](#) を参照してください。

- ブレーキ液の汚れ確認：**4 年毎**（必要に応じて交換）**。
- **A/C 乾燥剤袋交換：4年毎。**
- キャビン エア フィルター交換：**2 年ごと**（**HEPA** およびカーボン フィルターが装備されている場合は **3 年ごと**）
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または **12,500 マイル (20,000km)** ごと（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）。
- **10,000 km ごと**、あるいはトレッド深さの差異が **1.5 mm** 以上になったときのいずれか早い方にローテーションを行います。

***A/C 乾燥剤バッグ**の交換は、およそ **2017 年から 2021 年**の間に製造された車両では **6 年**まで間延長できます。

**けん引、山岳部から下り坂、またはパフォーマンス走行によりブレーキの使用量が多い場合で、特に車両が高温多湿の環境にあった場合は、より頻繁にブレーキ液のチェックと交換が必要になる場合があります。

注：バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

注：上記間隔は一般的な運転行動や状況に基づいています。運転挙動、使用状態、環境条件などのさまざまな周辺条件に応じて上記のメンテナンス事項は規定と異なる頻度で交換することが必要になる可能性があります。さらに、上記一覧が全てではありませんので、フロントガラスのワイパー、ブレーキ パッド、低電圧バッテリー（装備されている場合）など消耗部品は含まれていません。

注：非 Tesla 認定整備士によるメンテナンスまたは修理で生じた損傷、故障は保証の対象となりません。

整備の予約

モバイル アプリから、簡単にサービスを予約することができます。「整備の予約」にタッチし、必要な整備の種類を選択して、モバイル アプリの指示に従ってください。以下のようなできるだけ詳しい情報を提供してください。

- 写真、音声あるいはビデオ録画。
- 問題が生じた日付、時刻およびタイムゾーン。
- ご利用になられている国、地域。
- 車両移動時の速度（該当する場合）。
- 環境条件（雨、雪、低温など）。
- 道路の名称と種類（該当する場合）。

- レーン標識の質（該当する場合）。
- 適用された車両設定。
- 気づいた症状。

サービスの予約についての詳細は <https://www.tesla.com/support/service-visits> をご覧ください。

毎日のチェック

- タッチスクリーン、またはモバイル アプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックします（タイヤのお手入れとメンテナンスを参照）。
- エクステリアライト、ホーン、方向指示ライト、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーン上の予期せぬインジケーター ライトまたは車両のアラートを確認します。
- パーキング ブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。

注：Model 3 は回生ブレーキ（[回生ブレーキ](#)を参照）を使用しているので、このブレーキ パッドは一般的に、従来のブレーキ システムのパッドほど頻繁には使用されません。錆や腐食の蓄積を避けるために、Tesla ではブレーキ ペダルを頻繁に踏んで機械式ブレーキをかけ、ブレーキ パッドおよびローターを乾燥させることを推奨しています。

- シートベルトの動作をチェックします（[シートベルト](#)を参照）。
- Model 3 の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっていても（空調システムの除湿プロセスによる）、異常ではありません。
- Model 3 の外周を目視して、直ちに腐食性物質（鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射性物質など）を取り除き、塗装へのダメージを防いでください（[洗車](#)を参照）。

週ベースのチェック

- 湿気の多い時期は、オートパイロットのカメラを毎週洗浄してください（[カメラのクリーニング](#)を参照）。乾燥している時期は、1か月ごとに洗浄してください。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要な液を補充します（[フロントガラス ウォッシャー液を補充](#)を参照）。
- 空調システムが正常に作動しているかを確認します（空調を操作するを参照）。



メンテナンスサービスの間隔

注: 車内を冷房するほか、エアーコンディショナー コンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナー コンプレッサーを **OFF** に設定したとしても、**ON** になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。また、使用していないときでも、**Model 3** がうなり音や水が循環するような音が聞こえる場合があります。これらの音が発せられるのは通常の状態で、内部の冷却システムがオンになり、低電圧バッテリーのメンテナンス、高電圧バッテリーの温度調節など、さまざまな車両の機能をサポートするときに発せられます。

⚠️ 警告: 液位の大幅または急激な低下、あるいはタイヤの局部的な摩耗に気づいたら、ただちに **Tesla** にご連絡ください。

定期液交換

バッテリー冷却剤およびブレーキ液のレベルの点検は **Tesla** または専門的な自動車修理工場だけが行うようにしてください。サービス マニュアルには専門のサービス情報が記載されています。

- **バッテリー冷却剤:** ほとんどの状況下では車両寿命を延ばす目的でバッテリー冷却剤を交換する必要はありません。

注: バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

- ブレーキ液ブレーキ液を補充しないでください。

ソフトウェア

ソフトウェアのアップデートは、車両コンポーネントを確実に正常作動させ、製品寿命を保つために重要です。できるだけ早い時機にソフトウェアのアップデートをインストールする必要があります。[ソフトウェア アップデート](#) を参照してください。

Tesla では、サービス内の通常の診断、修理およびメンテナンスの一環として、車両のソフトウェアをアップデートまたは再インストールすることができます。

高電圧安全性

お客様の **Model 3** は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものですので、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- **Model 3** に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。



警告: **Model 3** の下で作業をする場合は、充電中でなくとも、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。



警告: 冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないでください。冷却ファンの中には、**Model 3** がパワー オフの状態でも動作するものがあります。



警告: 自動車で使用される液体（バッテリー酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあり、これらの液を吸入または嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。



タイヤ空気圧の表示

タイヤ空気圧はタッチスクリーンの車両ステータスのカードエリアで表示するか、「コントロール」>「サービス」の順にタッチして表示します。各タイヤの空気圧は、最後にタイヤ空気圧を測定した時刻と共に、**Model 3** を視覚化して表示されます。タッチスクリーンには車両の推奨冷却タイヤ空気圧も表示されるので、タイヤの加圧量を簡単に求めることができます。また、タイヤ空気圧を **BAR** と **PSI** のどちらを使用して表示するかを、「コントロール」>「表示」>「タイヤ空気圧」の順にタッチして選択することができます。

Tesla モバイルアプリでタイヤ空気圧を表示することもできます。

注: ビジュアライゼーションにタイヤ空気圧を表示するには、車両を短時間走行させる必要がある場合があります。

タイヤ空気圧の保守

タイヤの空気圧がタイヤに記載されている空気圧とは異なる場合でも、「タイヤと情報」ラベルに表示される空気圧に従ってください。タイヤの荷重ラベルは、中央のドアピラー上にあり、運転席側のドアを開くと確認することができます。

注: お客様の **Model 3** に **Tesla** アクセサリー ホイールまたはタイヤが装着されている場合、車両に貼られているラベルと内容が異なる場合があります。



1つ以上のタイヤの空気圧が適正でない場合、タッチスクリーン上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧の調整後もしばらくは消えません。タイヤを推奨空気圧にした後は、タイヤ空気圧監視システム (**TPMS**) を作動させた状態で、**25 km/h** を超える速度で **10 分以上** 運転すると、タイヤ空気圧表示灯が消灯します。

Model 3 の電源を入れたたびに表示灯が **1 分間** 点滅する場合は、**TPMS** の故障が検出されています (**TPMS の不具合** を参照)。

注: 周辺温度が低くなると、車両のタイヤ空気圧は低下します。**TPMS** インジケーター ライトが点灯した場合、走行前にタイヤに空気を補充してください。外気温が **6°C** 低下するとタイヤ空気圧は **1 PSI** 低下します。タイヤ空気圧を適正に保つことで、タイヤを路上の穴から保護し、航続距離を延ばせます。

⚠️ 警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。

⚠️ 警告: タイヤが冷えているとき、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 **1.6 km** ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、**Model 3** が **3 時間以上** 静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードアピラーにある「タイヤ情報」ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。
注: バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。
5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 **3** と手順 **4** を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイド ウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないか定期的に点検してください。

⚠️ 警告: タイヤが損傷している、過度に摩耗している、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、**Model 3** を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。



タイヤのお手入れとメンテナンス

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが **3 mm** 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが **4 mm** 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model 3 納車時には、トレッドパターンにウェインジケーターが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが **3 mm** まで摩耗すると、トレッド パターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪ゴムのように見えるウェインジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、**Tesla** ではウェインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

車両のハンドリング特性を改善し、濡れた路面でのハイドロプレーニング現象を最小限に抑えるには、後輪にトレッドが最も多いタイヤを取り付けます。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

Tesla では、**10,000 km** ごと、あるいはトレッド深さの差異が **1.5 mm** 以上になったときをローテーションスケジュールとして推奨しています。

タイヤ ローテーションはタイヤのメンテナンスにおいて必須です。これによりトレッド摩耗パターンを均等に維持でき、タイヤの全体的な摩耗耐性の向上、ロードノイズの削減、タイヤ寿命の最長化につながります。

ホイール バランスが悪い（ハンドルからの振動によって気付くことがあります）と、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均一でない場合（タイヤの片側のみ摩耗）または異常なほど摩耗しそぎている場合は、ホイール アライメントを点検してください。ローテーションや交換といったタイヤの整備をする必要がある場合、タイヤの構成をリセットして（[タイヤ構成参照](#)）ドライビング エクスペリエンスを向上させてください。

パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。**Model 3** を **Tesla** サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、**Tesla** から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (**6 mm** 未満) を応急修理することもできます。これにより、**Model 3** を **Tesla** または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

警告: パンクした場合、たとえタイヤの空気が抜けていなくても、そのまま修理せずに運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model 3 を長期間動かさないでおくと、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。**Model 3** を運転すると、このフラット スポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれて元の形状に戻り、しだいにこの振動は消えます。

駐車中にフラット スポットの発生を最小限にするには、タイヤウォールに示されている最大圧まで空気圧を入れておいてください。その後、運転する前に空気を抜いてタイヤの空気圧を推奨レベルに調整します。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急カーブを切ることや急ブレーキをかけることを避ける。
- 穴や障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは、トレッドの深さが最低深さ以上あったとしても、**6年**ごとまたは必要に応じてそれより前に交換することが推奨されます。

タイヤ セットが摩耗した場合、**4本**のタイヤすべてを同時に交換してください。お客様の車両専用に設計された **Tesla** 認定タイヤを選んでください。ほとんどの **Tesla** 認定タイヤは、**Tx** 仕様（**T0**、**T1**、**T2** など）で識別できます。**Tesla** 認定タイヤは、ロードノイズを低減し、ハンドリング、乗り心地、航続距離を最適化するように設計されています。詳細については、**Tesla** サービスにご連絡ください。

タイヤがパンクしているなどの理由でタイヤを早期に交換する必要がある場合は、他のタイヤが新しいタイヤのトレッド深さの **1.5 mm** 以内である場合を除き、タイヤをペアで交換することをお勧めします。タイヤを交換する場合、古いタイヤと同じブランドの同じモデルにすることが重要です。常時 **4本**のタイヤがすべて同じサイズの場合は、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールおよびタイヤのバランス調整を行ってください。さらに詳しい指導については、タイヤ販売専門業者や取付業者にお尋ねください。タイヤを交換するまたは別のものを取り付ける場合、タイヤ構成をリセットします（[タイヤ構成参照](#)）。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビング エクスペリ



エンスが向上します。タイヤの交換または修理後に、タイヤの潤滑剤が完全に乾燥し、タイヤガリムに完全に吸着するまで最大で**24**時間かかることがあります。この期間は、タイヤガリムで滑らないように急加速は避けてください。

注: 交換するタイヤの本数に関わらず、性能を最大限引き出すために、車両に適合するタイヤの完全なセット使用することを推奨します。

指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度（[タイヤのマーキングについて](#)を参照）が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

Model 3 に取り付けられている元々のホイールやタイヤの仕様については、[ホイールとタイヤ](#)を参照してください。

ホイール交換時には、**TPMS**（タイヤ空気圧監視システム）センサーをリセットして、タイヤの空気圧が低すぎたり高すぎるときに確実に正確な警告が発信されるようにする必要があります。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。ただし、車両は継続的に再キャリブレーションするように設計され、タイヤ交換の後、中程度のトルクで直線に加速していくと回生ブレーキ力が徐々に回復していきます。大半のドライバーは通常運転を短時間行えば回復しますが、日頃ゆっくり加速するドライバーの方の場合は、再キャリブレーションが実行されている間は多少強く加速する必要がある場合があります。「サービス」>「ホイールとタイヤ」>「タイヤ」の順にタップしてウィンタータイヤを選択してこのプロセスを早めます。

- ⚠ 警告:** 安全のため、元の仕様と同じタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、**TPMS** の動作に影響を与える可能性があります。
- ⚠ 警告:** 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォールに表記されています（[タイヤのマーキングについて](#)を参照）。

非対称タイヤ

Model 3 タイヤは非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールには単語が示されています **OUTSIDE**。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



- ⚠ 警告:** タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、コードホールディング性能が著しく損なわれます。

エアロ カバーの取り外しと取り付け

Model 3 にエアロ カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにエアロ カバーを取り外す必要があります。

エアロ カバーを取り外す:

1. 両手でエアロ カバーを掴みます。
2. エアロ カバーを手前に引いて支持クリップを外します。



エアロ カバーを取り付ける:

1. エアロカバーをバルブ ステムに合わせます。
2. カバーの中央部をしっかりと押して固定した後、次に各スポークの外周をしっかりと押し込みます。全てのスポークが固定されるまで、カバーの反対側を持つ必要があるかもしれません。
3. カバーを手で叩かずに中央部をしっかりと押し付けて固定します。
4. 最終チェックとして、各スポークを素早く引っ張り、所定の位置に固定されていることを確認します。



タイヤのお手入れとメンテナンス



! 注意: エアロ カバーの脱落を防止するため、完全に固定されていることを確認してから、運転するようにしてください。

ラグ ナット カバーの取り外しと取り付け

Model 3 にラグ ナット カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにラグ ナット カバーを取り外す必要があります。

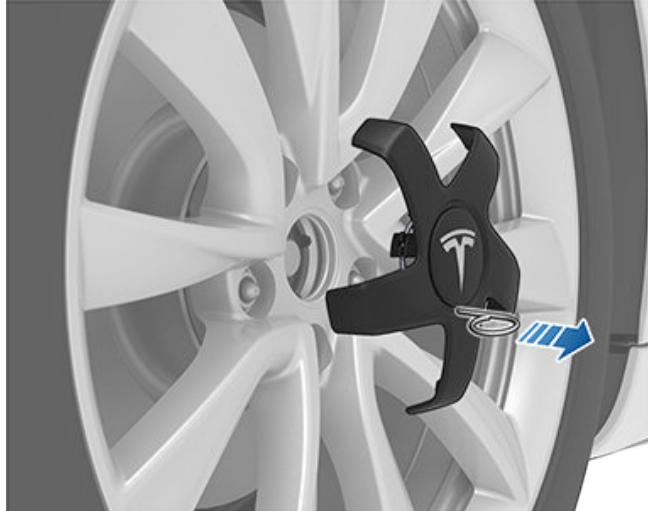
ラグ ナット カバーの取り外し方:

1. **Tesla** の「T」のベース部分にある穴に、装備されていればラグ ナット カバー ツール（一部の車両ではグローブボックス内に装備、またはベット小型六角棒スパナを使用）の湾曲部分を挿入します。

注: ラグ ナット カバー ツールは、自動車部品店やオンラインショップで購入することもできます。



2. ラグ ナット カバー ツールがラグ ナット カバーの穴に完全に挿入されるよう、ツールを操作します。
3. 湾曲した部分がラグ ナット カバー中央に触れるように、ラグ ナット カバー ツールをひねります。
4. ホイールからラグ ナット カバーが外れるまで、ラグ ナット ツールをしっかりと引っ張ります。



ラグ ナット カバーの取り付け方:

1. ラグ ナット カバーの位置を合わせます。

2. ラグ ナット カバーを強く押して元の位置に取り付けます。

! 注意: 落下を防止するため、運転する前にラグ ナット カバーがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

ホイール設定

新しいホイールを取り付けたり別のホイールに交換する場合、「コントロール」>「サービス」>「ホイール&タイヤ」>「ホイール」の順にタッチして車両のホイール設定をアップデートします。これにより、**Model 3** が新しいホイールを理解し、車両でより正確なステータスアップデートを行えます。ドロップダウンメニューから、**Model 3** に取り付ける予定の新しいホイールと合致するホイールを選択します。ホイール設定で新しいホイールを選択すると、タッチスクリーンの車両アバターに表示されるホイールも変更されます。

注: 車両のホイール構成を変更すると航続距離予測、タイヤ空気圧警告レベル、車両の外観に影響を与えます。

! 警告: ホイールを取り付けたり交換するときには、**Tesla** 認可のホイールのみを使用してください。**Tesla** で認可していないホイールを使用すると、深刻な損傷を招く恐れがあります。**Tesla** は、**Tesla** が認可していないホイールを使用して招いた損傷については責任を負いかねます。



タイヤ構成

最後のタイヤ ローテーションまたはタイヤ交換からの走行距離を表示するには、「コントロール」>「サービス」の順にタッチして「最後のタイヤサービス」の下を確認します。Model 3 のタイヤをローテーションした、交換した、または入れ替えた後は、「リセット」にタッチするか、同じ画面から「ホイール & タイヤ」>「タイヤ」の順にタッチして、車両のタイヤ構成を更新します。これにより車両が学習したタイヤ設定はリセットされ、ドライビング エクスペリエンスが向上します。これにより、**6,250** マイル走行してトレッドの深さが低くなつたことが再び検出されるまで、車両のトレッド摩耗アラートをクリアおよびリセットします。

車両が冬用タイヤを装着していることを確認してください。スタッドレスタイヤは、タイヤのサイド ウォールに山/雪のアイコンが表記されています。詳細情報については、[スタッドレスタイヤ](#)を参照してください。

注: 車両のタイヤ構成を変更すると、一時的に加速および回生ブレーキのレベルに影響が及ぶ可能性があり、タイヤローテーションまたはタイヤ交換後のみで行う必要があります。

タイヤ空気圧監視

タイヤが冷えている状態、および運転席側のドア ピラーにある「タイヤ情報」ラベルに記載された推奨空気圧の状態で、毎月点検する必要があります ([タイヤ空気圧の保守](#)を参照)。車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。

追加の安全機能として、車両にはタイヤ空気圧監視システム (TPMS) が装備されています。TPMS は、1本または複数のタイヤの空気圧が著しく低すぎる、または高すぎる場合に、タッチスクリーンに警告 (タイヤ空気圧警告) を表示します。これに応じてタッチスクリーン上のタイヤ空気圧インジケーターがタイヤ空気圧の警告を表示する場合は、ただちに停車してタイヤを点検し、適正な空気圧に調整してください ([タイヤ空気圧の保守](#)を参照)。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、航続距離とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。



Model 3 が TPMS に不具合を検出すると場合、Model 3 の電源を入れるたびにこのインジケーターが 1 分間点滅します。

注: Tesla が承認していないアクセサリーを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。



警告: TPMS は、タイヤ空気圧の手動による点検およびタイヤの定期検査などのタイヤの適切な保守に代わるものではありません。TPMS がタッチスクリーン上にタイヤ空気圧の警告を表示していない場合でも、常に適正なタイヤ空気圧を維持するようにしてください。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケーターが頻繁に表示される場合は、Tesla に連絡してタイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

TPMS の不具合

Model 3 には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障インジケーターも搭載されています。



TPMS 故障インジケーターは、タイヤ空気圧インジケーター ライトに組み込まれています。システムが故障を検出すると、約 1 分間インジケーターが点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。TPMS 故障インジケーターがオンの状態では、タイヤ空気圧の異常を通常通りに検出できない場合があります。

TPMS の故障は、交換用または代替タイヤまたはホイールの取り付けを含む、TPMS の正しい作動を阻害するさまざまな要因によって発生します。1本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障インジケーターをチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。できるだけ早く Tesla に連絡し、修理を依頼してください。

季節別タイヤ保管

タイヤのタイプを理解する

車両がもともと装着しているタイヤのタイプは車両モデルと販売地域によって異なります。車両のタイヤの性能と、夏季、オールシーズンまたは冬季の走行に適しているのかを理解することが重要です。タイヤの性能特性については、タイヤのサイド ウォールにある情報を確認してください ([タイヤのマーキングについて](#)を参照)

サマー タイヤおよびオールシーズン タイヤ

これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するようには作られていません。オールシーズンタイヤは一年を通してほとんどの状況で十分なトラクションを発揮するように設計されていますが、氷雪条件ではウインター タイヤほどのトラクションを発揮できない可能性があります。オール シーズン タイヤは、タイヤのサイド ウォールに「ALL SEASON」およびまたは「M+S」(mud and snow) と表記されています。



タイヤのお手入れとメンテナンス

低温時や路面に雪や氷が付着している可能性のある場所で走行する場合、Teslaはウィンタータイヤの使用を推奨します。ウィンタータイヤが装着されていない場合は、Teslaに連絡し、推奨されるタイヤをご確認ください。

⚠️ 警告: 低温時または路面に雪や氷が付着している場合、マー タイヤやオールシーズン タイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全と **Model 3** の十分な性能を発揮するためには、適切な冬用タイヤを選択し、装着することが必要です。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装着する際は、必ず**4輪ひと組**で同時に装着してください。スタッドレスタイヤは、全車輪で同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンのものを使用してください。スタッドレスタイヤに関する推奨事項については、Teslaにご連絡ください。

スタッドレスタイヤは、タイヤのサイド ウォールに山/雪のシンボルが表記されています。



スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。

注: 冬用のコンパウンドとトレッドデザインを採用したタイヤを取り付けると、回生ブレーキの制動力が一時的に低下する可能性があります。しかし、お客様の車両は、短時間通常通りに運転すると、回生ブレーキを回復するよう自動的にキャリブレーションするように設計されています。

注: ウィンタータイヤを装着した場合、またはタイヤを交換した場合、「コントロール」>「サービス」>「タイヤ構成」>「タイヤ」に移動してタイヤ構成をリセットします (**タイヤ構成** 参照)。これにより学習したタイヤ設定がリセットされ、新しいタイヤのドライビング エクスペリエンスが向上します。

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷を受けやすくなります。パフォーマンス タイヤ(夏用)は外気温が**5°C**以下になるとトラクションが低減するので、冰雪環境にはお勧めできません。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時に固くなることがあり、タイヤが温まるまでの最初の数 **km** は回転ノイズが聞こえます。

タイヤチェーンの使用

Teslaでは、雪道でのトラクションを高めるため次のタイヤチェーン(スノーチェーン)を試験し、認定しています。タイヤチェーンは、リアタイヤにのみ装着できます。認定済タイヤチェーンはTeslaでお買い求め頂けます。

タイヤ サイズ	推奨チェーン
18"	König CG-9 102
19 インチ	König CG-9 103

⚠️ 注意: **Model 3** にエアロ カバーが装備されている場合は、ラグ ナットにアクセスするためにエアロ カバーを取り外す必要があります ([エアロ カバーの取り外しと取り付け](#)を参照)。それを行わずに損傷が生じた場合は保証対象外になります。

タイヤチェーンを装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- Model 3** に重量物を積載しないでください (重量物の積載はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速**48 km** を超えないようしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

⚠️ 注意: 非推奨タイヤチェーンやサイズ違いのタイヤチェーンを使用すると、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキ ラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって起きた損傷は、保証の対象外です。

⚠️ 注意: 前輪にはスノーチェーンを使用しないでください。

⚠️ 注意: チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

⚠️ 注意: チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキ ラインに触れないようにしてください。チェーンから**Model 3**との接触を示す異常なノイズが聞こえたら、ただちに停車して、確認してください。



外装のクリーニング

腐食性物質（鳥の粪、樹液、虫の死骸、コールタール、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、塗装の損傷を防ぐためにただちに除去してください。Model 3 の次の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコールタールや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

エクステリアカメラに泥、水滴、障害物が付着していないようにします。これらの物質は、画像が不鮮明になったり、オートパイロットや安全機能の動作が停止したりする原因になる場合があります（カメラのクリーニングを参照）。

Model 3 の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 十分洗い流す

洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイール ウェルやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイール ウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて除去します。

2. 手洗い洗車

きれいでやわらかい布と中性の良質のカー シャンプーを加えた冷水またはぬるま湯を使用して Model 3 を手洗いします。



注意: 一部のクリーナーや車両用シャンプーには、特にプラスチック製のトリム ピース、ランプ、カメラレンズに損傷や変色を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。たとえば、一部のカー クリーニング フォーミュラには、外装部品を損傷させる可能性のある水酸化物またはその他の高アルカリ性あるいは苛性成分が含まれています。酸性製品も使用しないでください。製品の洗浄による損傷や変色は、保証の対象外です。

3. 清潔な水ですすぐ

洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。

4. 完全に乾燥させてガラスの外側を拭く

洗車とすすぎが終わったら、セーム革で水分をしっかりと拭き取ります。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

窓のクリーニングと手入れ

自動車用のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。エクステリア ガラスのクリーニングに関するベスト プラクティスについては、外装のクリーニングの指示に従ってください。

車両の窓への撥水コーティングの追加については、サイドおよびリアの窓だけに塗布して、フロント ガラスには実施しないでください。さもないとオートパイロット カメラの視認性に影響を与えてしまいます。塗布の詳細については、撥水コーティング製造会社の指示に従ってください。

注: Tesla は車両への窓処理に関連する損傷については一切責任を負いません。

洗車モード

Model 3 を洗車機に入れると、洗車モードによってすべてのウインドウが閉じ、充電ポートがロックされ、ワイパー、セントリーモード、降車後オートロックおよびパーキング センサー チャイムが無効になります。有効にするためには「コントロール」>「サービス」>「洗車モード」の順にタッチします。車両は、停止した状態にし、充電は行わないでください。

自動洗車機を使用する場合、「フリーロールを有効にする」によって車両はニュートラルになり洗車中はフリーロールが有効になり、ドライバーが運転席を離れても Model 3 のパーキングブレーキがかからないようになります。有効にするためにはブレーキ ペダルを踏み、「フリーロールを有効にする」にタッチするか、ニュートラルにシフトします。

車速が **15 km/h** を超えるか、タッチスクリーンで「終了」にタッチすると洗車モードは無効になります。



注意: Model 3 を「洗車モード」しないと、損傷を招く恐れがあります（充電ポートやフロントガラスのワイパーなど）。洗車により生じた損傷については、保証の対象になりません。

カメラのクリーニング

明瞭な画像を維持するには、カメラのレンズをきれいに保ち、視界が遮られないようにしてください。

土や破片の堆積を取り除くには、カメラレンズに水を噴射し、マイクロファイバーの布で乾かしてください。カメラの洗浄は、雪、雨、みぞれなどの湿気の多い時期は毎週、乾燥している時期は 1 か月ごとに実施してください。



注意: 薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。使用すると、レンズの表面が損傷するおそれがあります。



注意: 超音波センサー（装備されている場合）またはカメラのレンズを洗浄する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項



注意: 直射日光の当たる場所では洗車しないでください。



注意: フロントガラスにはっ水処理液を使用しないでください。はっ水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。

洗車



注意: 温水、洗剤、または強アルカリ性または苛性アルカリ性のクリーニング製品(特に水酸化物を含むもの)を使用しないでください。



注意: 高圧洗浄機を使用する場合は、ノズルを **Model 3** の表面から **30 cm** 以上離してください。パーキングセンサー（装備されている場合）に直接水流を向けないでくださいノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。



注意: ホースの水をウィンドウ シール、ドア シール、フード シールに直接当てたり、電気モジュールまたは露出しているケーブル部分に当てたりしないでください。



注意: 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイール ウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。



注意: 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。高品質のマイクロファイバー布を使用することを推奨します。



注意: 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は **Model 3** の表面に（ブラシなどが）一切触れないで洗車します。一部のタッチレス洗車機では、時間が経つと装飾エクステリアトリムの変色の原因になる苛性溶液を使用しています。pH 13 を超える石けん水やケミカル製品は使用しないでください。わからないときは、製品ラベルを確認するか、洗車場のスタッフにおたずねください。不適切な洗車方法で生じた損傷は、保証対象なりません。



注意: 自動洗車場で洗車する場合は、車両がロックされていることを確認してください。さらに、車両の洗車中にドアやトランクが偶発的に開かないように、タッチスクリーンの各コントロールの使用は控えます。何らかの損傷が発生しても、保証対象外となります。



注意: ワイパーの損傷を避けるために、**Model 3** を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。



注意: 化学物質系のホイールクリーナーやプレウォッシュ製品は使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。



警告: **Model 3** を充電している間、充電ポートに高速で液体を絶対にかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。全般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロ ファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリア ウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグ カバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

シート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれおよび薬品の残渣を内面からできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。

座面は汚れ防止設計されていますが、**Tesla** では定期的に清掃してその性能と新品のような外観を維持することを推奨しています。藍染されたデニムなどの衣服からの染料の移りはすみやかに処置してください。一部の化粧品を含む刺激の強い薬品が触れるこのないようにしてください。アルコールや漂白剤を含む洗剤は使用しないでください。洗剤は目に触れる表面に使用する前に、めだたない限られた箇所に付けてテストしてください。

必要に応じて掃除機をかけて、シートにたまたたほこりを取り除いてください。

注意: **Tesla** 製でないシートカバーを使用するとシートセンサーの感度に影響を及ぼす恐れがあるほか、シミや損傷の原因となる恐れがあります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗浄剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

ドア シール

湿らせた布でドア シールを拭いて汚れを取り除いてください。ドア シールに汚れがたまると、周囲の面に接触したときに損傷の原因になるおそれがあります。アルコール系の拭き取り剤や化学製品はドア シールのコーティングを劣化させるおそれがあるので使用を避けてください。



フロントおよびリア タッチスクリーン

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用し、タッチスクリーンを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）やアルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）を使用しないでください。濡れた雑巾や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。フロントタッチスクリーンを清掃するときは、ボタンを作動させたり設定を変えたりしないように、画面クリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「画面クリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。「画面クリーニングモード」を終了するには、「長押しして終了」を長押しします。

クロームや金属の表面

研磨剤、研磨洗浄剤、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、硬い布を使用すると、クロームや金属の仕上がりが損なわれる恐れがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

- ⚠ 注意:** 溶剤（アルコールを含む）、アルコールが原料のジェル製品（除菌用ハンドローションなど）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。
- ⚠ 注意:** 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンを損傷する恐れがあります。
- ⚠ 警告:** エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。
- ⚠ 警告:** 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。
- ⚠ 警告:** 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があり、危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- ・ 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。
- ・ 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- ・ 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン（販売地域によっては Tesla から購入可能）を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックス掛けをする前に、タッチアップペンを使用します。

石による欠け、割れ、傷を修復します。修理や利用できるサービスに関する情報は、<https://www.tesla.com/support/body-shop-support> をご参照ください。



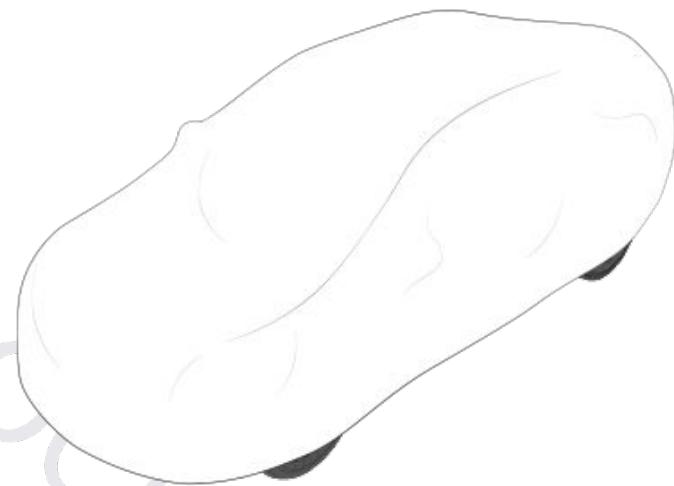
注意: カッティングペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。



注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model 3 を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla から購入できます。[部品とアクセサリー](#) を参照してください。



注意: Model 3 に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、カーペットのクリーニングを簡単にするために、Tesla 純正品のフロアマットを使用してください（[部品とアクセサリー](#) を参照）。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。



警告: マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマットやその他のカバーの上に重ねないでください。



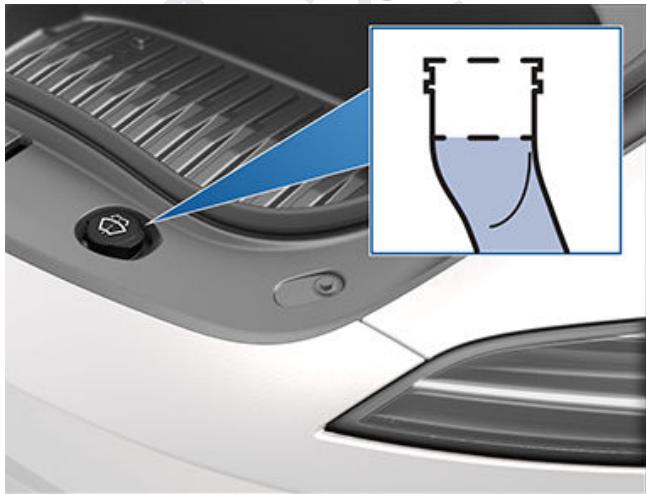
フロント ガラスのワイパー ブレード、ジェットおよびウォッシャー液

フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロントトランク奥にあるウォッシャー液リザーバーのみです。レベルが低下すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

- フードを開きます。
- リザーバーにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィラー キャップ周辺を掃除します。
- フィラー キャップを開けます。
- 液体がフィラーネックのちょうど下に見えるまで、こぼさないようにリザーバーを満たします。リザーバーの容量は **3.2 リットル** です。



- こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
- フィラー キャップを再び取り付けます。

注意: 自動車用のフロント ガラス ウォッシャー フルードだけを使用してください。未処理水など他の物質を使用すると、空調システムに微生物が繁殖し、臭いや、保証の対象となるない損傷が発生する可能性があります。

注: 国や地方によっては、揮発性有機化合物 (**VOC**) の使用が制限されています。**VOC** はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。**Model 3** がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ **VOC** の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

注意: はっ水剤や虫洗浄剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。

警告: 気温が **4°C** 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロント ガラスの視界が妨げられことがあります。

警告: フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

ワイパー ブレードの確認と清掃

定期的にワイパー ブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。ブレードが損傷している場合は、ガラスが傷つくのを防ぐとともに視認性を上げるために、すぐにブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパー ブレードの汚れにより、ワイパーの効果が下がる可能性があります。汚れには、氷や洗車スプレーのワックス、防虫、防水対応のウォッシャー液、鳥の粪、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシャー液、イソプロピル（消毒用）アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用してフロントガラスやワイパー ブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのぎらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

クリーニング後もワイパーの効果がない場合は、ワイパー ブレードを交換してください。

ワイパー ブレードの交換

最良の性能を発揮するには、ワイパー ブレードを少なくとも**1年**に**1回**交換してください。交換ブレードは次の基準に適合している必要があります。

- 運転席側のブレードは長さ **650 mm**、助手席側は長さ **475 mm** である必要があります。
- 交換ブレードのコネクターが元々のブレードと同じであることを確認します。コネクターが異なると、交換ブレードを車両のワイパー アームに接続することができない可能性があります。

交換用のワイパー ブレードは **Tesla ショップ** で購入できます。

注: 必ず、元のブレードと同じ交換用ブレードを取り付けてください。不適切なブレードを使用すると、ワイパー システムおよびフロント ガラスが損傷するおそれがあります。

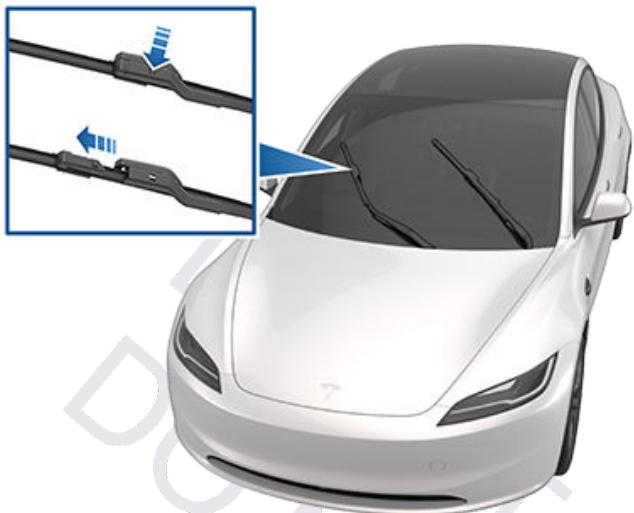
ワイパー ブレードを交換する手順は、次のとおりです。

- パーキングにギアを入れてワイパーをオフにします。
- 「コントロール」 > 「サービス」 > 「ワイパー サービス モード」の順にタッチして、ワイパーを交換できる位置まで動かします。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。

注意: ワイパー ブレードは持ち上がった状態ではロックされません。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。



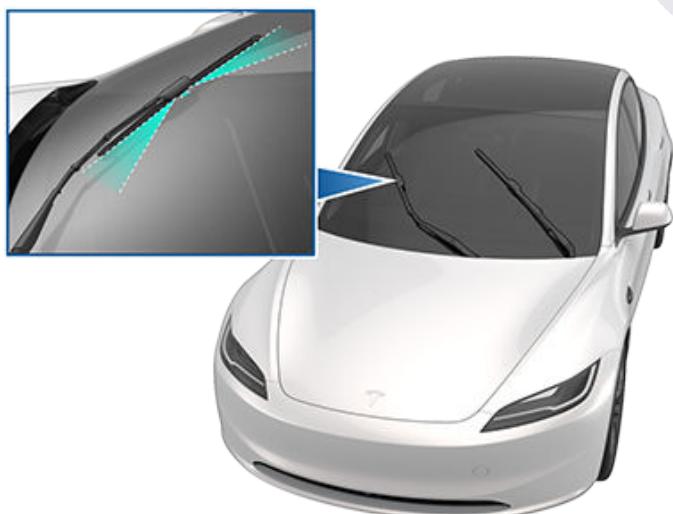
4. フロントガラスに傷やひびが生じるのを防ぐため、ワイパー アームとフロントガラスの間にタオルを挟みます。
5. アームにブレードをスライドさせるときは、ワイパー アームを持ち、ロッキングタブを押します。



6. 新しいブレードをワイパー アームに揃え、固定されるまでアームのフック端側に向かって滑らせます。
7. 「ワイパー サービス モード」をオフにして、ワイパーを通常の位置に戻します。

ウォッシャー液噴出口を清掃する

フロントガラス ウォッシャー液が出ない場合は、細いワイヤーでノズル内のつまりを取り除いてください。



⚠ 警告: Model 3 の清掃中はウォッシャーを操作しないでください。フロントガラス ウォッシャー液が眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャー液メーカーからの説明書を読み、それに従ってください。

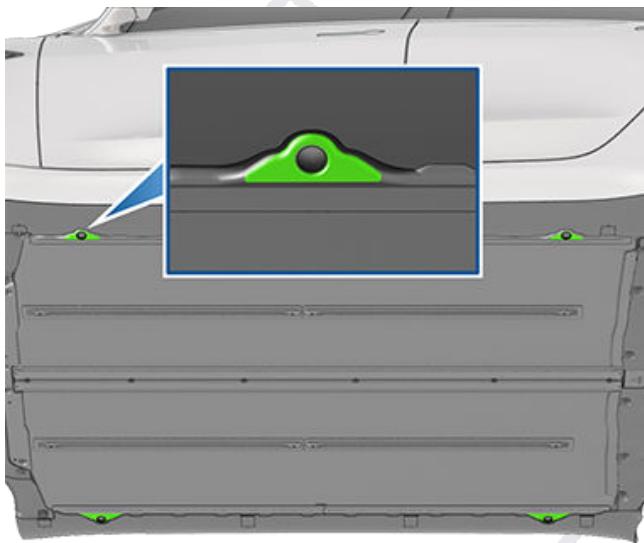
† ジャッキ アップと引き上げ

ジャッキ アップの手順

Model 3 の引き上げは以下の手順で行います。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、以下の引き上げ作業の要点が理解されていることを確認してください。

1. Model 3 をリフト ポストの間に置きます。
2. リフトのアーム パッドを図に示す指定されたボディ リフト ポイントの下側に当ててください。

! 警告: リフト アーム パッドをバッテリーの下側やサイド レールの下に配置しないでください。



3. リフトのアーム パッドの高さと位置を適切に調整します。
4. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフト アーム パッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。
5. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。

! 警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model 3 を持ち上げないでください。

! 警告: 正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

! 注意: バッテリーまたはサイドレールの下から引き上げないでください。リフト アーム パッドは専用ボディ リフト ポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model 3 で認定されているリフティング ポイントです。これ以外のポイントで引き上げようすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model 3 を損傷した場合は保証対象にはなりません。



部品、アクセサリー、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリーのみをお使いください。

Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は **Tesla** から購入してください。**Tesla** では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また **Tesla** からは **Model 3** の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリーは、**Tesla** ストアまたは www.tesla.com のオンラインでご購入いただけます。

注: アクセサリーによってはお住いの地域で利用できない場合があります。

Model 3 に **Tesla** 製ではない部品を使用する場合、**Tesla** は他の業者が製造した部品を評価することができず、したがって一切責任は負いません。

! **警告:** 無認可の部品/アクセサリーの取り付け、または無認可の改造を行うことにより、**Model 3** の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。

! **警告:** 無認可のアクセサリーの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、**Tesla** は一切責任を負いません。

車体の修理

Model 3 が衝突した場合は、必ず **Tesla** の純正部品で修理できるように **Tesla** または **Tesla** 認定ボディショップにご連絡ください。**Tesla** は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディ ショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でもまだ使える部品の再利用を勧めることができます。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で **Tesla** の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は(それらによって生じる損害または故障とともに)保証の対象とはなりません。

キャビン フィルターの交換

注: 車両製造日によっては、ねじがキャビン フィルター カバーの少しだけ違う位置にあることがあります。

Model 3 は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子などが通気口からキャビンに侵入することを防止するエア フィルターを備えています。これらのフィルターは 2 年ごとに交換してください(中国市场は毎年)。キャビン フィルターは **Tesla** ショップで購入できます。

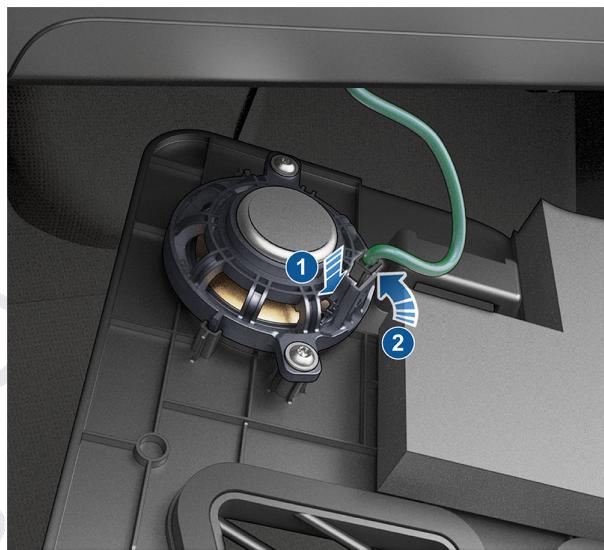
キャビン フィルターを交換するには

- 空調システムをオフにします。
- 助手席を後方いっぱいまで移動させ、助手席のフロアマットを取りはずします。

3. クリップ プライ ツールを使用して、助手席足元スペース カバーをインストゥルメントパネルに固定しているプッシュクリップを取り外します。足元スペース カバーを抑えながら、電気コネクターを 2 個取り外し、足元スペース カバーを横に動かします。

- ライトの場合、タブを慎重に押し下げながらコネクターを外します。
- スピーカーの場合、車両側コネクターを慎重に傾けて、フットウェル カバー側コネクターの穴から小さなタブが離れるようにしながら、コネクターを外します

! 注意: 損傷を防止するため、コネクターを外すときにワイヤを引っ張らないでください。コネクターを外すときは、コネクター自体のプラスチックから確実に引き出してください。



4. トリムツールを使用して右側パネルをセンター コンソールから上から下の順で慎重に取り外します。

5. キャビン フィルター カバーを暖房、換気、およびエアコン (**HVAC**) モジュールに固定する T20 ネジを取り外したら、キャビン フィルター カバーを取り外して横に移動します。車両によっては、ネジは **T20/6 mm** ハイブリッド型ファスナーが使用されます。一部の車両では、ネジの代わりにロックキング タブが使用されています。人差し指と親指を使用して、キャビン フィルター カバーの底部にある 2 つのタブをつまんでください。カバーを外側に倒して外します。

注: **HVAC** モジュールにキャビン フィルター カバーがない場合、トリム パネルを付け直して **Tesla** に連絡します。

! **警告:** キャビン フィルター カバーに取り付けられている橙色の高電圧 (**HV**) ケーブルを引っ張ったり、折り曲げたり、損傷したりしないよう取り扱います。**HV** ケーブルに損傷がある場合は、この手順をすぐにやめてください。高電圧の感電により重傷、または死亡につながる恐れがあります。



6. 上キャビン フィルター タブを上に折り曲げ、下キャビン フィルター タブを下に折り曲げます。
7. 上キャビン フィルタ-のタブを持ち、上フィルターを **HVAC** モジュールから引き出します。
8. 下キャビン フィルタ-のタブを持ち、下フィルターを引き上げ **HVAC** モジュールから取り出します。
9. 両方の新しいフィルターの矢印が車両**後方**に向いていることを確認して、下キャビン フィルターを **HVAC** フィルターに挿入したら所定位置に下げます。次に、上部キャビン フィルターをその上に挿入します。
10. キャビン フィルター カバーが挿入できるようタブを内側に曲げます。
11. 下カバー タブをはめてキャビン フィルター カバーを取り付け、**T20** ネジまたは **T20/6mm** ハイブリッド型ファスナーで固定します。ネジを **1.2 Nm/0.89 ft-lbs** で締め付けます。**T20** ネジの代わりにタブが使用されている車両の場合、キャビン フィルター カバーの上部ノッチを所定位置に移動し、**HVAC** モジュールの底部でタブを固定します。
12. 助手席足元スペースにあるコンポーネントに電気コネクター **2** か所を接続し、プッシュ クリップでカバーを固定し直します。
13. 右側パネルをセンター コンソールのフロントおよびリアのロケーター スロットに合わせたら、圧力を掛けてすべてのクリップをはめます。
14. 助手席フロアマットを取り付け、助手席シートを元の位置に戻します。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー（多くの自動料金所システムで使用されるもの）を **Model 3** の車内に取り付ける際は、図のようにリアビューミラーの横にトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。専用の配置については **RFID** の製造会社の指示を参照してください。

注: 防水トランスポンダーをフロント ライセンスナンバープレート。



ワイパー ブレードやキャビン フィルターの交換、または塗装保護フィルムの取り付けといった簡単な自分でできる作業の実施方法について学びましょう。これらの手順に関する指示、アニメーションおよび動画については、<https://service.tesla.com/docs/Public/diy/index-model-3.html> を参照してください。

注: 地域や車両の設定により、一部の部品および手順については、車両に対して使用できない場合があります。<http://www.tesla.com> へ移動する際は、販売地域と言語を選択して、販売地域で入手可能な部品およびアクセサリーの最新リストを表示してください。

 注意: 各手順は、乾燥した明るい場所で実施してください。安全のため、安心して操作できる場合に限って手順を実施してください。常に手順に従う必要があります。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE

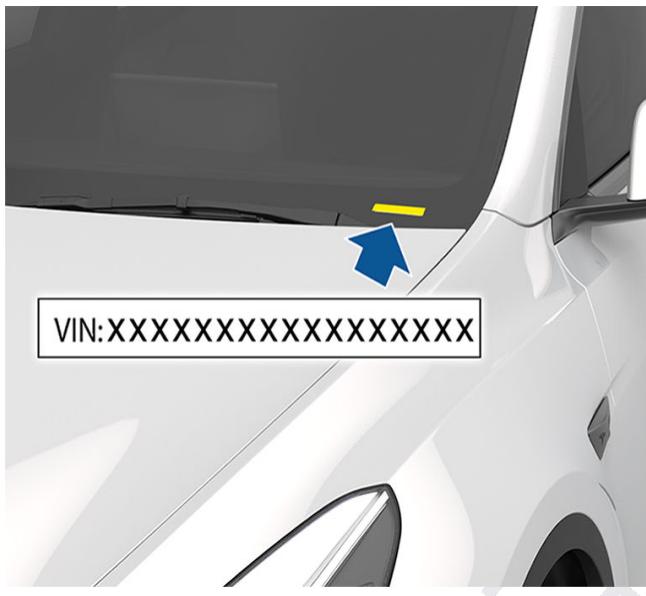


識別ラベル

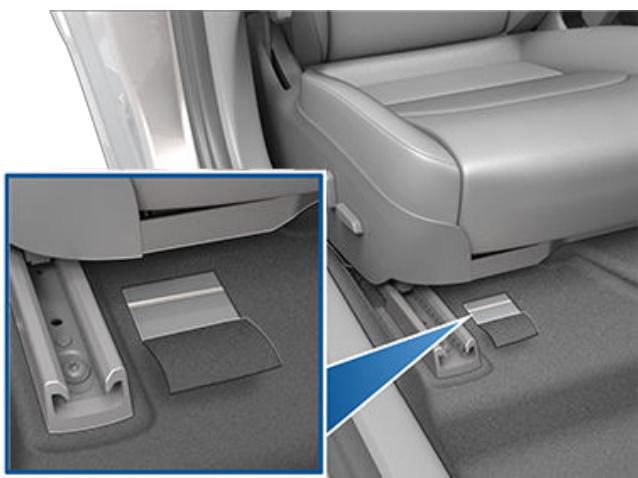
車両識別番号

VIN は以下の場所に表示されています。

- タッチスクリーンの「コントロール」>「ソフトウェア」をタッチします。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。



- ドア ピラーにある法定プレートに印刷されています。前席側ドアを開くと見えます。
- Gigafactory** 上海で製造された車両：VIN は、フロアに刻印されており、助手席シートを後退させてカーペットを持ち上げると確認できます。





車両ラベル

車両の当時のタイヤ サイズおよび圧力ならびに **TPMLM**（技術的に許容される最大ラベル質量）および **TPMAM**（技術的に許容される最大軸上荷重）を理解することが重要です。これらの情報は **Model 3** に貼付されている 2 枚のラベルで確認することができます。

両方のラベルとも、前席ドアを開くと、ドアピラー上に見えます。

注: **Model 3** に Tesla アクセサリー ホイールまたはタイヤが装着されていると、値に差異がある可能性があることを示すラベルが **Model 3** に追加されている場合があります。



1. タイヤ情報ラベル
2. 法定プレート

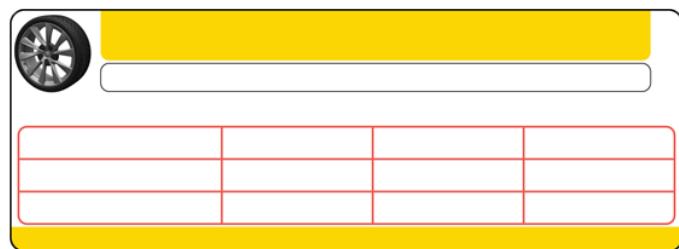
⚠️ 警告: **Model 3** が過積載状態になると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、車両を損傷する可能性があります。

⚠️ 注意: **Model 3** に大量の液体を絶対に保存しないでください。大量の液体の流出は、電気部品の誤動作の原因になることがあります。

タイヤ情報ラベル

タイヤ情報ラベルに記載されている情報は次のとおりです。

- ・ 車両の最大座席数。
- ・ 元のタイヤのサイズ。
- ・ 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。



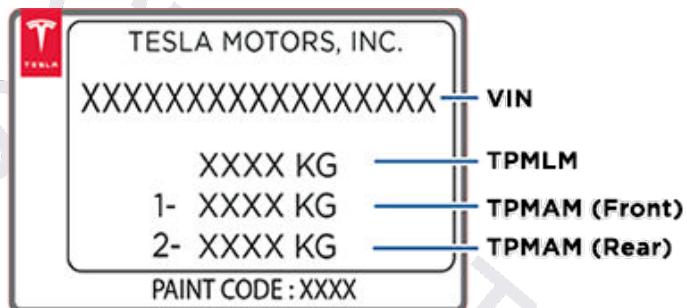
将来異なるタイヤを使用しても、このラベルは変更しないでください。

注: **Model 3** の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤを確認して、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- ・ **TPMLM** - 技術的に許容される最大積載質量。**Model 3** の最大許容総質量。この値は、**Model 3**、すべての乗員、液体および積載物の重量として計算されます。
- ・ **TPMAM** - フロントアクスルおよびリアアクスルに対して技術的に許容される軸上の最大質量。**TPMAM** は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。



⚠️ 注意: 損傷を防止するために、車両が **TPMLM** より重くなったり、個別の **TPMAM** の重量を上回るような積載を **Model 3** に行なうことは絶対に避けてください。

トレーラーのけん引

⚠️ 警告: **Model 3** をけん引に使用しないでください。**Model 3** 現在、けん引には対応していません。けん引を行うと、損傷をきたしたり衝突事故につながる恐れがあります。

⚠️ 注意: Tesla 認定のけん引コンポーネントとアクセサリーを使用せずに **Model 3** をけん引に使用すると、保証が無効になることがあります。

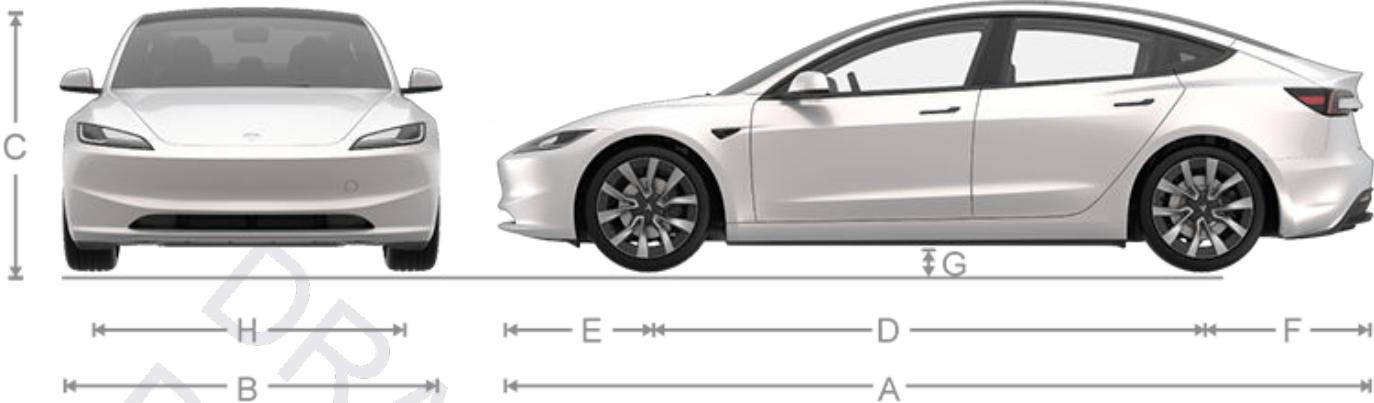


ルーフ ラック

Model 3 は、Tesla 専用取り付けアクセサリーを使用した Tesla 認定ルーフラックに対応しています。このアクセサリおよび Tesla が認定するルーフラック システムのみを必ず使用して、ルーフラックを取り付けてください ([部品とアクセサリー](#)を参照)。これに従わないと、重大な故障の原因になる恐れがあります。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE

外形寸法



A	全長	185.8 in	4,720 mm
B	全幅 (ミラー含む) 全幅 (ミラー折りたたみ時) 全幅 (ミラー含まず)	82.2 in 76.1 in 72.8 in	2,089 mm 1,933 mm 1,850 mm
C	全高	56.7 in	1,441 mm
D	ホイールベース	113.2 インチ	2,875 mm
E	オーバーハング - フロント	34.2 in	868 mm
F	オーバーハング - リア	38.5 in	977 mm
G	最低地上高	5.4 in	138 mm
H	トレッド - フロント トレッド - リア	62.4 in 62.4 in	1,584 mm 1,584 mm

*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。

⚠ 注意: 構成 (ホイール選択など) に応じて、車両のリア トランクを最大で高さ約 **2 m** まで開くことができます。電動トランクの開放時高さの調整を参照してリア トランクの高さを調整して、低い位置にある天井やその他の物体に当たらないようにします。

インテリア寸法

室内高	フロント リア	40.3 in 37.8 in	1,023 mm 961 mm
足元スペース	フロント リア	42.7 in 34.5 in	1,084 mm 877 mm

寸法

肩周りスペース	フロント リア	56.7 in 54.2 in	1,441 mm 1,376 mm
腰周りスペース	フロント リア	53 in 52.3 in	1,344 mm 1,328 mm

貨物量

フロントトランク	88 L (3.1 立方フィート)
2列目シートの背後	594 L (21 立方フィート)
5名乗車時の最大貨物積載容量	682 L (24.1 立方フィート)



モータータイプ

リアモーター: **AC** 永久磁石同期モーター、水冷式、可変周波数ドライブ。

フロントモーター (AWD 車両) : **AC** インダクションモーター、水冷式、可変周波数ドライブ。

トランスミッション

タイプ	単速固定ギア
ギヤボックス比	9.03:1

ステアリング

ステアリング	仕様
タイプ	ラック アンド ピニオン電動パワー ステアリング 速度感応型
ロック ツー ロック回転数	2.14
最小回転半径 (最外輪外面)	11.7 m

ブレーキ

タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスト スタビリティ コントロール/電子アクセルレーター ペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
キャリパー	フロント: 4 ピストン固定 リア: 一体型電動パーキング ブレーキ スライディング
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 12.6"/320 mm リア: 13.2"/335 mm
フロント ローター厚	新品: 0.98"/25 mm サービス限界: 0.91"/23 mm
リア ローター厚	新品: 0.79"/20 mm サービス限界: 0.71"/18 mm
側面の振れ	0.050 mm
弦方向の振れ	0.040 mm



サブシステム

ディスク厚変動 (DTV)	0.010 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 0.393"/10 mm サービス限界: 0.110"/2.8 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	新品: 9 mm 使用限界: 2.1 mm
パーキング ブレーキ	電動で作動するパーキング ブレーキがリア キャリパーに統合

サスペンション

サスペンション	仕様
フロント	独立、ダブル ウイッシュボーン、コイル スプリング/テレスコピック ダンパー、スウェイバー
リア	独立、マルチリンクのコイル スプリング/テレスコピック ダンパー

バッテリー 低電圧

バッテリー 低電圧	仕様
定格	毎時 6.9 アンペア
電圧	15.5V

バッテリー - 高電圧

リチウム イオン バッテリーの場合:

バッテリー - 高電圧	仕様
タイプ	Li-ion
公称電圧	DC 355V
温度範囲	Model 3 を 60° C を越える温度環境または -30° C を下回る温度環境に、 24 時間を超える期間連続して放置しないでください。

LFP バッテリーの場合: 車両に LFP バッテリーが装備されているかどうかは、「コントロール」>「ソフトウェア」>「追加車両情報」の順に移動して確認することができます。

タイプ	リン酸鉄リチウム イオン (LFP)
公称電圧	DC 345V



温度範囲	Model 3 を 60° C を越える温度環境または -30° C を下回る温度環境に、 24 時間を超える期間連続して放置しないでください。
------	---

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE

ホイールとタイヤ

ホイール仕様(工場出荷時)

ホイール径	ロケーション	サイズ	オフセット (mm)
18"	フロント/リア	18X8.5J	38
19 インチ	フロント/リア	19X8.5J	38
ラグナットトルク			129lb ft (175Nm)
ラグナットソケットサイズ			21 mm

注: Model 3 をジャッキアップする方法については、[ジャッキアップと引き上げ](#)を参照してください。

タイヤ仕様(工場出荷時)

タイヤ サイズ	ロケーション	サイズ
18"	フロント/リア	235/45R18
19 インチ	フロント/リア	235/40R19
適切なタイヤ空気圧は、装備されているタイヤの種類によって異なります。「タイヤ情報」ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは中央のドア ピラー上にあり、運転席の側ドアを開けると確認することができます (タイヤ空気圧の保守 を参照)。		
冬用タイヤは、Tesla サービスセンターで購入できますが、Tesla ウェブサイトで購入できる場合もあります。		
*地域によってはご利用になれません		



タイヤのマーキングについて

タイヤメーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。



- 1. タイヤの分類:** P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
- 2. タイヤ幅:** この 3 衡の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
- 3. アスペクト比:** この 2 衡の数字は、トレッド幅に対するサイドウォールの高さの比をパーセントで表示したものです。したがって、トレッド幅が **205 mm** でアスペクト比が **50** であれば、サイドウォールの高さは **102 mm** です。
- 4. タイヤの構造:** R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
- 5. ホイール径:** この 2 衡の数字はホイール リム径をインチ単位で示したものです。
- 6. 荷重指数:** この 2 衡または 3 衡の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
- 7. 速度記号:** 記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)、(Y)=車両の最高速度 ('Y' の定格を上回る)。
- 8. タイヤの構成と材質:** トレッド エリアとサイドウォール エリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。



ホイールとタイヤ

9. **最大タイヤ荷重:** タイヤで運搬できる最大荷重。
10. **最大許容タイヤ空気圧:** 通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11. **米国運輸省タイヤ識別番号 (TIN):** 先頭の文字「DOT」は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く**2**桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の**4**桁は製造された週と年を表しています。たとえば、**1712** は**2012** 年の**第 17** 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12. **トレッド磨耗等級:** この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級**400** のタイヤは、等級**200** のタイヤの**2**倍の耐磨耗性があります。
13. **トラクション等級:** タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に**AA**、**A**、**B**、**C** です。
14. **温度等級:** タイヤの熱に対する耐性が**A**、**B**、**C** に等級分けされており、**A** が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。



Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で **24** 時間いつでもご利用いただけます。**Tesla** ロードサイド アシスタンスでは、あらゆるご質問に回答し、車両の輸送手順をご案内する、ロードサイド プロフェッショナルに問い合わせることができます。

Tesla ロードサイド アシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- ・車両識別番号 (**VIN**)。「コントロール」 > 「ソフトウェア」にタッチすると **VIN** が表示されます。また、運転席側のフロントガラスからのぞき込むとダッシュボード上部に表示されている **VIN** を確認できます。
- ・お客様の現在地。
- ・故障・問題の性質。

地域でご利用いただける場合は、**Tesla** モバイル アプリの「ロードサイド アシスタンス」オプションを選択すると、さらに素早く要求の提示ができます。

注: **Tesla** のロードサイド アシスタンス ポリシーに関する詳細な説明は、お客様の地域の **Tesla** ウェブサイトにあるサポートページを参照してください。

国別電話番号

日本: **0120-312-441**

注: 「コントロール」 > 「サービス」をタッチしても電話番号は確認できます。



車両輸送者向け注意事項

ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

ホイールが回転すると **Model 3** のモーターは発電をしてしまいます。**Model 3** を輸送する時は必ず **4** 本のタイヤすべてを地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

⚠️ 警告: タイヤが回転してしまうような状態では絶対に車両の輸送を行なわないでください。重大な損傷または過熱につながる恐れがあります。まれにではありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



Tesla が指定している以外の方法で **Model 3** の輸送を行わないでください以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

注: **Tesla** では、**Tesla** ロードサイドアシスタンスによる出動ではないサービスの料金を返済する義務や責任を負いません。

認定された輸送方法

Model 3 の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラックを使用時は、前後どちらの方向で載せても構いません。



平ボディトラックを使用しないで **Model 3** を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを地面から離してから輸送を開始してください。この方法は時速 **55 km** 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合は、フロントタイヤを浮かせて、リヤタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを **Tesla** は推奨します。



⚠️ 注意: 平ボディトラックに **Model 3** ウィンチで載せる前に、輸送モード（[輸送モードの有効化](#)参照）を有効にしてください（[平ボディ トラックに引き上げます](#)参照）。輸送モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドライバーまたはタイヤスケートを使用して、認定された輸送位置に車両を積載してください。**Tesla** は、セルフローディングドライバーまたはタイヤスケートを使用した **Model 3** の輸送が原因となる、個人財産の損害などのいかなる損害についても責任を負いません。

注: 輸送モードは、**Model 3** をウィンチを使用して平ボディトラックに載せるため、または車両を駐車スペースから移動するためだけに使用されます。輸送モード中は、タイヤをゆっくり（**5 km/h** 未満）、極めて短い距離（**10 m** 未満）回転させることしかできません。[輸送モードの有効化](#)を参照してください。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

⚠️ 警告: **Model 3** には、衝突により損傷する可能性のある高電圧コンポーネントが取り付けられています（[高電圧コンポーネント](#)参照）。**Model 3** を輸送する前に、必ずコンポーネントが通電されている前提で作業することが重要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（個人保護具の着用など）に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

輸送モードの有効化

輸送モードは、**Model 3** を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。輸送モードが有効になっている時は、車両のサイドブレーキが無効になっていることを知らせるメッセージが表示されます。輸送モードを有効にするために：

- 低電圧 電源が必要です。**Model 3** に電源が供給されていないと、タッチスクリーンが使用できないため輸送モードを有効にすることはできません。
- Model 3** はキーを検出しなければなりません。輸送モードはキーが検出されている時のみ有効となります。

輸送モードを有効にする：

- Model 3** がパーキングに入っていることを確認してください。
- タイヤに輪留めをかけるか、**Model 3** が確実に固定されていることを確認してください。
- ブレーキペダルを踏み込んだまま、タッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「けん引」の順にタッチします。タッチスクリーンには、**Model 3** の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。

車両輸送者向け注意事項



4. 青色に変わるまで輸送モードボタンを押し続けます。
Model 3 はブレーキが解除され、押して動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで引き上げることができます。

けん引モードをキャンセルするには、**Model 3** をパーキングに入れしてください。

注: 車両に鉛の低電圧バッテリーが装備されている場合（ジャンプスタートを参照）: 輸送モードを有効にした後で **Model 3** が低電圧電力を喪失すると、輸送モードはキャンセルされます。

- ⚠ 注意: 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用して輸送モードを有効にすることができないため、セルフローディングドライバーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドライバーに積載する前に、必ずドライバーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

平ボディ トラックに引き上げます

注: **Model 3** に電源から低電圧電力の供給がない場合にボンネットを開く、またはタッチスクリーンを使用するには、外部の低電圧電源が必要になります（ジャンプスタートを参考）。

- ⚠ 注意: 損傷を避けるために、車両を平ボディ トラックに引き上げるときは、適切に取り付けられたけん引アイを使用してください。シャーシ、フレーム、またはサスペンションコンポーネントを使用して引っ張ると、車両を損傷する恐れがあります。

1. けん引用アイボルトを見つけます。けん引フックはフロントランクに収納されています。



2. 車両にはフロントに1つ、リアに1つ、合計2つのけん引ボルトカバーがあります。どちらかのけん引ボルトカバー開くには、けん引ボルトカバー周囲の右上をしっかりと押してカバーを内側に倒し、持ち上がった部分をゆっくりと手前に引いてください。

注: フロントけん引ボルトカバーだけには、フロントトランクを開くためのプラスおよびマイナスの端子があります。



3. けん引ボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで反時計回りに回します。



4. けん引ボルトにウィンチケーブルを取り付けます。

- ⚠ 注意: 引く前に、けん引ボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

5. 輸送モードを有効にします。

6. **Model 3** をゆっくりと平ボディ トラックの上に乗せてください。



車両輸送者向け注意事項

タイヤの固定

8点留めタイダWN法で車両のタイヤをトラック上で固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪を介して固定用ストラップを配置しないでください。

⚠ 注意: 固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。



車両に電力供給がない場合

Model 3 に低電圧電源から電力の供給がない場合、以下の手順でボンネットを開くかまたは低電圧バッテリーでジャンプスタートします。

1. フードを開きます。車両に電力がない場合にフードを開くための詳細情報については[電源がない状態でフードを開ける](#)を参照してください。
2. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます ([ジャンプスタート](#)を参照)。

注: けん引業者: 車両を充電スタンドまで輸送して、充電準備をするための詳細情報については[電力切れ](#)を参照してください。

⚠ 注意: ドアを開閉すると窓は自動で少しだけ下がるので、車両に電力がない場合は、ドアを開く前に必ず外部の低電圧電源に接続して、窓が壊れないようにしてください ([ジャンプスタート](#)を参照)。



注: 走行中に万が一、電力切れになった場合、安全であれば、車両を路肩に寄せ、**Tesla ロードサイド アシスタンス** または希望するけん引業者に連絡してください。

Model 3 が電力切れになった場合、低電圧バッテリーはサポートされなくなり、低電圧がサポート対象ではない場合、その車両を充電することはできません。そのため、低電圧バッテリーは高電圧 (**HV**) バッテリーの充放電が可能な外部の充電器でサポートされている必要があります。車両が充電を開始すると、外部充電器は不要になります。

充電器から離れた場所で電力切れを起こした場合、けん引業者は **Model 3** を最寄りの充電スタンドまで輸送して、充電器のケーブルの届く範囲内に車両を降ろす必要があります。車両を充電器の近くに配置したら、次の指示に従ってください。

注: 車両を充電器まで輸送している場合、車両の高電圧バッテリーが充電されていることを確認するまでけん引業者が立ち去らないようにしてください。

1. 低電圧バッテリーをジャンプスタートさせます（[ジャンプスタート](#) を参照）。低電圧バッテリーは、高電圧バッテリーをサポートするためにジャンプスタートさせる必要があります。
2. 数分待ちます。タッチスクリーンの電源がオンになったら、充電器ケーブルを **Model 3** に挿入して、高電圧バッテリーの充電を開始します。
3. **Model 3** が充電を開始したら、低電圧バッテリーをサポートしている外部充電器を取り外します。

Tesla 以外の充電器に移動する前に、使用する特定のタイプの充電ステーションに対応するアダプターが車両に装備されていることを確認してください。**Tesla** 以外の充電器でも、充電を開始する前に低電圧バッテリーをジャンプスタートさせる必要があります。

⚠ 注意: ドライブの際や長期間保管する際は、**Model 3** に十分な航続距離が残っていることを必ず確認してください。タッチスクリーンやモバイルアプリの航続距離予測をあてにしそうないでください。外気温、運転動作、風、車両設定（セントリー・モードなど）によって航続距離の減少が予測よりも早まる可能性があります。

注: 航続距離の問題による車両のけん引は補償の対象なりません。

ジャンプスタート

以下の説明では、外部低電圧電源（ポータブル ジャンプスターなど）を使用していることを想定しています。他の車両を使用して **Model 3** をジャンプスタートさせるときは、その車両のメーカーの取扱説明書を参照してください。

-  注意: **Model 3** 他の車両のジャンプスタートに使用することはできません。故障の原因となることがあります。
-  注意: **Model 3** のジャンプスタート時に短絡させないでください。誤ったジャンプポストにケーブルを接続したり、リード同士を接触させたりすると、**Model 3** が損傷する可能性があります。

低電圧（リチウムイオン）バッテリーのジャンプスタート

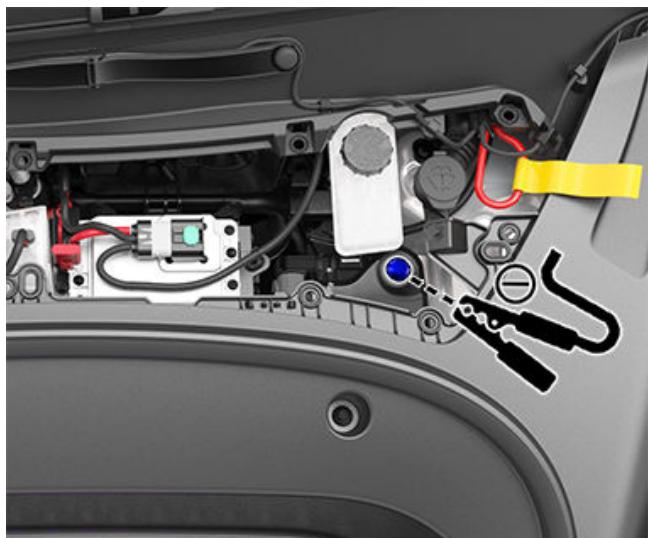
2021 年 10 月頃以降に **Gigafactory** 上海で製造された車両、および 2021 年 12 月頃以降にフリーモント工場で製造された車両には低電圧リチウムイオンバッテリーが装備されています。

1. ボンネットを開きます（電源がない状態でフードを開けるを参照）。
2. メンテナンス パネルを取り外すには、パネル後方の端を上方へ引いて、パネル固定用のトリム クリップを外してください。
3. 赤色のカバーを取り外し、外部低電圧電源の赤色プラスのプラス (+) 側ケーブルを赤色のプラス (+) 側ジャンプ ポストに接続します。

-  注意: 車両の損傷を避けるため車両、このプラス側ケーブルを他の金属部に接触させないようにしてください。



4. 外部低電圧電源の黒色マイナス (-) 側ケーブルをブレーキ液リザーバーとフロント トランクの間にあるボルトに接続します。このボルトは外部サポートのアース ロケーションとして使用されます。



5. 外部電源を 20 秒間だけオンにし（製造元の説明書を参照）、電源をオフにするか、電源を切り離します。

-  注意: 電源を 20 秒を超えてオンのままにすると、低電圧バッテリーが自己復旧できなくなり、車両がドライブにシフトできなくなる可能性があります。この場合、電源を切り離した後に、低電圧バッテリーを切り離し、低電圧バッテリーを再接続して、もう一つのバッテリーの自己復旧を再試行できるようにします。

注: (ウィンチを使用して車両をボディ トランクに積載するために) 輸送モードを有効にしようとすると場合、低電圧バッテリーを使用して自己復旧する必要はありません。車両を固定するまで、電源をつないだままにしてください。

6. 運転席ドアを開いて 2 分間待ちます。
7. 車両をドライブにシフトできることを確認します。
8. メンテナンス パネルを元の位置に合わせて固定されるまで押し付けながら取り付けてください。
9. フードを閉じます。



app_w009

自動緊急ブレーキ使用不可

次のドライブで機能が回復する可能性

このアラートの意味:

自動緊急ブレーキ機能は、現在のドライブの残りの部分では使用できません。この警告は、他のブレーキ機能が使用できないことを具体的に示すものではありません。

このアラートはいくつかの理由で表示される可能性があります。自動緊急ブレーキを使用できない状態の場合は、他の警告が表示されることがあります。

対応策:

通常特に対応は必要ありません。通常、次のドライブを開始すると、自動緊急ブレーキが再び使用可能になります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

詳細な情報は、[衝突回避アシスト](#)を参照してください。

APP_w048

オートパイロット機能は一時的に使用できません

次回走行時に機能が回復する可能性があります

このアラートの意味:

お客様の車両では現在オートパイロット機能を使用することができます。車両の構成に応じて、無効となるオートパイロット機能には次が含まれます。

- オートステアリング
- トラフィックアウェア クルーズコントロール
- 自動緊急ブレーキ
- 正面衝突警告
- 車線逸脱警告

対応策:

このアラートはいくつかの理由で設定される可能性があります。この状態の原因を示す追加アラートがないか確認してください。

通常オートパイロット機能は次回走行時に回復します。このアラートが今後の走行でも継続的に発生する場合は、早急にサービスを予約してください。

詳細およびオートパイロット機能の完全なリストについては、[オートパイロットについて](#)を参照してください。

APP_w207

オートステアリングは一時的に使用できません

このアラートの意味:

オートステアリングは一時的に使用できません。これは以下の外部要因などによる一時的な状況である可能性があります。

- 車線の境界線がないまたは薄くなっている。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- 雨、雪、霧、その他の気象によって視認性が低くなっている。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。



トラブルシューティングのアラート

- 対向車のヘッドライトや直射日光などの明るい光が当たっている。

このアラートは、オートステアリングが有効な場合のオートステアリングに対する最大速度制限を超過している場合にも表示されます。この場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。オートステアリングを目的地に到着するまでそして次回車両を使用しているときに利用できない場合は、次について点検してください。

- 泥、氷、雪などの環境要因により損傷または障害物が発生している
- 自転車ラックのような物体が車両に取り付けられ、障害となっている
- 塗料、またはラップ、ステッカー、ラバー コーティングのような粘着性物質など障害物が車両に付けられている
- バンパーが損傷している、または位置がずれている

明らかな障害物がない場合、または車両の損傷を見つけた場合、都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートパイロット機能](#)を参照してください。

APP_w218

オートステアリングの速度制限を超過 ハンドルは自分で操作してください

このアラートの意味:

車両がこのドライバー アシスト機能の最高速度制限を超えたため、オートステアリングは利用できません。

対応策:

すみやかにハンドルを自分で操作して目的地まで運転してください。

多くの場合、そのまま運転してもオートステアリングが再び有効になることはありません。オートステアリングをリセットするには、車両を完全に停止して、パーキングにシフトします。次の目的地に向かう異動のためにドライブにシフトすると、オートステアリングは再び使用可能になります。

注: ドイツで運転中にこのアラートが起動した場合、オートステアリングの速度制限未満で車両が走行すると、オートステアリングは再び有効になります。

次の走行時にオートステアリングが引き続き有効にならない場合は、ご都合のよいときにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[オートパイロット機能](#)を参照してください。

APP_w221

クルーズコントロール利用不可 フロントレーダーの視認性が低下

このアラートの意味:

車両のフロント バンパー部分にあるレーダーの視程がまったくないか、ほとんどないため、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは利用できません。

これは、雪、氷、ほこり、泥などの要因で引き起こされる一時的な障害です。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。レーダーの十分な視程が得られない限り、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。

トラブルシューティングのアラート



運転中ずっと警報が解消されない場合、次の運転を予定する前にフロント バンパーを点検して障害を解消してください。車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング](#)を参照してください。

レーダーがあるフロント バンパーに障害物がないのに、その後の運転でもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w222

クルーズコントロール利用不可 フロントカメラの視認性が低下

このアラートの意味:

車両の1台以上のフロント カメラが外部条件で妨害されているか視界を遮られていて、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが無効です。

フロント カメラの十分な視程が得られない限り、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。カメラが次によって閉塞させられている、または遮蔽させられている。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

これはしばしば独自でクリアされる一時的問題になります。走行終了時までにそのアラートがクリアされない場合:

- 次回の計画した走行の前にフロント ガラスの上部中央にあるフロント カメラの領域を点検して清掃する。
- カメラ表面に結露、ほこり、あるいはその他ちりがないか確認し、障害物は取り除いてください。

車両の該当部分からの汚れや異物の除去に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング](#)を参照してください。

フロント カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができますが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高に設定し、**A/C** をオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。

フロント カメラで障害物が見えないので、その後の運転時にもこのアラートが解消されない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w224

クルーズコントロール利用不可 カメラ補正のため運転を続けてください

このアラートの意味:

車両のカメラのキャリブレーションが不十分なためトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングを利用できません。

トラフィックアウェア クルーズ コントロールやオートステアリングなどの機能が有効なとき、車両は高精度で運転する必要があります。初めてこれらの機能を使用するときは、事前に、カメラの初期セルフキャリブレーションを実施する必要があります。場合によっては、1台以上のカメラがキャリブレーションなしで使用されることがあります。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

カメラのキャリブレーションが完了するまで、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングは引き続き使用できません。

キャリブレーションが完了したら、トラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できます。

利便性のために、プログレス インジケータがタッチスクリーンに表示されます。キャリブレーションは通常、**20～25 マイル (32～40 km)** 走行後に完了しますが、この距離は道路条件や環境条件によって異なります。たとえば、車線区分線がはっきりと見える直線路を走行すると、カメラは短時間にキャリブレーションできます。

100 マイル (160 km) 以上走行後も、アラートが解消されず、カメラ キャリブレーションが完了しない場合、あるいはカメラ キャリブレーションが成功したのにトラフィックアウェア クルーズ コントロールとオートステアリングが利用できない場合は、できるだけすみやかにサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

APP_w304

カメラの視界が遮られている

カメラを清掃するか視界復帰するまで待機

このアラートの意味:

外部条件により、1つ以上の車載カメラの視界が遮られているあるいは遮断されています。正確な視覚情報がカメラにより生成できない場合は、オートパイロット機能の一部またはすべてが一時的に使用できなくなる場合があります。

カメラが次によって閉塞させられている、または遮蔽させられている。

- カメラ表面の汚れまたはごみ。
- 雨、霧、雪、露などの環境的条件。
- 日光または別の光源による眩しい光。
- カメラ表面の結露（水滴または霧）。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。多くの場合、これは一時的な問題であり、結露が蒸発したときや、特定の環境条件がなくなったときに解消されます。

目的地に到着するまでにアラートが消えない場合は、カメラの表面に結露、汚れ、またはその他のごみがないか確認してください。カメラの位置は、[カメラ](#)を参照してください。

次回のドライブをする前に必要に応じてカメラをクリーニングしてください。推奨されるクリーニング手順については[カメラのクリーニング](#)を参照してください。

このアラートがカメラのクリーニング後も引き続き表示される場合は、ドアピラーのカメラ筐体内側に結露がないか確認してください。カメラのエンクロージャ内部の結露は完全に拭き取ることができませんが、通常は、以下の手順で簡単にクリーニングを行えます。

1. 温度を高に設定し、**A/C** をオンにして車内の空調を入れます。
2. 前方の霜取り装置をオンにします。
3. 吹出し口をドアピラーのカメラに向けます。

カメラのエンクロージャから結露を取り除く方法に関する詳細情報については、[カメラのクリーニング](#)を参照してください。

示されたカメラのクリーニングを行ない、結露を取るために推奨される手順を実施したにも関わらず、次回のドライブの終了までにアラートが解消しなかった場合は、次のご都合のよいときにサービスする予約をしてください。その間は車両を運転することに問題はありません。



BMS_a066

最大充電レベルおよび航続距離が減少するおそれ
運転可能 - すぐにサービスを予約

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。その結果、最大充電レベルと航続距離が減少する可能性があります。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

このアラートが解消されない場合は、早急にサービスを予約してください。サービスを行わないと、車両の最大充電レベルと航続可能距離がさらに減少する可能性があります。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報を参照してください。](#)

BMS_a067

高電圧バッテリーのパフォーマンスが制限されます
運転可能 - すぐにサービスを予約

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。

できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両は引き続き最大と充電航続距離および充電性能の低下を引き起こし、運転中に出力と加速が低下する可能性もあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の **30%**以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報を参照してください。](#)

BMS_a068

高電圧バッテリーは、サービスが必要
加速および充電性能低下

このアラートの意味:

車両が高電圧バッテリー内部がバッテリーの性能を制限している状態であることを検出しました。

車両の最高速度が低下し、加速要求に対する応答が以前よりも遅くなっていると感じる可能性があります。

車両の最大航続距離が短くなる可能性があり、今までより車両の充電に時間がかかる場合があります。通常、最大充電速度は、場所、電源、および充電設備によって異なります。

完全な性能を回復するためにはサービスが必要です。

対応策:

車両を運転しても問題はありません。



トラブルシューティングのアラート

できるだけ早い機会にサービスを予約することをお勧めします。サービスを行わないと、車両の出力、加速、航続距離、および充電性能が低下することがあります。

このアラートが表示されている間は、車両のタッチスクリーンに表示される推定航続距離と実際の高電圧バッテリーの充電レベルとの間に矛盾が生じないように、車両を充電容量の **30%**以上に充電しておいてください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報](#)を参照してください。

BMS_a069

バッテリー充電レベルが低い

いますぐ充電してください

このアラートの意味:

高電圧バッテリーには、運転をサポートするための十分なエネルギーが残っていないことが検出されました。この警告は通常、通常の操作によって車両の高電圧バッテリー充電レベルが低下したために発生します。

車両は充電されるまで運転することまたは運転を継続することができません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両をシャットダウンする必要があります。この状態を示すために個別の車両アラートが表示されます。また、車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。

車両を駐車したときにこの警告が表示される場合は、運転することができない可能性があります。

対応策:

すぐに車両を充電してください。車両を充電すると、車両の走行能力が回復します。

このアラートが後続のドライブで発生した場合、バッテリーの充電レベルが **5%**以上と表示されていても、できるだけ早くサービスを予約してください。

高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報](#)を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CC_a001

充電不可 - アース配線不十分

正しい配線またはコンセント接地の検証が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターで接地接続が検出されません。

対応策:

ウォールコネクターを電気技師に検査してもらい、適切に接地されていることを確認してください。サーキットブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることの確認を電気工事士に依頼してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参考ください。

CC_a002

充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知

プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

トラブルシューティングのアラート



ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして **10** 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a003

充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして **10** 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、Tesla までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a004

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、**10** 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されている、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a005

充電不可 - ウォールコネクター漏電を検知
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:



トラブルシューティングのアラート

漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして **10** 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。問題が解決されない場合、電気工事士に相談するか、**Tesla** までご連絡ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a006

充電不可 - ウォールコネクター過電流
プラグを入れ直すか別の充電設備をお試し下さい

このアラートの意味:

過電流保護。

対応策:

車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a007

充電不可 - 入力電圧が高過ぎます
ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクターのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a008

充電不可 - 入力電圧不足
ウォールコネクターには定格内電圧が必要

このアラートの意味:

過電圧または減電圧保護。

対応策:

ウォール コネクターのサーキット ブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a009

充電不可 - 誤った入力配線
ウォールコネクターへの入力配線の修正が必要

このアラートの意味:

トラブルシューティングのアラート



入力側誤配線: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。

対応策:

壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a010

**充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です**

このアラートの意味:

ウォールコネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォールコネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにし、10秒待ってから、再びサーキットブレーカーをオンにします。車両とウォールコネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォールコネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォールコネクターを点検してください。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a011

**充電不可 - ウォールコネクターが過熱
ウォールコネクターが冷えるまでお待ち下さい**

このアラートの意味:

加熱防止（ラッчикオフ）。

対応策:

ウォールコネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（38°C以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

ラブルシューティングのアラート

CC_a012

充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が停止したことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

正常な充電動作を回復するには、以下の手順に従って操作してください。

ウォール コネクターを壁面コンセントに差し込んだら、以下の事項を確認してください:

- プラグがコンセントに完全に差し込まれている
- プラグ/コンセントに異物が詰まっていない/異物で覆われていない
- 近くに熱源がない

問題が解決しない場合や、ウォール コネクターが固定配線の場合、電気技術者にウォール コネクターまでの建物の建物の配線接続の調査を依頼してください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかりと締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a013

充電不可 - 充電ハンドルが過熱 充電ハンドルまたはポートの異物を確認下さい

このアラートの意味:

加熱防止（ラッチオフ）。

対応策:

コネクターが車両の充電ポートに確実に挿入されていて、それが何かで覆われていたり熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（**38°C** 以下）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a014

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。



1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、**10 秒**待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事士がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a015

充電不可 - 車両側の接続が不良です

充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして**10 秒**間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a016

充電不可 - 車両側の接続が不良です

充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして**10 秒**間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

CC_a017

充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして **10** 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a018

充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして **10** 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a019

充電不可 - 車両側の接続が不良です
充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにして **10** 秒間待ってからもう一度サーキット ブレーカーをオンにした後、ウォール コネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォール コネクターまたはモバイル コネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。



3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a020

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a021

充電不可 - マスターウォール コネクターなし
マスターがオンで使えることを確認して下さい

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォール コネクターは1台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォール コネクターは1台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

ラブルシユーティングのアラート

CC_a022

充電不可 - マスターが複数あります
マスターのウォールコネクターは 1 台のみです

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ウォール コネクターは 1 台のみをプライマリーに設定してください。

対応策:

1 台のウォールコネクターのみがプライマリーとして設定できます。担当した電気工事士は以下を確認します：

1. ウォール コネクターは 1 台のみをプライマリーに設定します。
2. プライマリーユニットにリンクされている他のすべてのウォールコネクターは、ペアの位置（F 位置）に設定されます。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a023

充電不可 - ウォールコネクターが多過ぎます
マスターとペアできるユニットは 3 台以下です

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: 4 個以上のウォール コネクターが同じプライマリーユニットとペアリングされています。

対応策:

電気工事士は、1 つまたは複数のペアリングされているウォールコネクターを別の回路に移動し、このロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークから切断（ペアを解除する）してもらいます。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a024

充電不可 - ウォールコネクター電流低下
現在のマスターの設定を上げる必要があります

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォール コネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォール コネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォール コネクターのロード シェアリング（サーキットブレーカーの共有）の設定をし、他のウォール コネクターとのペアリングができたら、プライマリーユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォール コネクターが充電電流を **6A** 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、3 つのウォール コネクターがペアリングされています。プライマリーユニットは、 **$3 * 6A = 18A$** 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a025

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a026

充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。



トラブルシューティングのアラート

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a027

**充電不可 - ウォールコネクターに問題があります
ウォールコネクターは整備が必要です**

このアラートの意味:

ウォール コネクター ハードウェアの問題。以下の問題が考えられます。

1. コネクターが機能していません
2. 内部接地障害監視サーキットの自己診断が失敗しました
3. 温度センサーが切り離されました
4. その他のハードウェアコンポーネントの問題

対応策:

ウォール コネクターで内部エラーが検出されました。

1. ウォール コネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。
2. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターのサーキット ブレーカーをオフにし、10 秒待ってから、再びサーキット ブレーカーをオンにします。車両とウォール コネクターの再接続を試してください。
3. 問題が解消されない場合、電気工事士に連絡して、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の手順に従ってすべてのワイヤーが正しく接続されていて、しっかりと締まっていることを確認してください。
4. 電気工事がすべての作業を完了し、ウォールコネクタへの電力を回復したら、ウォールコネクタを車両に再接続して充電を再試行します。
5. 問題が解消されない場合は、ウォール コネクターを点検してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a028

充電不可 - 誤ったスイッチ設定

ウォールコネクターロータリースイッチの調整が必要

このアラートの意味:

ロータリースイッチの設定が不正です。

対応策:

電気工事士に、ウォールコネクターの内部ロータリースイッチを有効な動作電流設定に調整してもらいます。電気工事士は、最初にウォール コネクターに電気がきていないことを確認してください。スイッチ設定と電流の対応関係は、ウォール コネクターの内側に印刷されている場合があります。電気工事士は、『ウォール コネクター取り付けマニュアル』の「動作電流を設定」の項も参照してください。

ウォール コネクターのロード シェアリング（サーキットブレーカーの共有）の設定をし、他のウォール コネクターとのペアリングができたら、プライマリー ユニットのロータリースイッチは、ペアリングのそれぞれの片方のウォール コネクターが充電電流を **6A** 以上受け取る動作電流設定に設定する必要があります。

例: 負荷分散のため、**3** つのウォール コネクターがペアリングされています。プライマリー ユニットは、 **$3 * 6A = 18A$** 以上の電流値に設定してください。

詳細については、ウォール コネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。



CC_a029

充電不可 - 車両側の接続が不良です

充電ハンドルを充電ポートにしっかり挿入

このアラートの意味:

ウォールコネクターと車両の間で通信エラーが発生しました。

対応策:

ウォールコネクターを車両から外し、再接続してから充電をやり直してください。

1. 問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。
2. 問題が解決されない場合、他の充電器がある場合は、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。
3. 問題が解消されない場合は、サービスが必要です。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a030

充電不可 - マスター/ユニットペアの不一致

現在のウォールコネクターの定格が一致する必要があります

このアラートの意味:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワーク: ペアリングしたウォールコネクターの最大電流容量が異なります。

対応策:

ロードシェアリング（サーキットブレーカーの共有）ネットワークにペアリングできるのは同じ最大電流容量のウォールコネクターのみです。電気工事士は、ウォールコネクターのタイプラベルで、電流容量がマッチしていることを確認してください。また、電気工事士は、同じ部品番号のウォールコネクターでペアリングすることを推奨します。ペアリング対象ユニットが互換性があることを簡単に確認できるからです。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CC_a041

充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い

コンセントまたはウォールコネクターの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかりと締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

ラートのアラート

CC_a043

ウォールコネクターの設定を完了する必要があります
設置ガイドを参照して充電を有効にしてください

このアラートの意味:

ウォールコネクターの設定が未完了です。

対応策:

ウォールコネクターを試運転して、サーキットブレーカーのサイズと保護アースの接続タイプを正しく設定する必要があります。

詳細についてはウォールコネクターの設置マニュアルにある試運転手順を参照してください。問題が解決しない場合、電気工事業者に連絡してウォールコネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。業者は電力出力およびアース接続が、ウォールコネクターの設置ガイドに従って正しく設定されているかを確認する必要があります。

詳細については、ウォールコネクターの[設置ガイド](#)をご参照ください。

CP_a004

充電機器が認識されません
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できない。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般的な整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ケーブルが接続されているときにこのアラートが表示された場合、充電機器または車両の原因による問題かを判断します。別の外部重電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ケーブルが接続されていないときにこのアラートが発生する場合、または問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブルコネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーションチャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイルコネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CP_a010

充電機器に通信エラーが発生しました
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

外部充電機器と有効な通信ができないために車両を充電できません。充電機器からの有効なコントロールパイロット信号を検知できません。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般的な整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

トラブルシューティングのアラート



対応策:

まず、有効な通信がない原因が、外部充電機器によるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

別の外部重電機器を使用して車両の充電を試してみます（充電ケーブル、充電ステーション、充電用駐車場など）。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

問題が車両にあると疑われる場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CP_a043

充電ポート ドア センサー故障

充電ポートが作動しない場合があります

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの1つが正常に機能していません。この故障が発生すると、充電ポートは充電ポート ドアの位置を正確に検知することができなくなり、充電ポートは予定通りに作動しなくなる可能性があります。

- 充電ポート ドアが開いているときに、充電ポート ラッチが断続的にかかったままになります。
- 充電ポート ドアが開いているとき、充電ポートのライトが断続的しから点灯しなくなる可能性があります。

対応策:

充電ポート ドアを閉じ、再度開いてみます。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける](#)を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CP_a046

充電機器の通信が失われました

電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。



トラブルシューティングのアラート

- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細についてはマップとナビゲーションを参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオナーズマニュアルをご参照ください。

CP_a051

押したときに充電ポートが開かない可能性 別の方法で充電ポートを開いてください

このアラートの意味:

充電ポート ドア センサーの 1 つが正常に通信していません。充電ポート ドアが押されたときに充電ポートが開くリクエストを認識しない可能性があります。

対応策:

また、次のような一般的方法を使用して、充電ポート ドア開くこともできます。

- 車両のタッチスクリーンを使用してください。
- Tesla モバイルアプリを使用してください。
- 車両のロックを解除した状態で、ウォール コネクター、モバイル コネクタ、またはスーパーチャージャーを含む T 充電ケーブルの充電ハンドル ボタンを押す。
- キーフォブのトランク ボタンを押し続ける。

詳細な情報については、[充電ポートを開ける](#)を参照してください。

CP_a053

充電不可 - 充電ステーションが停止しています 充電ポストを確認するか、別の充電ポストをお試しください

このアラートの意味:

充電機器の準備ができていないため、充電を開始できません。充電ハンドルが検出されましたら、充電ステーションは車両と通信していません。この問題の想定原因:

- 充電ステーションに電力が供給されていません。
- 充電ステーションと車両との間の制御パイロット信号が中断されました。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般的な整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を試してみてください。別の充電機器あるいは別の充電ステーションで

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

トラブルシューティングのアラート



モバイル コネクターまたはウォール コネクターを使用している場合は、まず前面にあるステータス ライトを確認します。ステータス ライトが表示されない場合は、電源を確認し、電気工事士に連絡して、壁のコンセントにつながる建物側の配線接続を調べて、すべての配線が正しく接続され、しっかり締めつけられていることを確認します。

他の外部充電機器を使用している場合は、ステーションに電源が供給されていることを確認するために、製品のオーナーズマニュアルを参照してください。必要に応じて、電気工事士に連絡して、建物側の配線と充電機器を点検してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

CP_a054

充電ポート ラッチが接続されていません
充電ケーブルを完全に差し込むか障害物を確認

このアラートの意味:

充電ポート口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定しない。ラッチがはまらない場合は、**AC 充電**（**Tesla** モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など）では電流が **16 A** に制限され、**DC 急速充電/スーパーチャージャー充電**は利用できません。

充電ポート ライトは、**AC 充電**中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、**DC 充電/スーパーチャージャー充電**を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。

車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。**AC 充電**は既に制限されず、**DC 急速充電/スーパーチャージャー**が使用できるようになります。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル（トランクの左側にある）が引かれていることを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル（通常リング状または紐）に障害物がなく（荷物ネットや傘など）が取り付けられていないことを確認します。充電ポートラッチ手動リリースにに関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す](#)を参照してください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CP_a055

充電機器の通信が失われました
電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両と外部充電機器との間の通信が中断したため充電が停止した。



トラブルシューティングのアラート

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

外部充電機器のステータスライト、画面、またはインジケーターなどを確認して電源が入っているかどうかを確認します。モバイルコネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

機器の電源が入っていない場合、外部充電機器の電源が復旧できるかどうか試みます。

- 公共の充電ステーションで充電する場合で電源が復旧できない場合、その充電ステーションの管理者に連絡します。
- 専用の充電ステーション（自宅など）で充電する場合で電源が復旧できない場合、電気工事業者に連絡します。

機器の電源が入る場合、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

CP_a056

充電が停止しました - 充電ケーブルが外れています
充電ポートを閉じる - ブレーキペダルを踏み再試行

このアラートの意味:

充電ポートと充電ケーブルの接続が不意に遮断されたことを車両が検知したために充電が停止しました。

対応策:

充電ケーブルを外す前に、充電を停止したことをまず確認してください。

一部の外部充電機器を使用した場合、充電ハンドルのボタンを押すと充電が停止する可能性があります。

また、車両のタッチスクリーン、**Tesla** モバイル アプリ、または充電ステーションからも充電を停止することができます。

詳細な情報は、[充電の停止](#)を参照してください。

CP_a058

充電不可 - プラグを外して再試行
または DC 急速充電/スーパーチャージングを試してみる

このアラートの意味:

車両が以下の状態の 1 つを検出したために **AC** 充電はできません。また、充電しようと多数試みたが成功しませんでした。

- 充電ケーブルが挿入されているかどうか、または接続されている充電ケーブルの種類を充電ポートが検知できません。
- 車両が充電ステーションからの有効なパイロット コントロール信号を検知することができず、外部充電機器との有効な通信を行なうことができません。
- 車両と外部充電機器の通信が遮断されています。
- 外部充電機器が、車両の充電を阻止するエラーを報告しました。

このアラートが存在している場合、より具体的な状態を示すアラートが少なくとも 1 つ必ず存在します。

対応策:

トラブルシューティングのアラート



詳細情報およびトラブルシューティングの提案については、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「通知」にタッチして充電に関わるその他の最新アラートを確認してください。

CP_a066

充電機器準備未完了

機器の説明書を見て充電を開始してください

このアラートの意味:

充電ステーションが車両と通信中で、その外部充電機器の準備が完了していないか、充電が認証されていないために充電を開始できません。充電ステーションと車両の間のコントロール パイロット信号は、充電を開始することを車両が許可されていないことを示します。

これが発生するのは以下が理由です。

- 充電ステーションが能動的に充電の遅延を生じている。例えば、ステーションが予約充電機能を有効にしているためにこの状態が生じます。
- 充電セッションを開始できるようになるためには充電ステーションをさらに有効にする必要があります。ステーションが車両に充電を開始する前に、充電カード、モバイル アプリ、またはクレジットカードといった追加認証が必要となる場合があります。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電を可能にするために必要な手順について述べている指示について、充電ステーションを点検します。例えば、タッチスクリーン端子、**LED** ステータス インジケータ、印刷された説明書、指針となる支払インターフェースを探します。現在の充電ステーションに充電することができない場合、他の充電機器を使用するか、他の充電ステーションにおいて、車両を充電してください。

- 車両が充電を開始したら、機器の問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CP_a078

ケーブル閉塞 - 充電ポートのラッチが凍結したおそれ

モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポート ラッチが充電ケーブルのラッチの解除をできず、低い外気温が検出されました。

対応策:

ケーブルのひずみを取り除くため、充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。もう一度実行して充電ケーブルのラッチを解除します。

依然、充電ケーブルを取り外すことができない場合、充電ポートのラッチが凍結する可能性があります。

充電ポート ラッチの氷を溶かすために、**Tesla** モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを押して、約 **30~45** 分間、車両の霜取りをします。



トラブルシューティングのアラート

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの「車の霜取り」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

充電ケーブルを取り外すことが依然としてできない場合、車両のトランク内にある充電ポート手動リリースを試してみてください。

1. 車両が能動的な充電をしていないことを確認してください。

- 車両のタッチスクリーンの下側のメニュー エリアにある充電アイコンを押して、充電画面を表示します。
- 必要に応じて、「充電を停止」にタッチします。

2. リア トランクを開きます。

3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。

- 注記: 取り外しケーブルはリア トランクの左側にあります。トランクのインテリアトリムの開口部内にはまっている場合があります。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

充電ポートラッチ手動リリースに関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す](#)を参照してください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

CP_a079

充電速度低下 - 充電ポートのが凍結したおそれ

モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを使用してみてください

このアラートの意味:

充電ポート入口で充電ポート ラッチが充電ケーブルを固定できず、低外気温を検知しています。ラッチが掛からない場合、**AC** 充電（Tesla モバイル コネクターまたはウォール コネクターでの充電など）では電流が **16 A** に制限され、**DC** 急速充電/スーパーチャージャー充電は利用できません。

充電ポート ライトは、**AC** 充電中にこのアラートが表示されると、黄色で点滅し、**DC** 充電/スーパーチャージャー充電を試みているときにこのアラートが表示されると、黄色で点灯します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

対応策:

充電ポート口に充電ケーブルをしっかりと挿入します。車両が充電を開始し、充電ポート ライトが緑色で点滅した場合、その充電ケーブルは前回完全に挿入されていなかった可能性があります。**AC** 充電は既に制限されず、**DC** 急速充電/スーパーチャージャーが使用できるようになります。

充電がまだ制限されている場合、または車両がまったく充電されない場合は、充電ポートのラッチ マニュアル リリース ケーブル（トランクの左側にある）が引かれていないことを確認してください。手動ケーブル リリースのためのハンドル（通常リング状または紐）に障害物がなく（荷物ネットや傘など）が取り付けられていないことを確認します。充電ポートラッチ手動リリースに関する詳細については、[手動で充電ケーブルを外す](#)を参照してください。

充電が依然制限されている場合、または車両がまったく充電をしない場合、充電ポート入口および充電ケーブル コネクターに、ごみ、水分、異物といった障害物がないか点検します。充電ポート入口の障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、ケーブルを再度、充電ポートに挿入します。

ごみや異物がないか点検して取り除いたけれども充電に依然制限がある場合、または車両がまったく充電しない場合、充電ポートのラッチが凍結している可能性があります。充電ポート ラッチの氷を溶かすために、Tesla モバイル アプリの「車の霜取り」ボタンを押して、約 **30~45** 分間、車両の霜取りをします。

注: 車両の霜取りには、モバイル アプリの「車の霜取り」を確実に使用してください。車両のタッチスクリーンで空調設定を調節しても効果はありません。

このアラートが依然存在する場合でも、制限された **AC** 充電は依然として使用できるようになっています。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。



CC_a101

充電速度低下 - ウォールコネクター接続部熱い コンセントまたはウォール コネクターの配線の点検要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかりと締められている状態にする必要があります。

ウォール コネクターの設置ガイドは[ここ](#)から入手できます。

CP_a102

充電不可 - ウォールコネクター接続部が過熱 コンセントまたはウォールコネクターの点検が必要

このアラートの意味:

ウォールコネクターによる高温検出アラートは、ウォールコネクターへの建物の配線が非常に高温になったため、配線やウォールコネクターを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはウォールコネクターの問題ではなく、建物の配線の問題です。これは、ウォールコネクターへの建物の配線接続に緩みがあるため発生した可能性があり、電気工事業者により迅速な修理ができます。

対応策:

電気工事業者に連絡し、ウォール コネクターまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。ウォールコネクターの設置ガイドに従って、すべての配線が正常に接続されしっかりと締められている状態にする必要があります。

詳細については、ウォール コネクターの設置ガイドをご参照ください。

CP_a143

充電アダプターにアーク放電の危険あり 別の充電装置を使用してください

このアラートの意味:

車両が、複合充電システム (CCS) の充電ハンドルを車両の充電ポートに接続するために使用されたサードパーティの充電アダプターにアーク放電の危険を検出したため、充電ができなくなっています。

このサードパーティの充電アダプターを使用して充電している時にプラグを抜こうとすると、アーク放電が発生し、重傷や物的損害が発生する可能性があります。

対応策:

以下の手順に従ってリスクを軽減してください。

- 充電が完全に停止していることを確認します。
 1. 車両のタッチスクリーンを使用して、充電が停止していることを確認し、必要に応じて充電を停止させます。
 2. 充電ステーションのディスプレイとコントロールを使用して充電が停止していることを確認し、あるいは実行中の充電セッションを終了します。



トラブルシューティングのアラート

- 車両の充電ポートで緑色または青色のライト (LED) が点滅していないことを確認します。
- 充電アダプターを車両の充電ポートから外します。
- 実行中の充電セッションがないことが充電ステーションに表示されていることを再度確認します。
- 充電アダプターを充電ハンドルから外します。

別の充電装置を使用して車両を充電します。充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

CP_a151

充電ポートでエラーを検出 - サービスが必要です

AC 充電が機能しない可能性あり / スーパーチャージャー充電は可能です

このアラートの意味:

車両の充電ポートでサービスが必要です。充電ポートは、有効なコントロール パイロット信号を確立できず、一部の **AC** 充電機器および電源と効率的に通信することができません。

このアラートが表示されている間は、**Tesla** 以外の充電ステーションでの **AC** 充電と **DC** 急速充電が制限されているか、利用できない場合があります。

対応策:

できるだけ早く車両の充電ポートを点検するサービスを予約することをお勧めします。

その間、スーパーチャージャー充電が継続して利用可能です。スーパーチャージャーのある場所は車両のタッチスクリーンの地図に表示することができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

AC 充電は、**Gen 2** モバイル コネクターまたは **Gen 3** ウォール コネクターを使用すると利用可能です。ただし、車両の充電ポートが **Tesla** 充電製品と通信できることを確認することをお勧めします。**Gen 2** モバイル コネクターまたは **Gen 3** ウォール コネクターで充電してみて、そのまま継続する前に、車両が通常どおりに充電されていることを確認してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

DI_a138

フロント モーター無効 - 走行可能

車両出力は制限される可能性あり

このアラートの意味:

車両のフロント モーターが使用できません。出力、速度および加速は減少する可能性がありますが、車両はリア モーターを使用して走行を継続します。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートは自動的に解消される一時的な状態によって生じている可能性があります。現在の走行中にこのアラートがクリアされた場合や、次の走行を開始したときに発生しない場合、一時的な状態によって生じたものと思われます。特に対応は必要ありません。

このアラートはフロント モーターの点検やサービスを必要とする状態を示している可能性もあります。その後の走行でもこのアラートが解消されない場合、サービス予約することを推奨します。その間は車両を運転することに問題はありません。



DI_a166

移動しないように車両が自動でパーキング

シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング（P）にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件がすべて真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパークが有効ではない
- 車両がドライブまたはリバースで **1.4 mph (2.25 km/h)** よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが 2 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには次が含まれます。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
 - 車両を操縦によって操舵する。

およびこれらの条件の少なくとも **2つ**が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、#unique_595 を参照してください。

DI_a175

クルーズコントロール利用不可

このアラートの意味:

クルーズコントロールはトラフィックアウェア クルーズ コントロールなどを含めて、現在使用できません

クルーズコントロールが使用できないのは以下の原因が考えられます。

- 運転者が要望をキャンセルした。
- 運転者がシートベルトのバックルを外そうとした。
- フロントトランク、トランクまたはドアが開いたままになっている。
- 車両は、クルーズコントロールの最小速度である **18 mph (30 km/h)** よりも低い速度で移動します。
- これには視認性の制限といった環境状態があります。
- バレーモードが有効。
- トランク モードが有効。

対応策:

車両の各種操作や運転は手動で行ってください。

クルーズ コントロールの起動を妨げている条件が解消されると、クルーズ コントロールは使用できます。このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報については、[トラフィックアウェア クルーズコントロール](#)を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

DI_a184

オートパーキングがキャンセルされました
制御してください

このアラートの意味:

オートパーキングがキャンセルされました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- ・運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- ・運転者がギア レバーを使用したか、ハンドルを動かしました。
- ・運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- ・急な坂道があります。
- ・視認性に影響のある気象条件です。
- ・縁石は検知できません。
- ・車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。パーキングを終了したら、ブレーキをかけて、パーキングにシフトします。そうしないと、車両が動き出すおそれがあります。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[パーキングをキャンセルすると制限と警告を参照してください。](#)

DI_a185

オートパーキング緊急中止

このアラートの意味:

オートパーキングが停止し、電子パーキング ブレーキがかかりました。

次の理由からオートパーキングがキャンセルされた可能性があります。

- ・運転者がタッチスクリーンの「キャンセル」ボタンを押しました。
- ・運転者がギア レバーを使用したか、ハンドルを動かしました。
- ・運転者がアクセル ペダルを踏んだか、ブレーキ ペダルを踏んだか、ドアを開きました。
- ・急な坂道があります。
- ・視認性に影響のある気象条件です。
- ・縁石は検知できません。
- ・車両にトレーラーが連結されています。

対応策:

車両を手動でパーキングするか、パーキングを終了してください。

次回運転時には、オートパーキングは使用できます。

詳細については、[パーキングをキャンセルすると制限と警告を参照してください。](#)



DI_a190

リア タイヤのトレッド深さが小さい - サービスを予約
タイヤのローテーション/交換を点検

このアラートの意味:

注: このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

車両で、リア タイヤの摩耗がフロント タイヤより大きく、その摩耗量の差異は推奨される量を超過していることが検出されました。

対応策:

すべてのタイヤのトレッド深さを点検することが推奨されます。通常の運転でタイヤは摩耗し、リア タイヤはフロント タイヤよりも早く摩耗するのが普通です。

タイヤのローテーションを行うことで、すべてのタイヤをバランスよく摩耗させることができます。

推奨された通りにタイヤをローテーションさせないと、ハイドロプレーニング現象が発生し、濡れた路面で車両をコントロールできなくなる恐れがあります。タイヤのローテーションを行わないと、タイヤの寿命も短くなり、交換が必要な日も早くなります。。

Tesla モバイル アプリまたは最寄りのタイヤショップでサービスを予約し、次の場合にタイヤのローテーションを行うことが推奨されます。

- フロント タイヤとリア タイヤのトレッド深さの差が **1.5mm** を超える
- 車両は、前回のローテーションから **6,250 マイル (10,000 km)** 以上走行した

リア トレッドの深さが危険なレベルと判定され、タイヤ ローテーションがもはや適切ではない場合、タイヤを交換する必要がある可能性があります。

タイヤの点検を行い、必要なタイヤのサービスを終えたら、車両のタイヤ構成を更新して、車両設定をタイヤに最適化し、少なくとも **6,250 マイル** の間、警告をクリアします。詳細な情報は、[タイヤのお手入れとメンテナンス](#) を参照してください。

タイヤのトレッドの深さを定期点検せずに、このアラートだけに依存することは推奨されません。この警告は、推奨サービス間隔をおおきく超過していると推定した場合に限って表示されます。

この警告は **Tesla** のタイヤに対してキャリブレーションされており、別のタイヤブランドやモデルを含む異なるタイプまたはサイズのタイヤに対して使用されることを想定していません。**Tesla** が推奨していないタイヤを装着している車両の場合、表示が出ない、または早期に表示が出てしまう可能性があります。推奨されるタイヤに関する詳細については、[ホイールとタイヤ](#) を参照してください。

DI_a245

車両ホールド機能利用不可
停車中はブレーキを踏み続けてください

このアラートの意味:

システム上の制約のため、現在、「車両ホールド」を使用できません。停止時には、ブレーキ ペダルを踏んで、車両を完全に停止させ、車両を停止した状態を維持してください。

対応策:

引き続き目的地まで向かってください。車両を運転しても問題はありません。

このアラートがその後の運転時にも発生する場合は、早急にサービスを予約してください。その間は車両を運転することに問題はありません。

詳細な情報は、[オートブレーキ ホールド](#) を参照してください。

トラブルシューティングのアラート

DIF_a251 / DIR_a251

ギアボックス フルードのサービスが推奨されます
サービスを予約する

このアラートの意味:

車両がギアボックス フルードの点検が必要な状態にあることを検出しました。

対応策:

サービスを予約することをお勧めします。

このアラートがあっても車両を運転することに問題はありません。ただし、この警告が表示された状態で長期間運転を続けると、ギアボックスやパワートレインに永久的な損傷が生じる恐れがあります。

EPBL_a195 / EPBR_a195

移動しないように車両が自動でパーキング
シートベルトを装着しドアを閉めて、ギアをそのままにしてください

このアラートの意味:

運転者が車両を離れているまたは存在しないと車両が判断したために、車両は自動でパーキング（P）にシフトしました。これはさまざまな環境において期待される車両の挙動です。

以下の条件がすべて真である場合、車両は自動的にパーキングにシフトします。

- オートパークが有効ではない
- 車両がドライブまたはリバースで **1.4 mph (2.25 km/h)** よりも低い速度で移動している。
- 最後のドライバーのアクティビティが **2** 秒前よりも以前に検知されている。ドライバーのアクティビティには次が含まれます。
 - ブレーキ ペダルおよび/またはアクセル ペダルを踏む
 - 車両を操縦によって操舵する。

およびこれらの条件の少なくとも **2つ** が真である。

1. ドライバー シートベルトが、バックルされていない状態で検知された。
2. ドライバーが現存するとして検出されない。
3. ドライバー ドアが、開いているとして検知された。

注: 充電ケーブルが充電ポートに接続されている場合にも、車両は自動的にパーキングにシフトします。

対応策:

パーキングへの自動シフトに関する詳細については、[#unique_595](#) を参照してください。

ESP_a118

ブレーキ性能低下アシストを起動
停止するには、ペダルを強く踏み続けてください

このアラートの意味:

油圧フェード補正が有効です。このブレーキアシスト機能は、車両がブレーキ性能の低下を検出した場合にブレーキ能力を確保するために一時的に作動します。

トラブルシューティングのアラート



このアシスト機能が作動すると、ブレーキペダルが足から離れるのを感じ、ブレーキ圧力が大幅に増加することに気付く場合があります。また、車両前部にあるブレーキ油圧ユニットからポンピング音が聞こえる場合があります。これは通常、路面と車速に応じて数秒間続きます。これは正常な状態であり、車両の問題を示すものではありません。

対応策:

ブレーキペダルは通常どおり使用してください。ペダルを「ポンピング」（繰り返し押して離す）すると機能が中断されます。

このアラートは、車両が停止するか、ブレーキペダルを踏んでいないときに解除されます。解除後、アラートは最大 5 秒表示される場合があります。

通常、ブレーキ性能の低下は一時的なものであり、急ブレーキによるブレーキ温度上昇、極端な低温または雨天時の運転など、さまざまな理由で発生する可能性があります。また、ブレーキパッドまたはローターが摩耗し、定期交換が必要なことを示している場合もあります。

しばらく時間が経過してもブレーキ性能の低下が改善されない場合は、[Tesla サービス](#)に連絡してブレーキの点検を依頼してください。

詳細な情報は、[油圧フェード補正](#)を参照してください。

PCS_a016

充電できません - グリッド電力の品質が低い可能性あり

再試行するか他の充電場所やスーパーチャージングを試してください

このアラートの意味:

車両を **AC** 電源で充電することを阻む条件があるため、充電が停止しました。**DC** 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことでもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が **AC** 充電に影響を与える可能性があります。

対応策:

このアラートに付随して **AC** 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、[Tesla スーパーチャージャー](#)または[デスティネーション チャージング](#)を使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

トラブルシューティングのアラート

PCS_a017

充電停止 - 充電中に停電

電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

充電途中で電源が切れました。充電機器の電源（壁面コンセントなど）損失か、充電器の問題が原因と考えられます。

対応策:

このアラートは、しばしば問題を特定し、トラブルシューティングするのに役立つ他のアラートを伴っていることがあります。充電問題に関連して表示された他のアラートを調査開始します。

あるいは、モバイル コネクターやウォール コネクターのステータス ライトをチェックして、装置までの電源を確認し、さらに点滅コードに従って製品のオーナーズ マニュアルでトラブルシューティング情報を参照してください。他の（Tesla 以外の）外部充電器を使用している場合は、トラブルシューティングの助けになるディスプレイや他のユーザーインターフェイスを確認してください。

明らかに充電機器に電源が切れている場合は、壁面コンセントやウォール コネクターのサーキット ブレーカーが切れていないか確認してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般的な整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a019

電力系統または車両の問題によって **AC** 充電が制限される
プラグを抜いてから再試行/別の充電現場を試す

このアラートの意味:

車両の **AC** 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。DC 充電/スーパーチャージャー 充電はまだ通常通り機能しています。

これは、外部充電器または電力網によって引き起こされる電力障害が原因で発生する場合があります。場合によっては、この状態は、近くにある大量の電力を消費する電気機器を使用したことで発生することもあります。

このような考えられる原因を除外できる場合は、車両自体が **AC** 充電に影響を与えている可能性があります。

対応策:

トラブルシューティングのアラート



このアラートに付随して **AC** 充電に影響を与える状態を示す別のアラートが発生している場合、そのアラートの調査を先に開始してください。

その他の機器タイプ別トラブルシューティングのヒント:

- モバイル コネクターを使用する場合は、別の壁面コンセントで車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。
 - それでも車両が充電を開始しないようなら、モバイル コネクターに問題があることが考えられます。
- ウォール コネクターを使用している場合は、別の壁面コンセントから電源を得ているモバイル コネクターなど、別の充電機器で車両の充電をお試しください。
 - 別の機器で車両の充電が開始した場合は、ウォール コネクターに問題があったと考えられます。

問題が元々の壁面コンセントやウォールコネクターに関するものである場合、電気技術者に連絡して配線を点検してもらってください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

複数の場所で異なる充電装置を使用して充電しようとしてもアラートが消えない場合、サービスを予約することを推奨します。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a032

グリッド電源の品質低下を検出
他の充電設備または場所で再試行

このアラートの意味:

車両の **AC** 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限または中断されています。**DC** 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、電力網の電力障害を検出しました。これらの障害は、車両の充電プロセスと干渉します。

これらの電力障害の一般的な原因は次のとおりです。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 外部充電器の異常。
- 洗車機や空調ユニットといったその他の大型電気機器が、一時的に大きな電力を消費し、電力網を阻害した場合。
- 電力網に影響を与える外的条件。

対応策:

このアラートは、一般に、外部充電器と電源に特有のもので、一般整備で対応できる車両問題とは異なります。したがって、以下の対応をお薦めします。

- 別の壁面コンセントで充電を試してください。
- その他の大型電気機器が電力を消費していない場合、充電を再度試みてください（いったん外してから再接続して再試行）。
- 複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

トラブルシューティングのアラート

PCS_a052

外部充電機器が給電不可

電源を確認するか、別の機器で再試行

このアラートの意味:

車両を **AC** 電源で充電することを阻む条件があるため、充電を開始することができませんでした。**DC** 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両が外部充電器に **AC** 電源を要求しましたが、車載充電器は外部充電器からの供給電圧を検出していません。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a053

充電速度低下 - 不測の電圧降下

延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

充電中に大きな電圧降下を検出したため、車載充電器が充電速度を下げました。

これには以下のようないくつかの理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクターを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

トラブルシューティングのアラート



モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a054

大幅な電圧降下のため充電停止 延長コードを外します/配線の点検が必要

このアラートの意味:

車載充電器が異常な電圧降下を検出したため、充電が中断されました。

これには以下のような理由が考えられます。

- 建物側の配線または壁面コンセントの異常。
- 求められる充電電流に対応していない延長コードまたはその他の配線。

この問題は車両の充電中に、電気機器が同じ分岐回路から大きな電力を消費している場合も起こる可能性があります。

対応策:

普段よく充電する場所で同じ問題が何度も発生する場合は、電気工事士に連絡して電気設備の点検を依頼してください。電気工事士が確認すべき点は次の事項です。

- 接続されている充電機器およびそこから建物までの接続。
- モバイル コネクターを接続するすべての壁面コンセントを含む建物側の配線。
- 配電網から建物に引き込まれる電気系の接続。

車両の充電電流を下げる必要があるか、またはより高い充電電流に対応するように設備をアップグレードする必要があるか、電気工事士にご相談ください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a073

外部充電器にエラーを検知 他の充電器で再試行してください

このアラートの意味:

車両を **AC** 電源で充電することを阻む条件があるため、**AC** 充電を開始することができませんでした。**DC** 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器は、外部充電器から電力が要求されていないときに充電ポートで入力電圧を検出しています。これは、外部の充電器が通常どおりに機能していないことを示しています。

これは、外部充電器固有のハードウェア問題が原因である場合があります。これにより、要求されたときに充電器が車両の充電をオンまたはオフに切り替えることができなくなります。また、外部充電器に影響を与える別の問題、または車両自体に影響を与える問題が原因で発生する可能性もあります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。



トラブルシューティングのアラート

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオナーズマニュアルをご参照ください。

PCS_a090

充電制限 - 一部の AC 相で電力なし
電源と充電機器を確認してください

このアラートの意味:

車両の **AC** 充電に悪影響を与える条件があるため、充電速度が制限されています。**DC** 充電/スーパーチャージャー充電はまだ通常通り機能しています。

車両の車載充電器が、1台または複数の電力コンバーターに必要な **AC** 入力電圧がないことを検出しました。例：三相充電中に、外部ソースから供給される **AC** 入力電力から1つの相が欠落している可能性があります。これは、外部充電器に影響を与える条件、接続している電源、または車両自体が原因で発生する可能性があります。

対応策:

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般的な整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

複数の異なるタイプの充電器で充電を試してください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターおよびウォールコネクターのステータスライトに関するトラブルシューティングの詳細は、[充電およびアダプター製品ガイド](#)にある製品のオナーズマニュアルをご参照ください。

PMF_a092 / PMR_a092

パワートレインの問題を検出 - サービスを予約してください
機能が復旧しても問題が解消しない可能性があります

このアラートの意味:

あなたの車両のパワートレインはサービスが必要です。出力、速度および加速が減速する可能性があり、車両を走行中にシャットダウンさせることが必要になる可能性があります。

このアラートはパワートレインの点検およびサービスを必要とする持続的な状態を示します。

現在のドライブの後にこのアラートが解消し、その後のドライブで戻ることがなかったとしても、サービスを実施して車両が検出したパワートレインの問題を解決する必要があります。

対応策:

できるだけ早い機会に車両のパワートレインのサービスを予約することをお勧めします。

サービスを実施しない場合、車両の出力が低下し、速度および加速度が減少した状態が継続します。運転中に車両をシャットダウンしなければならない事態や運転できない状態になる可能性があります。



UI_a004

**フロントトランクが開いています
慎重に進んでください**

このアラートの意味:

車両のフロントトランク（フード）が、運転中に開いていることが検出されました。

このアラートは、フードを固定している **2** つのラッチ（フロントトランクのプライマリーラッチおよびセカンダリーラッチ）のうち少なくとも **1** つが、パーキング以外のギアにシフトされたときに完全に確実に閉じられていないことを示しています。

対応策:

走行中にフロントトランクが開く可能性がありますので、安全に停車し、パーキングにシフトするまで慎重に走行することをお勧めします。

駐車後、フロントトランク（フード）が完全に閉まっていること（両方のラッチが完全にかみ合っている）を確認してください。詳細については、[フロントトランクを開める方法](#)を参照してください。

車両がパーキングにシフトされると、アラートは解除されます。ただし、フードを点検して完全に閉じないと、運転の再開時にアラートが再発する可能性があります。

アラートが何度も続く場合、または運転するうちに発生頻度が高くなる場合は、早急に修理を依頼されることをお勧めします。

フロントトランクに関する詳細情報については、[フロントトランク](#)をご参照ください。

UI_a006

**整備が必要です
今すぐ/サービスを予約してください**

このアラートの意味:

この警告は、サービスが必要な状態が車両に検出されると、Tesla がリモートで設定します。

この警告はさまざまな状況によって設定される可能性があります。サービスを予約すると、より詳細な情報を入手することができます。

この警告は車両のサービスが完了した後に、サービス技術者によってしかクリアできません。

対応策:

この警告はさまざまな状態で発生するおそれがありますので、できるだけ早くサービスを予約することをお勧めします。

UI_a013

**タイヤの空気圧が低すぎます
安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください**

このアラートの意味:

このアラートは、車両の **1** つ以上のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPMS）は、**1** つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、Tesla ロードサイドアシスタンス オプション（出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引）をご依頼いただけます。さらなる詳細は、[Tesla ロードサイドアシスタンス](#)に連絡するをご参照ください。



トラブルシューティングのアラート

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、**Tesla** モバイル アプリを使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（**RCP**）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」を参照してください。

TPMS がタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が寒冷時推奨値の誤差 **3 psi** 以内であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、**15 mph (25 km/h)** を超えて **10 分** 以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照してください。

UI_a014

タイヤの空気圧が推奨値以下

空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

タイヤ空気圧モニタリングシステム（**TPMS**）は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも **20%** 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（**RCP**）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、**15 mph (25 km/h)** を超えて **10 分** 以上運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、**Tesla** モバイル アプリを使用してサービス予約をすることができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照してください。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照してください。

**UI_a137**

サービスが車両に接続しています
サービスがリモート診断実行中

このアラートの意味:

サービス技術者がお客様の車両に遠隔でログインし、診断または修理を行います。接続中にインフォテイメント機能の一部が使用できなくなる場合がありますが、このアラートは車両の問題を示すものではありません。

車両を運転しても問題はありません。

対応策:

このアラートは、技術者が車両の診断または修理を完了すると自動的にクリアされます。アラートがクリアされた後、完全なインフォテイメント機能を復元するには、タッチスクリーンを再起動する必要がある場合があります。詳細の情報は、車両の「[DIYガイド](#)」にある「タッチスクリーンの再起動」を参照してください。

このアラートが **24** 時間経過してもクリアされない場合は、**Tesla** モバイル アプリを介して、または地元業者にサービス予約することを推奨します。地元業者の選択は、車両の構成やお住いの場所により異なります。

UMC_a001

モバイル コネクターを使用した充電不可
不適切なコンセントのアース - 別のコンセントで試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターにより電気コンセントのアースが不十分であることが検出されました。アース接続が不十分またはないためと思われます。

これはモバイル コネクターまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクターが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

対応策:

電気技術者による電気設備の点検を行ってください。電気技術者はサーキットブレーカーまたは配電ボックスが正しくアースされていることを確認する必要があります。また、モバイル コネクターを再度差し込む前にコンセントへ適切な接続がなされていることを確認する必要があります。

その間にも充電する必要がある場合、別のコンセント、別の場所、または他のタイプの充電ステーションを使用して充電をしてみてください。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a002

充電不可 - モバイルコネクター漏電を検知
充電ポートから充電ハンドルを外して再試行します

このアラートの意味:

モバイル コネクターの漏電遮断器 (**GFCI**) が落ちたため、車両は充電を行えません。

壁付けコンセントの **GFCI** 同様、この機能は、問題がある時に電気の流れを遮断するように設計されています。充電を中断して車両と充電機器を保護します。



トラブルシューティングのアラート

これは、さまざまな要因により発生します。充電ケーブル、充電ハンドル、充電ポート、または車載コンポーネントに問題が発生しています。

対応策:

水が溜まっていたり、いつもより結露が多く付着していないか、充電ポートと充電ハンドルを点検します。過剰な結露に気づいたら、もう一度試す前に、待機して、充電ポートの内側と充電ハンドルの露出部分の両方を十分に乾かします。

充電機器に損傷がないか点検してください。

- ケーブルに何か損傷があるか、ケーブルが劣化している場合、使用しないでください。別の充電機器をお試しください。
- ケーブルが良好な状態である場合、同じモバイル コネクターを使用して充電を再度お試しください。

問題が解決しておらず充電できない場合、別の充電機器を使用して充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般的な整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a004

**モバイルコネクタを使用した充電はできません
電圧超過 / 別の壁面コンセントをお試しください**

このアラートの意味:

モバイル コネクターが以下のいずれかに該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントの電圧が異常に高い、または
- 壁面コンセントで想定外の供給電圧上昇が検出されている。

対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a005

**モバイルコネクタを使用した充電はできません
電圧低下 / 別の壁面コンセントをお試しください**

このアラートの意味:

モバイル コネクターが以下のいずれかに該当するため、車両を充電できないか、充電が中断されています。

- 壁付けコンセントから十分な供給電圧を検知していない、または
- 壁付けコンセントから予期せぬ供給電圧の低下が検出されている。

トラブルシューティングのアラート



対応策:

別の壁付けコンセントを使用して、車両の充電をお試しください。別の機器で車両の充電が開始された場合は、元の壁付けコンセントに問題があったと考えられます。電気工事業者に連絡し、このコンセントまでの建物の配線接続調査をご依頼ください。

別の壁付けコンセントを試しても車両が充電されない場合、別の場所で充電をお試しください。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a007

モバイル コネクター制御 ボックスの温度が高い

モバイル コネクターの温度を下げるから充電を再開してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電が中断しました。

対応策:

モバイル コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（38°C未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a008

充電不可 - 壁プラグが高温

壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクターによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が停止したことを示しています。

これはモバイル コネクターまたは車両に問題があることを示すものではありませんが、モバイル コネクターが接続している壁面コンセント/電気設備に問題があることを示します。

コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。Tesla ウォールコネクターのアップグレードを検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

ラブルシューティングのアラート

UMC_a009

充電不可 - 充電ハンドルの温度が高い

充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電が中断されました。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかりと挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（**38°C**未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a010

モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱

冷えるのを待つ - アダプターをモバイル コネクターにしっかりと差し込む

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電が中断されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかりと接続していることを確認します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

モバイル コネクター制御ボックスの温度が下がり、障害物を取り除いたら、警告が消えて充電が可能になります。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a011

充電機器に通信エラーが発生しました

再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

トラブルシューティングのアラート



モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは、充電ハンドルが車両にしっかりと接続していることを、近接検知によって確認することができません。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

UMC_a012

充電機器に通信エラーが発生しました
再試行または別の機器をお試しください

このアラートの意味:

モバイル コネクターと有効な通信ができないために車両を充電できません。モバイル コネクターは有効な制御パイロット信号を生成または維持できることを検出しました。

対応策:

まず、有効な通信がない原因が、モバイル コネクターによるもので、車両の問題ではないことを確認してください。一般的にはこれが当てはまります。

これを確認するためには、別の外部充電機器を使用して車両の充電を試みます。

- 車両が充電を開始したら、モバイル コネクターの問題であることが確認できます。
- 車両が充電を開始しないようなら、車両に問題があることが考えられます。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物がないことを確認してください（必要に応じてフラッシュライトを使用）。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってからモバイル コネクター ハンドルを充電ポートに挿入します。

このアラートは通常、外部充電機器と電源に特有のもので、一般の整備で解決できる車両の問題を示すものではありません。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

充電に関する情報は、[充電方法](#)を参照してください。

トラブルシューティングのアラート

UMC_a013

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは壁プラグ アダプターの温度を監視できないため、充電電流は自動的に **8A** に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた **AC** アダプターに問題がある可能性があります。
 - b. アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。

それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は **8A** に制限されるため、充電速度は低下します。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a014

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは、**AC** アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に **8A** に減少します。

対応策:

1. 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
2. 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - a. モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - b. 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
3. 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
4. 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - a. アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた **AC** アダプターに問題がある可能性があります。



- アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は **8A** に制限されるため、充電速度は低下します。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a015

壁プラグ アダプター エラー - 充電速度を低下 アダプターをモバイル コネクタに挿入し再試行

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁プラグ アダプターと通信できません。モバイル コネクターは、**AC** アダプターが接続されているコンセントの種類を識別できないため、充電電流は自動的に **8A** に減少します。

対応策:

- 壁のコンセントから、壁プラグ アダプターを含むモバイルコネクターを完全に抜きます。
- 壁プラグ アダプターとモバイル コネクター本体の間の接続がしっかりしていることを確認してください。
 - モバイルコネクター本体から壁プラグ アダプターを完全に外します。
 - 壁プラグ アダプターを、所定の位置にカチッと収まるまでソケットに押し込んで、モバイルコネクター本体に完全に再挿入します。
- 壁プラグ アダプターを含むモバイル コネクターを壁コンセントに完全に差し込んで、もう一度充電してみてください。
- 警告が解消されない場合は、別の壁コンセント アダプターを使用してみてください（アダプターがモバイルコネクターに完全に接続されていることを確認するには、上記の手順を参照してください）。
 - アラートが表示されなくなった場合は、以前に使用していた **AC** アダプターに問題がある可能性があります。
 - アラートが続く場合は、モバイルコネクターに問題がある可能性があります。

必要に応じて別の壁コンセント アダプターまたはモバイル コネクターを購入します。それまでは、同じ機器で充電を続けることができます。この状態が続く限り、充電電流は **8A** に制限されるため、充電速度は低下します。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、製品のオーナーズマニュアルをご参照ください。

UMC_a016

モバイル コネクター制御ボックス高温 最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが制御ボックスハウジング内の高温を検知したために充電電流が一時的に低下しています。

対応策:

モバイル コネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度（**38°C**未満）で問題が解決されない場合は、サービスが必要です。



トラブルシューティングのアラート

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

UMC_a017

充電速度が低下 - 壁プラグが高温 壁コンセントおよび配線の点検を推奨

このアラートの意味:

モバイル コネクターによる高温検出アラートは、充電に使用するコンセントが非常に高温になったため、コンセントを保護するために充電が低速になったことを示しています。

これは通常、車両またはモバイル コネクターの問題ではなく、コンセントの問題です。コンセントに高温が発生している原因は、プラグが完全に差し込まれていないこと、コンセントへの建物の配線に緩みがあること、コンセントが摩耗し始めていることが考えられます。

対応策:

アダプターがコンセントに完全に挿入されていることを確認します。充電速度が正常な状態に戻らない場合は、電気工事業者に連絡し、コンセントおよび建物の配線を調査して必要な修理を行ってください。

コンセントが古くなっている場合は、品質の高いコンセントと交換してください。[Tesla ウォールコネクターのアップグレード](#)を検討してください。利便性および充電速度をさらに向上できます。

UMC_a018

充電電流減少 - ハンドルの温度が高い 充電ハンドルまたはポートに異物がないか確認してください

このアラートの意味:

モバイル コネクターが、車両の充電ポートに接続している充電ハンドルの高温を検出したため、充電電流が一時的に減少しています。

対応策:

モバイル コネクターが車両の充電ポート入口にしっかりと挿入されていることを確認してください。

充電ポート入口およびモバイル コネクター ハンドルに障害物や水分がないか点検してください。充電ポートまたはモバイル コネクターの障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、モバイル コネクター ハンドルを再度、充電ポートに挿入します。

さらにモバイル コネクターの充電ハンドルが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。

正常な周辺温度（38°C未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、Tesla スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参照ください。

**UMC_a019**

モバイル コネクターからアダプターまでの接続部が加熱
最大充電速度低下

このアラートの意味:

モバイル コネクターが壁面プラグ アダプターと制御ボックスの間の接続に高温を検知したため、充電電流が削減されました。

対応策:

壁面プラグ アダプターがモバイル コネクターの制御ボックスにしっかりと接続していることを確認します。

電源（壁面コンセント）からプラグを抜いたら、壁面プラグ アダプターの接続およびモバイル コネクターの制御ボックスの接続に障害物や水分がないか点検してください。

ごみ/異物をすべて取り除くことをお勧めします。障害物を確実に取り除き、水分が乾くまで待ってから、壁面プラグ アダプターを再度モバイル コネクターに挿入してから、さらに電源（壁面コンセント）に接続します。

さらに壁面プラグ アダプターが何かで覆われていたり、熱源が近くにないことを確認してください。正常な周辺温度（**38°C**未満）でも警告が消えず、複数回充電を試みても発生する場合、モバイル コネクターまたは車両に影響を及ぼしている状態を示している可能性があります。都合の良いときにサービスを予約することをお勧めします。

また、**Tesla** スーパーチャージャーまたはデスティネーション チャージングを使用して車両の充電を試すこともできます。これらの場所はどれも、車両のタッチスクリーン画面の地図で見つけることができます。詳細については[マップとナビゲーション](#)を参照してください。

モバイル コネクターのステータスライトおよび充電上の問題に関するトラブルシューティングの詳細については、[製品のオーナーズマニュアル](#)をご参考ください。

VCFRONT_a180

電力システムの電力減少
車は突然シャットダウンされることがあります

このアラートの意味:

電気系が車両の全機能をサポートする電圧を維持できません。

運転中にこのアラートが発生した場合、車両が突然停止する可能性があります。

車両がパーキング レンジにあるときまたは最初に起動したときにアラートがある場合、ドライブを開始するために十分な電力がない可能性がある場合があります。個々の車両アラートはその状態を示すためにあるのかも知れません。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

このアラートが有効なままになっている場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

VCFRONT_a182

サービスを予約し低電圧バッテリーを交換する
バッテリーを交換するまでソフトウェア更新不可

このアラートの意味:

低電圧バッテリーの性能が劣化しているため、交換する必要があります。低電圧バッテリーを交換するまで、車両ソフトウェアのアップデートはできません。

対応策:



トラブルシューティングのアラート

できるだけ早急に低電圧バッテリーを交換することを推奨します。

サービス予約は **Tesla** モバイル アプリからや、車両の低電圧バッテリーの交換を提供する独立系サービス プロバイダーで実施することができます。独立系サービス プロバイダーの選択は、車両の構成やお住いの場所に基づいて異なる可能性があります。

低電圧バッテリーに十分な電力がないために、車両の電源を入れることができない場合やドアが開かなくなっている場合は、**ジャンプスタート** の指示に従ってください。

バッテリーシステムに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーに関する情報](#)をご参照ください。

VCFRONT_a191

電力システムの電力減少

車はシャットダウン中

このアラートの意味:

低電圧バッテリーは、ドライブまたはドライブの継続に必要な電力を供給することができません。車両をシャットダウンして、ドライブ以外の重要な機能に使用するためのエネルギーを節約します。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- 直ちに安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、**Tesla** のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

このアラートが発生した場合、電気系は車両の全ての機能をサポートするために必要な電圧を維持できません。車両の多くの機能が作動しなくなる可能性があります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からドアを開ける](#)を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれがあります。

VCFRONT_a192

電気系はすべての機能をサポートすることができない

機能をオフにしてエネルギーを節約する

このアラートの意味:

電気系はすべての車両の機能をサポートすることはできません。車両は必須ではない機能をシャットダウンして必須機能のためのエネルギーを保持します。

このアラートが出たときに走行している場合、不意に車両がシャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能は使用できない可能性があり、これにはシートヒーター、キャビン環境コントロール、および車両内のエンターテイメントが含まれます。これは、車両が必須機能（ヘッドライト、ウィンドウ/ドア、ハザードランプおよびフロントトランク（フランク）の操作機能など）に対して十分な電力を維持するための予測される挙動です。



車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からドアを開ける](#)を参照してください。

対応策:

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

VCFRONT_a216

車両が再始動しない可能性 - サービスが必要 電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込み走行中または高速充電/**DC** 急速充電中のによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

電気系のサービスを実行するまで車両は再始動しません。

キャビン空調と通気口の位置調整、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。

その他の機能も使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウインドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シートヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。サービスをしない場合、車両は依然として再始動することができます、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は[車内からドアを開ける](#)を参照してください。

VCFRONT_a220

電気系はすべての機能をサポートすることができない サービスの予約

このアラートの意味:

低電圧バッテリーを使用できないため、車両機能への電気的サポートを提供できません。

車両が予期せずシャットダウンするおそれがあります。最後のドライブの後に車両を再始動させることができない可能性もあります。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

対応策:

必須ではない機能の使用をやめるか減らすことを推奨します。そうすることで、整備が完了するまでの間、運転以外の重要機能に対して、車両が十分な電力を保持することが可能になります。

このアラートが依然として存在している場合、サービスの予約を直ちにしてください。整備を行わない場合、車両が走行しなくなる、突然シャットダウンする、または再起動しなくなるおそれが生じます。



トラブルシューティングのアラート

VCFRONT_a402

電気系バックアップ電力利用不能

アイドリング中車両はより多くのエネルギーを消費します

このアラートの意味:

電気系のバックアップ電源である低電圧バッテリーを利用できません。または車両のすべての機能をサポートするために必要な電圧を提供できません。

一次電力源である高電圧バッテリー システムは車両がアイドリング状態であっても、車両の機能をサポートし続けます。高電圧バッテリーに関する詳細情報については、[高電圧バッテリーについて](#)を参照してください。

必須ではない機能の一部が使用できなくなっている可能性があります。これは、車両が必須機能に対するエネルギーを維持するための予測される挙動です。

また、運転中以外に、車両が普段よりも多くのエネルギーを消費していることや、充電後に通常予測するよりも短い予測航続距離が車両に表示されていることに気付くことがあります。このアラートが発生した場合、このは車両の通常の挙動であり、バックアップ電源を回復するまでこの状態を継続します。

一次電源に影響を及ぼす問題によって、車両が突然シャットダウンする可能性があります。

対応策:

必須ではない機能の使用を制限するか、やらないようにするを推奨します。こうすると車両が必須機能のために十分な電力を維持することを支援することができます。

できるだけ早急にサービスを予約し、電気系のバックアップ電源のサービス予約をして、電気系のバックアップ電源が回復するようすることを推奨します。

VCFRONT_a496

車両はシャットダウンの準備中

安全を確かめて車を止めてください

このアラートの意味:

電気系はドライブのためのまたはドライブを継続するための十分なサポートを提供できません。車両は、ドライブ以外の重要な機能のためのエネルギーを確保するためにシャットダウンする準備をしています。

この状態が継続している間は、車両を運転することやドライブを継続することはできません。

対応策:

運転中にこのアラートが発生した場合、車両を直ちに停止させる必要があります。以下のとおりにしてください。

- できるだけ早く、安全を確かめて車両を停めてください
- モバイル アプリを使用して、Tesla のロードサイドアシスタンスに直ちに連絡するか、希望するのであればその他のロードサイドアシスタンスをリクエストします。

すぐに安全な場所に停車できない場合、車両は突然シャットダウンする可能性があります。また、一旦駐車すると、車両を再始動させることができない可能性もあります。

車両がすべての電力を喪失する可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報については、[車内からドアを開ける](#)を参照してください。

このアラートはさまざまな車両の状況によって発生する可能性があります。詳細情報およびその他の推奨されるアクションについては、その他の能動的車両アラートを確認してください。

**VCFRONT_a592**

運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

キャビン空調、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。車両の左側 の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シートヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける](#)を参照してください。

VCFRONT_a593

運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

キャビン空調、電動トランク リフトゲート、およびステアリング コラム調整は制限されるか使用できない可能性があります。車両の左側 の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シートヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける](#)を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

VCFRONT_a596

運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

通気口の配置調整は制限されるか使用できないことがあります。車両の右側の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シートヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける](#)を参照してください。

VCFRONT_a597

運転不能 - サービスが必要
電気系に問題を検出

このアラートの意味:

異常に大きく継続的な電力の引き込みによって、車両の電気系が、すべての機能をサポートできなくなっています。

このアラートが存在しているときは、車両を走行させることができず、車両は再始動しません。

通気口の配置調整は制限されるか使用できないことがあります。車両の右側の多くの機能は使用できないか、その性能に影響が生じる可能性があります。これには次が含まれます。

- 電動ドア
- パワーウィンドウ
- フロントシート（動きおよび加熱）
- 後部座席シートヒーター
- サイドミラーの動き

対応策:

できるだけ早い機会にサービスを予約することを推奨します。サービスをしない場合、車両は依然として走行することができず、電気系はすべての機能をサポートすることができないままになります。

車両の電動ドアおよび窓の一部または全部が電力を失う可能性があります。このような状況に陥った場合でも、手動ドア解除を使用することで、車両から降りることができます。詳細な情報は、[車内からドアを開ける](#)を参照してください。



VCSEC_a221

タイヤの空気圧が推奨値以下

空気圧を確認し、必要に応じて充填してください

このアラートの意味:

このアラートは、タイヤのパンクを示すものでは「ありません」。

タイヤ空気圧モニタリングシステム(**TPMS**)は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時タイヤ空気圧より少なくとも **20%** 低下していることを検知しました。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（**RCP**）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」を参照してください。

タイヤの空気は冷えると自然に収縮して、タイヤ空気圧は減少するので、このアラートは寒冷気象の際に発生する可能性があります。

対応策:

空気を入れて、推奨低温時タイヤ空気圧を維持してください。より気温の低い気象条件ではタイヤ空気圧の低下が予測されますが、常に推奨低温時タイヤ空気圧を維持するようにしてください。

車両が走行するとアラートが消えることがあります。これはタイヤが暖まることで、タイヤ空気圧が増加するためです。アラートが消えても、冷却後にタイヤに空気を入れてください。

それぞれのタイヤが推奨低温時圧力まで加圧されていることを、タイヤ空気圧モニタリングシステムが検知するとこのアラートは解消されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、**15 mph (25 km/h)** を超えて **10 分以上** 運転する必要がある場合があります。

同じタイヤでこのアラートが繰り返し表示される場合は、タイヤの空気漏れがないかを点検してください。最寄りのタイヤ販売店を訪問するか、[Tesla モバイル アプリ](#)を使用してサービス予約することができます。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照してください。

VCSEC_a228

タイヤの空気圧が低すぎます

安全に車両を駐車し、パンクしていないか確認してください

このアラートの意味:

このアラートは、車両の**1つ以上** のタイヤの空気圧が極端に低いか、またはパンクしていることを示しています。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (**TPMS**) は、1つ以上のタイヤ空気圧が推奨された低温時のタイヤ空気圧より著しく低下していることを検知しました。

対応策:

注意しながらすぐに車両を路肩に停車させてください。安全な場所でパンクしていないかを確認してください。

必要に応じて、[Tesla ロードサイドアシスタンス オプション](#)（出張タイヤ交換サービス、レンタルホイール、けん引）をご依頼いただけます。さらなる詳細は、[Tesla ロードサイドアシスタンス](#)に連絡するをご参照ください。

緊急時以外であれば、地域のタイヤ販売店を訪れて支援を求め、[Tesla モバイル アプリ](#)を使用してサービス予約することを推奨します。

車両のタイヤの寒冷時推奨圧力値（**RCP**）の記載箇所、タイヤ空気圧の点検方法、およびタイヤ空気圧の正しい維持方法に関する詳細な情報については、「[タイヤ空気圧の維持](#)」を参照してください。



トラブルシューティングのアラート

タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤ空気圧測定を行い、各タイヤの空気圧力が **30 psi** であることが確認されると、アラートは解除されます。

- タイヤに推奨低温時圧力まで空気を入れた直後は、このアラートがまだ存在し、タイヤ空気圧インジケーター ライトがまだ点灯している可能性がありますが、これら両方は短い距離を運転した後には解消します。
- タイヤ空気圧モニタリング システムが更新されたタイヤ空気圧を測定して報告するには、**15 mph (25 km/h)** を超えて **10 分** 以上運転する必要がある場合があります。

タイヤの空気圧と空気注入に関する詳細情報については、[タイヤのお手入れとメンテナンス](#)を参照してください。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



文書の適用可能性

お客様の車両に関する最新かつ重要な情報を得るには、車両のタッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「オーナーズマニュアル」の順にタッチしてオーナーズマニュアルを表示します。この情報は、購入された機能、車両設定、マーケット地域、およびソフトウェアバージョンに応じた、お客様の車両に特有のものです。これとは対照的にテスラが提供するオーナー情報は適宜更新されるものであり、お客様の車両に特有の情報が含まれない可能性もあります。

ソフトウェアのアップデート後に、タッチスクリーンに新機能に関する情報が表示されます。また、「コントロール」>「ソフトウェア」>「リリースノート」をタッチすれば、いつでも表示できます。車両の使用方法に関してオーナーズマニュアルの内容がリリースノートの情報と矛盾する場合は、リリースノートを優先してください。

イラスト

本文書に掲載されるイラスト図は例示のために描かれています。車両のオプション、ソフトウェアバージョン、販売地域により、車両のタッチスクリーンに表示される情報は多少異なる場合があります。

利用できる機能

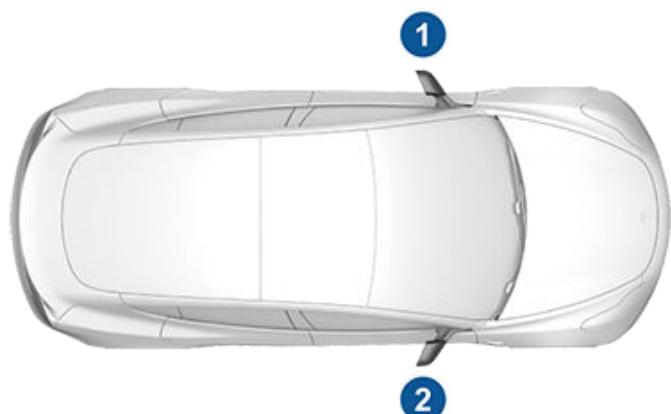
ご利用になれる機能は車両構成または販売市場地域によって異なります。オーナー情報でオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれることを保証するものではありません。詳細情報については、[機能の使用可否に関する声明](#)を参照してください。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることがTeslaの目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤記・脱字の報告やオーナーズマニュアルの品質に関する一般的なご意見・ご提案は、ownersmanualfeedback@tesla.comまでメールにてお願ひいたします。

コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左(1)と右(2)はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

© 2012-2023 Tesla, Inc. 本書にあるすべての情報およびすべての車両ソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc.およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Teslaはオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Teslaのオープンソースソフトウェアについてはウェブサイト www.tesla.com.opensource を参照してください。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号平27情使、第74号)。地図にデータに関する所有権(以下に掲げるものを含むがそれに限定されない)は、Increment P Corporation (IPC)が所有しています。Copyright © 2009-2014 Japan Digital Road Map Association および Copyright © 2015 Increment P Corp (免責事項参照)。HD Radioは、iBiquity Digital Corporationの登録商標です。以下は、Tesla, Inc.の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

TESLA



TESLA MOTORS

TESLA ROADSTER



MODEL S

MODEL X

MODEL 3

MODEL Y

T E S L A





オーナー情報について

本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



Tesla は常に変化しており、ソフトウェアのアップデートのたびに新しい機能が追加され、改良されています。ただし、お客様の車両で動作しているファームウェアによっては、すべての機能が搭載されていない場合や、本オーナーズマニュアルに記載されたとおりに動作しない場合があります。搭載されている機能は、販売地域、車両構成、購入オプション、ソフトウェアのアップデートなどによって異なります。

オーナーズマニュアルでオプションまたは機能が記されている場合がありますが、お客様の車両でご利用になれるごとに保証するものではありません。最新かつ最高の機能を確実に入手する最善の方法は、通知を受け取ったらすぐに車両のソフトウェアを更新することです。優先設定は、「コントロール」▶「ソフトウェア」▶「ソフトウェアの優先設定」▶「詳細設定」でも設定できます。詳細情報については、[ソフトウェア アップデート](#)を参照してください。車両で利用可能な機能については、常に現地の法律と制限を遵守して、あなた自身や同乗者、周囲の人々の安全を確保するために、必ず現地の法律や制限を遵守してください。



免責事項

車両テレマティクス

Model 3 は、モーター、オートパイロット コンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気系統を含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所などを車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に **Tesla** サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて **Tesla** にワイアレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で **Tesla** が使用しますがこれらに限定されません。お客様に **Tesla** テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。**Tesla** およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。**Tesla** の弁護。法律で要求された場合。車両の整備を通して、**Tesla** は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、**Tesla** に情報を定期的にワイアレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。**Model 3** の追加機能により、車両のテレマティクスシステムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません:

- ・車両の所有者（またはリース車両の場合はリース会社）からの同意または合意が得られている場合。
- ・警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- ・**Tesla** の弁護目的で使用された場合。
- ・裁判所により命令された場合。
- ・車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- ・継承者または譲受人を含む **Tesla** の子会社、もしくは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

お客様の車両から収集したデータの **Tesla** による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある **Tesla** のプライバシー方針を参照してください。

データ共有

品質保証と、オートパイロットなどの高度機能の継続的な改良をサポートするため、お客様の **Model 3** から、分析データ、道路セグメントデータ、診断データ、車両使用データが収集され、分析のために **Tesla** に送信されることがあります。**Tesla** 車が運転された膨大な走行距離の実績により、この分析を **Tesla** による製品とサービスの改善に役立てることができます。**Tesla** は、このデータを同様のデータを提供するパートナーと共にしますが、収集した情報でお客様の身元が特定されることなく、収集した情報はお客様の明示的な同意によってのみ送信されます。お客様のプライバシー保護のため、個人情報は記録されることなく、プライバシー保全技術の下で扱われ、あるいは **Tesla** に送信される前にすべてのレポートから削除されます。お客様は、「コントロール」>「ソフトウェア」>「データ共有」にタッチすることで、共有するデータを管理できます。

お客様の車両から収集したデータの **Tesla** による処理方法のその他の情報については、<http://www.tesla.com/about/legal> にある **Tesla** のプライバシー方針を参照してください。

注: ただし、本オーナーズ マニュアルに記載されているように、**Model 3** は運転と操作に関連して **GPS** を使用していますが、**Tesla** は衝突事故が発生した場所を除き、車両固有の **GPS** 情報を記録または保存しません。このため、**Tesla** は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません（例えば特定日時に **Model 3** が駐車/走行していた場所についての記録を **Tesla** は取りません）。

品質管理

オドメーターの表示は **Model 3** の納車時に若干の数値（数 km）を示していることがあります。これは、**Model 3** の品質を保証するための包括的テスト プロセスの結果です。

テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は **Tesla** で実施され、技術者が実施するコードテストが含まれます。



地図データ

次の所有権表示は、お客様の車両のソフトウェア (**Map Data**) に含まれる地図データおよびその利用に適用されます。

- **Increment P Corporation (IPC)** とそのライセンス許諾者は、**Map Data** に関する著作権と商標権を含むがそれらに限定されないすべての所有権を所有しています。
 - Copyright © 2009-2014 JAPAN DIGITAL ROAD MAP ASSOCIATION
 - Copyright © 2015 INCREMENT P CORP
- **IPC** は明示的か黙示的かを問わず、いかなる装置の正確性、完全性、合目的性、通常動作、機能性を含むがそれらに限定されない **Map Data** に関する一切の保証をいたしません。**IPC** は、**Map Data** の利用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- **Map Data** は、日本デジタル道路地図協会によって発行された全国デジタル道路地図データベースを用いて作られています。
- **Map Data** は、日本の測量法第 44 項に従い、次の表に記された組織が発行した都市計画図を用いて作られ、その利用はそれぞれの組織によって承認されています。

組織	承認日	承認番号
神奈川県小田原市	1998年4月2日	小田原市指令第52号
岐阜県養老町	2000年3月13日	平成12年養建第1902号
愛知県知多市	2000年5月16日	平10.近公.第34号
和歌山県貴志川市	2001年3月13日	平成12年度知都発第170号
福岡県隱岐町	2004年3月3日	15大木建第734号
長野県堀金町	2005年3月1日	16堀第5417号
滋賀県東近江市	2006年2月28日	東開第111号
群馬県伊香保町	2005年7月14日	伊建農発229号
Tokyo Digital Map Corporation	2007年2月8日	18東デ共041号 ※契約番号
東京都	2007年2月7日	18都市基交第478号
岡山県津山市	2006年2月17日	平成17年津山市使用承認第5号
山口県宇部市	2006年5月15日	指令宇都第13号
山口県宇部市	2006年5月31日	指令宇都第14号
山口県周防大島町	2006年5月12日	周防建設第56号
香川県東かがわ市	2006年5月2日	18建第107号
愛媛県東温市	2006年5月16日	H18東温都第174号
宮城県	2006年9月19日	林振第350号
宮城県	2007年2月28日	林振第611号
秋田県	2007年3月7日	指令水緑-1258
山形県	2006年12月6日	森第18-10号
新潟県長岡市	2006年3月28日	長都政第477号
山梨県	2007年3月1日	森整第1561号
長野県	2007年2月14日	18森政第5-5号
島根県	2006年11月24日	森第1286号
島根県	2007年2月27日	森第1736号
広島県	2007年2月15日	林振第115号



免責事項

組織	承認日	承認番号
徳島県	2007年1月30日	林振第484号
佐賀県	2006年10月4日	森整第010634号
長崎県	2006年10月6日	18林第492号
熊本県	2007年2月14日	森整第993号
熊本県	2007年3月7日	森整第1079号
大分県	2006年12月5日	林18-1
大分県	2007年3月7日	林18-2
宮崎県	2006年12月8日	使18-1号
宮崎県	2007年3月8日	使18-3号
鹿児島県	2006年11月17日	平18林振第360号
鹿児島県知覧町	2006年5月26日	知耕第590号
茨城県	2007年8月8日	林政19-482号
秋田県	2006年11月30日	指令水緑-947
山梨県笛吹市	2007年12月13日	笛まち第12-25号
岐阜県	2008年3月24日	情企第590号
高知県	2007年2月14日	18高森推第568号
鹿児島県	2008年1月16日	平19林振第404号
北海道小樽市	2009年2月18日	平21樽港事第33号
静岡県	2009年3月3日	平成21年森計第477号
鹿児島県	2007年3月9日	平18林振第497号
山形県東根市	2009年5月27日	東建収第8号
北海道幕別町	2010年7月14日	H22幕都計第185号
国土地理院	2010年9月28日	国地企調第180号
鹿児島県	2007年8月6日	平19林振第246号
愛知県田原市	2011年4月22日	23田街第55号
国土地理院	2012年6月21日	平24情使、第199号-63号
国土地理院	2014年5月16日	平26情使、第74号-63号
国土地理院	2014年7月1日	平26情使、第163号-63号
国土地理院	2014年8月4日	国地企調第155号

- Map Data に含まれる交通規制データは 2014 年 9 月現在のものです。かかる交通規制データと実際に掲示されている交通標識や交通規制表示に相違がある場合、Map Data の使用においては実際に掲示されている交通標識や交通規制表に従ってください。
- この交通規制データは、2 輪や大型商用車（モーターサイクルや商用トラック等）には適用されません。



Tesla に連絡する

お客様の **Model 3** の詳細については、www.tesla.com にアクセスして、お客様の Tesla アカウントにログインするか、アカウントがない場合は新規でサインアップしてください。

Model 3 に関して質問や疑問がある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号を探すには、www.tesla.com にアクセスし、連絡先情報でご確認ください。

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE



認証適合性

FCC 認証および ISED 認証

コンポーネント	製造元	モデル	動作周波数 (MHz)	FCC ID	IC ID
B ピラー エンドポイント	Tesla	1783148	13.56、 2400-2483.5、 6000-8500	2AEIM-1783148	20098-1783148
インテリア エンドポイント	Tesla	1815669	2400-2483.5、 6000-8500	2AEIM-1815669	20098-1815669
リア左 BLE	Tesla	1817073	2400-2483.5、 6000-8500	2AEIM-1817073	20098-1817073
フェイシア エンドポイント	Tesla	1733130	2400-2483.5、 6000-8500	2AEIM-1733130	20098-1733130
TPMS	Tesla	1472547G	2400-2483.5	2AEIM-1472547G	20098-1472547G
TPMS	Tesla	1849171	2400-2483.5	2AEIM-1849171	20098-1849171
グローブボックス BT USB モジュール	Tesla	1776863	2400-2483.5	2AEIM-1776863	2AEIM-1776863
キャビン内レーダー（装備されている場合）*	Tesla	1616631	60000~64000	2AEIM-1616631	20098-1616631
Homelink（装備している場合）	Gentex	ADHL5C	286~440MHz	NZLADHL5C	4112A-ADHL5C
TCU	Tesla	1727111	--	XMR2020AG525RGL XMR202303AF51Y	10224A-2020AG525R 10224A-202201AF51Y
ワイヤレス充電器	Tesla	WC5	13.56 MHz、127.72 KHz	2AEIM-WC5	20098-WC5

*キャビン内レーダーは工場取り付けだけに限定されています。

上記装置は、FCC 規則パート 15 およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。

操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することができますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合（本装置のスイッチのオンオフで判断可能）、ユーザーは以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みるよう勧奨されます。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- サポートが必要な場合には、販売業者または経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談してください。



! 注意: 本装置およびそのアンテナは、他のアンテナや送信機のそばに設置したり、近くで動作させたりしないでください。

日本

上記装置（1133148、1089774、1089775、1089773E、1527963など）の動作温度はいずれも、-40°C～85°Cです。

TPMS:



001-A00198



217-200053



217-210328

冷媒

タイプ	環境への影響	製造元	モデル	フルオロカーボンの量/割合士許容範囲(g)	目標値	目標年
R-134a	GWP=1,430	Tesla, Inc.	Model 3	ヒートポンプ未装備/ 660±20	GWP=1	2023
				ヒートポンプ装備/ 1020±20		
R-1234	GWP=1	Tesla, Inc.	Model 3、2022年12月から	ヒートポンプ装備/ 1020±10	GWP=1	2023



索引

記号

エクステリア: 3, 171, 173, 183

概要: 3

クリーニング: 171

自動車用カバー: 173

寸法: 183

つや出し、補修塗り、修理: 173

エネルギー: 13, 70

回生ブレーキの効果: 70

航続距離情報: 13

ドライバー: 77

プロフィール: 77

温度: 13, 60, 130, 153

外部: 13

車内、調整: 130

バッテリー(高電圧)、限界: 153

ゲーミングコントローラー: 148

安全情報: 35

シートベルト: 35

引き上げ: 176

運転中: 30, 55

座位置: 30

始動: 55

機能の使用可否: 253

緊急ブレーキ操作: 118

緊急車線逸脱防止: 115

高電圧: 151, 164, 186

安全性: 164

コンポーネント: 151

バッテリーの仕様: 186

仕様: 183, 185, 186, 188

インテリア: 183

エクステリア: 183

貨物量: 185

高電圧バッテリー: 186

サスペンション: 186

サブシステム: 185

ステアリング: 185

寸法: 183

タイヤ: 188

低電圧バッテリー: 186

トランスマッision: 185

ブレーキ: 185

ホイール: 188

モーター: 185

自動緊急ブレーキ: 119

自動車線変更: 90

車線逸脱防止: 115

充電: 154, 155, 156

充電ステータス: 155, 156

充電設定: 155, 156

スケジューリング: 155, 156

手順: 154

充電中: 151, 152

公共充電ステーション: 152

コンポーネントおよび機器: 151

出発予定時刻: 158

使用: 158

商標: 251

衝突回避アシスト: 118

障害物検知走行モード: 118

制限速度警報: 121

正面衝突警告: 118

絶対速度制限: 121

相対速度制限: 121

側面衝突警告: 115

速度制限との差: 121

著作権: 251

電話: 19, 51, 53

アプリ: 53

受話: 53

接続中: 51

通話中オプション: 53

通話の履歴: 51

認証された電話機: 19

発話: 53

ペアリング: 51

連絡先のインポート: 51

動かしている: 159

航続距離を最大限に伸ばすヒント: 159

範囲: 70, 159

回生ブレーキ: 70

最大限に伸ばす運転のヒント: 159

保守: 163, 164, 165, 171, 174, 175

ウォッシャー液、補充: 174

ウォッシャー液噴出口、清掃: 175

クリーニング: 171

タイヤ: 165

定期サービス: 163

フルード交換間隔: 164

毎月のチェック: 163

毎日のチェック: 163

ワイパー ブレードの交換: 174

隣接する車線の走行速度: 90

連絡先: 192

ロードサイドアシスタンス: 192

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) : 69

**B****Bluetooth:** 51, 53, 146

一般情報: 51, 53

デバイス、オーディオ ファイルの再生: 146

電話、ペアリングと利用: 51

C**CCS (コンボ):** 152**CHAdE MO:** 152**F****FCC および ISED の認証:** 258**I****i-Size - お子さまの安全:** 36**ISOFIX - お子さまの安全:** 36**J****J1772:** 152**P****PIN:** 78**R****RFID トランスポンダー:** 177**T****Teslacam:** 125, 127**Tesla プロファイル:** 77**TPMAM:** 181**TPMLM:** 181**TPMS:** 169

概要: 169

U**USB デバイス、接続:** 11**USB フラッシュドライブ:** 123, 125, 127**USB ポート、コンソール:** 11**W****Wi-Fi への接続:** 50**Wi-Fi への接続:** 50**あ****アーケード:** 148

アクセサリー、電源ソケットへの差し込み: 12

アプリ: 6**アラーム:** 123, 127**アンチロック ブレーキ (ABS) :** 69**い**

イージーエントリー、ドライバーのプロファイル: 77

インテリア: 4, 130, 172, 183

温度コントロール: 130

概要: 4**クリーニング:** 172**寸法:** 183**イベントデータ記録:** 254**う**

ウィンドウ、キャリブレーション: 23

ウィンド ウォッシャー液、補充: 174

ウィンドウキャリブレーション: 23

ウェブ会議: 54**ウォール コネクター:** 152

ウォッシャー、使用: 68

ウォッシャー液、補充: 174

ウォッシャー液噴出口、清掃: 175

え

エアコンを ON のままにする: 132

エアバッグ、位置: 45

エアバッグ安全情報: 47

エアロ カバー: 167**エネルギー アプリ:** 160

エネルギー使用予測 (ナビゲーション) : 143

お

追い越し加速: 90

往復にかかるエネルギー (ナビゲーション) : 143

往復にかかる予想エネルギーの常時表示: 143

オーディオ: 145, 148

音量調節: 145

設定: 145

ファイルの再生: 145, 148

オートステアリング: 90**オートチルト:** 61**オートナビゲーション:** 140

ナビゲーション: 140

オートパーキング: 104

オートパーキングを使用した駐車: 104

オートパイロット: 88, 90, 104, 106, 115, 118, 121

オートステアリング: 90

オートパーキング: 104

サモン: 106**スピードアシスト:** 121

トラフィックアウェア クルーズコントロール: 90

概要: 88

自動緊急ブレーキ: 118



索引

衝突回避アシスト: **118**
制限速度警報: **121**
正面衝突警告: **118**
側面衝突警告: **115**
速度制限内で走行: **121**
追い越し加速: **90**
オートパイロット コンポーネント: **88**
オートパイロット ナビ走行: **90**
オートブレーキホールド: **74**
オートホールド: **61**
オーナー情報について: **251**
オーバーハング寸法: **183**
オール シーズン タイヤ: **169**
お気に入り (ナビゲーション) : **140**
お気に入り (メディアプレイヤー) : **146**
お楽しみ: **148**
オドメーター: **80**
オフピーク充電: **158**
おもちゃ箱: **148**
音声コマンド: **16**
オンライン ルート案内: **144**
音量調節 (メディア): **145**
音量調節: **6**

か

カーゴエリア: **24**
カーペット、クリーニング: **172**
回生ブレーキ: **70**
改造: **177**
荷重限度: **181**
加速、コンフォート: **76**
加速、スポーツ: **76**
加速、標準: **76**
傾き/侵入検知: **123**
加熱: **130**
カメラ、後ろ向き: **81**
貨物量: **185**
カラーライザー: **148**
カラオケ: **146**
カレンダー: **53**
寒冷環境におけるベストプラクティス: **136**

き

キー: **19, 20**
概要: **19**
キー カードと電話キーの削除: **20**
キー カードと電話キーの追加: **20**
リストの表示: **20**
技術的に許容される最大積載質量: **181**
技術的に許容される軸上の最大質量: **181**

機能、新しいものをダウンロード: **161**
キャンプ: **132**
緊急灯: **67**
勤務先位置: **142**

く

空調: **130**
空調コントロール: **130**
クリーニング: **171**
クルーズ コントロール: **90**
車に何がついてるって?: **148**
グローブボックス、開く: **29**
グローブボックス PIN: **123**

け

警告用フラッシャー: **67**
携帯電話アプリ: **53**
けん引、アクセサリー: **83**
けん引、トレーラー: **83**
けん引時のタイヤ空気圧: **83**
けん引に関する指示: **192**
けん引能力: **83**
けん引モード: **83**
けん引用アクセサリー: **83**
けん引: **195, 196**

こ

公共充電ステーション: **152**
降車後オートロック機能: **22**
工場出荷デフォルト、復元: **10**
工場出荷時リセット: **10**
後方カメラ: **81**
コート ハンガー、リア: **29**
個人情報、消去: **10**
コンソール: **29**
　　リア: **29**
コンソール、低電圧電源ソケット: **12**
コンディショニング: **158**

さ

サービスの予約: **48**
最近の使用履歴 (ナビゲーション) : **140**
最近の履歴 (メディアプレーヤー) : **146**
最低地上高: **183**
サイド カメラ: **81**
サイドクリアランス (サモン) : **106**
坂道、で停止する: **74**
サスペンションの仕様: **186**
サマー タイヤ: **169**
サモン: **106**



サモン距離: 106
サモンを使用した駐車: 106

し

シート: 30, 130
調整: 30
ヒーター: 130
シートカバー: 32
シートヒーター: 130
シートベルト: 33, 34, 172
概要: 33
クリーニング: 172
衝突した場合: 34
妊娠中の女性が着用するとき: 34
プリテンショナー: 34
識別ラベル: 180
自宅位置: 142
始動: 55
自動車用カバー: 173
自動ワイパー: 68
車載カメラ: 122
車体の修理: 177
ジャッキアップ: 176
車内温度コントロール: 130
車内車載カメラ: 122
車両識別番号: 180
車両積載量: 181
車両でトレーラーをけん引: 83
車両に名前を付ける: 10
車両の名前を変更する: 10
車輪止め: 194
ジャンプスタート: 195, 196
充電ステーション、地図に表示: 140
充電ポイント、検索: 142
充電ポート: 154
充電ポート手動リリース: 157
充電ポート ライト: 155
充電ポート リリース ケーブル: 157
充電予約: 158
瞬間値: 160
乗員感知、フロント: 46
消去とりセット: 10
乗車後カレンダーを表示: 53
消費量チャート: 160
ショートカット: 7, 8
タッチスクリーンの再起動: 8
マイ アプリに追加: 7
助手席用フロントエアバッグ無効化: 46
暑熱環境におけるベストプラクティス: 139
所有権の変更: 10

信号機と一時停止のコントロール: 97
侵入検出: 123

す

スーパーチャージ: 157
アイドル手数料: 157
従量制プラン: 157
説明: 157
スーパーイヤージャー、地図に表示: 140
Zoom: 54
スケジューリング: 158
スタッダレス タイヤ: 170
スタビリティ コントロール: 75
スタンバイ: 127
ステアリング、自動: 90
ステアリングの仕様: 185
スピードアシスト: 121
スマート サモン: 108
スマートフォン: 19
認証された電話機: 19
スリップスタート: 75
寸法: 183

せ

整備データ記録: 254
セキュリティ設定: 123
設定、加速: 76
設定、消去: 10
洗車: 171
洗車モード: 171
セントリーモード: 127

そ

走行後オートロック: 22
ソフトウェア アップデート: 161
ソフトウェアのアップデート優先設定: 161
ソフトウェアの再インストール: 161
ソフトウェア リセット: 10

た

タイ ダウン ストラップ: 194
タイヤ: 165, 166, 169, 170, 188, 189
圧力、表示: 165
オール シーズン: 169
空気圧、チェック方法: 165
交換: 166
構成): 165
サマー: 169
仕様: 188
スタッダレス: 170



索引

タイヤ センサーの交換: **169**
タイヤのマーキング: **189**
チェーン: **170**
点検と保守: **165**
バランス調整: **166**
ホイール設定: **165**
ローテーション: **166**
タイヤ空気圧、チェック: **165**
タイヤ空気圧、表示: **165**
タイヤ情報ラベル: **181**
タイヤのノイズ: **170**
タイヤのローテーション: **166**
タイヤ空気圧監視システム: **169**
概要: **169**
ダッシュカム: **125**
ダッシュボードの概要: **4**
タッチスクリーン: **6, 7, 8, 161, 173**
概要: **6**
クリーニング: **173**
再起動: **8**
ショートカットを追加: **7**
ソフトウェア アップデート: **161**
停止: **8**
マイ アプリをカスタマイズ: **7**
無反応: **8**
メイン: **6**
リア: **6**
表示設定: **6**
タッチスクリーンの再起動: **55**

ち

チェーン: **170**
地図データ、所有権表示: **255**
地図の更新: **144**
地図の向き: **140**
チャイルド ロック: **23**
　　リアウィンドウ スイッチをロックする: **23**
チャイルド安全シート、拘束システム: **36**
チャイルドシート: **46**
　　助手席用フロントエアバッグを無効化: **46**
チャイルドシート、安全: **36**

つ

追跡無効: **140**

て

定員: **181**
定期サービス: **163**
低電圧電源ソケット: **12**
データ共有: **254**

データ記録: **254**
デバイス: **146**
　　Bluetooth、オーディオ ファイルの再生: **146**
テレマティクス: **254**
電気式パーキング ブレーキ: **70**
電源のオン/オフ: **55**
電波規制情報: **258**
電力切れ: **195, 196**
電話キー: **19, 20**
　　キーの削除: **20**
　　キーの追加: **20**
電話充電器、誘導式: **11**
電話充電器、ワイヤレス: **11**

と

ドア: **21, 22**
　　内側から開ける: **21**
　　外部ドア ハンドル: **21**
　　外側から開ける: **21**
　　チャイルドロック: **22**
　　内部ロックとロック解除: **22**
　　パーキング時のロック解除: **22**
　　ロック: **21**
　　ロック解除: **21**
　　ドア シール: **172**
　　クリーニング: **172**
　　ドアハンドル: **21**
　　ドア ラベル: **181**
　　ドア機能: **22**
　　降車後オートロック機能: **22**
読書灯、リア: **29**
ドッグ: **132**
ドライバー アシスト: **88**
ドライブ用 PIN: **123**
トラクションコントロール: **75**
トラフィックアウェア クルーズコントロール: **90**
トランク、フロント: **26**
トランク、リア: **24**
トランスポンダー、取り付け: **177**
トランスマッショングの仕様: **185**
トリップ メーター: **80**
トリップ チャート: **160**
トリップ プランナー: **144**
トルクの仕様: **185**
トレーラーのけん引: **181**
トレーラーヒッチ: **181**

に

認証 (FCC、IC、CE、NCC) : **258**



の

納車後の走行距離: 254

納車走行距離: 254

は

パーキング アシスト: 72

パーキング時のロック解除: 22

パーキング ブレーキ: 70

ハザード: 67

ハザードライト: 67

バッテリー (高電圧): 153, 186

温度限界: 153

仕様: 186

注意: 153

バッテリー (低電圧) : 153, 186

完全放電: 153

仕様: 186

ハブ キャップ: 167

バレーモード: 78

パワー: 70

回生ブレーキの効果: 70

パワーウィンドウ: 23, 179

パワーサイクリング: 55

バンパークリアランス (サモン) : 106

ひ

ヒッチ: 181

ビデオ クリップ: 125

ビデオ通話: 54

表示設定: 6

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート: 161

ブースターシート、お子さまの安全: 36

ブームボックス: 148, 149

部品の交換: 177

ブラインドスポットカメラ: 115

ブラインドスポット衝突警告: 115

ブラインドスポット衝突警告チャイム: 115

フランジャー、ハザード: 67

フランシュ ドライブ: 125, 127

フルード: 164

交換間隔: 164

ブレーキをかける: 69, 119, 185

概要: 69

緊急時自動作動: 119

仕様: 185

フロア マット: 173

フロントおよびリア シート: 30

フロントトランク: 26

へ

平均値: 160

ヘッドライト、オートハイビーム: 65

ヘッドライト、ハイビーム: 65

ヘッドラスト: 31

便利な検索機能: 140

ほ

ホイール: 166, 167, 168, 188

アライメント: 166

エアロ カバー、取り外しと取り付け: 167

交換: 166

仕様: 188

トルク: 188

ラグ ナット カバー、取り外しと取り付け: 168

法定プレート: 181

ホーム: 6

画面: 6

ボタン: 6

ホーン: 60

歩行者警告: 82

ボディ 補修塗り: 173

ボディの補修塗り: 173

ボンネット: 26

ま

マイ アプリ: 7

マット: 173

み

ミラー: 61

め

メディア: 145, 148

設定: 145

ソース、表示および非表示: 145

も

モーターの仕様: 185

モバイル アプリ: 48

モバイルアプリアクセス: 48

モバイルコネクター: 152, 154

使用: 154

説明: 152

ゆ

輸送: 192

輸送モード: 192

索引

よ

腰部調節: [30](#)

ら

ライト、ハザード: [67](#)

ライブカメラの表示: [127](#)

ラグ ナット カバー: [168](#)

ラジオ: [145, 148](#)

ラベル: [181](#)

タイヤ情報: [181](#)

法定プレート: [181](#)

り

リア ビュー カメラ: [81](#)

リアウインドウ スイッチ、ロックする: [23](#)

リアシート、折りたたみと引き上げ: [31](#)

料金徴収システム トランスポンダー、取り付け: [177](#)

リリース ノート: [162](#)

る

ルート変更: [144](#)

ルーフラック: [182](#)

れ

レーンアシスト: [115](#)

レンジプランナー: [159](#)

ろ

ロードサイドアシスタンス: [192](#)

録画: [125, 127](#)

ロケーション追跡: [140](#)

ロック: [21](#)

ロック解除: [21](#)

わ

ワイパー、使用: [68](#)

ワイパー ブレード、交換: [174](#)

DRAFT DOCUMENT
DO NOT DISTRIBUTE

T E S L A

Publication date: 2023/11/2